

平成26年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成26年度調査）の
本報告案について

○ 機能強化型訪問看護ステーションの実態と訪問看護の実施状況調査

・報告書（案）	1頁
・調査票	184頁
・検証部会としての評価	211頁

平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 26 年度調査）

機能強化型訪問看護ステーションの実態と訪問看護の実施状況調査

報告書（案）

■■ 目 次 ■■

I 調査の概要	1
1 目的.....	1
2 調査対象.....	1
3 調査方法.....	1
4 調査項目.....	2
II 結果の概要	4
1 回収の状況.....	4
2 訪問看護ステーション調査	5
(1) 事業所の概要	5
(2) 利用者数・訪問回数.....	29
(3) 精神科訪問看護の実施状況	52
(4) 褥瘡リスクの評価の実施状況.....	61
(5) ターミナル・看取りの実態	67
(6) 土日や夜間、緊急時の対応	70
(7) 他の訪問看護ステーション、医療機関、居宅介護支援事業所等との連携状況.....	84
(8) 事業所の収支や事業所運営の方針等	91
3 利用者調査.....	98
(1) 利用者の属性・病状等（事業所記入分）	98
(2) 訪問看護や介護の利用状況や評価等（利用者記入分）	148

Ⅰ 調査の概要

1 目的

平成 26 年度診療報酬改定において、在宅医療を推進するため、24 時間対応、ターミナルケア、重症度の高い患者の受け入れや居宅介護支援事業所の設置等の機能の高い訪問看護ステーションの評価、褥瘡対策の明確化、及び、精神疾患患者の地域移行と定着に向けた取り組み等、さらなる在宅医療の推進と訪問看護の充実を図ることを目的とした各種の評価が行われた。

これらを踏まえ、その効果を検証するために、機能強化型訪問看護ステーションの実態、訪問看護の実施状況や介護保険との連携状況、訪問看護を利用する患者の状態、意識等についての調査を行った。

<主な目的>

- ・機能強化型訪問看護ステーションの実態の把握
- ・訪問看護の実施状況の把握
- ・夜間、休日、緊急時の対応状況の把握
- ・訪問看護を受けている患者の介護サービスの利用状況・連携状況の把握
- ・訪問看護事業者や患者の訪問看護に関する意識の把握

2 調査対象

本調査では、訪問看護ステーションについて、「訪問看護ステーション調査」「利用者調査」の2つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおりである。

- 訪問看護ステーション調査：①機能強化型訪問看護管理療養費の届出事業所 175 事業所（悉皆）、②日本精神科看護協会の会員で、主に精神科訪問看護を実施している事業所 136 事業所（悉皆、うち①の機能強化型訪問看護管理療養費届出事業所は 4 事業所）、③前記①・②以外の訪問看護ステーション 1,000 事業所（無作為抽出）の計 1,307 事業所。
- 利用者調査：上記、訪問看護ステーション調査の利用者のうち、医療保険での訪問看護を利用している人を対象とした。1 事業所につき 4 名を本調査の対象とした。4 名の抽出方法は、各ステーションにおいて、調査日に、訪問順が早い順に 4 名を調査対象とした。客体数は 5,228 人（4×1,307=5,228 人）。

3 調査方法

- ・「訪問看護ステーション調査」は、自記式調査票の郵送配布・回収で行った。
- ・「利用者調査」については、訪問看護や介護サービスの利用状況や意識等を利用者自身に対して尋ねる「利用者調査（利用者記入分）」と、病状や受けている訪問看護の内容等を訪問看護を提供している事業所に対して尋ねる「利用者調査（事業所記入分）」の2種類の調査票を配布した。
- ・「利用者調査（利用者記入分）」と「利用者調査（事業所記入分）」には、共通の ID を付与し、「利用者調査（利用者記入分）」を配付した患者に対して、同一 ID の「利用者調査（事業所記

入分)」に事業所が回答するように依頼した。

- ・「利用者票（利用者記入分）」の回収は、各利用者から、事務局宛の返信用専用封筒にて直接回収した。
- ・調査実施時期は平成 26 年 10 月 24 日～平成 26 年 12 月 12 日。

4 調査項目

区分	主な調査項目
(1)訪問看護ステーション調査	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開設者、同一敷地内の居宅介護支援事業所の有無、同一・関連法人が有する施設・事業所、訪問看護開始時期、サテライトの有無 ・ 機能強化型訪問看護療養費、24 時間対応体制、特別管理加算等の届出状況 ・ 複合型サービス、定期巡回・随時対応型訪問介護・看護実施の有無 ・ 職員数（看護師、リハビリ職、精神保健福祉士等）、常勤職員が増えた理由、所定労働時間、労働時間別職員数 ・ 加算や各種療養費の算定件数 ・ 自立支援医療への対応 ○利用者数、訪問回数 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者数、訪問回数 ・ 状態・状況別利用者数（施設基準等別表 7、別表 8、特別訪問看護指示書交付、年齢別、超重症児等、要介護度、日常生活自立度、認知症高齢者の日常生活自立度、精神疾患別） ○精神科訪問看護 <ul style="list-style-type: none"> ・ 届出の状況、精神科訪問看護の開始時期 ・ 時間区分ごとの算定回数、算定人数 ・ 精神科重症患者早期集中支援管理連携加算、精神科複数回訪問加算の届出、実施状況 ・ 精神科訪問看護基本療養費の研修受講者の有無 ○褥瘡リスクの評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の褥瘡の状態 ・ 専門性の高い看護師による同一日の訪問 ・ 他医療機関での在宅患者訪問褥瘡管理指導料算定状況 ・ 在宅褥瘡チーム構成員、在宅褥瘡管理者、研修受講の有無 ○ターミナル・看取りの実態 <ul style="list-style-type: none"> ・ 死亡者数、死亡前 30 日以内の訪問看護提供、在宅死亡、がんの利用者数 ・ ターミナルケア療養費、ターミナルケア加算算定者数 ・ 在宅がん医療総合診療料、看取り介護加算算定者数

	<p>○土日・夜間、緊急の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土日・祝日の計画的な訪問の対応方針、実績 ・ 早朝・夜間・深夜の計画的な利用者数、回数、加算の算定状況、理由 ・ 緊急訪問看護加算算定件数、時間外の電話対応 <p>○訪問看護ステーションや医療機関、居宅介護支援事業所等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の訪問看護ステーションからの訪問看護の実施状況 ・ 同一敷地内に設置された居宅介護支援事業所の利用者数 ・ 地域住民等に対する情報提供や人材育成のための研修等 ・ 他のステーションとの空き情報等の共有ネットワークの有無 ・ 訪問看護指示書の発行病院・診療所数 ・ 市区町村への情報提供、サービス担当者会議参加回数 <p>○収支、事業所運営の方針等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収支の報酬改定前との比較・その理由 ・ 機能強化型の届出の検討状況 ・ 利用者の受入れの断りについて ・ 電子化の状況
(2)利用者調査	<p>○利用者記入分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢・性別、同居家族 ・ 訪問看護の開始時期、利用事業所数、訪問看護の利用頻度・評価、早朝・夜間・深夜の訪問看護の利用状況、急変時の対応指示、訪問看護の緊急時の連絡・対応・満足度 ・ 訪問看護への要望、満足度 ・ 医療サービスの利用状況、医師等の訪問頻度、在宅医療の評価 ・ 介護保険サービス・障害福祉サービスの利用状況、ケアマネジャーと訪問看護師の連携 <p>○事業所記入分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢・性別、病名、別表7の該当の有無、別表8の該当の有無、ターミナル期かどうか ・ 訪問看護開始時期、在宅移行前の入院・入所場所、NICUへの入院の有無、直近の退院月 ・ 訪問看護の種別、加算の状況、訪問日数、緊急訪問の有無、1日に複数回の訪問の有無、訪問職員の職種、直近1回の訪問時間・訪問職員の職種、他事業所からの訪問の有無、特別訪問看護指示書の有無、ケア内容 ・ 要介護度、認知症・障害の状況、利用者の状況 ・ 介護保険による訪問看護の有無、介護保険サービスの利用の有無、ケアマネジャーの所属・連絡回数

II 結果の概要

1 回収の状況

訪問看護ステーション調査の有効回答数（事業所数）は 671 件、有効回答率は 51.3%であった。利用者調査は、事業所記入分の有効回答数は 2,104 件、有効回答率は 40.2%であった。利用者記入分の有効回答数は 1,504 件、有効回答率は 28.7%であった。

図表 1 回収の状況

単位：件

調査区分	発送数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
①訪問看護ステーション調査					
事業所数	1,307	690	52.7%	671	51.3%
②利用者調査					
事業所記入分	5,228 (①に各 4 件 同封して送付)	2,230	42.6%	2,104	40.2%
利用者記入分		2,166	41.4%	1,504	28.7%

※利用者記入分の有効回答数は、事業所記入分と利用者記入分の両調査が回収でき、対象が一致したものとした。

2 訪問看護ステーション調査

【調査対象等】

調査対象：①機能強化型訪問看護管理療養費の届出事業所 175 事業所（悉皆）、
②日本精神科看護協会の会員で、主に精神科訪問看護を実施している事業所
136 事業所（悉皆、うち①の機能強化型訪問看護管理療養費届出事業所は 4
事業所）、
③前記①・②以外の訪問看護ステーション 1,000 事業所（無作為抽出）の計
1,307 事業所。

回 答 数：671 事業所

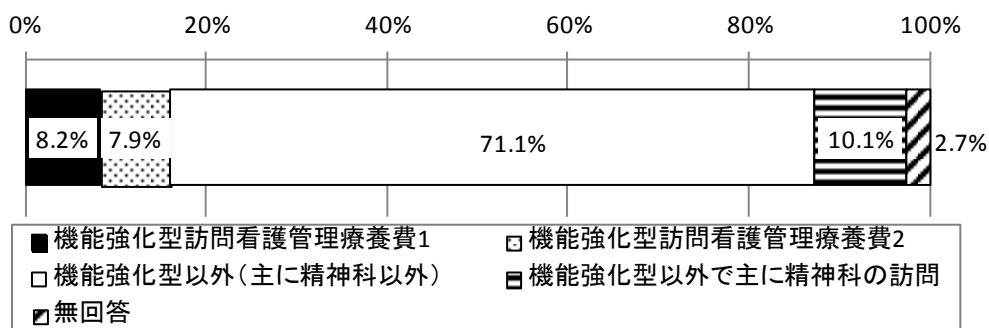
回 答 者：訪問看護ステーションの開設者・管理者

(1) 事業所の概要

1) 機能強化型訪問看護ステーションの届出等の状況

「訪問看護ステーション調査」において有効回答が得られた 671 事業所の届出等の状況をみると、「機能強化型訪問看護管理療養費 1」が 8.2%、「機能強化型訪問看護管理療養費 2」が 7.9%、「機能強化型以外で主に精神科の訪問」が 10.1%であった。

図表 2 機能強化型訪問看護ステーションの届出等の状況 (n=671)

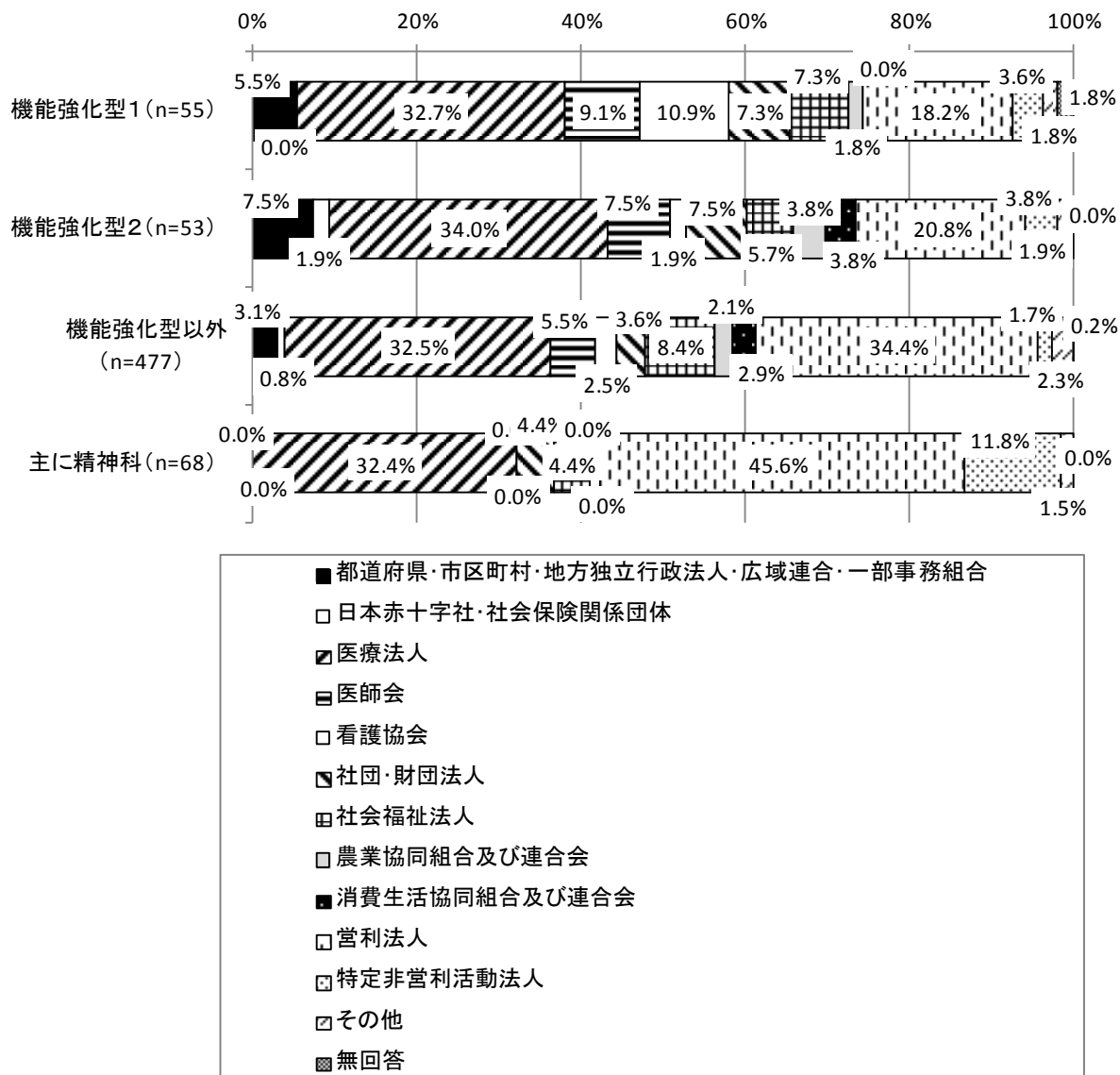


- ・「機能強化型以外（主に精神科以外）」は、「機能強化型訪問看護管理療養費 1」「機能強化型訪問看護療養費 2」の届出がなく、かつ、「主に精神科の訪問を実施している事業所」を除く事業所である（以下、本文中では、「機能強化型以外（主に精神科以外）」または「機能強化型以外」と表記）。
- ・「機能強化型以外で主に精神科の訪問」の事業所は、平成 26 年 9 月の利用者数のうち、精神科訪問看護基本療養費 I・IIIの利用者数が 50%以上の事業所である（以下、本文中では「主に精神科」と表記）。

2) 開設者

開設者についてみると、「機能強化型1」では「医療法人」が32.7%で最も多く、次いで「営利法人」(18.2%)であった。「機能強化型2」でも「医療法人」が34.0%で最も多く、次いで「営利法人」(20.8%)であった。「機能強化型以外」では「営利法人」が34.4%で最も多く、次いで「医療法人」(32.5%)であった。「主に精神科」でも「営利法人」が45.6%で最も多く、次いで「医療法人」(32.4%)であった。

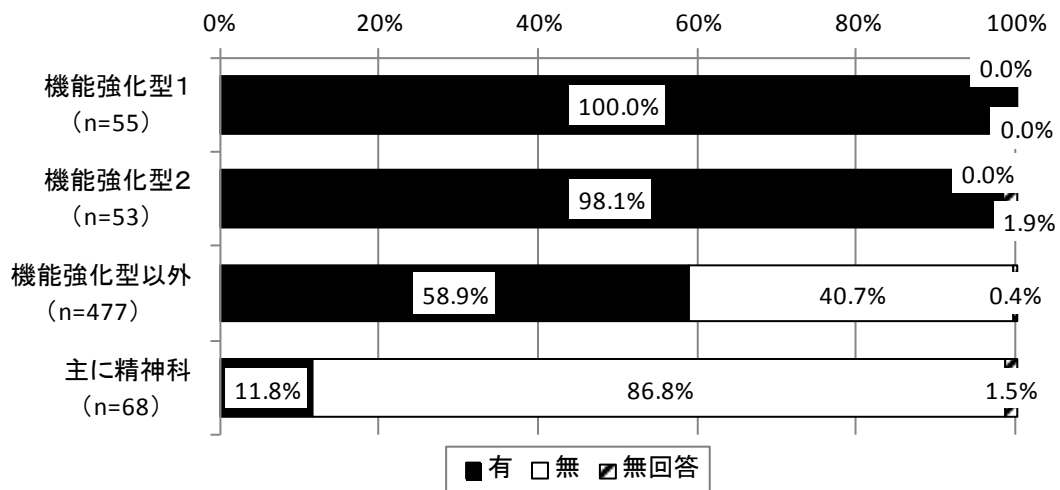
図表3 開設者



3) 同一敷地内の居宅介護支援事業所の有無

同一敷地内の居宅介護支援事業所の有無についてみると、機能強化型の届出要件でもあるため「機能強化型1」では「有」が100.0%、「機能強化型2」では98.1%（「無回答」が1.9%）であり、「機能強化型以外」では「有」が58.9%、「主に精神科」では11.8%であった。

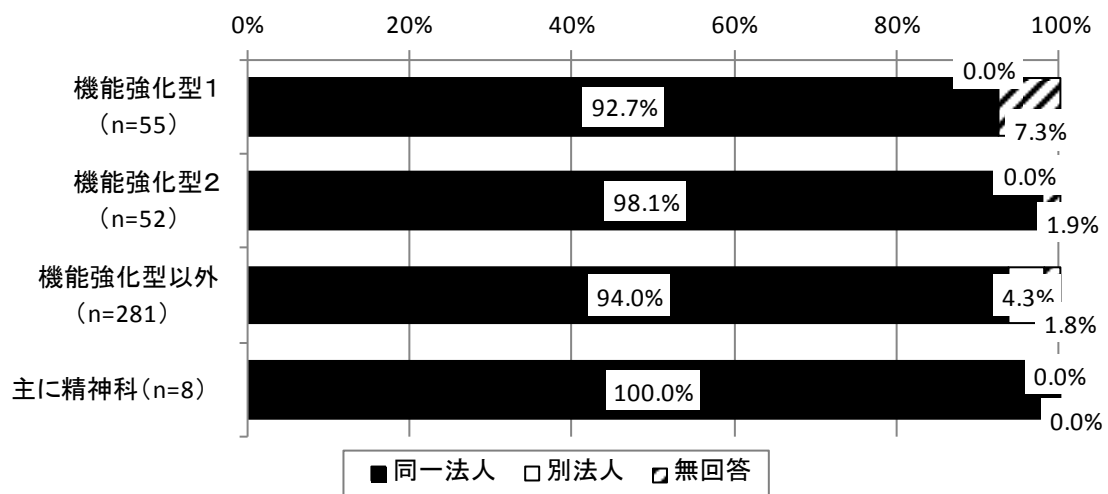
図表 4 同一敷地内の居宅介護支援事業所の有無



①（有の場合）居宅介護支援事業所の開設者

同一敷地内の居宅介護支援事業所が「有」の場合について、居宅介護支援事業所の開設者を見ると、「機能強化型1」では「同一法人」が92.7%、「機能強化型2」では98.1%で、いずれでも9割以上が同一法人であった。

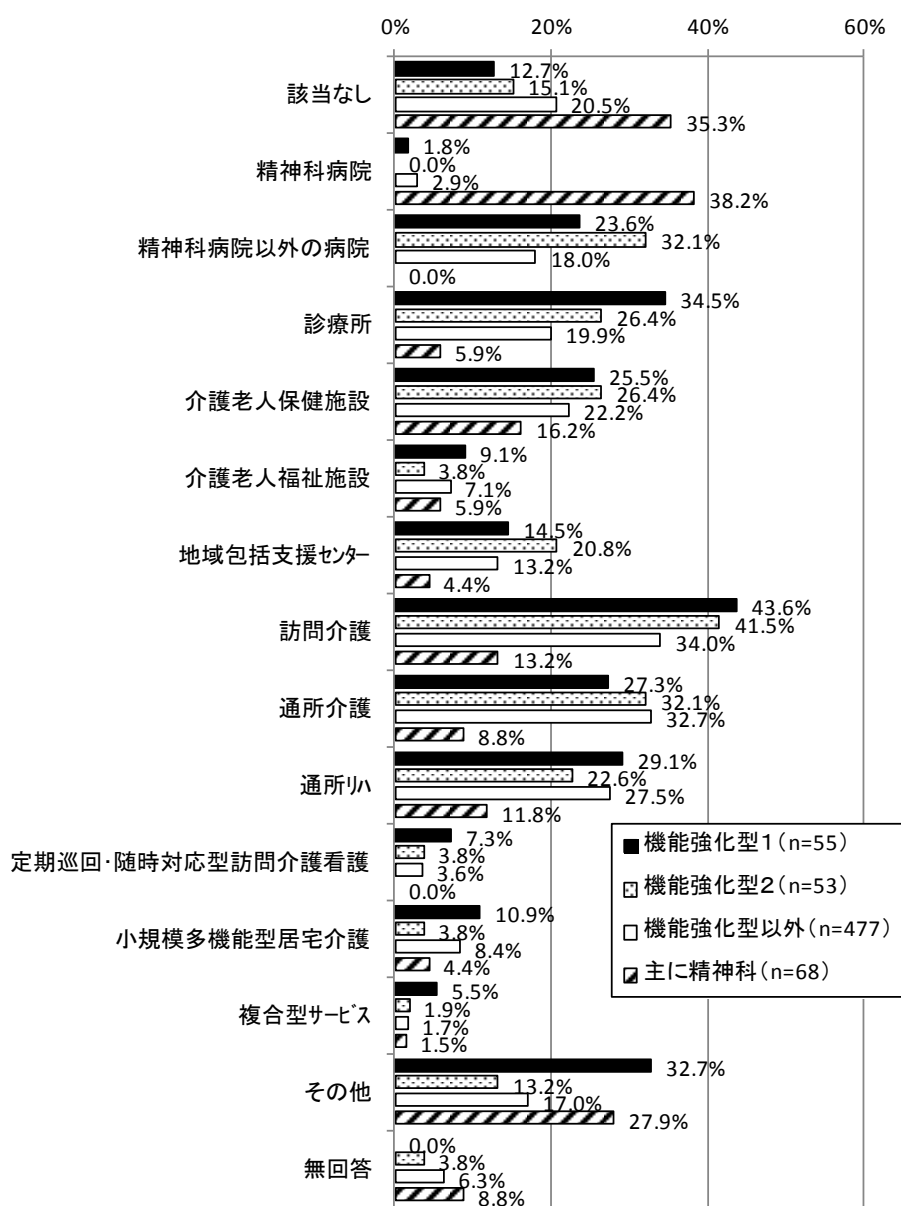
図表 5 （有の場合）居宅介護支援事業所の開設者



4) 同一法人または関連法人が有する施設・事業所

同一法人または関連法人が有する施設・事業所についてみると、「機能強化型1」では「訪問介護」が43.6%で最も多く、次いで「診療所」(34.5%)、「通所リハ」(29.1%)であった。「機能強化型2」では「訪問介護」が41.5%で最も多く、次いで「精神科病院以外の病院」、「通所介護」(いずれも32.1%)であった。「機能強化型以外」では「訪問介護」が34.0%で最も多く、次いで「通所介護」(32.7%)、「通所リハ」(27.5%)であった。「主に精神科」では「精神科病院」が38.2%で最も多く、次いで「介護老人保健施設」(16.2%)、「訪問介護」(13.2%)であった。また、「該当なし」が35.3%と他と比べて高かった。

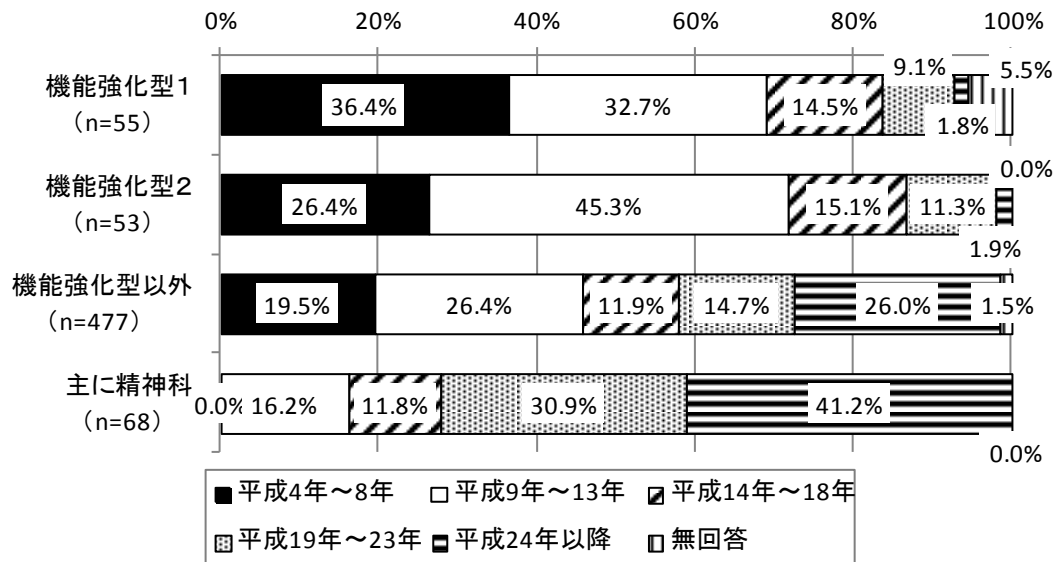
図表 6 同一法人または関連法人が有する施設・事業所（複数回答）



5) 訪問看護開始時期

訪問看護開始時期についてみると、「機能強化型1」では「平成4年～8年」が36.4%、「平成9年～13年」が32.7%で、比較的早くから訪問看護を開始していた。「主に精神科」では「平成24年以降」が41.2%、「平成19年～23年」が30.9%で比較的最近の開始が多かった。

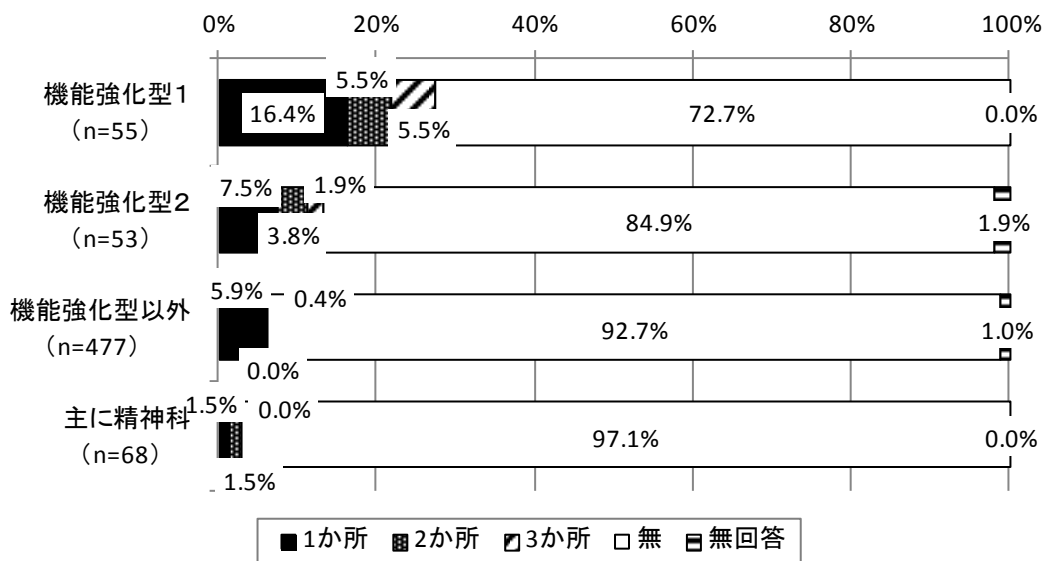
図表 7 訪問看護開始時期



6) サテライトの設置状況

サテライトの有無及び設置数についてみると、「機能強化型1」では「1か所」が16.4%、「2か所」、「3か所」がそれぞれ5.5%であり、合わせるとサテライトのある事業所が27.4%となった。「機能強化型2」ではサテライトのある事業所が13.2%、「機能強化型以外」では6.3%、「主に精神科」では3.0%であった。

図表 8 サテライトの有無及び設置数



図表 9 (サテライト有の場合) サテライトの設置数

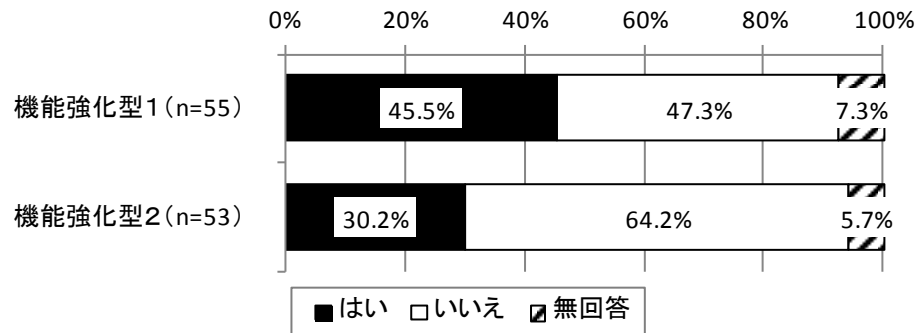
単位：か所

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型訪問看護管理療養費1	15	1.6	0.8	1.0
機能強化型訪問看護管理療養費2	7	1.6	0.8	1.0
機能強化型以外	30	1.1	0.5	1.0
機能強化型以外で主に精神科の訪問	2	1.5	0.7	1.5

7) (機能強化型訪問看護ステーションのみ) 機能強化型訪問看護ステーションの創設が事業所の大型化に寄与したか

機能強化型訪問看護ステーションに対して「機能強化型訪問看護ステーションの創設が事業所の大型化に寄与したか」についてたずねたところ、「機能強化型 1」では「はい」が 45.5%、「機能強化型 2」では 30.2%であった。

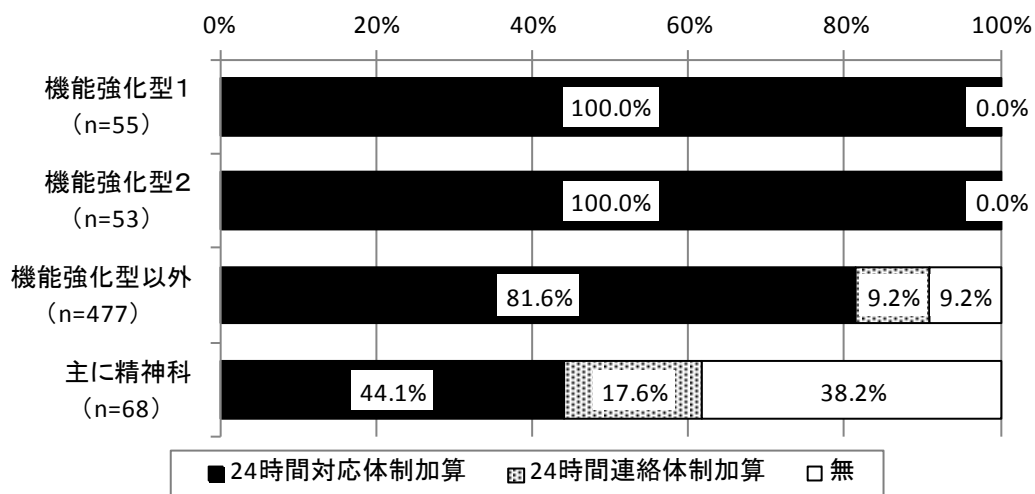
図表 10 機能強化型訪問看護ステーションの創設が事業所の大型化に寄与したか



8) 24 時間対応体制加算・連絡体制加算の届出の有無

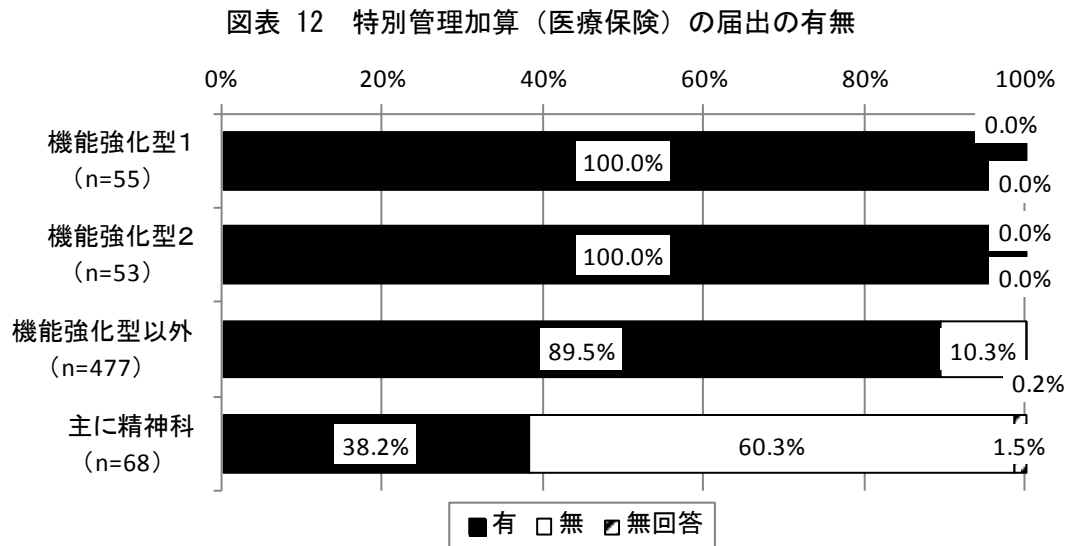
24 時間対応体制加算・連絡体制加算の届出についてみると、機能強化型の届出要件でもあるため「機能強化型 1」「機能強化型 2」は「24 時間対応体制加算」が 100.0%であった。「機能強化型以外」では「24 時間対応体制加算」が 81.6%、「24 時間連絡体制加算」が 9.2%であった。「主に精神科」では「24 時間対応体制加算」が 44.1%、「24 時間連絡体制加算」が 17.6%、「無」が 38.2%であった。

図表 11 24 時間対応体制加算・連絡体制加算の届出の有無



9) 特別管理加算（医療保険）の届出の有無

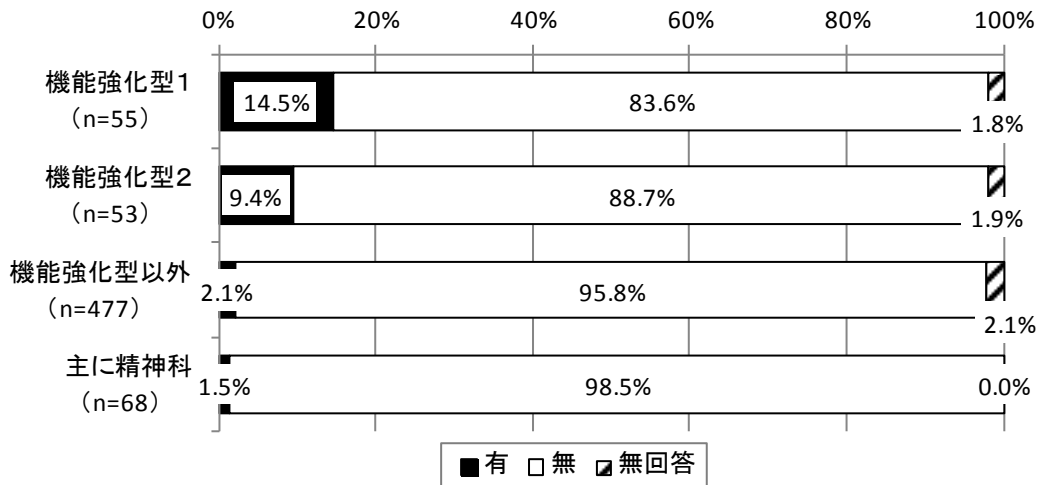
特別管理加算（医療保険）の届出についてみると、「機能強化型1」、「機能強化型2」とともに「有」が100%であった。「機能強化型以外」では「有」が89.5%、「無」が10.3%であった。「主に精神科」では「有」が38.2%、「無」が60.3%であり、「無」のほうが多かった。



10) 訪問看護基本療養費（Ⅰ）（Ⅱ）のハの算定対象となる専門性の高い看護師による訪問看護の届出の有無

訪問看護基本療養費（Ⅰ）（Ⅱ）のハの算定対象となる専門性の高い看護師による訪問看護の届出の有無についてみると、「有」の割合は「機能強化型1」では14.5%、「機能強化型2」では9.4%、「機能強化型以外」では2.1%、「主に精神科」では1.5%であった。

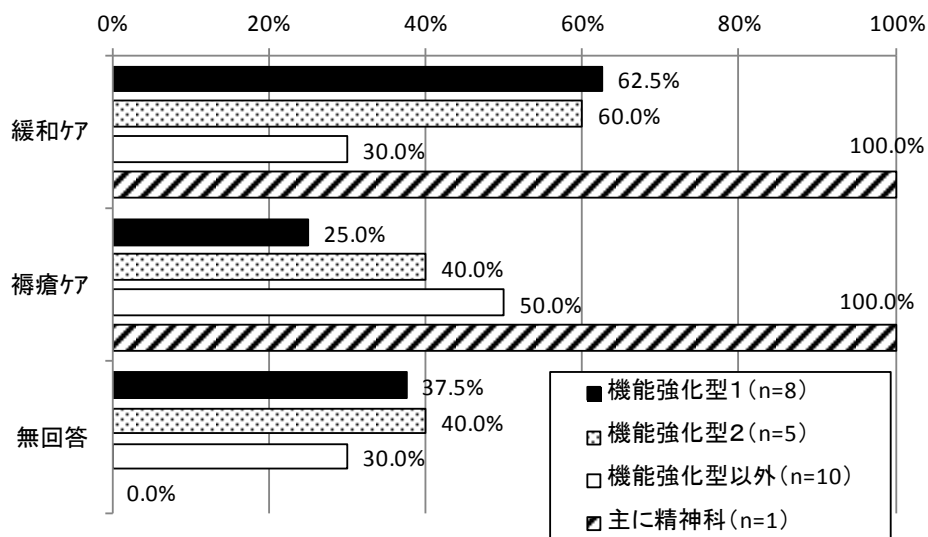
図表 13 訪問看護基本療養費（Ⅰ）（Ⅱ）のハの算定対象となる専門性の高い看護師による訪問看護の届出の有無



①（有の場合）対象のケア

訪問看護基本療養費（Ⅰ）（Ⅱ）のハの算定対象となる専門性の高い看護師による訪問看護の届出について「有」と回答した事業所に対して「対象のケア」をたずねた。「機能強化型1」では「緩和ケア」が62.5%、「褥瘡ケア」は25.0%であった。「機能強化型2」では「緩和ケア」が60.0%、「褥瘡ケア」は40.0%であった。「機能強化型以外」では「褥瘡ケア」が50.0%、「緩和ケア」は30.0%であった。

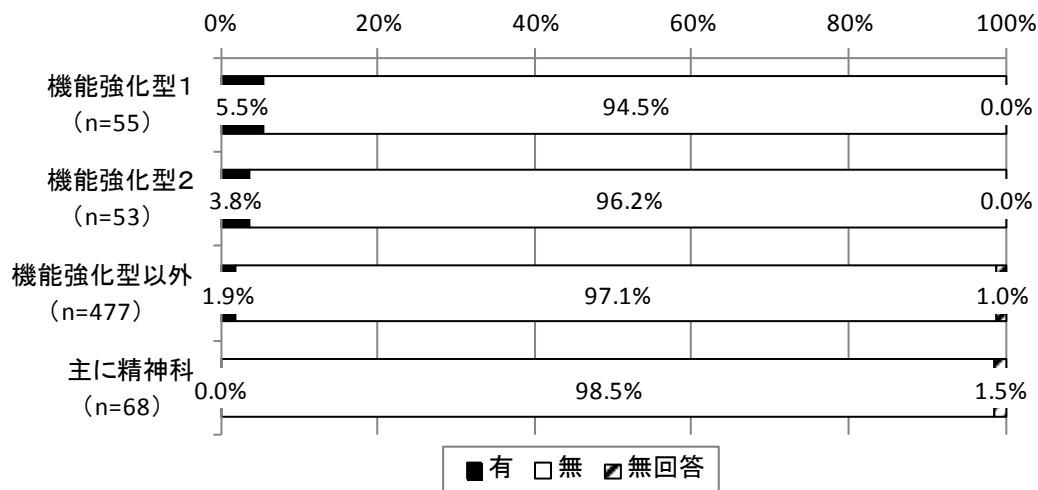
図表 14 （有の場合）対象のケア（複数回答）



11) 訪問看護ステーションでの複合型サービスの実施の有無

複合型サービスの実施の有無についてみると、「有」の割合は「機能強化型1」では5.5%、「機能強化型2」では3.8%、「機能強化型以外」では1.9%であった。「主に精神科」では複合型サービスを実施している事業所はなかった。

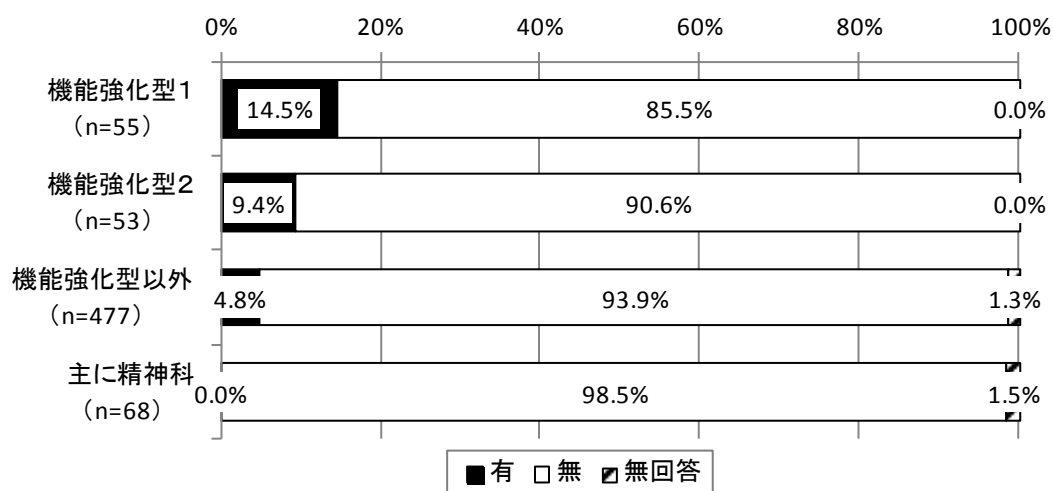
図表 15 訪問看護ステーションでの複合型サービスの実施の有無



12) 訪問看護ステーションでの定期巡回・随時対応型訪問看護介護の実施の有無

定期巡回・随時対応型訪問看護介護の実施の有無についてみると、「有」の割合は「機能強化型1」では14.5%、「機能強化型2」では9.4%、「機能強化型以外」では4.8%であった。「主に精神科」では定期巡回・随時対応型訪問看護介護を実施している事業所はなかった。

図表 16 訪問看護ステーションでの定期巡回・随時対応型訪問看護介護実施の有無



13) 訪問看護ステーションの職員数（常勤換算）

平成 25 年 9 月と平成 26 年 9 月の訪問看護ステーションの職員数についてみると、看護職員数は、「機能強化型 1」では平成 25 年 9 月が平均 11.4 人、平成 26 年 9 月が平均 12.1 人、「機能強化型 2」では平成 25 年 9 月が平均 7.4 人、平成 26 年 9 月が平均 7.8 人であり、やや増加した。「機能強化型以外」では平成 25 年 9 月が平均 4.7 人、平成 26 年 9 月が平均 4.8 人、「主に精神科」では平成 25 年 9 月が平均 4.8 人、平成 26 年 9 月が平均 5.0 人と、ほとんど変化がなかった。

また、平成 26 年 9 月の看護職員数をみると、「7.5 人以上」の事業所の割合は、「機能強化型 1」では 87.3%であり、「機能強化型 2」では 43.4%、「機能強化型以外」では 10.1%、「主に精神科」では 13.2%であった。機能強化型で配置人数が多かった。

平成 26 年 9 月のリハビリ職員の有無についてみると、「有」の割合は「機能強化型 1」では 74.5%、「機能強化型 2」では 75.5%であった。「機能強化型以外」では「有」が 51.8%、「主に精神科」では 22.1%であり、機能強化型の場合、リハビリ職員を配置している事業所の割合が高かった。

平成 26 年 9 月の精神保健福祉士の有無についてみると、「主に精神科」で「有」が 7.4%であった。

図表 17 職員数：保健師・助産師・看護師（常勤換算）

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	51	11.1	4.0	11.1		54	11.8	4.0	11.9
機能強化型 2	51	7.2	2.5	6.8		49	7.7	2.4	7.0
機能強化型以外	408	4.3	2.3	4.0		461	4.4	2.5	3.9
主に精神科	60	4.2	2.3	3.6		67	4.4	2.1	4.0

図表 18 職員数：准看護師（常勤換算）

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	51	0.3	1.0	0.0		54	0.3	1.0	0.0
機能強化型 2	51	0.2	0.6	0.0		49	0.2	0.5	0.0
機能強化型以外	408	0.4	0.8	0.0		461	0.4	0.9	0.0
主に精神科	60	0.6	1.4	0.0		67	0.6	0.9	0.0

図表 19 職員数：リハビリ職（PT・OT・ST）（常勤換算）

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	51	2.6	3.7	1.0		54	2.8	3.8	1.1
機能強化型 2	51	1.5	2.0	1.0		49	1.8	2.5	1.0
機能強化型以外	408	1.1	2.4	0.1		461	1.3	2.8	0.2
主に精神科	60	0.4	1.1	0.0		67	0.5	1.2	0.0

図表 20 職員数：精神保健福祉士（常勤換算）

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	51	0.0	-	0.0		54	0.0	-	0.0
機能強化型 2	51	0.0	-	0.0		49	0.0	-	0.0
機能強化型以外	408	0.0	0.0	0.0		461	0.0	0.0	0.0
主に精神科	60	0.0	0.2	0.0		67	0.1	0.2	0.0

図表 21 職員数：その他の職員（常勤換算）

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	51	1.5	1.4	1.5		54	1.6	1.5	1.6
機能強化型 2	51	1.3	1.8	1.0		49	1.3	1.8	1.0
機能強化型以外	408	0.5	0.7	0.0		461	0.5	0.7	0.0
主に精神科	60	0.5	0.7	0.0		67	0.6	0.8	0.0

図表 22 職員数：合計（常勤換算）

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	51	15.5	6.7	15.2		54	16.5	7.0	15.9
機能強化型 2	51	10.2	4.4	9.5		49	10.9	4.9	9.8
機能強化型以外	408	6.3	4.0	5.2		461	6.5	4.4	5.4
主に精神科	60	5.7	3.6	5.0		67	6.1	3.2	5.5

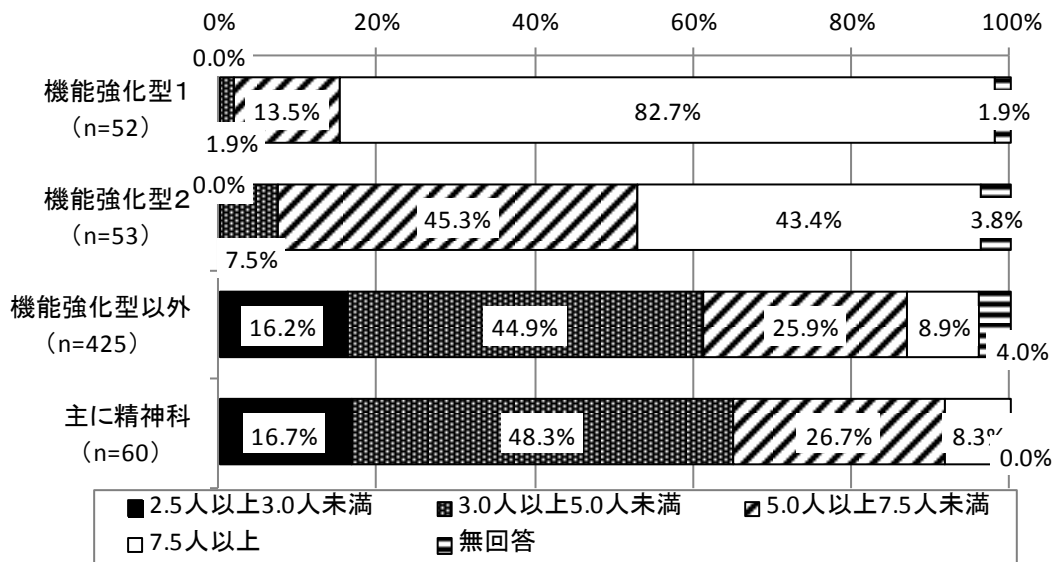
図表 23 (再掲) 職員数：看護職員（常勤換算）

単位：人

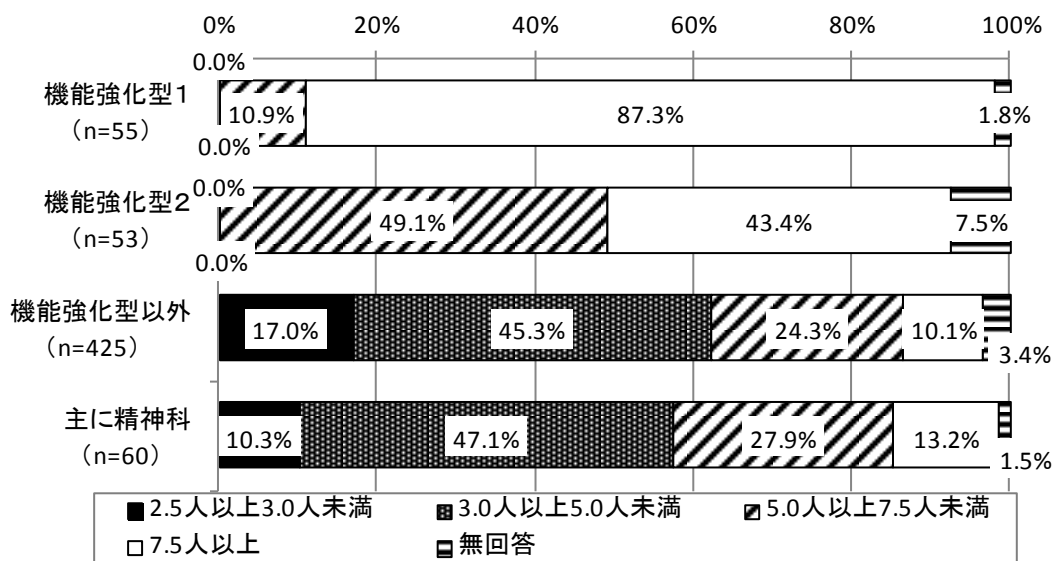
	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	51	11.4	3.8	11.1		54	12.1	3.8	11.9
機能強化型 2	51	7.4	2.4	7.0		49	7.8	2.4	7.1
機能強化型以外	408	4.7	2.3	4.0		461	4.8	2.5	4.1
主に精神科	60	4.8	2.9	3.8		67	5.0	2.2	4.6

※看護職員は、保健師・助産師・看護師と准看護師である。

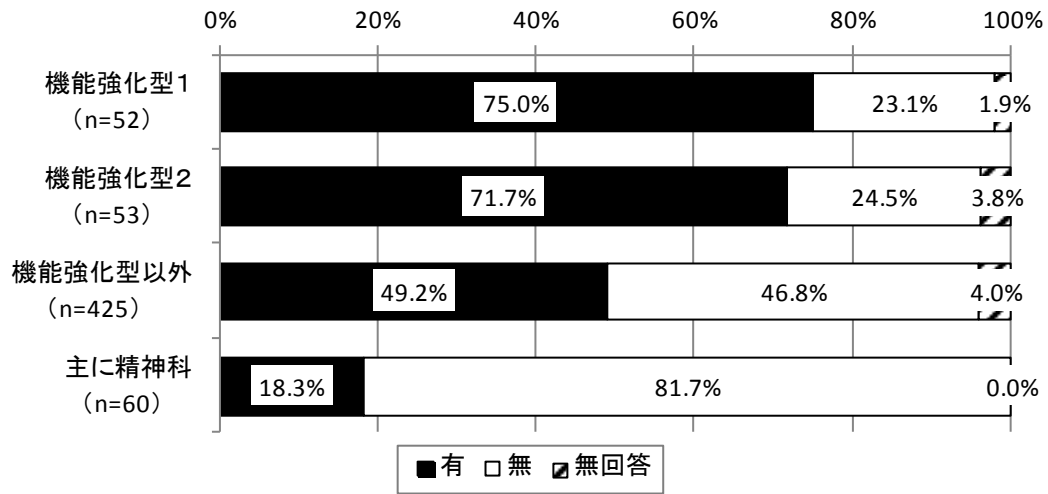
図表 24 訪問看護ステーションの看護職員数（常勤換算）（平成 25 年 9 月）



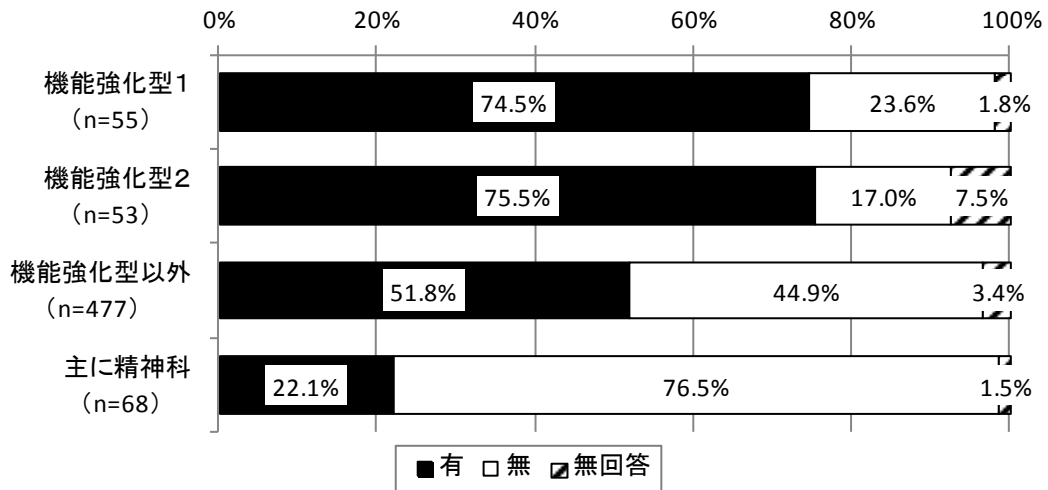
図表 25 訪問看護ステーションの看護職員数（常勤換算）（平成 26 年 9 月）



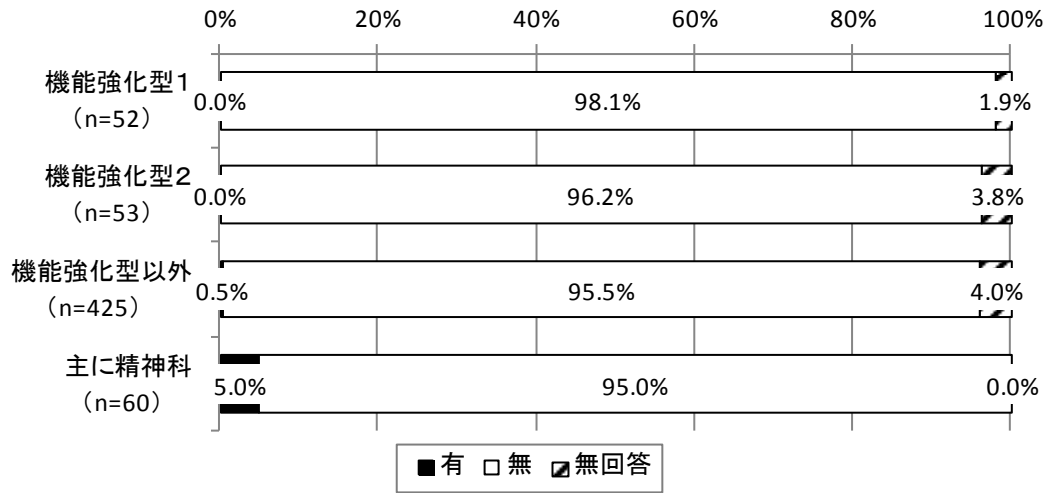
図表 26 リハビリ職員の有無（平成 25 年 9 月）



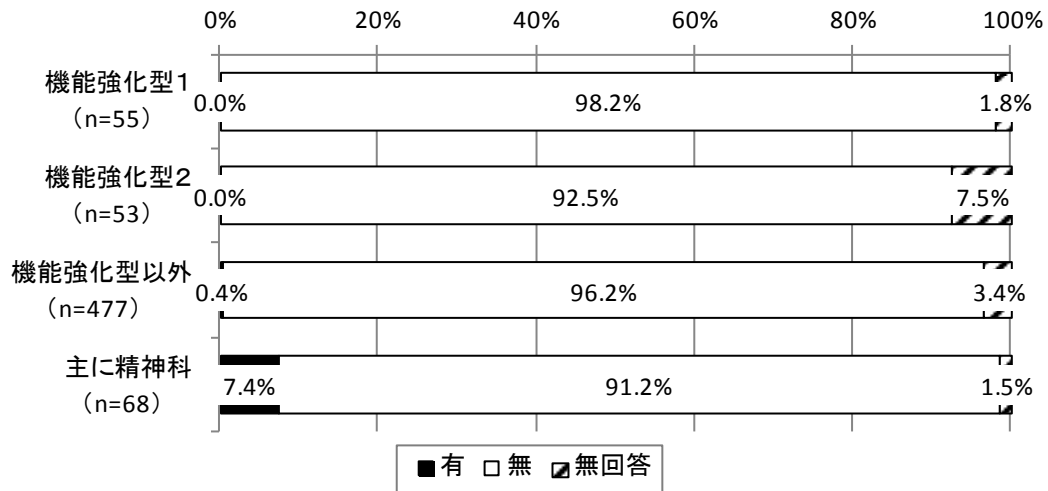
図表 27 リハビリ職員の有無（平成 26 年 9 月）



図表 28 精神保健福祉士の有無（平成 25 年 9 月）



図表 29 精神保健福祉士の有無（平成 26 年 9 月）



14) 「常勤」の看護職員数（実人数）

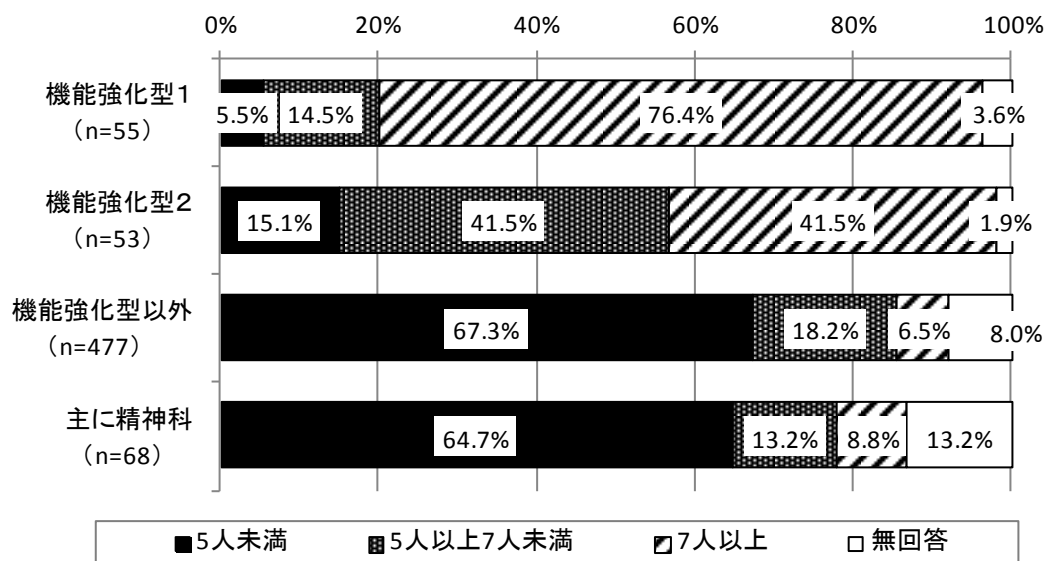
平成 25 年 9 月と平成 26 年 9 月の「常勤」の看護職員数は、「機能強化型 1」ではそれぞれ平均 9.5 人と平均 11.0 人であった。「機能強化型 2」ではそれぞれ平均 6.5 人と平均 7.0 人であった。「機能強化型以外」ではそれぞれ平均 3.6 人と平均 3.8 人であった。「主に精神科」ではそれぞれ平均 3.9 人と平均 4.6 人であった。いずれも常勤人数が増加しており、特に「機能強化型 1」では平均で 1.5 人と最も多く増加した。

図表 30 「常勤」の看護職員数（実人数）

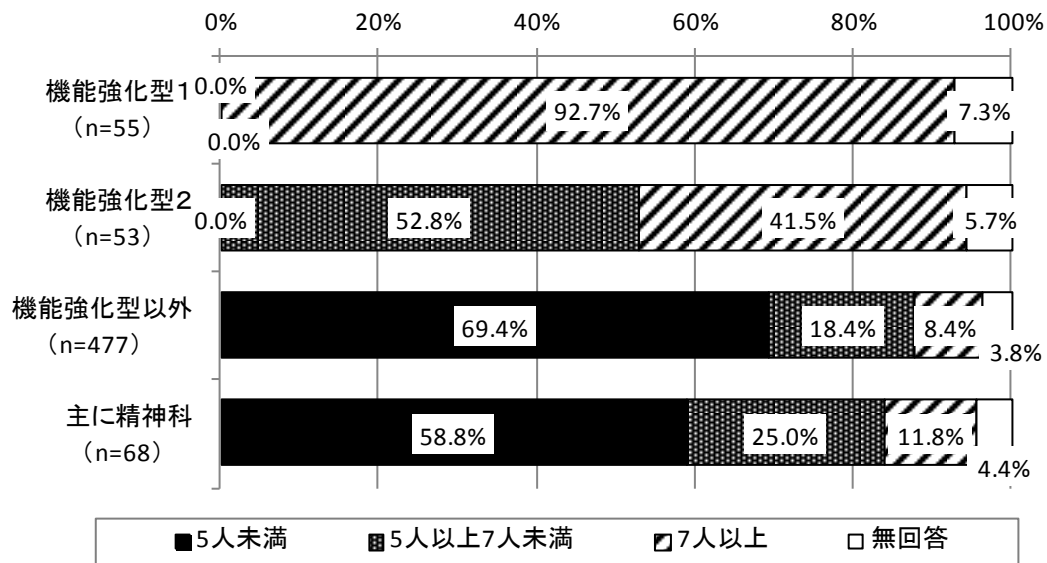
単位：人

	平成 25 年 9 月				平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	53	9.5	4.4	9.0	51	11.0	4.1	10.0
機能強化型 2	52	6.5	2.4	6.0	50	7.0	2.4	6.0
機能強化型以外	439	3.6	2.0	3.0	459	3.8	2.0	3.0
主に精神科	59	3.9	3.4	3.0	65	4.6	2.6	4.0

図表 31 「常勤」の看護職員数（実人数）（平成 25 年 9 月）



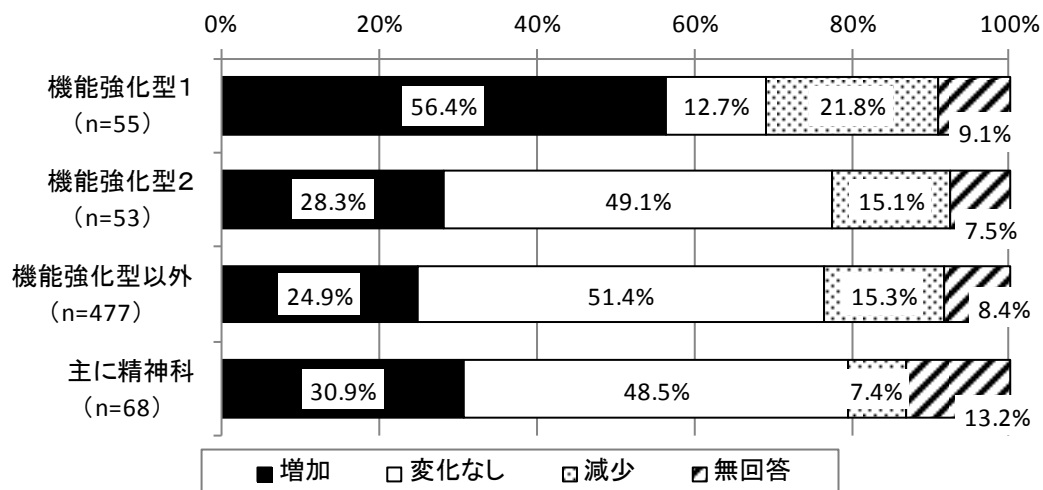
図表 32 「常勤」の看護職員数（実人数）（平成 26 年 9 月）



15) 「常勤」の看護職員数（実人数）の増減

「常勤」の看護職員数（実人数）の増減についてみると、「機能強化型1」では「増加」が56.4%で半数を超えていた。「機能強化型2」では「変化なし」が49.1%、「機能強化型以外」では51.4%、「主に精神科」では48.5%で、「変化なし」が多かった。

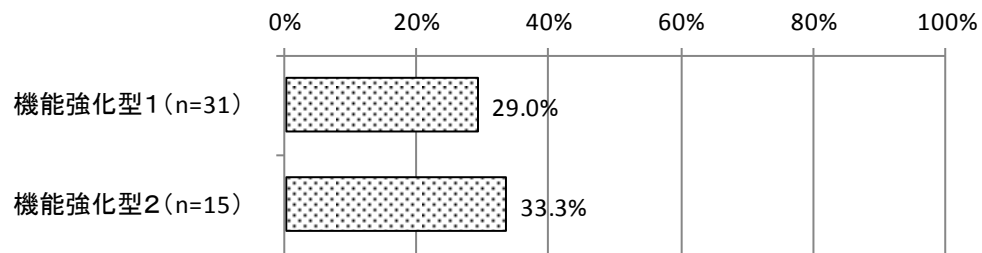
図表 33 「常勤」の看護職員数（実数）の増減



16) (常勤看護職員の人数が増えた場合) 常勤看護職員の人数が増えた理由

常勤看護職員の人数が増えた事業所に対して、常勤看護職員の人数が増えた理由をたずねたところ、「機能強化型訪問看護ステーションが創設されたため」と回答した事業所は、「機能強化型1」では29.0%、「機能強化型2」では33.3%であった。

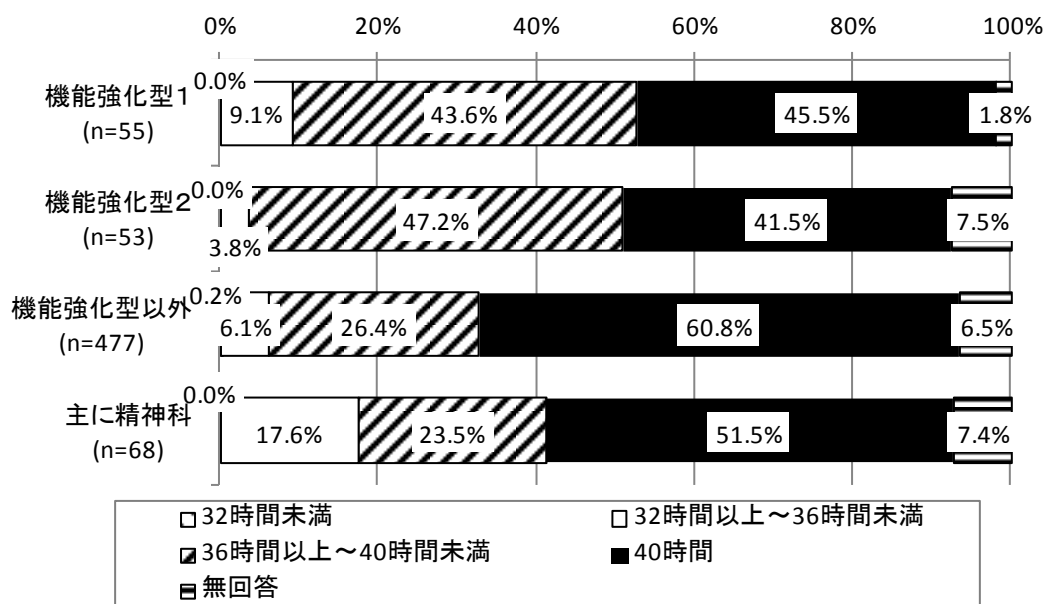
図表 34 常勤看護職員の人数が増えた理由は「機能強化型訪問看護ステーションが創設されたため」



17) 常勤看護職員の1週間の所定労働時間

訪問看護ステーションの定める常勤看護職員の1週間の所定労働時間は、「機能強化型1」では「40時間」が45.5%、「36時間以上～40時間未満」が43.6%であった。また、平均値は38.6時間であった。「機能強化型2」では「36時間以上～40時間未満」が47.2%、「40時間」が41.5%であり、平均値は38.9時間であった。「機能強化型以外」では「40時間」が60.8%、「36時間以上～40時間未満」が26.4%であり、平均値は39.0時間であった。「主に精神科」では「40時間」が51.5%、「36時間以上～40時間未満」が23.5%であり、平均値は38.4時間であった。

図表 35 訪問看護ステーションの定める常勤看護職員の1週間の所定労働時間



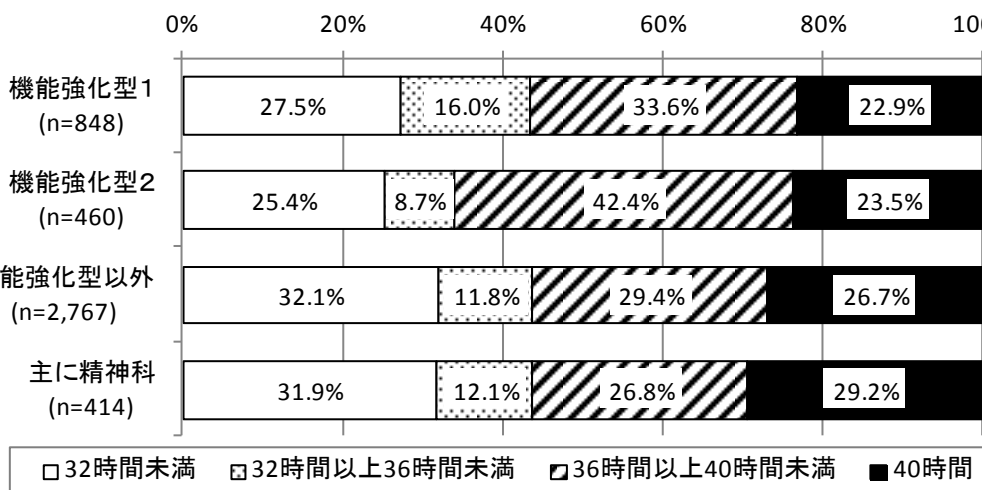
単位：時間

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	54	38.6	1.8	38.8
機能強化型2	49	38.9	1.3	39.3
機能強化型以外	446	39.0	1.6	40.0
主に精神科	63	38.4	2.2	40.0

18) 看護職員の1週間の所定労働時間別人数

本調査の回答事業所の全看護職員について、1週間の所定労働時間別人数をみたところ、「機能強化型1」では「36時間以上40時間未満」が33.6%、「機能強化型2」では42.4%で比較的多かった。「機能強化型以外」では「32時間未満」が32.1%、「主に精神科」では31.9%で比較的多かった。

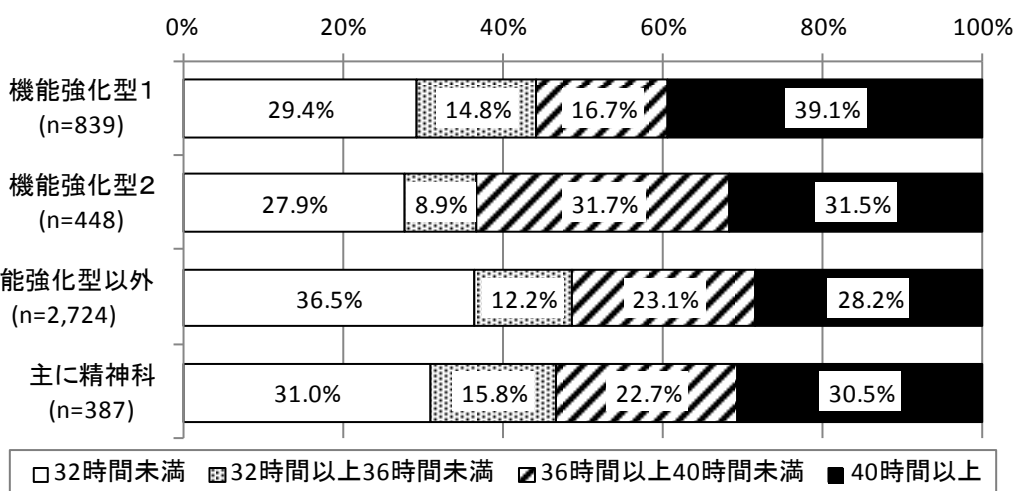
図表 36 看護職員の1週間の所定労働時間別人数（回答事業所の全看護職員数ベース）



19) 看護職員の実際の勤務時間別人数

本調査の回答事業所の全看護職員について、実際の勤務時間別人数をみると、「機能強化型1」では「40時間以上」が39.1%で比較的最長の勤務の看護職員の割合が高かった。「機能強化型2」では「36時間以上40時間未満」が31.7%、「40時間以上」が31.5%であった。「機能強化型以外」では「32時間未満」が36.5%で比較的短時間の勤務の看護職員の割合が高かった。

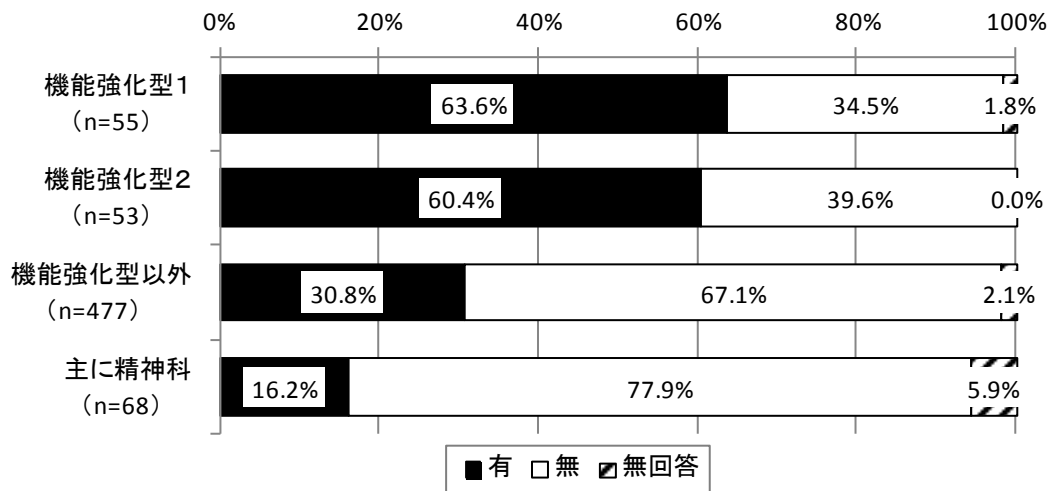
図表 37 看護職員の実際の勤務時間別人数（平成26年9月29日～10月5日までの1週間）
（回答事業所の看護職員数ベース）



20) 退院時共同指導加算

退院時共同指導加算の算定についてみると、「機能強化型1」では「有」が63.6%で、その場合の平成26年9月1か月間の算定件数は平均3.4件であった。「機能強化型2」では「有」が60.4%で、算定件数は平均2.6件であった。「機能強化型以外」では「有」が30.8%、「主に精神科」では「有」が16.2%と比較的低い割合であった。

図表 38 退院時共同指導加算の算定の有無（平成26年9月分）



図表 39（有の場合）退院時共同指導加算の算定件数（平成26年9月分）

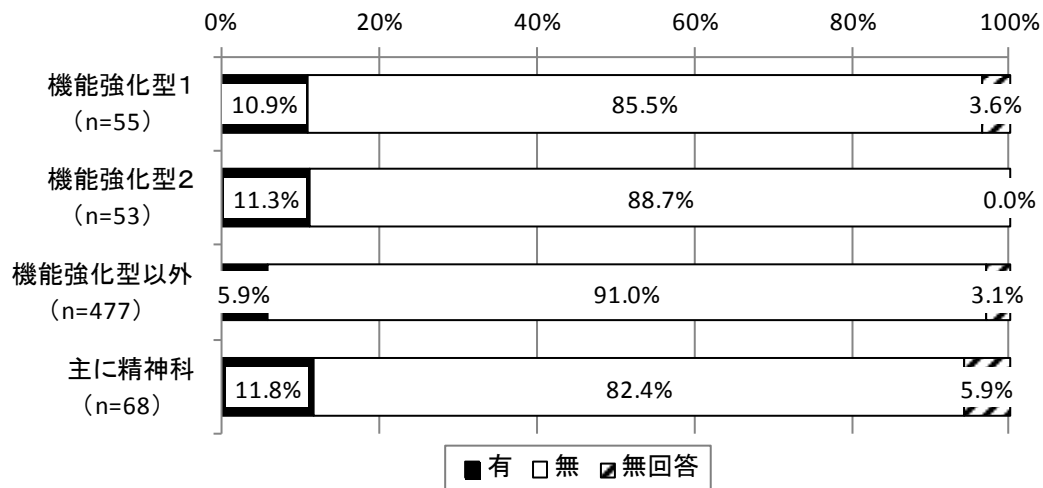
単位：件

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	31	3.4	2.0	3.0
機能強化型2	31	2.6	1.7	2.0
機能強化型以外	134	1.7	1.1	1.0
主に精神科	10	1.8	1.0	1.5

21) 訪問看護基本療養費Ⅲ

訪問看護基本療養費Ⅲの算定の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が10.9%、「機能強化型2」では11.3%、「機能強化型以外」では5.9%、「主に精神科」では11.8%であった。

図表 40 訪問看護基本療養費Ⅲの算定の有無（平成26年9月分）



図表 41 (有の場合) 訪問看護基本療養費Ⅲの算定件数（平成26年9月分）

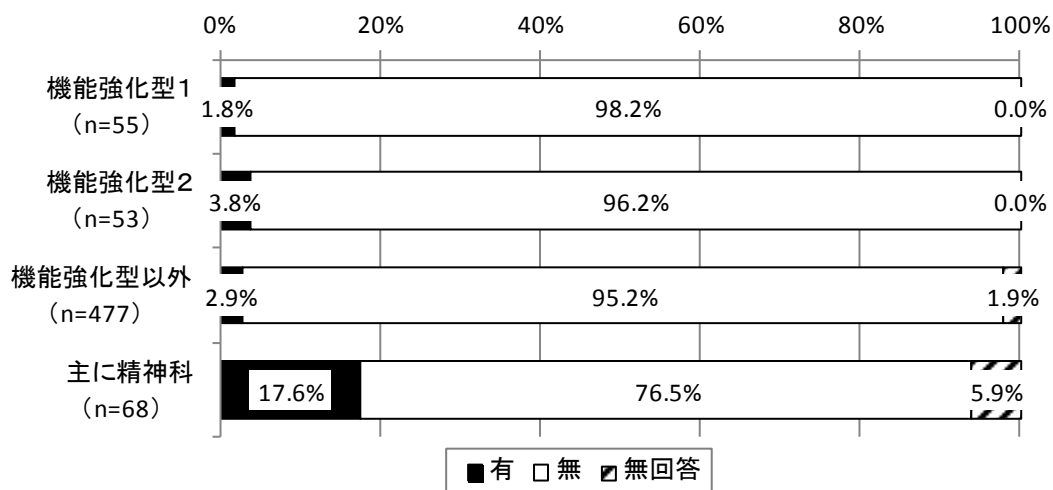
単位：件

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	5	1.8	1.3	1.0
機能強化型2	6	4.5	7.1	1.5
機能強化型以外	27	7.3	10.6	4.0
主に精神科	7	15.4	12.2	14.0

22) 精神科訪問看護基本療養費Ⅳ

精神科訪問看護基本療養費Ⅳの算定の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が1.8%、「機能強化型2」では3.8%、「機能強化型以外」では2.9%であった。「主に精神科」では「有」が17.6%であった。

図表 42 精神科訪問看護基本療養費Ⅳの算定の有無（平成26年9月分）



図表 43 （有の場合）精神科訪問看護基本療養費Ⅳの算定件数（平成26年9月分）

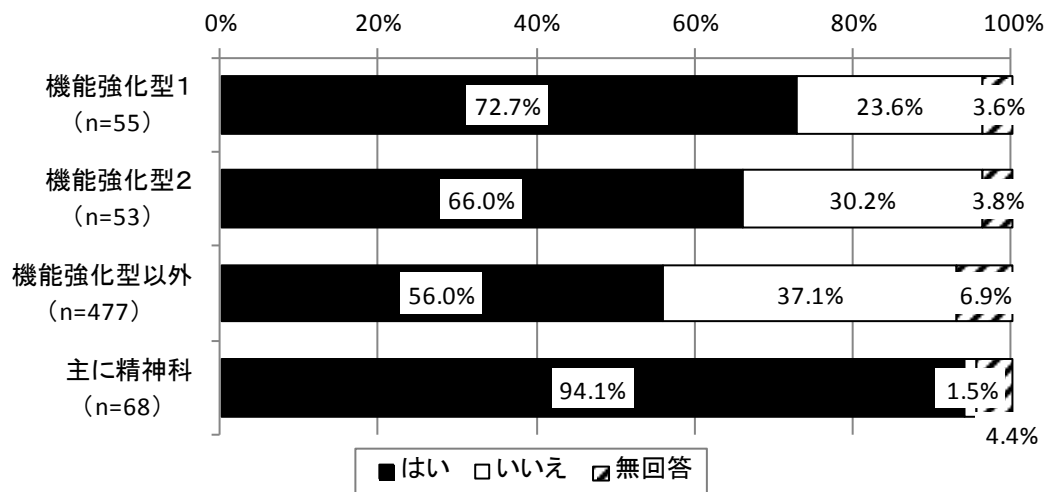
単位：件

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	1	4.0	-	4.0
機能強化型2	2	4.5	4.9	4.5
機能強化型以外	11	2.2	1.1	2.0
主に精神科	11	1.2	0.4	1.0

23) 障害者総合支援法による自立支援医療の対応方針

「障害者総合支援法による自立支援医療に原則、対応するか」をたずねたところ、「はい」という回答の割合は「機能強化型1」では72.7%、「機能強化型2」では66.0%、「機能強化型以外」では56.0%、「主に精神科」では94.1%であった。いずれの事業所についても「はい」が多かった。

図表 44 障害者総合支援法による自立支援医療に原則、対応するか



(2) 利用者数・訪問回数

1) 訪問看護利用者数

訪問看護利用者数についてみると、「機能強化型 1」では平成 25 年 9 月が平均 172.7 人、平成 26 年 9 月が平均 181.9 人であった。「機能強化型 2」では平成 25 年 9 月が平均 114.3 人、平成 26 年 9 月が平均 118.7 人であった。「機能強化型以外」では平成 25 年 9 月が平均 66.3 人、平成 26 年 9 月が平均 67.1 人であった。「主に精神科」では平成 25 年 9 月が平均 76.2 人、平成 26 年 9 月が平均 84.1 人であった。

「機能強化型 1」と「主に精神科」の事業所で比較的多く増えている。

図表 45 1 事業所あたり 訪問看護利用者数（全利用者数：医療保険＋介護保険）（9 月 1 か月）

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	49	172.7	85.0	156.0		53	181.9	85.6	168.0
機能強化型 2	52	114.3	65.5	95.5		53	118.7	65.8	100.0
機能強化型以外	395	66.3	46.5	57.0		456	67.1	47.3	57.5
主に精神科	59	76.2	68.6	57.0		68	84.1	66.2	62.0

図表 46 1 事業所あたり 訪問看護利用者数（医療保険のみ）（9 月 1 か月）

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	49	46.7	21.1	43.0		53	53.0	25.8	49.0
機能強化型 2	52	31.0	15.7	28.5		53	33.1	17.9	30.0
機能強化型以外	395	15.5	14.0	12.0		456	16.3	14.8	12.0
主に精神科	59	64.9	61.9	49.0		68	78.3	63.8	59.0

2) 特掲診療料の施設基準等別表 7 の該当者

特掲診療料の施設基準等別表 7 の該当者数は、「機能強化型 1」では平成 25 年 9 月が平均 28.4 人、平成 26 年 9 月が平均 32.3 人と増加した。また、「機能強化型 2」でも平成 25 年 9 月が平均 17.9 人、平成 26 年 9 月が平均 19.9 人とやや増加した。

図表 47 1 事業所あたり 特掲診療料の施設基準等別表 7 の該当者数

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	49	28.4	16.1	25.0		53	32.3	18.7	28.0
機能強化型 2	52	17.9	10.2	17.0		53	19.9	10.5	18.0
機能強化型以外	395	8.3	8.8	6.0		456	8.5	8.5	6.0
主に精神科	59	0.6	1.2	0.0		68	0.6	1.3	0.0

3) 特掲診療料の施設基準等別表 8 の該当者

特掲診療料の施設基準等別表 8 の該当者数は、「機能強化型 1」では平成 25 年 9 月が平均 19.4 人、平成 26 年 9 月が平均 21.8 人と増加した。

図表 48 1 事業所あたり 特掲診療料の施設基準等別表 8 の該当者数

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	49	19.4	13.4	19.0		53	21.8	14.5	21.0
機能強化型 2	52	10.5	8.4	10.0		53	11.7	8.0	10.0
機能強化型以外	395	4.3	6.0	2.0		456	4.5	6.2	2.0
主に精神科	59	0.3	0.8	0.0		68	0.2	0.6	0.0

4) 特別訪問看護指示書の交付

特別訪問看護指示書を交付された利用者数は、「機能強化型1」では平成25年9月が平均3.7人、平成26年9月が平均3.5人であった。

図表 49 1事業所あたり 「特別訪問看護指示書」を交付された利用者数

単位：人

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	49	3.7	4.1	2.0		53	3.5	3.9	2.0
機能強化型2	52	2.0	3.3	1.0		53	2.2	2.3	2.0
機能強化型以外	395	1.0	2.0	0.0		456	1.1	2.0	0.0
主に精神科	59	0.1	0.4	0.0		68	0.2	0.7	0.0

5) 精神科特別訪問看護指示書の交付

精神科特別訪問看護指示書を交付された利用者数は、「機能強化型1」では平成25年9月が平均0.6人、平成26年9月が平均1.0人であった。

「主に精神科」では平成25年9月が平均0.7人、平成26年9月が平均0.9人であった。

図表 50 1事業所あたり 「精神科特別訪問看護指示書」を交付された利用者数

単位：人

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	49	0.6	2.6	0.0		53	1.0	2.8	0.0
機能強化型2	52	0.0	0.2	0.0		53	0.1	0.4	0.0
機能強化型以外	396	0.2	0.9	0.0		457	0.3	1.7	0.0
主に精神科	59	0.7	2.5	0.0		68	0.9	2.5	0.0

6) 訪問回数

訪問回数は、「機能強化型 1」では平成 25 年 9 月が平均 1,007.9 回、平成 26 年 9 月が平均 1,072.7 回であった。「機能強化型 2」では平成 25 年 9 月が平均 674.7 回、平成 26 年 9 月が平均 750.6 回であった。「機能強化型以外」では平成 25 年 9 月が平均 399.8 回、平成 26 年 9 月が平均 420.2 回であった。「主に精神科」では平成 25 年 9 月が平均 352.2 回、平成 26 年 9 月が平均 397.9 回であった。

図表 51 1 事業所あたり 訪問回数

単位：回

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	48	1,007.9	450.1	908.0		52	1,072.7	442.9	1,022.0
機能強化型 2	52	674.7	332.6	613.0		52	750.6	378.6	688.0
機能強化型以外	384	399.8	297.7	332.5		448	420.2	313.2	344.0
主に精神科	59	352.2	362.0	257.0		68	397.9	296.8	301.0

7) 医療保険による訪問回数

1 事業所あたりの医療保険による訪問回数についてみると、「機能強化型 1」では平成 25 年 9 月が平均 371.3 回、平成 26 年 9 月が平均 395.5 回であった。「機能強化型 2」では平成 25 年 9 月が平均 243.3 回、平成 26 年 9 月が平均 280.5 回であった。「機能強化型以外」では平成 25 年 9 月が平均 122.7 回、平成 26 年 9 月が平均 132.9 回であった。「主に精神科」では平成 25 年 9 月が平均 304.4 回、平成 26 年 9 月が平均 370.5 回であった。いずれも訪問回数が増加している。

図表 52 1 事業所あたり 医療保険による訪問回数

単位：回

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	48	371.3	185.3	333.5		53	395.5	229.8	339.0
機能強化型 2	52	243.3	127.8	213.0		52	280.5	153.7	244.5
機能強化型以外	383	122.7	110.4	97.0		446	132.9	121.3	100.0
主に精神科	59	304.4	324.7	215.0		68	370.5	286.3	265.5

8) 年齢別利用者数

① 医療保険のみの利用者

医療保険のみの利用者について、年齢別利用者数をみると、「0歳～15歳未満」の利用者は、「機能強化型1」では平均3.4人、「機能強化型2」では平均2.6人、「機能強化型以外」では平均1.1人、「主に精神科」では平均0.2人であった。

「0歳～15歳未満」の利用者が「有」の事業所は、「機能強化型1」では74.5%、「機能強化型2」では67.9%、「機能強化型以外」では27.7%、「主に精神科」では5.9%であった。

図表 53 1事業所あたり 年齢別利用者数（医療保険のみ）

単位：人

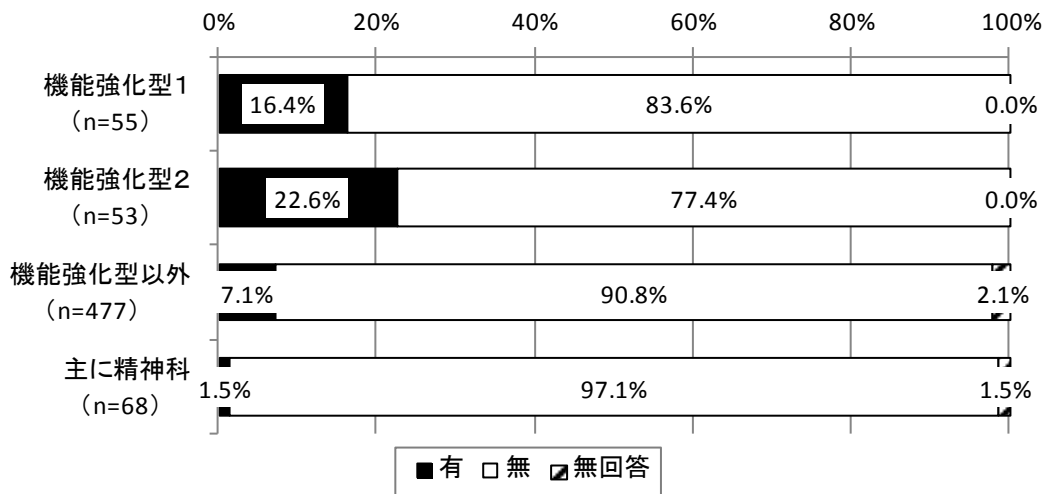
		1歳未満	1歳以上 3歳未満	3歳以上 6歳未満	6歳以上 15歳未満	15歳以上 40歳未満	40歳以上 65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上
機能強化型1 (n=55)	平均値	0.2	0.7	0.9	1.6	4.5	12.7	11.3	20.3
	標準偏差	0.6	1.1	1.4	2.0	4.3	9.1	5.6	10.6
	中央値	0.0	0.0	0.0	1.0	3.0	11.0	11.0	19.0
機能強化型2 (n=53)	平均値	0.4	0.6	0.7	0.8	2.8	8.9	6.6	11.6
	標準偏差	1.1	1.1	1.5	2.0	3.0	9.1	4.2	6.9
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	7.0	6.0	10.0
機能強化型 以外 (n=467)	平均値	0.1	0.3	0.3	0.4	1.5	4.5	3.7	5.5
	標準偏差	0.4	0.9	1.2	1.2	2.8	6.9	5.0	5.6
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	3.0	4.0
主に精神科 (n=67)	平均値	0.0	0.0	0.0	0.2	14.3	46.5	12.6	5.8
	標準偏差	0.1	-	0.1	0.9	14.5	42.9	13.0	13.3
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	34.0	9.0	2.0

図表 54 1事業所あたり 0歳～15歳未満の利用者数（医療保険のみ）

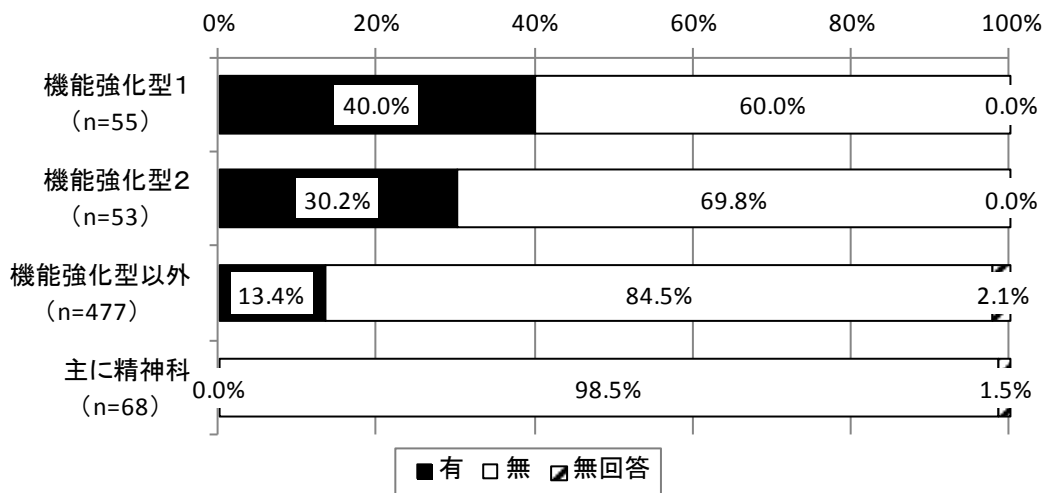
単位：人

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	55	3.4	4.0	2.0
機能強化型2	53	2.6	4.0	1.0
機能強化型以外	467	1.1	3.2	0.0
主に精神科	67	0.2	1.0	0.0

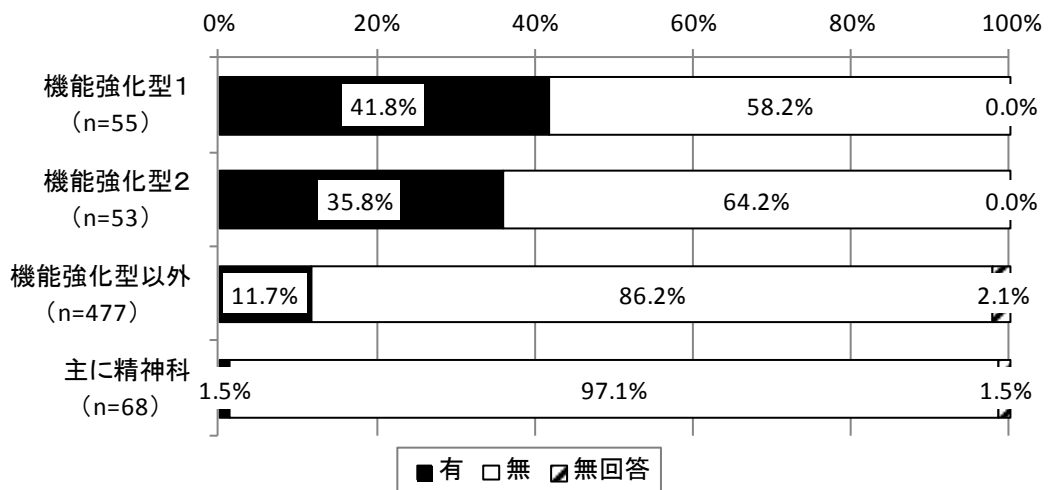
図表 55 1歳未満の利用者の有無



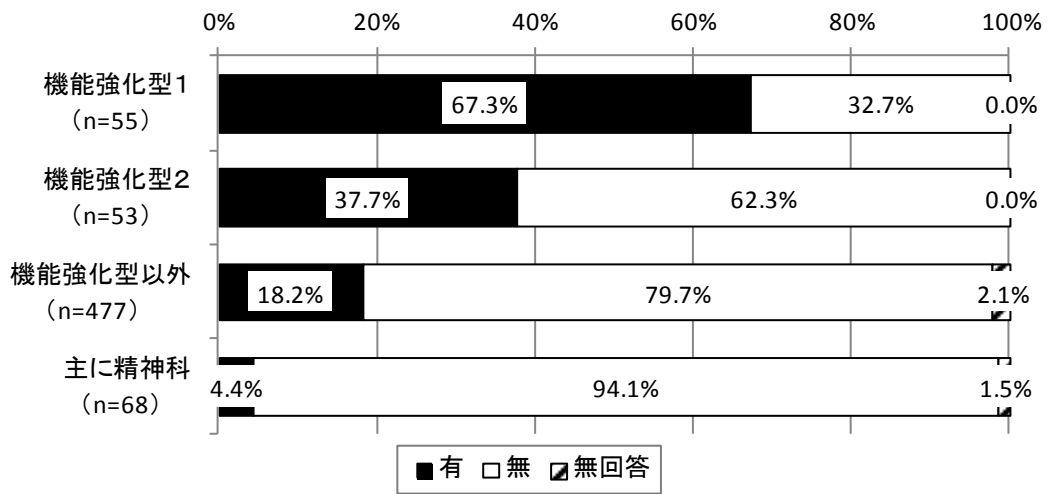
図表 56 1歳以上3歳未満の利用者の有無



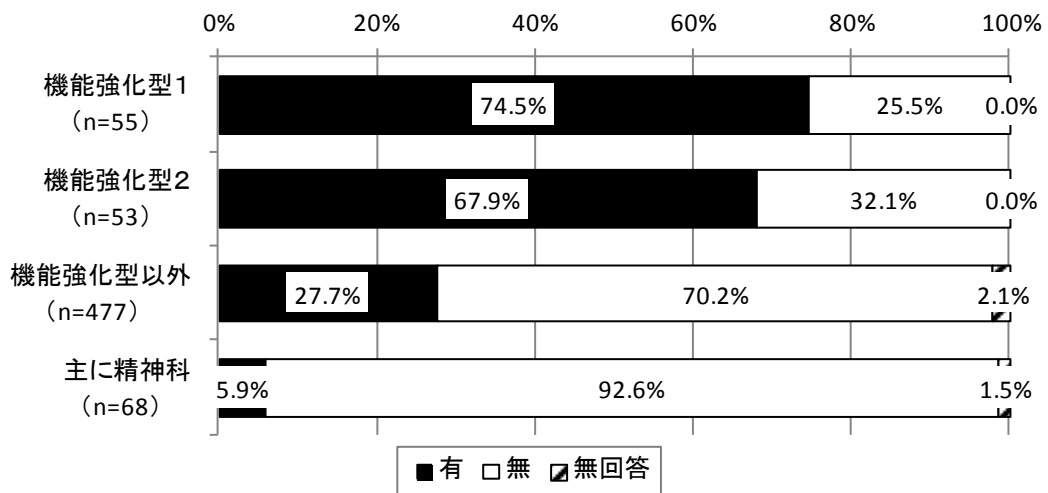
図表 57 3歳以上6歳未満の利用者の有無



図表 58 6歳以上15歳未満の利用者の有無



図表 59 (再掲) 0歳~15歳未満の利用者の有無



② 介護保険の利用者

介護保険の利用者について、年齢別利用者数をみると、「機能強化型1」では「75歳以上」が平均100.9人であった。

図表 60 1事業所あたり 年齢別利用者数（介護保険）

単位：人

		40歳以上 65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上
機能強化型1 (n=50)	平均値	6.6	19.6	100.9
	標準偏差	7.1	15.2	61.3
	中央値	5.0	15.5	89.0
機能強化型2 (n=52)	平均値	4.8	15.5	65.1
	標準偏差	5.6	14.4	40.6
	中央値	3.5	12.5	55.0
機能強化型以外 (n=438)	平均値	2.8	8.8	38.5
	標準偏差	4.4	10.3	32.3
	中央値	1.0	6.0	31.0
主に精神科 (n=65)	平均値	0.4	1.6	3.6
	標準偏差	0.8	2.3	4.7
	中央値	0.0	0.0	1.0

③ 介護保険の利用者のうち、特別訪問看護指示書により医療保険の適用になった利用者

介護保険の利用者のうち、特別訪問看護指示書により医療保険の適用になった利用者について、年齢別利用者数をみると、「機能強化型1」では「75歳以上」が平均2.3人、「65歳以上75歳未満」が平均0.3人で、「40歳以上65歳未満」が平均0.1人であった。

図表 61 1事業所あたり 年齢別利用者数
(特別訪問看護指示書により医療保険の適用になった利用者)

単位：人

		40歳以上 65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上
機能強化型1 (n=53)	平均値	0.1	0.3	2.3
	標準偏差	0.3	0.7	2.4
	中央値	0.0	0.0	2.0
機能強化型2 (n=51)	平均値	0.1	0.2	1.7
	標準偏差	0.2	0.5	2.0
	中央値	0.0	0.0	1.0
機能強化型以外 (n=448)	平均値	0.0	0.1	0.7
	標準偏差	0.2	0.4	1.5
	中央値	0.0	0.0	0.0
主に精神科 (n=64)	平均値	0.0	0.0	0.1
	標準偏差	0.1	-	0.4
	中央値	0.0	0.0	0.0

9) 超重症児・準超重症児

超重症児・準超重症児の利用者数についてみると、「機能強化型1」では「超重症児」が平均1.3人、「準超重症児」が平均0.8人であった。

超重症児の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が49.1%、「機能強化型2」では39.6%、「機能強化型以外」では13.2%、「主に精神科」では0.0%であった。

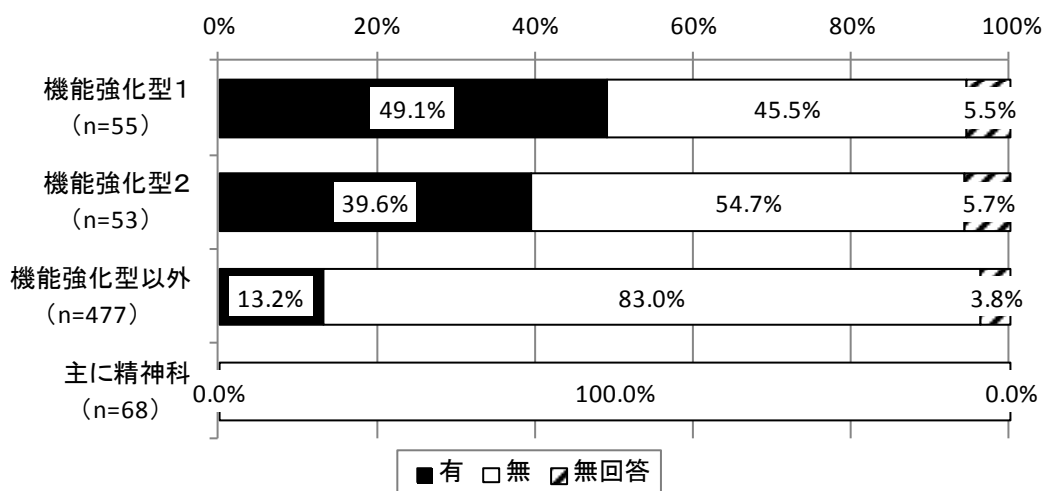
準超重症児の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が40.0%、「機能強化型2」では34.0%、「機能強化型以外」では11.1%、「主に精神科」では0.0%であった。

図表 62 1事業所あたり 超重症児・準超重症児利用者数

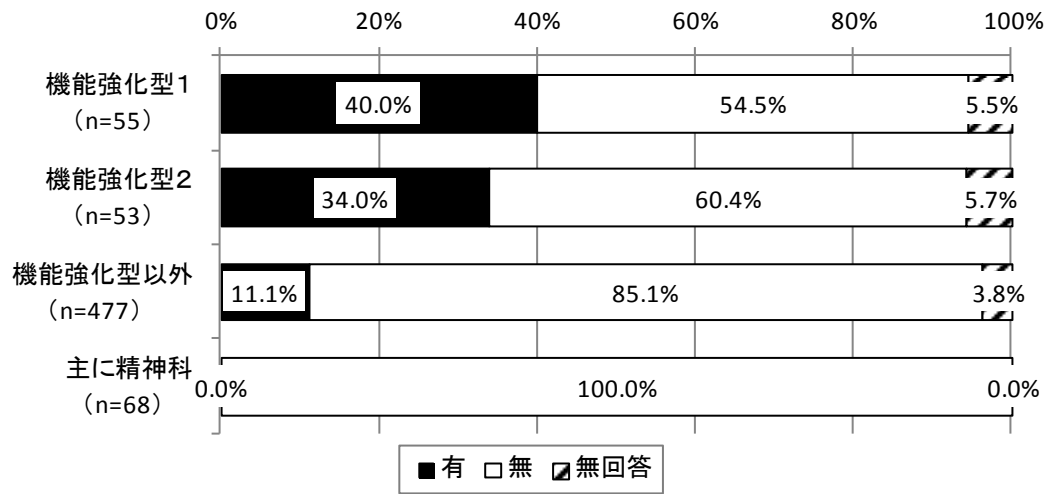
単位：人

		超重症児	準超重症児	その他
機能強化型1 (n=52)	平均値	1.3	0.8	0.9
	標準偏差	1.8	1.2	1.7
	中央値	1.0	0.0	0.0
機能強化型2 (n=50)	平均値	0.9	0.5	0.9
	標準偏差	1.6	0.8	2.2
	中央値	0.0	0.0	0.0
機能強化型以外 (n=459)	平均値	0.3	0.2	0.3
	標準偏差	1.1	0.8	1.3
	中央値	0.0	0.0	0.0
主に精神科 (n=68)	平均値	0.0	0.0	0.0
	標準偏差	-	-	0.2
	中央値	0.0	0.0	0.0

図表 63 超重症児の有無



図表 64 準超重症児の有無



10) 要介護度別利用者数

40歳以上の医療保険のみの利用者について、要介護度別利用者数をみると、「機能強化型1」では「要介護1・2・3」が平均11.1人、「要介護4」が平均4.9人、「要介護5」が平均7.1人であった。「機能強化型2」では「要介護1・2・3」が平均6.1人、「要介護4」が平均2.8人、「要介護5」が平均5.4人であった。「機能強化型以外」では「要介護1・2・3」が平均3.5人、「要介護4」が平均1.4人、「要介護5」が平均2.5人であった。「主に精神科」では、「要介護1・2・3」が平均3.9人、「要介護4」が平均0.2人、「要介護5」が平均0.1人で、「介護保険対象外」が23.8人であった。介護保険の利用者について、要介護度別利用者数をみると、「機能強化型1」では「要介護1・2・3」が平均64.8人、「要介護4」が平均20.9人、「要介護5」が平均28.3人であった。

図表 65 1事業所あたり 要介護度別利用者数（医療保険のみの利用者：40歳以上）

単位：人

		要支援 1・2	要介護 1・2・ 3	要介護4	要介護5	介護保険 対象外	申請中・ 自立・未 申請
機能強化型1 (n=47)	平均値	1.7	11.1	4.9	7.1	12.9	6.7
	標準偏差	2.1	8.8	4.2	6.0	15.6	10.7
	中央値	1.0	9.0	4.0	6.0	7.0	2.0
機能強化型2 (n=49)	平均値	0.6	6.1	2.8	5.4	9.2	3.1
	標準偏差	1.1	5.2	2.2	4.2	11.0	7.6
	中央値	0.0	5.0	3.0	4.0	4.0	0.0
機能強化型以外 (n=444)	平均値	0.6	3.5	1.4	2.5	3.8	1.5
	標準偏差	1.3	5.6	2.3	3.2	7.1	3.8
	中央値	0.0	2.0	1.0	2.0	2.0	0.0
主に精神科(n=58)	平均値	1.1	3.9	0.2	0.1	23.8	6.3
	標準偏差	1.9	5.5	0.5	0.4	50.6	20.4
	中央値	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 66 1事業所あたり 要介護度別利用者数（介護保険の利用者）

単位：人

		要支援 1・2	要介護 1・2・3	要介護4	要介護5	申請中・自 立・未申請
機能強化型1 (n=55)	平均値	12.4	64.8	20.9	28.3	1.2
	標準偏差	9.1	44.0	13.9	20.0	2.5
	中央値	11.0	56.0	17.0	27.0	0.0
機能強化型2 (n=52)	平均値	7.3	40.4	14.9	18.4	0.6
	標準偏差	6.4	27.5	10.5	12.7	1.3
	中央値	6.5	36.5	13.0	15.5	0.0
機能強化型以外 (n=464)	平均値	5.4	26.7	8.1	9.5	0.3
	標準偏差	6.9	24.3	8.0	8.9	1.0
	中央値	3.0	21.0	6.0	7.0	0.0
主に精神科(n=64)	平均値	0.7	4.2	0.4	0.5	0.4
	標準偏差	1.2	5.5	0.9	1.1	2.0
	中央値	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0

図表 67 1事業所あたり 要介護度別利用者数
 (特別訪問看護指示書により医療保険の適用になった利用者)

単位：人

		要支援 1・2	要介護 1・2・3	要介護4	要介護5	申請中・自 立・未申請
機能強化型1 (n=54)	平均値	0.2	0.8	0.4	1.3	0.0
	標準偏差	0.6	1.0	0.6	1.7	0.1
	中央値	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
機能強化型2 (n=52)	平均値	0.1	0.6	0.4	0.7	0.0
	標準偏差	0.2	1.0	0.7	0.8	0.1
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
機能強化型以外 (n=464)	平均値	0.0	0.3	0.2	0.3	0.0
	標準偏差	0.2	0.6	0.5	0.8	0.1
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
主に精神科(n=65)	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	標準偏差	0.1	0.3	-	0.1	-
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

11) 利用者の日常生活自立度

医療保険のみの利用者における日常生活自立度をみると、「機能強化型1」では「C」が平均13.4人、「A」が平均11.9人で、「B」が平均10.8人であった。「機能強化型2」では「C」が平均9.0人、「機能強化型以外」では「C」が平均4.0人であった。「主に精神科」では「自立・J」は平均32.7人、「C」は平均0.2人であった。

精神科訪問看護の利用者についてみると、「主に精神科」では「自立・J」が平均32.0人であった。

介護保険の利用者についてみると、「機能強化型1」では「A」が平均40.6人、「B」が平均35.3人、「C」が平均25.4人であった。

図表 68 1事業所あたり 利用者の日常生活自立度（医療保険のみの利用者）

単位：人

		自立・J	A	B	C
機能強化型1 (n=50)	平均値	9.5	11.9	10.8	13.4
	標準偏差	7.5	6.9	7.7	8.1
	中央値	7.5	11.0	9.5	11.0
機能強化型2 (n=47)	平均値	4.7	5.9	6.3	9.0
	標準偏差	5.6	5.0	4.8	5.4
	中央値	2.0	5.0	5.0	8.0
機能強化型以外 (n=435)	平均値	3.1	3.3	3.0	4.0
	標準偏差	5.8	3.8	3.7	4.2
	中央値	1.0	2.0	2.0	3.0
主に精神科 (n=57)	平均値	32.7	3.0	0.8	0.2
	標準偏差	54.3	9.2	4.4	0.8
	中央値	10.0	0.0	0.0	0.0

図表 69 1事業所あたり 利用者の日常生活自立度（医療保険のみで精神科訪問看護の利用者）

単位：人

		自立・J	A	B	C
機能強化型1 (n=41)	平均値	1.7	0.1	0.1	0.1
	標準偏差	3.3	0.4	0.4	0.3
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0
機能強化型2 (n=41)	平均値	1.7	0.2	0.0	0.0
	標準偏差	4.3	0.6	0.2	0.2
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0
機能強化型以外 (n=393)	平均値	1.2	0.2	0.1	0.0
	標準偏差	4.2	1.1	0.7	0.3
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0
主に精神科 (n=57)	平均値	32.0	2.7	0.8	0.1
	標準偏差	54.3	9.1	4.3	0.5
	中央値	8.0	0.0	0.0	0.0

図表 70 1事業所あたり 利用者の日常生活自立度（介護保険の利用者）

単位：人

		自立・J	A	B	C
機能強化型 1 (n=48)	平均値	20.7	40.6	35.3	25.4
	標準偏差	18.4	28.2	28.8	20.2
	中央値	18.5	37.5	28.5	20.0
機能強化型 2 (n=42)	平均値	12.1	23.7	21.5	19.5
	標準偏差	10.5	19.8	15.0	13.1
	中央値	9.0	15.0	20.0	16.0
機能強化型以外 (n=420)	平均値	9.1	17.2	12.2	9.8
	標準偏差	9.5	15.9	11.8	11.1
	中央値	6.0	13.0	9.0	7.0
主に精神科 (n=58)	平均値	2.9	2.0	0.6	0.4
	標準偏差	4.2	2.9	1.2	1.1
	中央値	1.0	1.0	0.0	0.0

図表 71 1事業所あたり 利用者の日常生活自立度
(特別訪問看護指示書により医療保険の適用になった利用者)

単位：人

		自立・J	A	B	C
機能強化型 1 (n=43)	平均値	0.2	0.4	0.4	1.4
	標準偏差	0.5	0.7	0.7	1.7
	中央値	0.0	0.0	0.0	1.0
機能強化型 2 (n=46)	平均値	0.1	0.3	0.5	1.0
	標準偏差	0.4	0.5	1.3	1.4
	中央値	0.0	0.0	0.0	1.0
機能強化型以外 (n=402)	平均値	0.1	0.2	0.3	0.4
	標準偏差	0.5	0.5	1.0	0.8
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0
主に精神科 (n=52)	平均値	0.2	0.0	0.0	0.0
	標準偏差	1.1	0.2	-	0.1
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0

12) 利用者の認知症高齢者の日常生活自立度

医療保険のみの利用者について、認知症高齢者の日常生活自立度をみると、「機能強化型1」では「自立・I」が平均26.4人、「II」が平均6.4人、「III」が平均4.3、「IV」が平均2.8人、「M」が1.6人であった。

介護保険の利用者についてみると、「機能強化型1」では「自立・I」が平均45.7人、「II」が平均26.7人、「III」が平均19.5人、「IV」が平均11.0人、「M」が4.1人であった。

図表 72 1事業所あたり 利用者の認知症高齢者の日常生活自立度（医療保険のみの利用者）

単位：人

		自立・I	II	III	IV	M
機能強化型1 (n=44)	平均値	26.4	6.4	4.3	2.8	1.6
	標準偏差	18.9	4.7	4.3	2.6	2.2
	中央値	24.5	5.0	3.0	2.0	1.0
機能強化型2 (n=43)	平均値	13.0	3.8	2.4	2.3	0.9
	標準偏差	10.7	2.8	2.3	2.7	1.2
	中央値	13.0	3.0	2.0	1.0	0.0
機能強化型以外 (n=420)	平均値	7.6	2.3	1.3	1.0	0.6
	標準偏差	10.7	3.7	2.0	1.6	1.4
	中央値	5.0	1.0	1.0	0.0	0.0
主に精神科 (n=51)	平均値	26.8	1.8	0.8	0.4	0.3
	標準偏差	55.7	5.7	3.7	2.1	1.6
	中央値	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 73 1事業所あたり 利用者の認知症高齢者の日常生活自立度（介護保険の利用者）

単位：人

		自立・I	II	III	IV	M
機能強化型1 (n=46)	平均値	45.7	26.7	19.5	11.0	4.1
	標準偏差	36.3	22.4	17.2	9.9	4.4
	中央値	42.0	24.0	16.0	9.0	2.0
機能強化型2 (n=42)	平均値	25.9	17.1	12.7	9.1	2.8
	標準偏差	25.6	13.0	12.1	10.1	5.2
	中央値	23.0	14.0	11.0	7.0	1.0
機能強化型以外 (n=418)	平均値	19.3	13.1	7.9	4.9	1.7
	標準偏差	24.0	12.8	8.2	5.7	4.0
	中央値	13.5	10.0	6.0	3.0	0.0
主に精神科 (n=58)	平均値	2.3	2.0	1.0	0.2	0.2
	標準偏差	3.2	2.6	1.7	0.9	0.7
	中央値	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0

図表 74 1 事業所あたり 利用者の認知症高齢者の日常生活自立度
 (特別訪問看護指示書により医療保険の適用になった利用者)

単位：人

		自立・I	II	III	IV	M
機能強化型 1 (n=44)	平均値	0.7	0.4	0.2	0.5	0.5
	標準偏差	1.0	0.7	0.6	1.0	1.7
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
機能強化型 2 (n=43)	平均値	0.5	0.3	0.6	0.3	0.2
	標準偏差	0.9	0.6	1.1	0.6	0.5
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
機能強化型以外 (n=393)	平均値	0.4	0.3	0.4	0.2	0.1
	標準偏差	1.7	1.7	4.9	1.1	0.5
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
主に精神科 (n=51)	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	標準偏差	0.2	0.1	-	-	0.1
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

13) 精神疾患のある利用者の疾患別人数

① 精神科訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅲ

7 統合失調症

精神科訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅲの利用者で、疾患が「統合失調症」である利用者は、「機能強化型1」では平成25年9月が平均1.3人、平成26年9月が平均2.9人であった。「主に精神科」では平成25年9月が平均40.2人、平成26年9月が平均47.1人であった。

図表 75 統合失調症（精神科訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅲ）

単位：人

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	37	1.3	2.8	0.0		38	2.9	4.8	0.5
機能強化型2	35	2.1	4.7	0.0		35	2.5	5.5	0.0
機能強化型以外	298	1.1	5.0	0.0		340	1.3	5.4	0.0
主に精神科	58	40.2	40.2	28.0		68	47.1	45.2	35.0

イ 気分障害

疾患が「気分障害」である利用者は、「機能強化型1」では平成25年9月が平均0.4人、平成26年9月が平均0.8人であった。「主に精神科」では平成25年9月が平均9.3人、平成26年9月が平均10.8人であった。

図表 76 気分障害（精神科訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅲ）

単位：人

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	37	0.4	1.2	0.0		38	0.8	2.3	0.0
機能強化型2	35	0.6	1.3	0.0		35	0.7	1.4	0.0
機能強化型以外	298	0.2	0.9	0.0		340	0.4	1.3	0.0
主に精神科	58	9.3	14.2	5.0		68	10.8	13.9	5.5

ウ 認知症

疾患が「認知症」である利用者は、「機能強化型1」では平成25年9月、平成26年9月ともに平均0.1人であった。「主に精神科」では平成25年9月が平均2.3人、平成26年9月が平均2.8人であった。

図表 77 認知症（精神科訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅲ）

単位：人

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	37	0.1	0.4	0.0		38	0.1	0.4	0.0
機能強化型2	35	0.0	-	0.0		35	0.0	-	0.0
機能強化型以外	298	0.0	0.3	0.0		340	0.1	0.7	0.0
主に精神科	58	2.3	12.4	0.0		68	2.8	10.7	0.0

エ その他

「その他」の疾患の利用者は、「機能強化型1」では平成25年9月が平均0.4人、平成26年9月が平均0.9人であった。「主に精神科」では平成25年9月が平均12.4人、平成26年9月が平均17.4人であった。

図表 78 その他（精神科訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅲ）

単位：人

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	37	0.4	0.8	0.0		38	0.9	1.5	0.0
機能強化型2	35	0.6	1.9	0.0		35	1.0	2.9	0.0
機能強化型以外	298	0.4	1.8	0.0		340	0.5	1.5	0.0
主に精神科	58	12.4	13.2	8.5		68	17.4	16.9	14.0

オ 合計

精神科訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅲの利用者の合計人数は、「機能強化型1」では平成25年9月が平均2.1人、平成26年9月が平均4.7人であった。「主に精神科」では平成25年9月が平均64.2人、平成26年9月が平均78.1人であった。

図表 79 合計（精神科訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅲ）

単位：人

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	37	2.1	4.6	0.0		38	4.7	7.9	1.0
機能強化型2	35	3.3	7.3	0.0		35	4.2	9.3	0.0
機能強化型以外	298	1.7	7.2	0.0		340	2.3	7.7	0.0
主に精神科	58	64.2	60.5	47.0		68	78.1	65.5	55.0

② 精神科訪問看護基本療養費Ⅱ

7 統合失調症

精神科訪問看護基本療養費Ⅱの利用者で、疾患が「統合失調症」の利用者は、「機能強化型1」「機能強化型2」では平成25年9月、平成26年9月ともにいなかった。

「主に精神科」では平成25年9月が平均0.2人、平成26年9月が平均0.1人であった。

図表 80 統合失調症（精神科訪問看護基本療養費Ⅱ）

単位：人

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	33	0.0	-	0.0		33	0.0	-	0.0
機能強化型2	31	0.0	-	0.0		31	0.0	-	0.0
機能強化型以外	281	0.0	0.1	0.0		317	0.0	0.1	0.0
主に精神科	45	0.2	1.1	0.0		50	0.1	0.7	0.0

イ 気分障害

「気分障害」はいずれもいなかった。

図表 81 気分障害（精神科訪問看護基本療養費Ⅱ）

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	33	0.0	-	0.0		33	0.0	-	0.0
機能強化型 2	31	0.0	-	0.0		31	0.0	-	0.0
機能強化型以外	281	0.0	-	0.0		317	0.0	-	0.0
主に精神科	45	0.0	-	0.0		50	0.0	-	0.0

ウ 認知症

「認知症」は、「機能強化型 1」「機能強化型 2」「主に精神科」いずれも平成 25 年 9 月、平成 26 年 9 月ともいなかった。

図表 82 認知症（精神科訪問看護基本療養費Ⅱ）

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	33	0.0	-	0.0		33	0.0	-	0.0
機能強化型 2	31	0.0	-	0.0		31	0.0	-	0.0
機能強化型以外	281	0.0	-	0.0		317	0.0	0.1	0.0
主に精神科	45	0.0	-	0.0		50	0.0	-	0.0

エ その他

「その他」は、「機能強化型 1」「機能強化型 2」では平成 25 年 9 月、平成 26 年 9 月ともいなかった。

図表 83 その他（精神科訪問看護基本療養費Ⅱ）

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	33	0.0	-	0.0		33	0.0	-	0.0
機能強化型 2	31	0.0	-	0.0		31	0.0	-	0.0
機能強化型以外	281	0.0	0.1	0.0		317	0.0	0.1	0.0
主に精神科	45	0.0	0.1	0.0		50	0.0	0.1	0.0

オ 合計

精神科訪問看護基本療養費Ⅱの利用者の合計人数は、「機能強化型1」「機能強化型2」では平成25年9月、平成26年9月ともにいなかった。

「機能強化型以外」では平成25年9月、平成26年9月ともに平均0.0人であった。

「主に精神科」では平成25年9月が平均0.2人、平成26年9月が平均0.1人であった。

図表 84 合計（精神科訪問看護基本療養費Ⅱ）

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	33	0.0	-	0.0		33	0.0	-	0.0
機能強化型 2	31	0.0	-	0.0		31	0.0	-	0.0
機能強化型以外	281	0.0	0.1	0.0		317	0.0	0.1	0.0
主に精神科	45	0.2	1.2	0.0		50	0.1	0.9	0.0

③ 訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅱ

7 統合失調症

訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅱの利用者で、疾患が「統合失調症」の利用者は、「機能強化型1」では平成25年9月が平均1.3人、平成26年9月が平均0.3人であった。

「主に精神科」では平成25年9月が平均0.9人、平成26年9月が平均0.2人であった。

図表 85 統合失調症（訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅱ）

単位：人

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	39	1.3	4.2	0.0		39	0.3	0.5	0.0
機能強化型2	34	0.2	0.7	0.0		35	0.3	0.8	0.0
機能強化型以外	307	0.6	1.9	0.0		353	0.5	2.0	0.0
主に精神科	49	0.9	5.1	0.0		57	0.2	0.9	0.0

イ 気分障害

「気分障害」は、「主に精神科」では平成25年9月が平均0.4人、平成26年9月が平均0.2人であった。

図表 86 気分障害（訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅱ）

単位：人

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	39	0.3	0.9	0.0		39	0.2	0.7	0.0
機能強化型2	34	0.0	-	0.0		35	0.1	0.2	0.0
機能強化型以外	307	0.1	0.5	0.0		353	0.1	0.6	0.0
主に精神科	49	0.4	1.6	0.0		57	0.2	0.9	0.0

ウ 認知症

「認知症」は、「機能強化型 1」では平成 25 年 9 月、平成 26 年 9 月ともに平均 1.1 人であった。「主に精神科」では平成 25 年 9 月、平成 26 年 9 月ともに平均 0.2 人であった。

図表 87 認知症（訪問看護基本療養費 I・II）

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	39	1.1	2.0	0.0		39	1.1	2.2	0.0
機能強化型 2	34	0.3	0.9	0.0		35	0.3	0.8	0.0
機能強化型以外	307	0.6	2.2	0.0		353	0.7	2.3	0.0
主に精神科	49	0.2	0.7	0.0		57	0.2	0.9	0.0

エ その他

「その他」は、「機能強化型 1」では平成 25 年 9 月が平均 2.9 人、平成 26 年 9 月が平均 3.9 人であった。「主に精神科」では平成 25 年 9 月、平成 26 年 9 月ともに平均 0.8 人であった。

図表 88 その他（訪問看護基本療養費 I・II）

単位：人

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	39	2.9	9.0	0.0		39	3.9	12.3	0.0
機能強化型 2	34	3.5	10.3	0.0		35	4.2	12.0	0.0
機能強化型以外	307	1.6	7.5	0.0		353	1.9	10.1	0.0
主に精神科	49	0.8	1.6	0.0		57	0.8	2.1	0.0

オ 合計

訪問看護基本療養費 I・II の利用者の合計人数は、「機能強化型 1」では、平成 25 年 9 月は平均 5.6 人、平成 26 年 9 月は平均 5.5 人であった。

「主に精神科」では、平成 25 年 9 月は平均 2.2 人、平成 26 年 9 月は平均 1.5 人であった。

図表 89 合計（訪問看護基本療養費 I・II）

単位：人

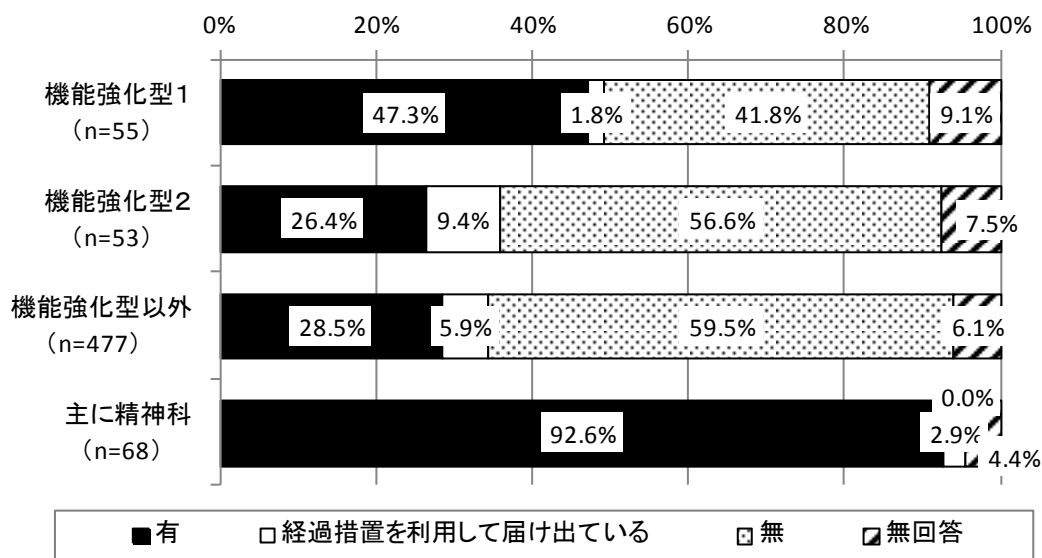
	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	39	5.6	11.2	1.0		39	5.5	12.7	1.0
機能強化型 2	34	4.1	10.4	0.0		35	4.8	12.0	0.0
機能強化型以外	307	2.9	8.2	0.0		353	3.2	10.6	0.0
主に精神科	49	2.2	7.0	0.0		57	1.5	4.1	0.0

(3) 精神科訪問看護の実施状況

1) 届出の状況

精神科訪問看護届出の状況についてみると、「機能強化型 1」では「有」が 47.3%、「機能強化型 2」では 26.4%、「機能強化型以外」では 28.5%であった。「主に精神科」では「有」が 92.6%、「経過措置を利用して届け出ている」が 2.9%であった。

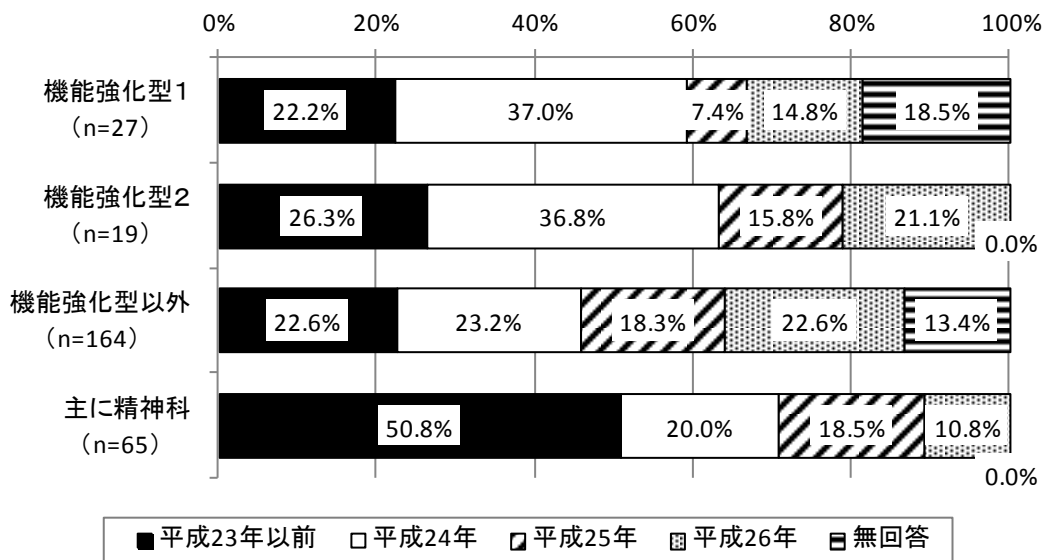
図表 90 精神科訪問看護届出の状況



2) 精神科訪問看護開始時期

精神科訪問看護の開始時期についてみると、「機能強化型 1」では「平成 24 年」が 37.0%、「平成 23 年以前」は 22.2%であった。「主に精神科」では「平成 23 年以前」が 50.8%であった。

図表 91 精神科訪問看護開始時期



3) 精神科訪問看護の算定回数等

平成 26 年 9 月の精神科訪問看護基本療養費（Ⅰ）の算定回数は、「機能強化型 1」では「30 分未満」が平均 1.9 回、「30 分以上」が平均 43.1 回で、合計 45.0 回であった。「主に精神科」では「30 分未満」が平均 37.2 回、「30 分以上」が平均 301.8 回で、合計 339.0 回であった。

精神科訪問看護基本療養費（Ⅰ）の算定人数は、「機能強化型 1」では「30 分未満」が平均 0.8 人、「30 分以上」が平均 9.5 人で、合計 10.3 人であった。「主に精神科」では「30 分未満」が平均 10.3 人、「30 分以上」が平均 69.8 人で、合計 80.1 人であった。

精神科訪問看護基本療養費（Ⅲ）の算定回数は、「主に精神科」では「30 分未満」が平均 13.5 回、「30 分以上」が平均 31.1 回で、合計 44.5 回であった。

精神科訪問看護基本療養費（Ⅲ）の算定人数は、「主に精神科」では「30 分未満」が平均 1.9 人、「30 分以上」が平均 5.8 人で、合計 7.8 人であった。

図表 92 1 事業所あたり 精神科訪問看護基本療養費（Ⅰ）の算定回数（平成 26 年 9 月）

単位：回

		30 分未満	30 分以上	合計
機能強化型 1 (n=23)	平均値	1.9	43.1	45.0
	標準偏差	3.9	58.1	60.2
	中央値	0.0	30.0	30.0
機能強化型 2 (n=17)	平均値	7.5	26.7	34.2
	標準偏差	19.8	47.5	55.2
	中央値	0.0	6.0	8.0
機能強化型以外 (n=141)	平均値	2.9	19.9	22.8
	標準偏差	11.1	36.3	39.1
	中央値	0.0	7.0	9.0
主に精神科 (n=58)	平均値	37.2	301.8	339.0
	標準偏差	132.3	238.2	276.2
	中央値	0.0	241.0	259.0

図表 93 1事業所あたり 精神科訪問看護基本療養費（Ⅰ）の算定人数（平成26年9月）

単位：人

		30分未満	30分以上	合計
機能強化型1 (n=23)	平均値	0.8	9.5	10.3
	標準偏差	1.7	13.2	14.5
	中央値	0.0	7.0	7.0
機能強化型2 (n=17)	平均値	1.9	5.6	7.1
	標準偏差	4.6	10.7	11.5
	中央値	0.0	2.0	2.0
機能強化型以外 (n=141)	平均値	0.7	4.3	5.0
	標準偏差	2.4	8.9	9.5
	中央値	0.0	1.0	2.0
主に精神科 (n=58)	平均値	10.3	69.8	80.1
	標準偏差	34.6	56.5	69.2
	中央値	0.0	53.5	55.0

図表 94 1事業所あたり 精神科訪問看護基本療養費（Ⅲ）の算定回数（平成26年9月）

単位：回

		30分未満	30分以上	合計
機能強化型1 (n=21)	平均値	0.0	0.6	0.6
	標準偏差	-	1.6	1.6
	中央値	0.0	0.0	0.0
機能強化型2 (n=16)	平均値	0.0	4.3	4.3
	標準偏差	-	9.9	9.9
	中央値	0.0	0.0	0.0
機能強化型以外 (n=107)	平均値	0.7	1.2	2.0
	標準偏差	5.6	8.9	11.0
	中央値	0.0	0.0	0.0
主に精神科 (n=53)	平均値	13.5	31.1	44.5
	標準偏差	91.4	75.9	146.5
	中央値	0.0	0.0	0.0

図表 95 1事業所あたり 精神科訪問看護基本療養費（Ⅲ）の算定人数（平成 26 年 9 月）

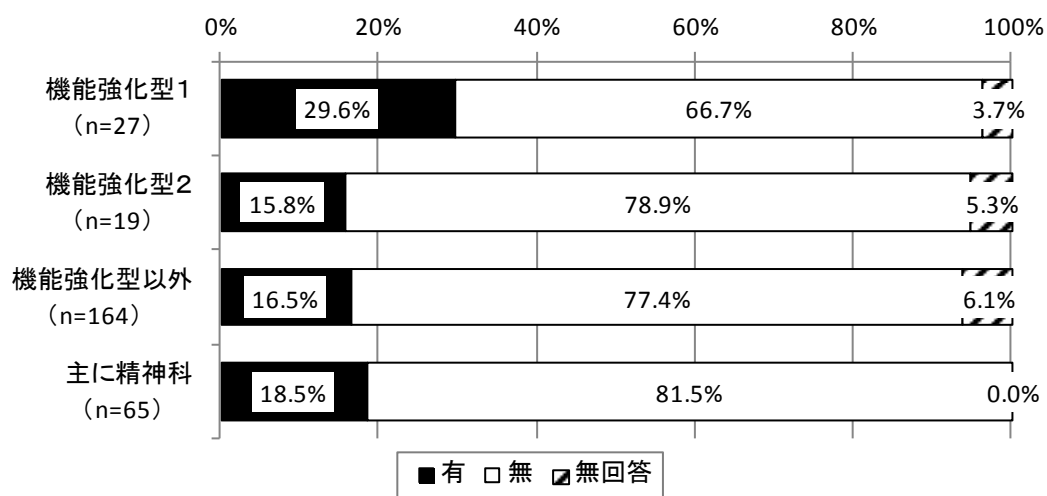
単位：人

		30分未満	30分以上	合計
機能強化型 1 (n=21)	平均値	0.0	0.2	0.2
	標準偏差	-	0.6	0.6
	中央値	0.0	0.0	0.0
機能強化型 2 (n=16)	平均値	0.0	0.8	0.8
	標準偏差	-	1.4	1.4
	中央値	0.0	0.0	0.0
機能強化型以外 (n=112)	平均値	0.1	0.3	0.4
	標準偏差	0.5	2.1	2.2
	中央値	0.0	0.0	0.0
主に精神科 (n=48)	平均値	1.9	5.8	7.8
	標準偏差	12.5	11.8	20.5
	中央値	0.0	0.0	0.0

4) 精神科重症患者早期集中支援管理連携加算

精神科重症患者早期集中支援管理連携加算の届出についてみると、「機能強化型1」では「有」が29.6%、「無」が66.7%であった。「有」の場合、4月～9月の加算算定実績は平均0.3人であった。「機能強化型2」では届出が「有」は15.8%であったが、4月～9月の加算算定実績はなかった。「機能強化型以外」では届出が「有」は16.5%であったが、4月～9月の加算算定実績はなかった。「主に精神科」では届出が「有」は18.5%であったが、4月～9月の加算算定実績はなかった。

図表 96 精神科重症患者早期集中支援管理連携加算の届出の有無



図表 97 (有の場合) 平成26年4月～9月の加算算定実績

単位：人

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	7	0.3	0.8	0.0
機能強化型2	2	0.0	-	0.0
機能強化型以外	25	0.0	-	0.0
主に精神科	12	0.0	-	0.0

5) 他医療機関の精神科重症患者早期集中支援管理連携におけるチームのメンバーとして参加した症例数

平成 26 年 4 月～9 月の 6 か月間に、加算の有無は問わず、他医療機関の精神科重症患者早期集中支援管理連携におけるチームのメンバーとして参加した症例数は、「機能強化型 1」「機能強化型 2」「機能強化型以外」ではなかった。「主に精神科」では平均 0.1 人であった。

図表 98 他医療機関の精神科重症患者早期集中支援管理連携におけるチームのメンバーとして参加した症例数

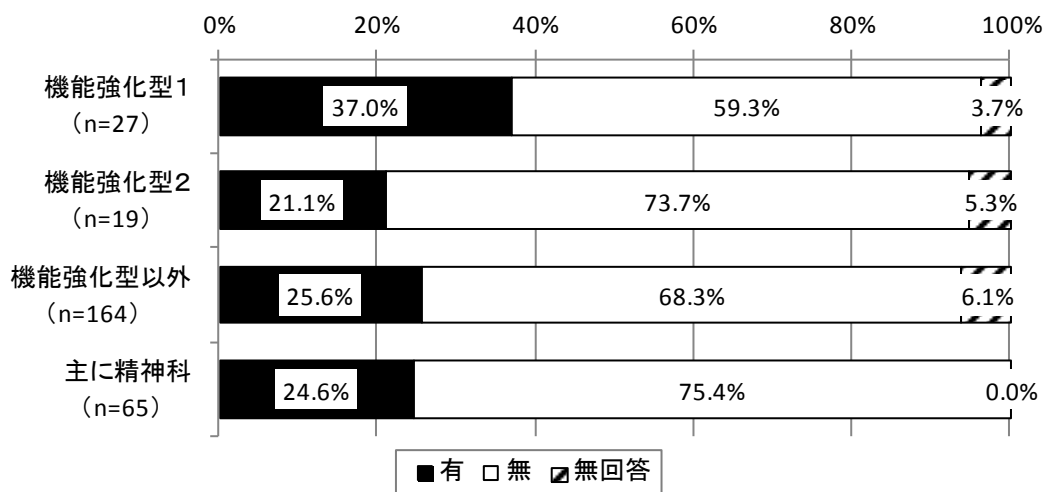
単位：人

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	17	0.0	-	0.0
機能強化型 2	10	0.0	-	0.0
機能強化型以外	108	0.0	-	0.0
主に精神科	45	0.1	0.4	0.0

6) 精神科複数回訪問加算

精神科複数回訪問加算の届出についてみると、「有」が「機能強化型 1」では 37.0%、「機能強化型 2」では 21.1%、「機能強化型以外」では 25.6%、「主に精神科」では 24.6%であった。

図表 99 精神科複数回訪問加算の届出の有無



① 加算算定回数（1日に2回）

精神科複数回訪問加算の届出がある場合について、「1日に2回」の加算算定実績（4月～9月）をみると、「機能強化型1」では平均2.0回、「機能強化型2」「機能強化型以外」では実績がなく、「主に精神科」では平均0.3回であった。

図表 100 （有の場合）4月～9月の加算算定実績（延べ回数）（1日に2回）

単位：回

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	9	2.0	6.0	0.0
機能強化型2	4	0.0	-	0.0
機能強化型以外	38	0.0	-	0.0
主に精神科	15	0.3	0.7	0.0

② 加算算定回数（1日に3回以上）

精神科複数回訪問加算の届出がある場合について、「1日に3回以上」の加算算定実績（4月～9月）をみると、いずれも実績はなかった。

図表 101 （有の場合）4月～9月の加算算定実績（延べ回数）（1日に3回以上）

単位：回

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	8	0.0	-	0.0
機能強化型2	4	0.0	-	0.0
機能強化型以外	37	0.0	-	0.0
主に精神科	15	0.0	-	0.0

③ 加算算定人数

精神科複数回訪問加算の届出がある場合の4月～9月の加算算定人数は、「機能強化型1」では平均0.8人、「機能強化型2」、「機能強化型以外」では平均0.0人、「主に精神科」では平均0.2人であった。

図表 102 （有の場合）4月～9月の加算算定人数

単位：人

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	8	0.8	2.1	0.0
機能強化型2	4	0.0	-	0.0
機能強化型以外	34	0.0	-	0.0
主に精神科	15	0.2	0.6	0.0

7) 複数回の精神科訪問看護の提供利用者数

加算の有無は問わず、1日に複数回の精神科訪問看護を提供した利用者数は、平成26年9月は、「機能強化型1」「機能強化型2」ではおらず、また、「機能強化型以外」では平均0.0人であった。「主に精神科」では平成25年9月が平均0.6人、平成26年9月が平均0.7人であった。

図表 103 複数回精神科訪問看護の提供利用者数

単位：人

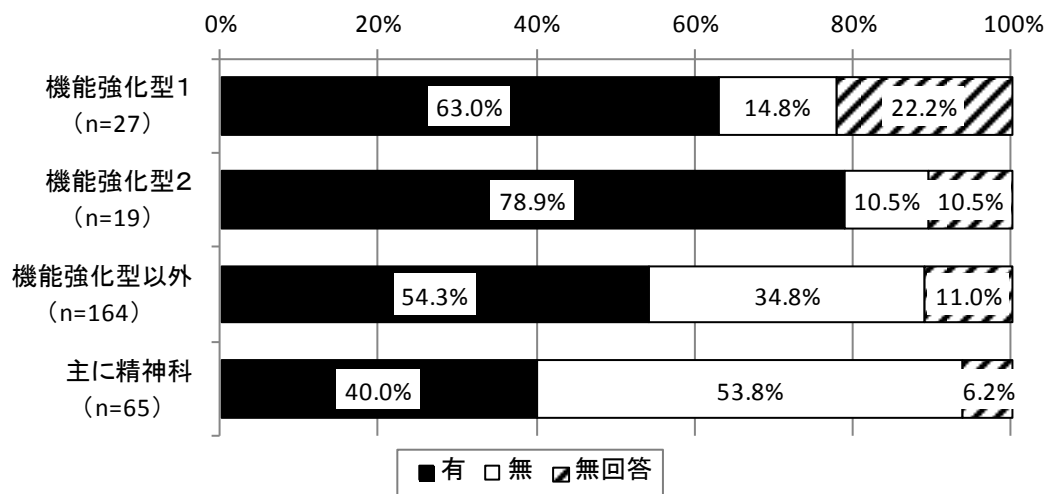
	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	19	0.0	-	0.0		19	0.0	-	0.0
機能強化型2	11	0.0	-	0.0		11	0.0	-	0.0
機能強化型以外	100	0.0	-	0.0		117	0.0	0.1	0.0
主に精神科	43	0.6	3.3	0.0		52	0.7	2.9	0.0

8) 精神科訪問看護基本療養費の研修受講

精神科訪問看護基本療養費の研修受講者の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が63.0%、「機能強化型2」では78.9%、「機能強化型以外」では54.3%、「主に精神科」では40.0%であった。

精神科訪問看護基本療養費の研修受講者がある場合、その受講者数は、「機能強化型1」では平均3.3人、「機能強化型2」では平均3.9人、「機能強化型以外」では平均2.2人、「主に精神科」では平均2.4人であった。

図表 104 精神科訪問看護基本療養費の研修受講者の有無



図表 105 (有の場合) 受講者数

単位：人

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	15	3.3	3.6	2.0
機能強化型2	15	3.9	4.0	3.0
機能強化型以外	88	2.2	2.3	2.0
主に精神科	24	2.4	1.9	2.0

(4) 褥瘡リスクの評価の実施状況

1) 褥瘡の状態

褥瘡について、DESIGN-R で確認した利用者数（医療保険）は、平成 26 年 9 月時点で、「機能強化型 1」では平均 15.0 人、「機能強化型 2」では平均 5.9 人、「機能強化型以外」では平均 3.4 人、「主に精神科」では平均 7.7 人であった。いずれも、平成 25 年 9 月に比べてやや増加した。

また、真皮までの損傷の利用者数（d 2）は、平成 26 年 9 月時点で、「機能強化型 1」では平均 2.1 人、「機能強化型 2」では平均 1.0 人、「機能強化型以外」では平均 0.5 人、「主に精神科」では平均 0.2 人であった。

さらに、真皮を越える褥瘡の利用者数（D 3 以上）は、平成 26 年 9 月時点で、「機能強化型 1」では平均 1.6 人、「機能強化型 2」では平均 1.0 人、「機能強化型以外」では平均 0.6 人、「主に精神科」では平均 0.0 人であった。

図表 106 1 事業所あたり DESIGN-R で確認した利用者数（医療保険）

単位：人

	平成 25 年 9 月				平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	42	13.0	26.0	3.0	50	15.0	25.8	4.0
機能強化型 2	46	1.7	3.0	1.0	48	5.9	11.0	1.5
機能強化型以外	375	2.3	6.8	0.0	446	3.4	8.4	1.0
主に精神科	48	3.0	12.6	0.0	56	7.7	29.0	0.0

図表 107 1 事業所あたり 真皮までの損傷の利用者数（d 2）（医療保険）

単位：人

	平成 25 年 9 月				平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	42	1.2	1.7	1.0	50	2.1	2.7	1.0
機能強化型 2	46	0.5	0.9	0.0	48	1.0	3.1	0.0
機能強化型以外	375	0.4	1.3	0.0	446	0.5	1.7	0.0
主に精神科	48	0.1	0.5	0.0	56	0.2	0.5	0.0

図表 108 1 事業所あたり 真皮を越える褥瘡の利用者数（D 3 以上）（医療保険）

単位：人

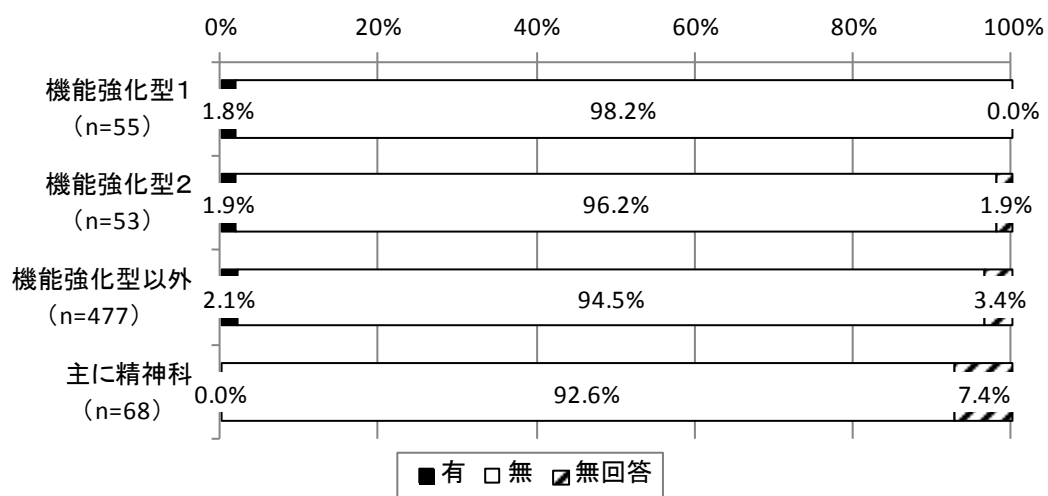
	平成 25 年 9 月				平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	42	1.7	1.9	1.5	50	1.6	1.6	1.0
機能強化型 2	46	0.6	0.9	0.0	48	1.0	1.3	0.5
機能強化型以外	375	0.5	1.0	0.0	446	0.6	1.1	0.0
主に精神科	48	0.0	0.2	0.0	56	0.0	-	0.0

2) 他医療機関・事業所の専門性の高い看護師による同一日の訪問

他医療機関・事業所の専門性の高い看護師による同一日の訪問についてみると、「機能強化型1」では、「有」が1.8%、「機能強化型2」では1.9%、「機能強化型以外」では2.1%、「主に精神科」では0.0%で、ほとんど行われていなかった。

他医療機関・事業所の専門性の高い看護師による同一日の訪問がない場合、その理由についてたずねたところ、「機能強化型1」では、「専門性の高い看護師による訪問の必要な利用者がいないから」が24.1%、「機能強化型2」では37.3%、「機能強化型以外」では39.7%、「主に精神科」では65.1%でいずれでも最も高かった。

図表 109 他医療機関・事業所の専門性の高い看護師による同一日の訪問の有無



図表 110 (有の場合) 利用者数

単位：人

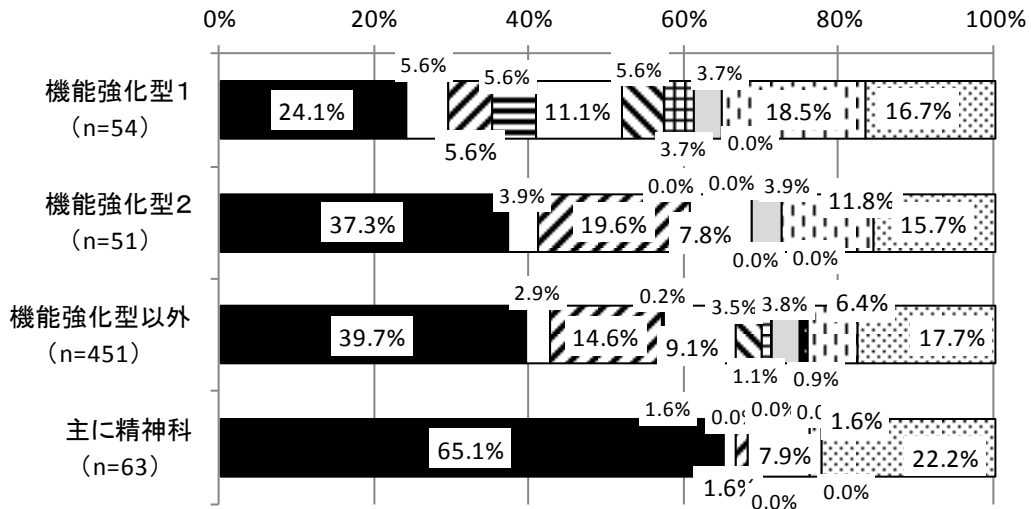
	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	1	3.0	-	3.0
機能強化型2	1	1.0	-	1.0
機能強化型以外	10	1.5	1.0	1.0
主に精神科	0	-	-	-

図表 111 (有の場合) 延べ訪問回数

単位：回

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	1	3.0	-	3.0
機能強化型2	1	1.0	-	1.0
機能強化型以外	10	3.2	4.6	2.0
主に精神科	0	-	-	-

図表 112 (無の場合) その理由

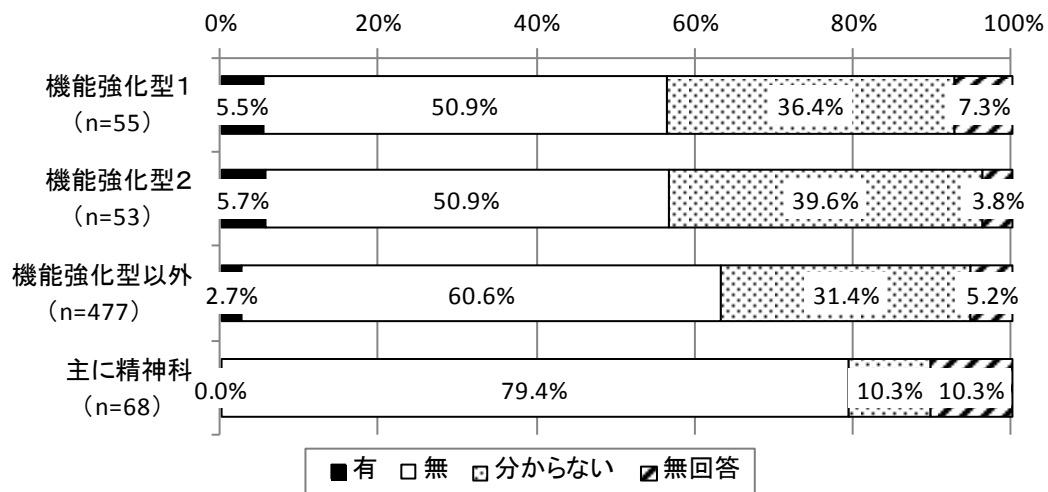


- 専門性の高い看護師による訪問の必要な利用者がいないから
- 専門性の高い看護師が当事業所にいるから
- ☑ 専門の医師が対応しているから
- ☑ 他機関の在宅褥瘡対策チームが対応しているから
- 専門性の高い看護師が近くにはいないから
- ☑ 専門性の高い看護師が所属する機関を知らないから
- ☑ 専門性の高い看護師が所属する機関が協力的でないから
- 利用者の経済的負担が増えるから
- 請求の手続きが難しいから
- その他
- ☑ 無回答

3) 他医療機関で在宅患者訪問褥瘡管理指導料が算定されている利用者

他医療機関で在宅患者訪問褥瘡管理指導料が算定されている利用者の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が5.5%、「機能強化型2」では5.7%、「機能強化型以外」では2.7%、「主に精神科」では0.0%であった。

図表 113 他医療機関で在宅患者訪問褥瘡管理指導料が算定されている利用者の有無



図表 114 (有の場合) 利用者人数

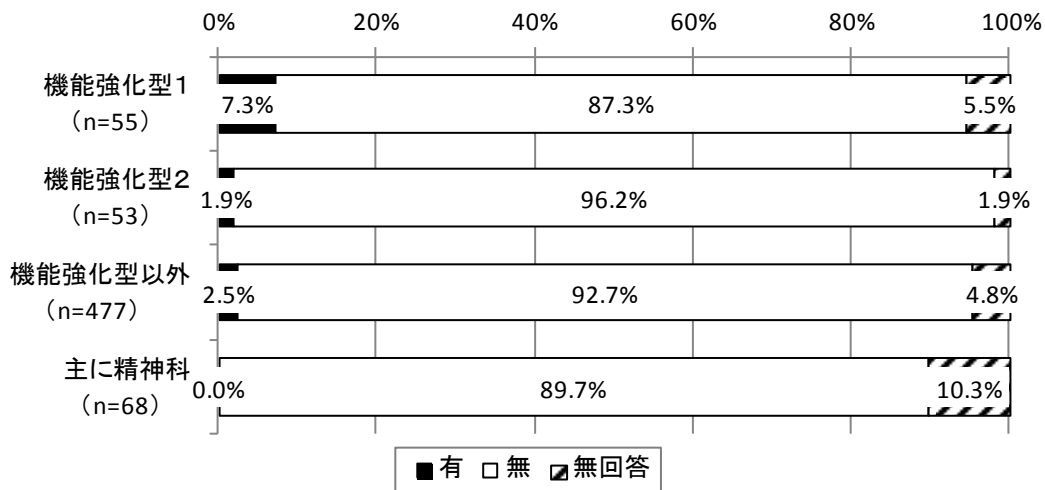
単位：人

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	3	1.7	1.2	1.0
機能強化型2	3	1.0	-	1.0
機能強化型以外	12	1.5	0.7	1.0
主に精神科	0	-	-	-

4) 在宅褥瘡チーム

在宅褥瘡チームの構成員の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が7.3%、「機能強化型2」では1.9%、「機能強化型以外」では2.5%、「主に精神科」では0.0%であった。

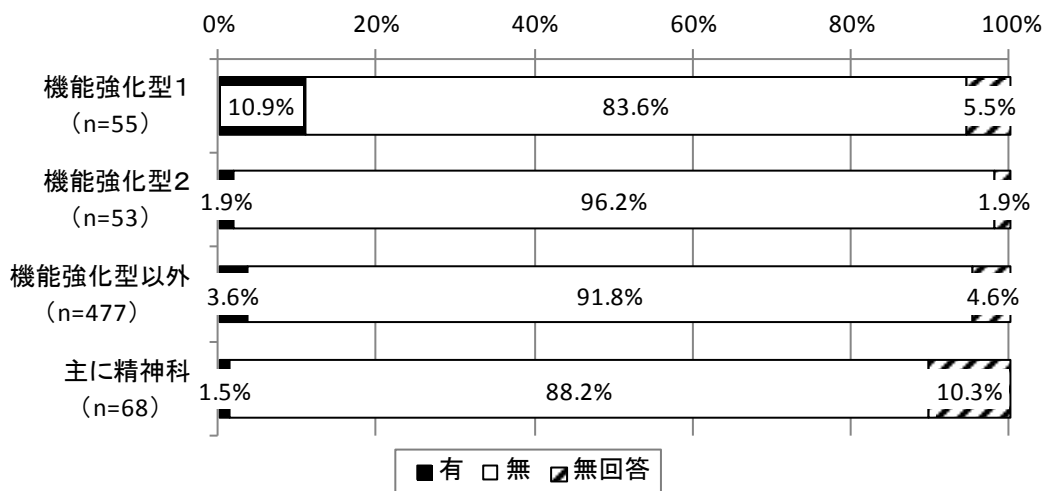
図表 115 在宅褥瘡チームの構成員の有無



5) 在宅褥瘡管理者

在宅褥瘡管理者の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が10.9%、「機能強化型2」では1.9%、「機能強化型以外」では3.6%、「主に精神科」では1.5%であった。

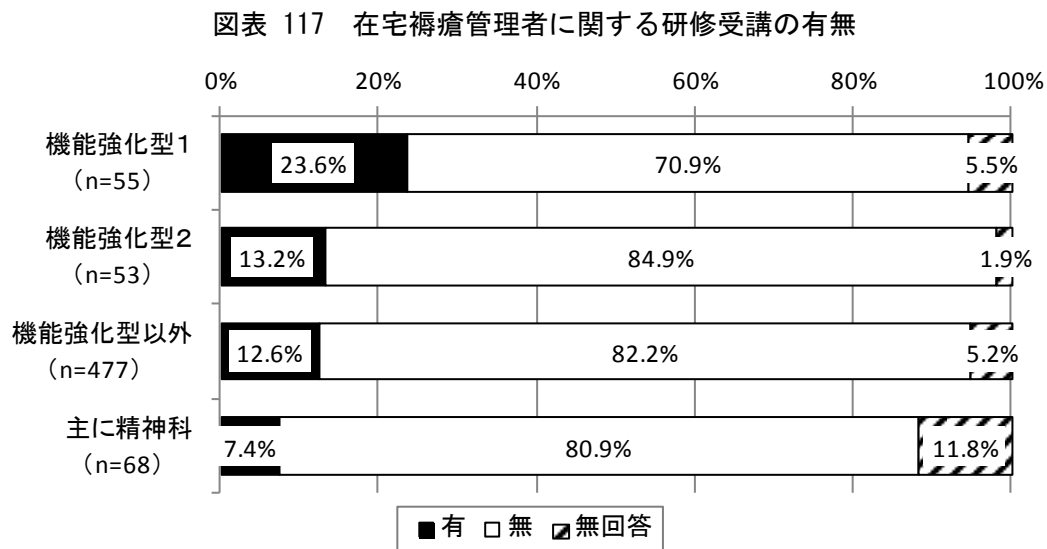
図表 116 在宅褥瘡管理者の有無



6) 在宅褥瘡管理者に関する研修

在宅褥瘡管理者に関する研修受講の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が23.6%、「機能強化型2」では13.2%、「機能強化型以外」では12.6%、「主に精神科」では7.4%であった。

在宅褥瘡管理者に関する研修受講が「有」の場合、その受講者数は、「機能強化型1」では平均2.2人、「機能強化型2」では平均2.3人、「機能強化型以外」では平均2.1人、「主に精神科」では平均2.0人であった。



図表 118 (有の場合) 受講者数

単位：人

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	13	2.2	1.1	2.0
機能強化型2	7	2.3	1.9	1.0
機能強化型以外	57	2.1	1.3	2.0
主に精神科	4	2.0	1.2	2.0

(5) ターミナル・看取りの実態

1) 死亡利用者数等（平成 26 年 4 月 1 日～9 月 30 日）

利用者のうち、平成 26 年 4 月 1 日～9 月 30 日に亡くなった利用者数は、「機能強化型 1」では平均 29.2 人、「機能強化型 2」では平均 20.0 人、「機能強化型以外」では平均 7.4 人、「主に精神科」では平均 0.7 人であった。

「機能強化型 1」では、平成 26 年 4 月 1 日～9 月 30 日に亡くなった利用者のうち、死亡前 30 日以内訪問看護を提供した利用者数は平均 25.3 人であった。このうち、在宅死亡、またはターミナルケア実施後 24 時間以内の入院死亡の利用者数は平均 17.9 人であった。さらに、このうち、「がん」の利用者数は平均 14.0 人であった。

ターミナルケア療養費（医療保険）算定利用者数についてみると、「機能強化型 1」では平成 25 年・平成 26 年ともに平均 12.7 人であった。また、ターミナルケア加算（介護保険）算定利用者数は、「機能強化型 1」では平成 25 年が平均 4.8 人、平成 26 年が平均 8.6 人であった。

在宅がん医療総合診断料算定利用者数についてみると、「機能強化型 1」では平成 25 年が平均 3.7 人、平成 26 年が平均 7.0 人であった。

他施設等で看取り介護加算を算定した利用者数についてみると、「機能強化型 1」では平成 25 年が平均 0.1 人、平成 26 年が平均 0.2 人であった。

図表 119 死亡利用者数（4 月 1 日～9 月 30 日）

単位：人

	平成 25 年				→	平成 26 年			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	50	27.4	19.9	24.5		53	29.2	24.5	23.0
機能強化型 2	51	20.9	11.6	19.0		52	20.0	11.3	19.5
機能強化型以外	399	7.5	8.2	5.0		453	7.4	7.7	5.0
主に精神科	52	0.6	1.1	0.0		59	0.7	1.2	0.0

図表 120 死亡前 30 日以内訪問看護を提供した利用者数

単位：人

	平成 25 年				→	平成 26 年			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	50	24.0	18.7	21.0		53	25.3	24.0	21.0
機能強化型 2	51	16.6	8.7	15.0		52	16.4	9.3	17.0
機能強化型以外	399	6.0	6.8	4.0		453	6.0	6.6	4.0
主に精神科	52	0.5	1.0	0.0		59	0.6	1.0	0.0

図表 121 在宅死亡、またはターミナルケア実施後 24 時間以内の入院死亡の利用者数

単位：人

	平成 25 年				→	平成 26 年			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	50	16.7	16.3	14.5		53	17.9	20.3	13.0
機能強化型 2	51	8.3	6.4	9.0		52	8.3	6.4	8.0
機能強化型以外	399	3.3	4.9	1.0		453	3.2	4.5	1.0
主に精神科	52	0.2	0.7	0.0		59	0.3	0.9	0.0

図表 122 「がん」で在宅死亡、またはターミナルケア実施後 24 時間以内の入院死亡の利用者数

単位：人

	平成 25 年				→	平成 26 年			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	44	12.1	16.0	9.0		47	14.0	20.4	8.0
機能強化型 2	43	5.7	5.8	5.0		45	5.6	6.0	4.0
機能強化型以外	363	1.8	3.7	0.0		401	1.9	3.5	0.0
主に精神科	52	0.1	0.4	0.0		58	0.0	0.1	0.0

図表 123 ターミナルケア療養費（医療保険）算定利用者数

単位：人

	平成 25 年				→	平成 26 年			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	50	12.7	10.7	10.0		53	12.7	10.9	9.0
機能強化型 2	51	6.8	4.6	6.0		52	7.0	5.0	6.0
機能強化型以外	399	1.9	3.6	1.0		453	1.9	3.3	1.0
主に精神科	52	0.1	0.3	0.0		59	0.1	0.2	0.0

図表 124 ターミナルケア加算（介護保険）算定利用者数

単位：人

	平成 25 年				→	平成 26 年			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	50	4.8	3.9	4.0		53	8.6	28.4	4.0
機能強化型 2	51	3.1	3.4	2.0		52	3.2	3.4	3.0
機能強化型以外	399	1.0	2.1	0.0		453	1.0	2.0	0.0
主に精神科	52	0.0	0.2	0.0		59	0.0	0.1	0.0

図表 125 在宅がん医療総合診断料算定利用者数

単位：人

	平成 25 年				→	平成 26 年			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	50	3.7	17.0	0.0		53	7.0	23.8	0.0
機能強化型 2	51	1.9	10.4	0.0		52	1.6	8.8	0.0
機能強化型以外	399	0.3	2.4	0.0		453	0.3	2.0	0.0
主に精神科	52	0.0	0.1	0.0		59	0.0	0.2	0.0

図表 126 他施設等で看取り介護加算を算定した利用者数

単位：人

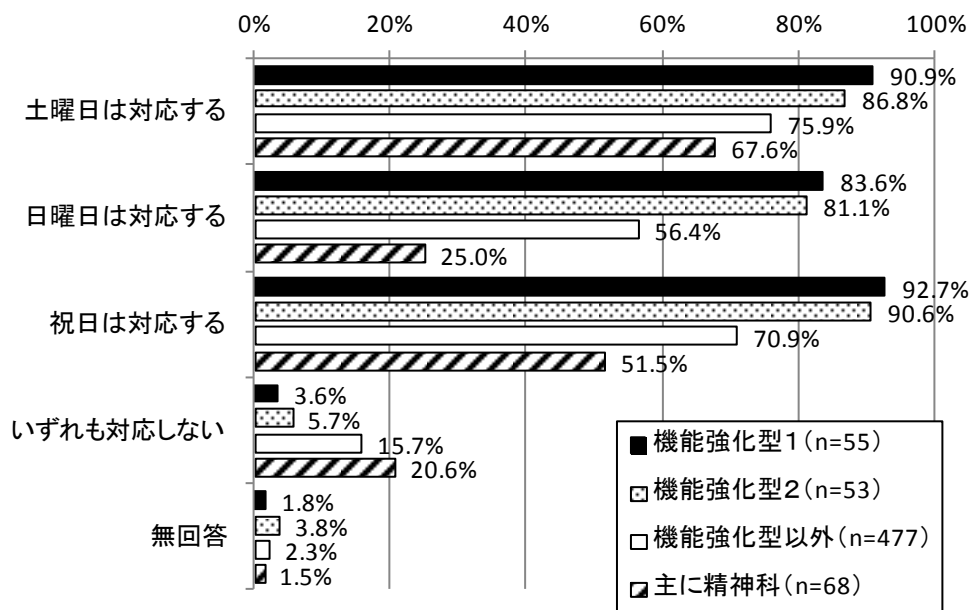
	平成 25 年				→	平成 26 年			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	50	0.1	0.4	0.0		53	0.2	0.9	0.0
機能強化型 2	51	0.3	1.4	0.0		52	0.7	3.2	0.0
機能強化型以外	399	0.1	0.6	0.0		453	0.1	0.7	0.0
主に精神科	52	0.1	0.4	0.0		59	0.0	0.2	0.0

(6) 土日や夜間、緊急時の対応

1) 土日・祝日の計画的な訪問看護の実施状況

「土日・祝日の計画的な訪問看護の実施状況」についてみると、「機能強化型1」では「土曜日に対応する」が90.9%、「日曜日に対応する」が83.6%、「祝日に対応する」が92.7%であった。「機能強化型以外」では「土曜日に対応する」が75.9%、「日曜日に対応する」が56.4%、「祝日に対応する」が70.9%であった。「主に精神科」では「土曜日に対応する」が67.6%、「日曜日に対応する」が25.0%、「祝日に対応する」が51.5%であった。

図表 127 土日・祝日の計画的な訪問看護の実施状況



2) 土日・祝日の計画的な訪問の実績

調査対象期間中の「土曜日」（9月13日、20日）の計画的な訪問の実績数についてたずねた。実績の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が85.5%、「機能強化型2」では73.6%、「機能強化型以外」では57.0%、「主に精神科」では58.8%であった。

「日曜日」（9月14日、21日）の計画的な訪問の実績の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が67.3%、「機能強化型2」では66.0%、「機能強化型以外」では36.1%、「主に精神科」では16.2%であった。

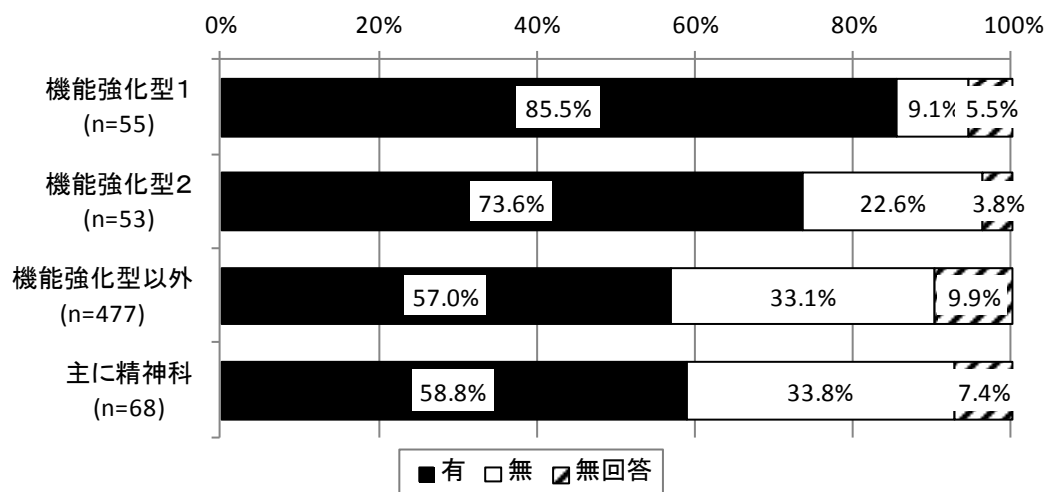
「祝日」（9月15日、23日）の計画的な訪問の実績の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が89.1%、「機能強化型2」では77.4%、「機能強化型以外」では62.7%、「主に精神科」では44.1%であった。

図表 128 土曜日（9月13日、20日）の計画的な訪問の実績数

単位：人

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	52	10.5	13.7	6.0
機能強化型2	51	6.1	7.7	3.0
機能強化型以外	430	3.6	5.3	2.0
主に精神科	63	10.0	13.2	3.0

図表 129 土曜日（9月13日、20日）の計画的な訪問の実績

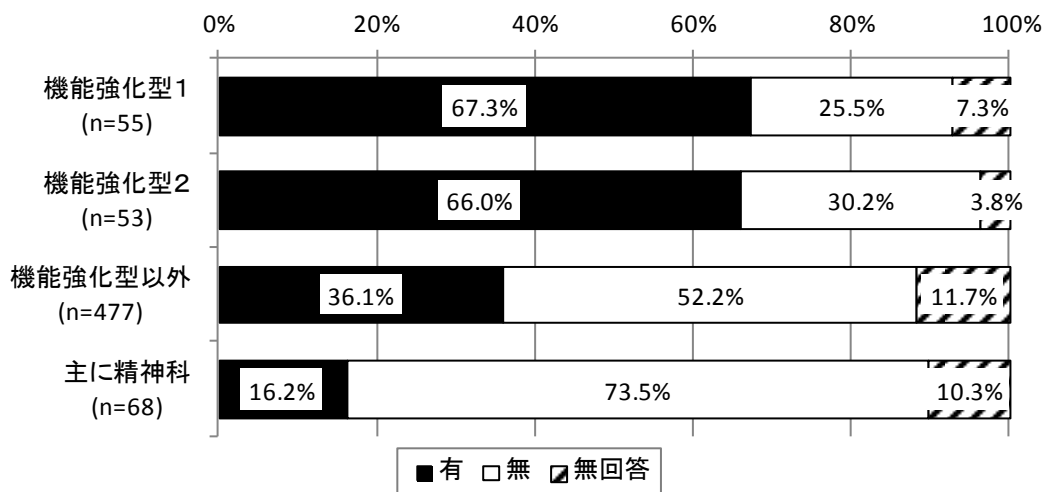


図表 130 日曜日（9月14日、21日）の計画的な訪問の実績数

単位：人

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	51	5.8	9.0	2.0
機能強化型 2	51	2.8	3.5	1.0
機能強化型以外	421	1.5	3.1	0.0
主に精神科	61	1.2	3.8	0.0

図表 131 日曜日（9月14日、21日）の計画的な訪問の実績

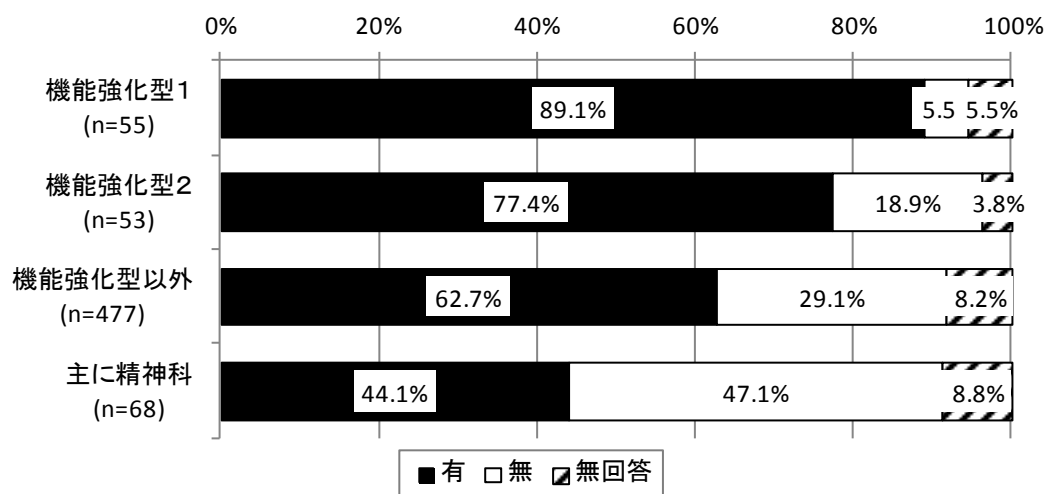


図表 132 祝日（9月15日、23日）の計画的な訪問の実績数

単位：人

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	52	15.8	15.7	10.0
機能強化型 2	51	10.6	20.1	4.0
機能強化型以外	438	4.3	6.1	2.0
主に精神科	62	8.3	14.1	0.0

図表 133 祝日（9月15日、23日）の計画的な訪問の実績



3) 早朝・夜間・深夜の計画的な訪問看護の実施状況

早朝・夜間・深夜の計画的な訪問看護の実施についてみると、平成26年9月において、「機能強化型1」では「有」が18.2%、「機能強化型2」では9.4%、「機能強化型以外」では8.6%、「主に精神科」では13.2%であった。

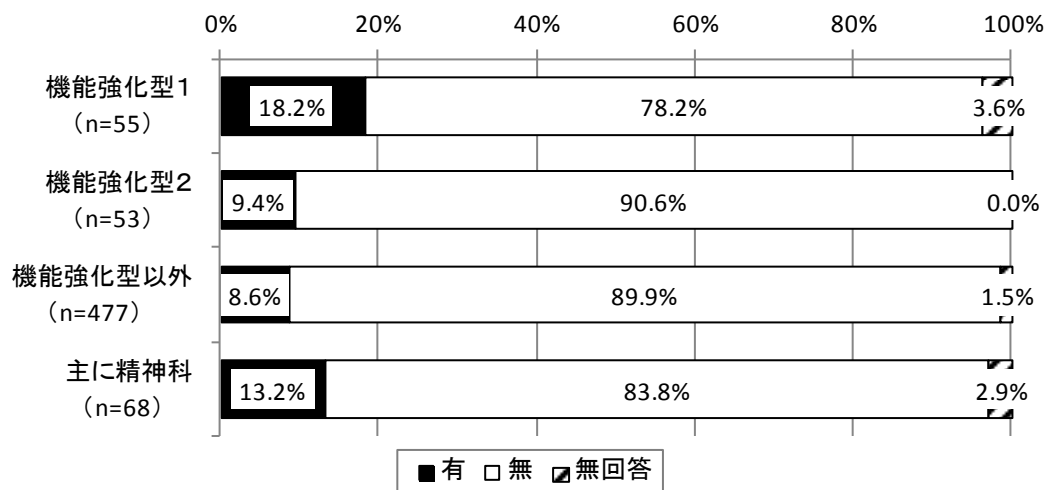
平成26年9月における、早朝・夜間・深夜の計画的な訪問看護の利用者数は、「機能強化型1」では平均2.0人、「機能強化型2」では平均1.4人、「機能強化型以外」、「主に精神科」ではそれぞれ平均1.6人であった。

平成26年9月における、早朝・夜間・深夜の計画的な訪問看護の延べ訪問回数は、「機能強化型1」では平均18.1回、「機能強化型2」では平均9.6回、「機能強化型以外」では平均17.8回、「主に精神科」では平均7.5回であった。

平成26年9月における、夜間・早朝訪問看護加算及び深夜訪問看護加算の算定人数は、「機能強化型1」では平均1.7人、「機能強化型2」、「機能強化型以外」ではそれぞれ平均1.0人、「主に精神科」では平均1.1人であった。

早朝・夜間・深夜の計画的な訪問看護の実施理由についてみると、「機能強化型1」では「点滴」が40.0%で最も多く、次いで「人工呼吸器等の医療機器の整理」、「服薬介助」、「その他のADL支援」が30.0%であった。「機能強化型2」では「たんの吸引」、「点滴」、「その他のADL支援」がいずれも40.0%で最も多かった。「機能強化型以外」では「その他のADL支援」が46.3%で最も多く、次いで「たんの吸引」(43.9%)、「服薬介助」(29.3%)であった。「主に精神科」では「その他のADL支援」が33.3%で最も多かった。

図表 134 早朝・夜間・深夜の計画的な訪問看護の実施の有無



図表 135 1事業所あたり 早朝・夜間・深夜の計画的な訪問看護の利用者数

単位：人

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	9	2.0	1.4	1.0
機能強化型 2	5	1.4	0.5	1.0
機能強化型以外	38	1.6	1.0	1.0
主に精神科	8	1.6	0.7	1.5

図表 136 1事業所あたり 早朝・夜間・深夜の計画的な訪問看護の延べ訪問回数

単位：回

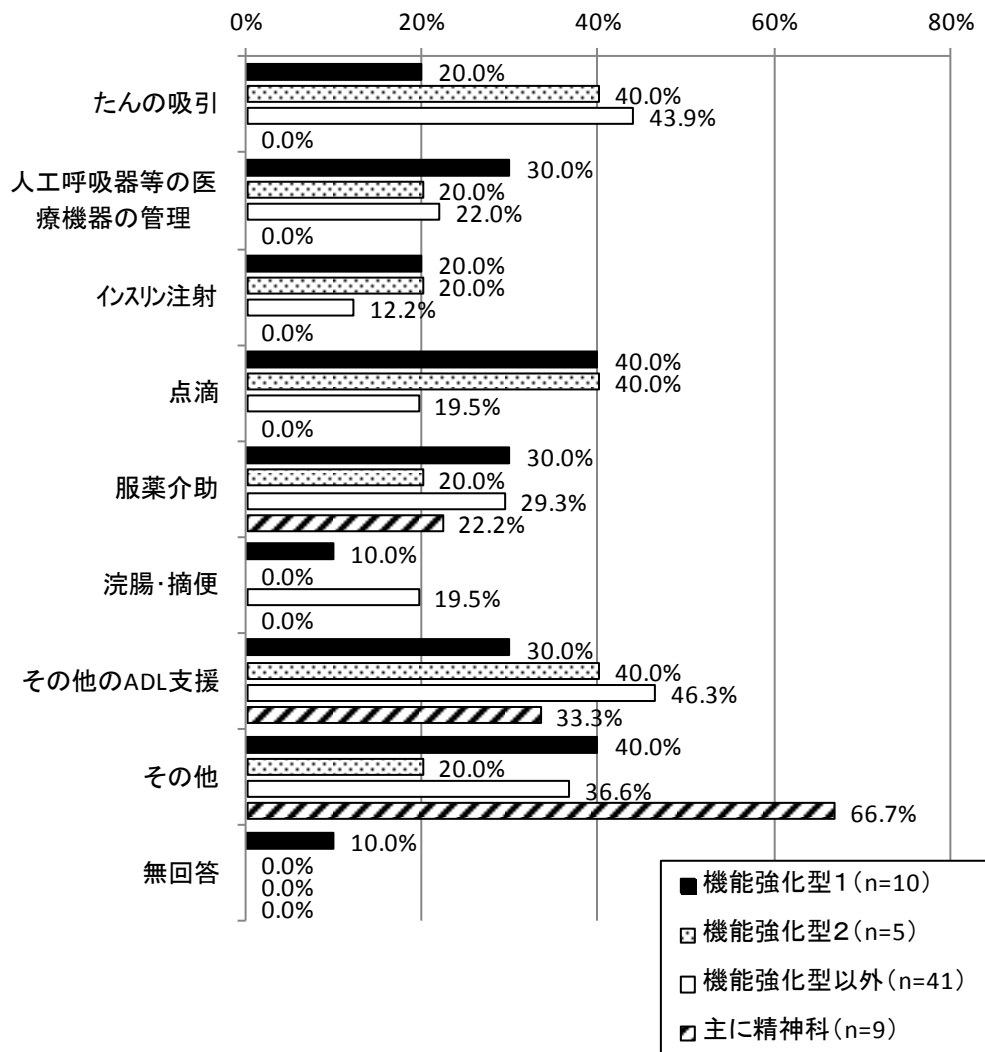
	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	9	18.1	25.0	11.0
機能強化型 2	5	9.6	11.3	4.0
機能強化型以外	36	17.8	28.7	7.5
主に精神科	8	7.5	6.8	6.0

図表 137 1事業所あたり 夜間・早朝訪問看護加算及び深夜訪問看護加算の算定人数

単位：人

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	9	1.7	1.6	1.0
機能強化型 2	5	1.0	1.0	1.0
機能強化型以外	38	1.0	1.0	1.0
主に精神科	8	1.1	1.0	1.0

図表 138 (有の場合) 早朝・夜間・深夜の計画的な訪問看護の訪問理由 (複数回答)



4) 緊急訪問回数

緊急訪問回数についてみると、平成26年9月において、「機能強化型1」では「早朝（6時～8時）」が平均0.6回、「平日・日中」が平均2.4回、「休日・日中」が平均1.6回、「夜間（18時～22時）」が平均1.9回、「深夜（22時～6時）」が平均1.7回であった。

図表 139 1事業所あたり緊急訪問回数：早朝（6時～8時）

単位：回

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	46	0.5	0.9	0.0		48	0.6	1.0	0.0
機能強化型2	47	0.3	0.8	0.0		47	0.4	0.7	0.0
機能強化型以外	372	0.1	0.4	0.0		417	0.1	0.4	0.0
主に精神科	49	0.0	-	0.0		56	0.0	0.1	0.0

図表 140 1事業所あたり緊急訪問回数：平日・日中

単位：回

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	46	2.4	3.5	1.0		48	2.4	3.1	2.0
機能強化型2	47	1.7	2.8	0.0		47	1.7	2.6	1.0
機能強化型以外	372	0.7	2.3	0.0		417	0.9	2.7	0.0
主に精神科	49	0.2	0.8	0.0		56	0.3	1.1	0.0

図表 141 1事業所あたり緊急訪問回数：休日・日中

単位：回

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	46	1.2	2.5	0.0		48	1.6	3.3	0.0
機能強化型2	47	0.8	1.7	0.0		47	0.9	1.6	0.0
機能強化型以外	372	0.5	1.8	0.0		417	0.5	1.6	0.0
主に精神科	49	0.0	0.1	0.0		56	0.0	0.1	0.0

図表 142 1事業所あたり緊急訪問回数：夜間（18時～22時）

単位：回

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	46	1.7	3.1	1.0		48	1.9	2.8	1.0
機能強化型 2	47	1.0	1.6	0.0		47	1.3	2.1	0.0
機能強化型以外	372	0.3	0.9	0.0		417	0.4	1.0	0.0
主に精神科	49	0.1	0.3	0.0		56	0.1	0.4	0.0

図表 143 1事業所あたり緊急訪問回数：深夜（22時～6時）

単位：回

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	46	1.2	2.9	0.0		48	1.7	2.7	0.0
機能強化型 2	47	0.4	1.0	0.0		47	0.6	1.4	0.0
機能強化型以外	372	0.2	0.7	0.0		417	0.2	0.7	0.0
主に精神科	49	0.0	0.3	0.0		56	0.1	0.3	0.0

5) 緊急訪問看護加算を算定せずに緊急訪問を行った経験の有無

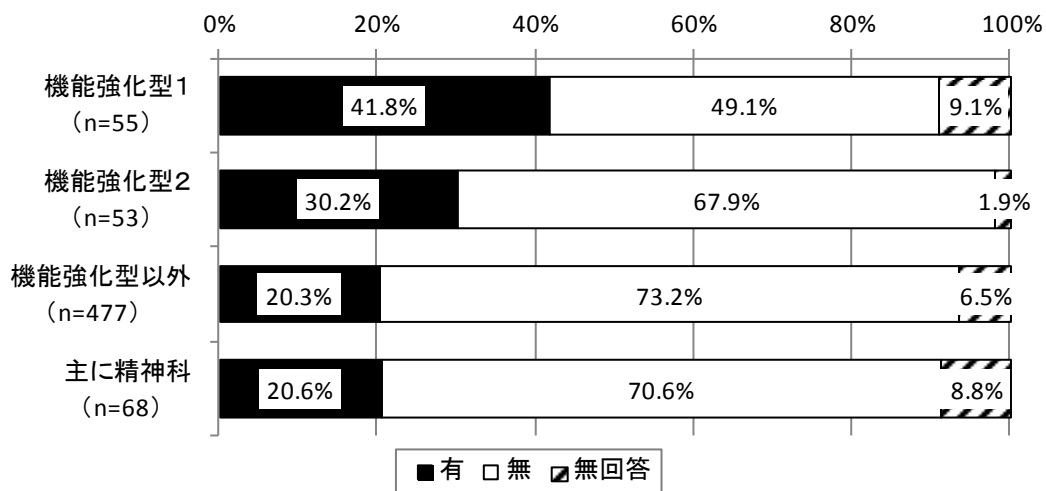
平成 26 年 9 月における、緊急訪問看護加算を算定せずに緊急訪問を行った経験の有無についてみると、「機能強化型 1」では「有」が 41.8%、「機能強化型 2」では 30.2%、「機能強化型以外」では 20.3%、「主に精神科」では 20.6%であった。

緊急訪問看護加算を算定せずに緊急訪問を行った提供人数（平成 26 年 9 月）は、「機能強化型 1」では平均 6.3 人であった。また、緊急訪問看護加算を算定せずに行った緊急訪問の延べ提供回数（平成 26 年 9 月）は、「機能強化型 1」では平均 10.3 回であった。

平成 26 年 9 月における、精神科訪問看護の利用者で、緊急訪問看護加算を算定せずに緊急訪問を行った経験の有無についてみると、「機能強化型 1」では「有」が 1.8%、「主に精神科」では 22.1%であった。

精神科訪問看護の利用者で、緊急訪問看護加算を算定せずに緊急訪問を行った利用者数（平成 26 年 9 月）は、「主に精神科」では平均 1.9 人であり、延べ提供回数（平成 26 年 9 月）は、「主に精神科」では平均 3.3 回であった。

図表 144 緊急訪問看護加算を算定せずに緊急訪問を行った経験の有無



図表 145 (有の場合) 提供人数

単位：人

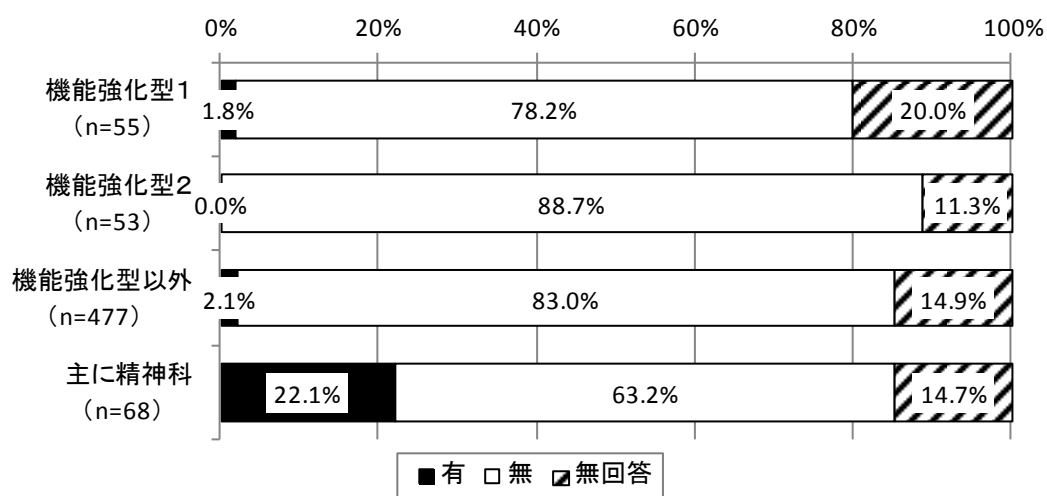
	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	23	6.3	6.6	4.0
機能強化型 2	16	3.0	2.4	2.0
機能強化型以外	95	2.3	2.4	2.0
主に精神科	13	1.5	0.9	1.0

図表 146 (有の場合) 延べ提供回数

単位：回

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	23	10.3	12.6	8.0
機能強化型 2	16	4.9	3.9	4.0
機能強化型以外	95	3.9	5.0	2.0
主に精神科	13	2.4	2.2	1.0

図表 147 精神科訪問看護の利用者で、緊急時訪問看護加算を算定せずに緊急訪問を行った経験の有無



図表 148 (有の場合) 提供人数：精神科訪問看護の利用者

単位：人

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	1	1.0	-	1.0
機能強化型 2	0	-	-	-
機能強化型以外	10	1.1	0.3	1.0
主に精神科	15	1.9	1.6	1.0

図表 149 (有の場合) 延べ提供回数：精神科訪問看護の利用者

単位：回

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	1	6.0	-	6.0
機能強化型 2	0	-	-	-
機能強化型以外	10	2.1	2.2	1.0
主に精神科	15	3.3	4.6	1.0

6) 時間外の電話相談の状況

平成 26 年 10 月 20 日～26 日の電話相談の件数（医療保険の利用者分、訪問をした場合は除く）についてみると、「早朝（6 時～8 時）」は、「機能強化型 1」では平均 0.6 件、「機能強化型 2」、「機能強化型以外」では平均 0.3 件、「主に精神科」では平均 1.6 件であった。

「機能強化型 1」では「休日・日中」が平均 1.8 件、「夜間（18 時～22 時）」が平均 2.5 件、「深夜（22 時～6 時）」が平均 1.2 件であった。

精神科訪問看護の利用者についてみると、「主に精神科」では「早朝（6 時～8 時）」が平均 1.7 件、「休日・日中」が平均 2.1 件、「夜間（18 時～22 時）」が平均 3.9 件、「深夜（22 時～6 時）」が平均 1.5 件であった。

図表 150 1 事業所あたり 電話のみの対応の場合の電話の件数：早朝（6 時～8 時）
（平成 26 年 10 月 20 日～26 日）

単位：件

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	42	0.6	1.1	0.0
機能強化型 2	47	0.3	0.7	0.0
機能強化型以外	397	0.3	1.2	0.0
主に精神科	58	1.6	4.7	0.0

図表 151 1 事業所あたり 電話のみの対応の場合の電話の件数：休日・日中
（平成 26 年 10 月 20 日～26 日）

単位：件

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	42	1.8	2.6	1.0
機能強化型 2	47	0.7	1.4	0.0
機能強化型以外	397	0.4	1.4	0.0
主に精神科	58	2.1	4.6	0.0

図表 152 1 事業所あたり 電話のみの対応の場合の電話の件数：夜間（18 時～22 時）
（平成 26 年 10 月 20 日～26 日）

単位：件

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	42	2.5	3.3	1.0
機能強化型 2	47	1.2	3.1	0.0
機能強化型以外	397	0.5	1.5	0.0
主に精神科	58	3.9	7.8	0.0

図表 153 1事業所あたり 電話のみの対応の場合の電話の件数：深夜（22時～6時）
（平成26年10月20日～26日）

単位：件

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	42	1.2	2.2	0.0
機能強化型2	47	0.5	1.5	0.0
機能強化型以外	397	0.2	0.8	0.0
主に精神科	58	1.5	5.4	0.0

図表 154 （精神科訪問看護の利用者）1事業所あたり 電話のみの対応の場合の電話の件数：
早朝（6時～8時）（平成26年10月20日～26日）

単位：件

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	41	0.1	0.4	0.0
機能強化型2	43	0.0	0.2	0.0
機能強化型以外	383	0.0	0.3	0.0
主に精神科	59	1.7	4.7	0.0

図表 155 （精神科訪問看護の利用者）1事業所あたり 電話のみの対応の場合の電話の件数：
休日・日中（平成26年10月20日～26日）

単位：件

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	41	0.4	1.6	0.0
機能強化型2	43	0.0	0.2	0.0
機能強化型以外	383	0.1	1.0	0.0
主に精神科	59	2.1	4.6	0.0

図表 156 （精神科訪問看護の利用者）1事業所あたり 電話のみの対応の場合の電話の件数：
夜間（18時～22時）（平成26年10月20日～26日）

単位：件

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	41	0.3	1.6	0.0
機能強化型2	43	0.1	0.5	0.0
機能強化型以外	383	0.1	0.6	0.0
主に精神科	59	3.9	7.7	0.0

図表 157 (精神科訪問看護の利用者) 1事業所あたり 電話のみの対応の場合の電話の件数：
深夜(22時～6時)(平成26年10月20日～26日)

単位：件

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	41	0.1	0.7	0.0
機能強化型2	43	0.0	-	0.0
機能強化型以外	383	0.0	0.2	0.0
主に精神科	59	1.5	5.4	0.0

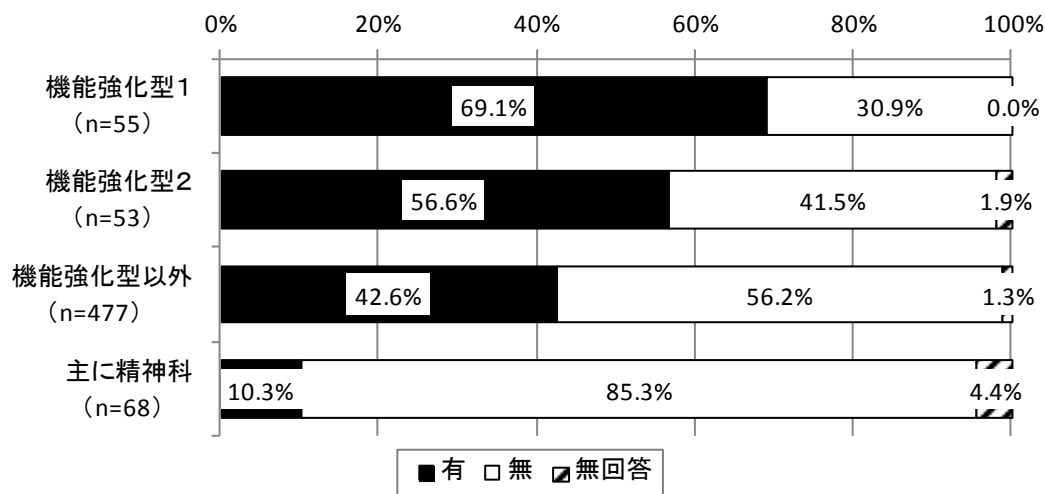
(7) 他の訪問看護ステーション、医療機関、居宅介護支援事業所等との連携状況

1) 複数事業所による訪問看護療養費の算定

複数事業所による訪問看護の利用者の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が69.1%、「機能強化型2」では56.6%、「機能強化型以外」では42.6%、「主に精神科」では10.3%であった。

複数事業所による訪問看護が実施されている場合、その利用者数は、「機能強化型1」では平均2.6人、「機能強化型2」では平均2.0人、「機能強化型以外」では平均2.2人、「主に精神科」では平均1.1人であった。

図表 158 複数事業所による訪問看護の利用者の有無



図表 159 (有の場合) 複数事業所からの訪問看護の利用者数 (1事業所あたり)

単位：人

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	36	2.6	1.7	2.0
機能強化型2	30	2.0	1.4	2.0
機能強化型以外	188	2.2	2.3	1.0
主に精神科	7	1.1	0.4	1.0

2) 同一敷地内の居宅介護支援事業所における介護サービス計画・介護サービス予防計画（医療保険の利用者）

同一敷地内に居宅介護支援事業所がある場合、その居宅介護支援事業所において、介護サービス計画・介護サービス予防計画が作成された医療保険の利用者数についてみると、「機能強化型1」では平成25年9月が平均7.8人、平成26年9月が平均9.3人であった。

図表 160 （同一敷地内に居宅介護支援事業所がある場合）同一敷地内の居宅介護支援事業所において、介護サービス計画・介護サービス予防計画が作成された利用者数
（1事業所あたり）（医療保険の利用者）

単位：人

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	46	7.8	6.6	7.0		49	9.3	8.0	9.0
機能強化型2	45	8.0	12.6	5.0		48	9.9	17.5	5.0
機能強化型以外	233	2.7	3.4	2.0		262	2.5	3.2	1.0
主に精神科	8	0.9	1.4	0.5		8	1.5	2.1	0.0

3) 同一敷地内の居宅介護支援事業所における介護サービス計画・介護サービス予防計画（介護保険の利用者）

同一敷地内の居宅介護支援事業所において、介護サービス計画・介護サービス予防計画が作成された利用者数（介護保険の利用者）についてみると、「機能強化型1」では平成25年9月が平均34.0人、平成26年9月が平均35.8人であった。

図表 161 （同一敷地内に居宅介護支援事業所がある場合）同一敷地内の居宅介護支援事業所において、介護サービス計画・介護サービス予防計画が作成された利用者数
（1事業所あたり）（介護保険の利用者）

単位：人

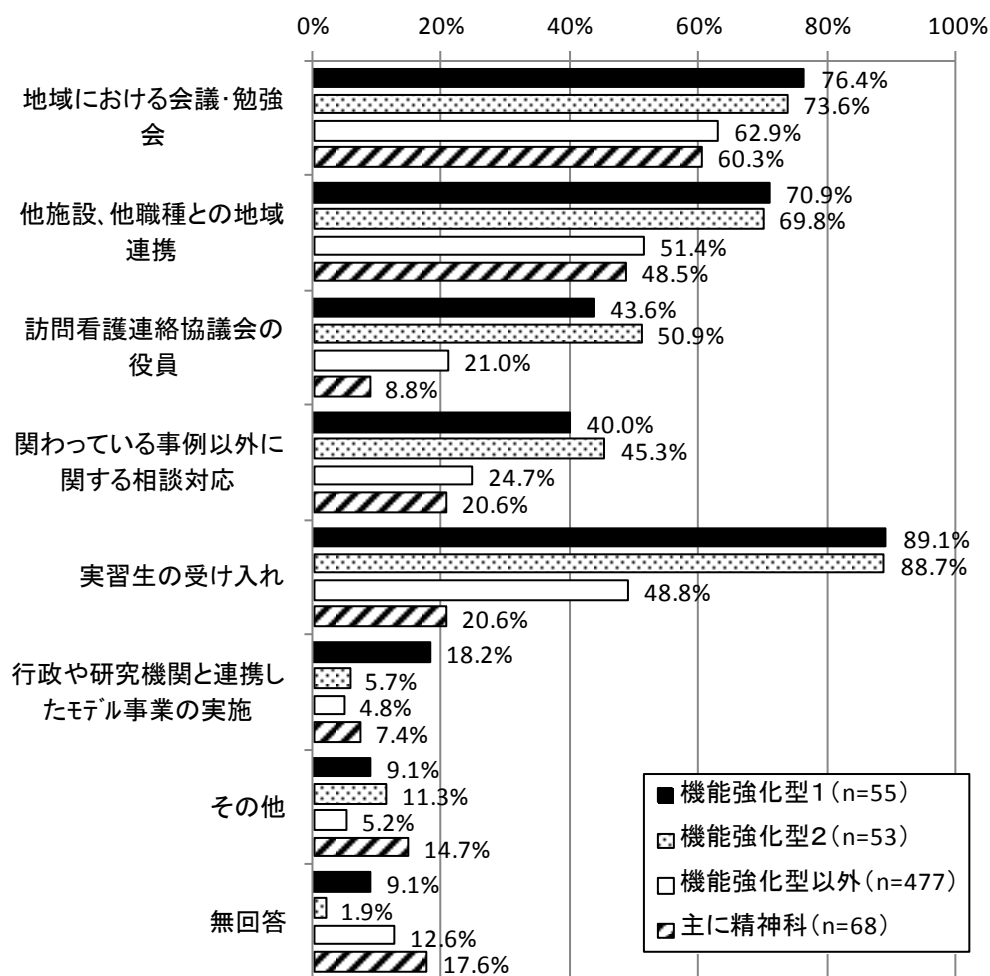
	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	46	34.0	28.5	25.0		49	35.8	27.7	29.0
機能強化型2	47	25.1	18.8	18.0		48	27.1	19.0	23.0
機能強化型以外	228	17.2	16.3	14.0		258	16.7	15.4	13.0
主に精神科	7	5.4	3.6	4.0		8	3.3	2.0	3.5

4) 地域住民などに対する情報提供や相談、研修等

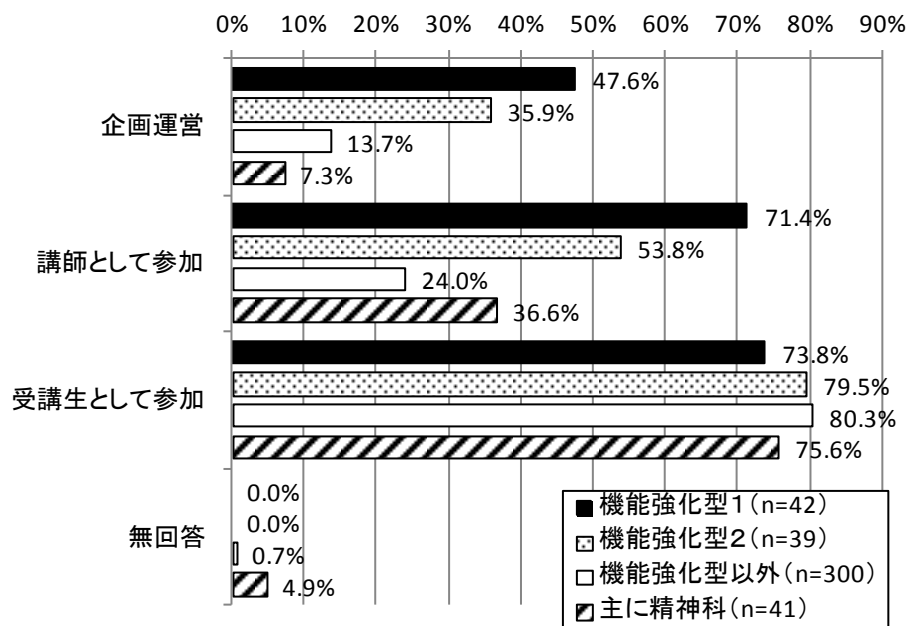
平成26年4月～9月の6か月間における、地域住民などに対する情報提供や相談、人材育成のための研修として実施したことをみると、「機能強化型1」では「実習生の受け入れ」が89.1%、「地域における会議・勉強会」は76.4%で、「他施設・他職種との地域連携」は70.9%であった。

地域における会議・勉強会が「有」の場合、その「参加方法」についてみると、「機能強化型1」では「企画運営」が47.6%、「講師として参加」が71.4%で他と比較して高かった。

図表 162 地域住民などに対する情報提供や相談、研修等（複数回答）



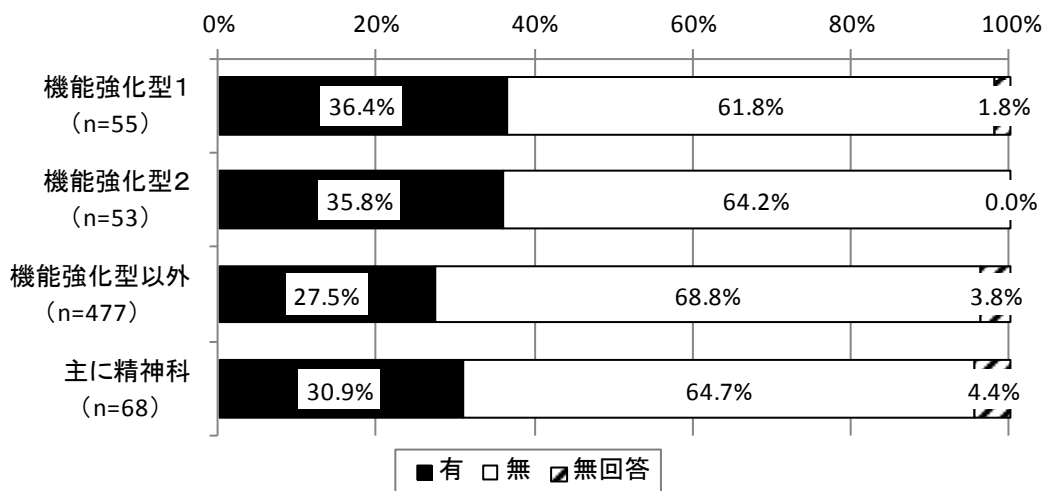
図表 163 (地域における会議・勉強会有の場合) 参加方法 (複数回答)



5) 近隣ステーションとの空き情報等を共有するネットワーク

近隣ステーションとの空き情報等を共有するネットワークについてみると、「機能強化型1」では「有」が36.4%、「機能強化型2」では35.8%、「機能強化型以外」では27.5%、「主に精神科」では30.9%であった。

図表 164 近隣ステーションとの空き情報等を共有するネットワークの有無



6) 利用者への指示書の発行元の病院数

利用者への指示書の発行元の病院数についてみると、「機能強化型1」では平均 12.9 施設、「機能強化型2」では平均 10.7 施設、「機能強化型以外」では平均 8.6 施設、「主に精神科」では平均 7.1 施設であった。

図表 165 利用者への指示書の発行元の病院数（1事業所あたり）

単位：施設

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	46	12.9	7.8	11.5
機能強化型2	46	10.7	6.6	9.5
機能強化型以外	405	8.6	6.5	7.0
主に精神科	56	7.1	5.2	6.0

7) 利用者への指示書の発行元の診療所数

利用者への指示書の発行元の診療所数についてみると、「機能強化型1」では平均 25.0 施設、「機能強化型2」では平均 19.6 施設、「機能強化型以外」では平均 12.6 施設、「主に精神科」では平均 7.2 施設であった。

図表 166 利用者への指示書の発行元の診療所数（1事業所あたり）

単位：施設

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	46	25.0	18.6	22.0
機能強化型2	46	19.6	15.1	17.5
機能強化型以外	403	12.6	11.7	10.0
主に精神科	56	7.2	8.2	4.5

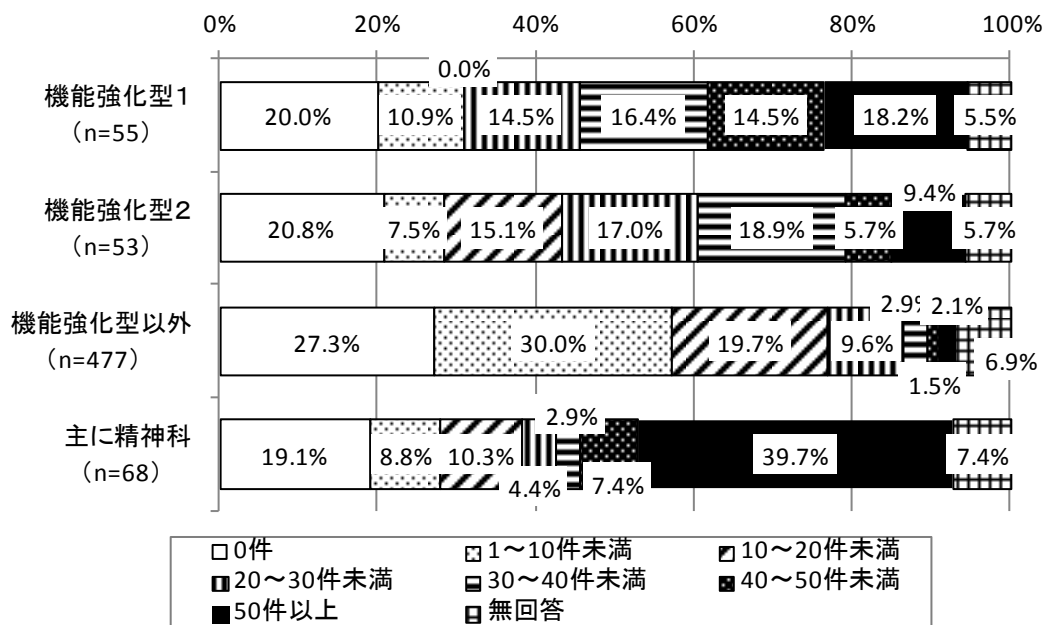
8) 市区町村への情報提供の件数

市区町村への情報提供の件数についてみると、「機能強化型1」では平均32.0件、「機能強化型2」では平均21.6件、「機能強化型以外」では平均10.2件、「主に精神科」では平均50.2件であった。

図表 167 市区町村への情報提供の件数（1事業所あたり）

単位：件

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	52	32.0	31.3	31.0
機能強化型2	50	21.6	17.9	21.5
機能強化型以外	444	10.2	14.1	6.0
主に精神科	63	50.2	59.4	40.0



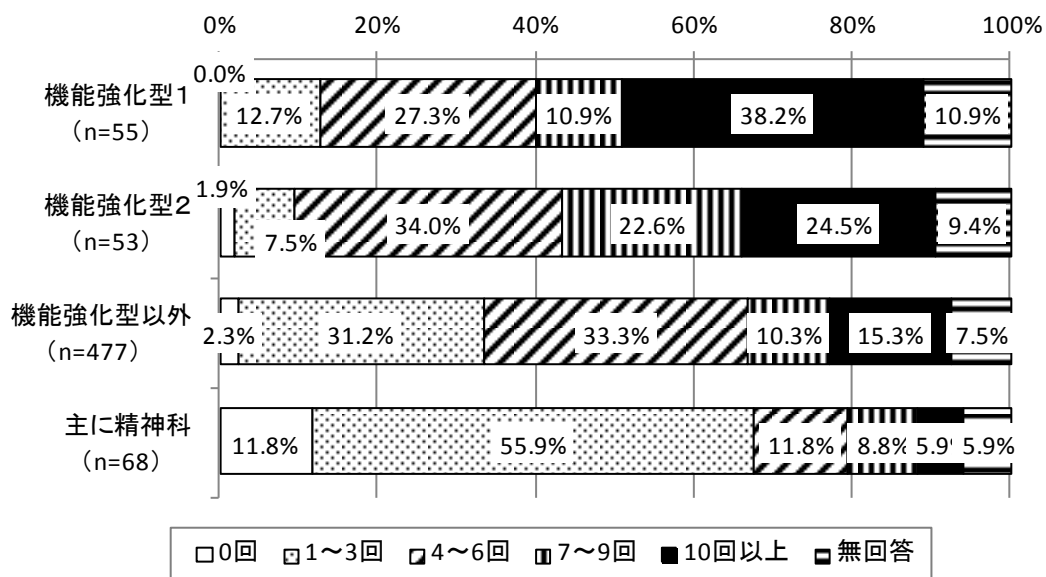
9) サービス担当者会議への参加回数

平成 26 年 9 月における、サービス担当者会議への参加回数についてみると、「機能強化型 1」では平均 10.7 回、「機能強化型 2」では平均 7.7 回、「機能強化型以外」では平均 5.7 回、「主に精神科」では平均 3.2 回であった。

図表 168 サービス担当者会議への参加回数（1 事業所あたり）

単位：回

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	49	10.7	9.3	7.0
機能強化型 2	48	7.7	5.2	7.0
機能強化型以外	441	5.7	5.8	5.0
主に精神科	64	3.2	3.2	2.0

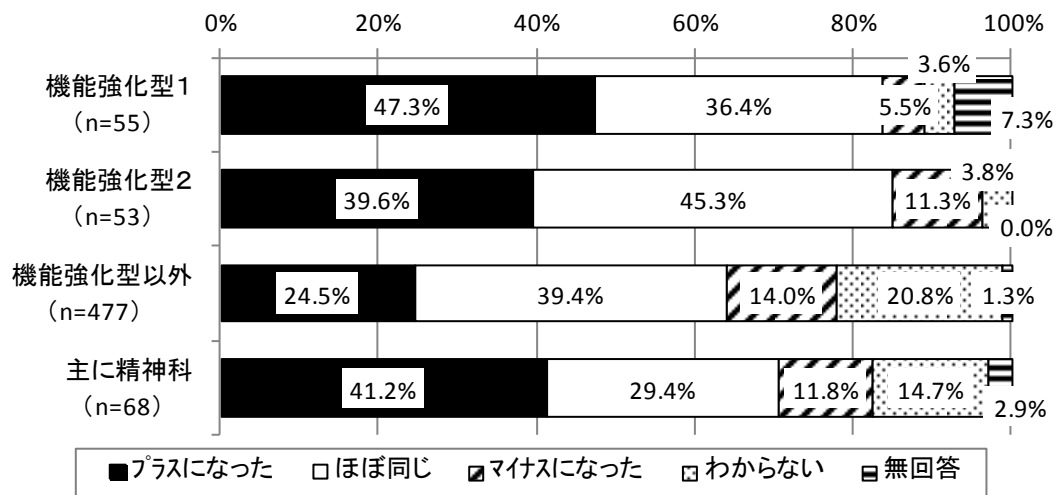


(8) 事業所の収支や事業所運営の方針等

1) 報酬改定前後の収支の変化

報酬改定前後の収支の変化についてみると、「機能強化型1」では「プラスになった」が47.3%で約半数であった。「機能強化型2」では「ほぼ同じ」が45.3%、「プラスになった」が39.6%であった。「機能強化型以外」でも「ほぼ同じ」が39.4%で最も多く、「プラスになった」が24.5%であり、「マイナスになった」が14.0%であった。「主に精神科」では「プラスになった」が41.2%であった。

図表 169 報酬改定前後の収支の変化

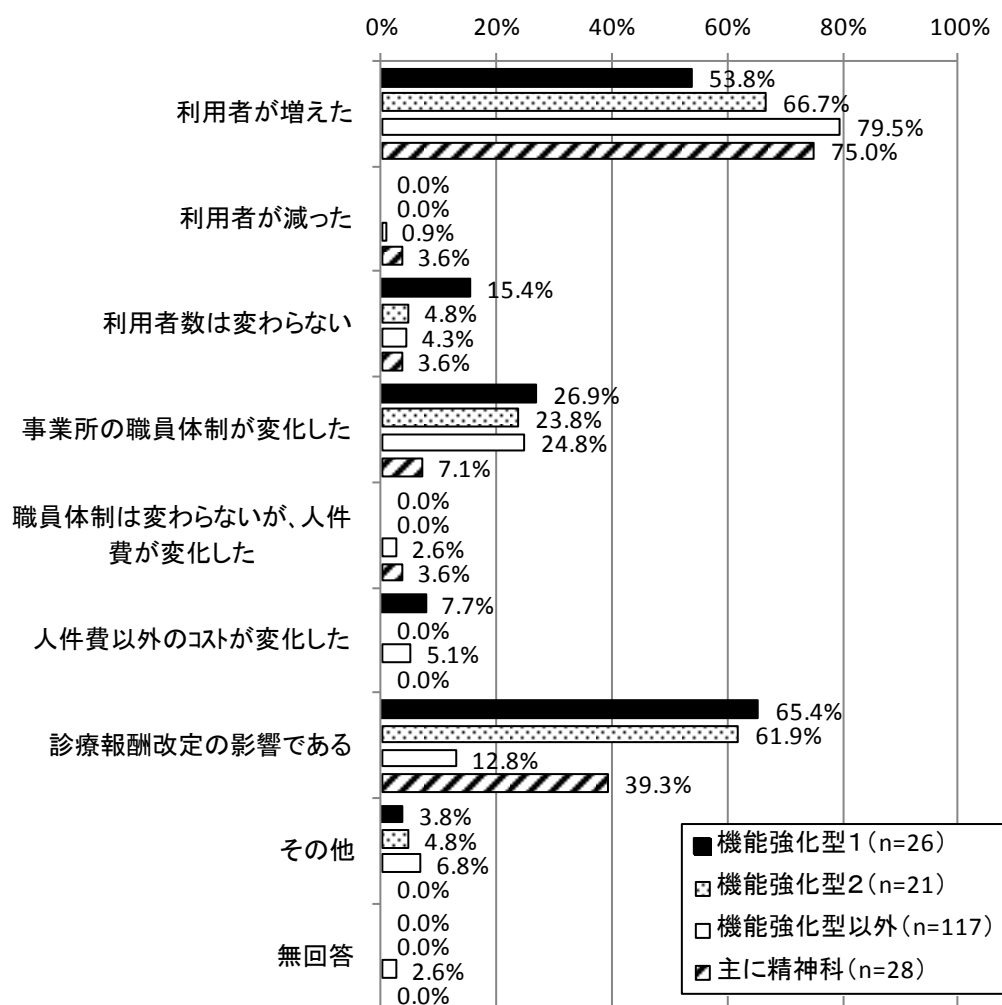


2) 報酬改定前と比べての収支の変化の理由

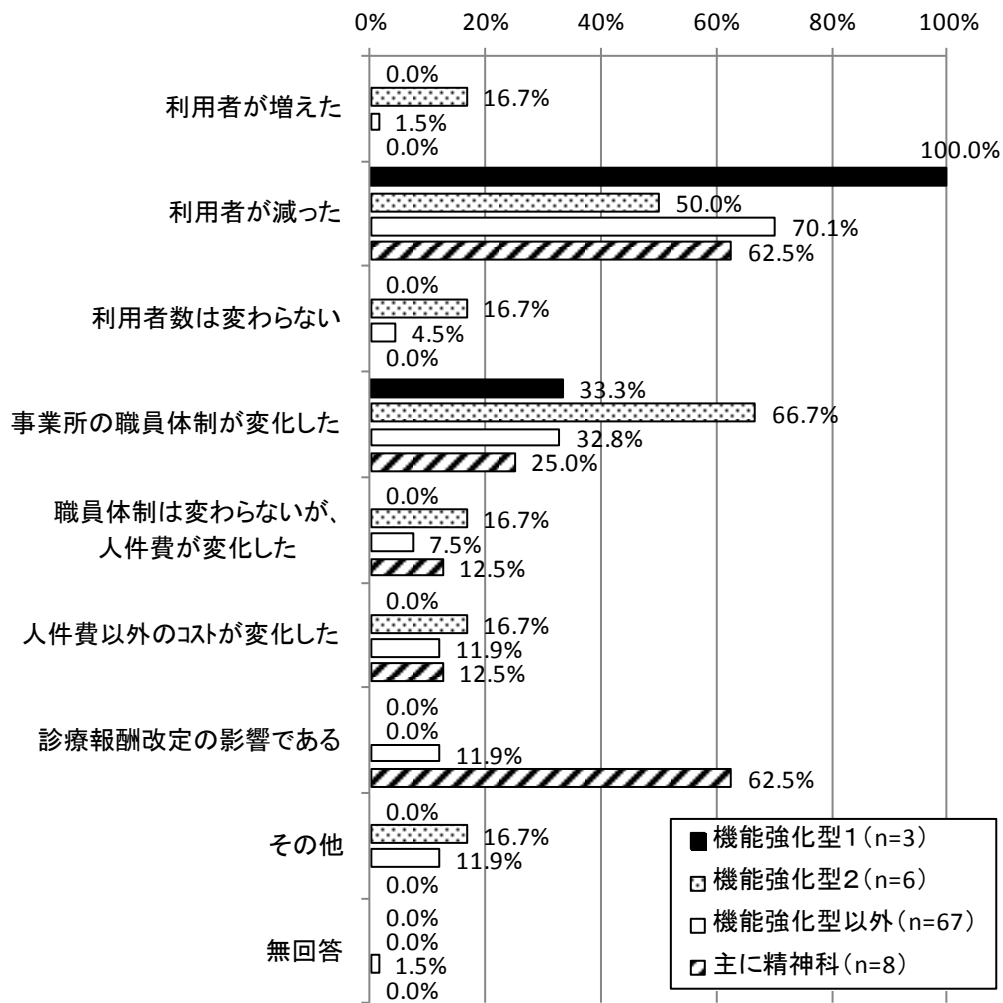
報酬改定前後の収支の変化がプラスの場合、その理由をたずねたところ、「機能強化型1」では「診療報酬改定の影響である」が65.4%、「利用者が増えた」が53.8%で、「事業所の職員体制が変化した」が26.9%であった。

報酬改定前後の収支の変化がマイナスの場合、その理由についてみると、「機能強化型以外」では「利用者が減った」が70.1%、「事業所の職員体制が変化した」が32.8%であった。

図表 170 (プラスの場合) 報酬改定前と比べての収支が「プラスになった」理由



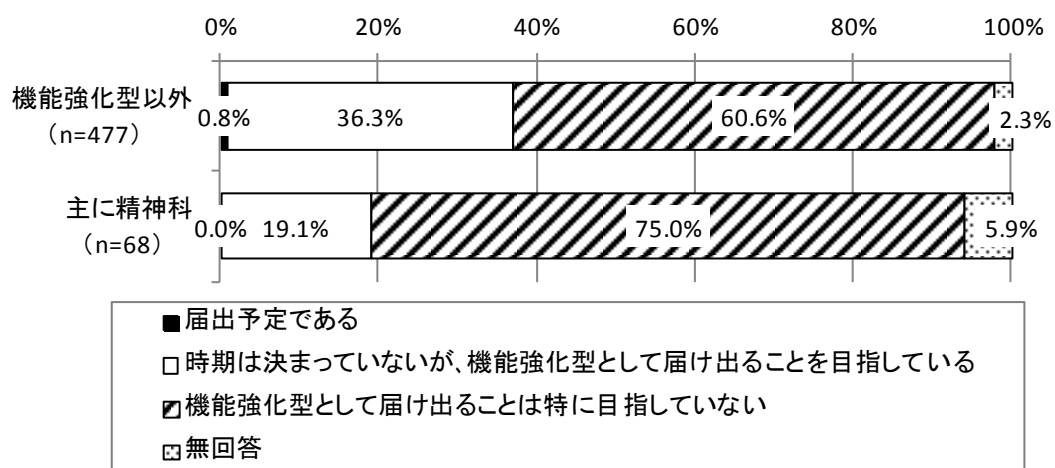
図表 171 (マイナスの場合) 報酬改定前と比べての収支が「マイナスになった」理由



3) 機能強化型の届出の検討の状況

機能強化型の届出の検討状況についてみると、「機能強化型以外」では「機能強化型として届け出ることには特に目指していない」が60.6%、「時期は決まっていないが、機能強化型として届け出ることを目指している」が36.3%であった。「主に精神科」では「機能強化型として届け出ることには特に目指していない」が75.0%、「時期は決まっていないが、機能強化型として届け出ることを目指している」が19.1%であった。

図表 172 機能強化型の届出の検討状況

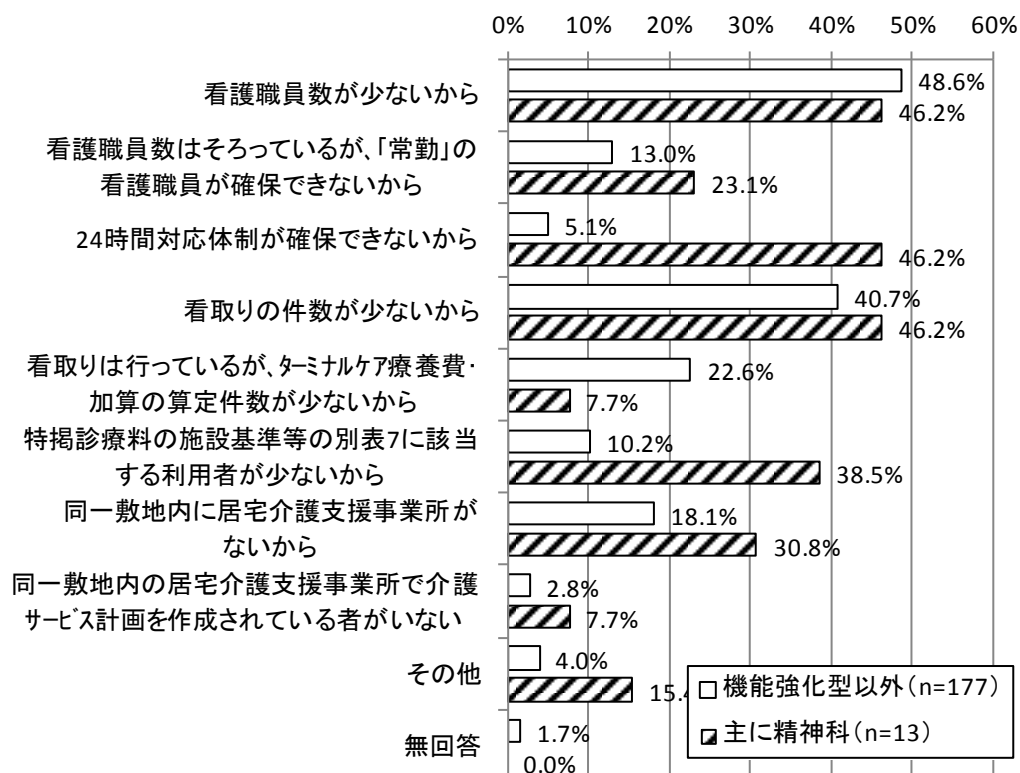


4) 機能強化型の届出なしの理由・最も困難と考えられる要件

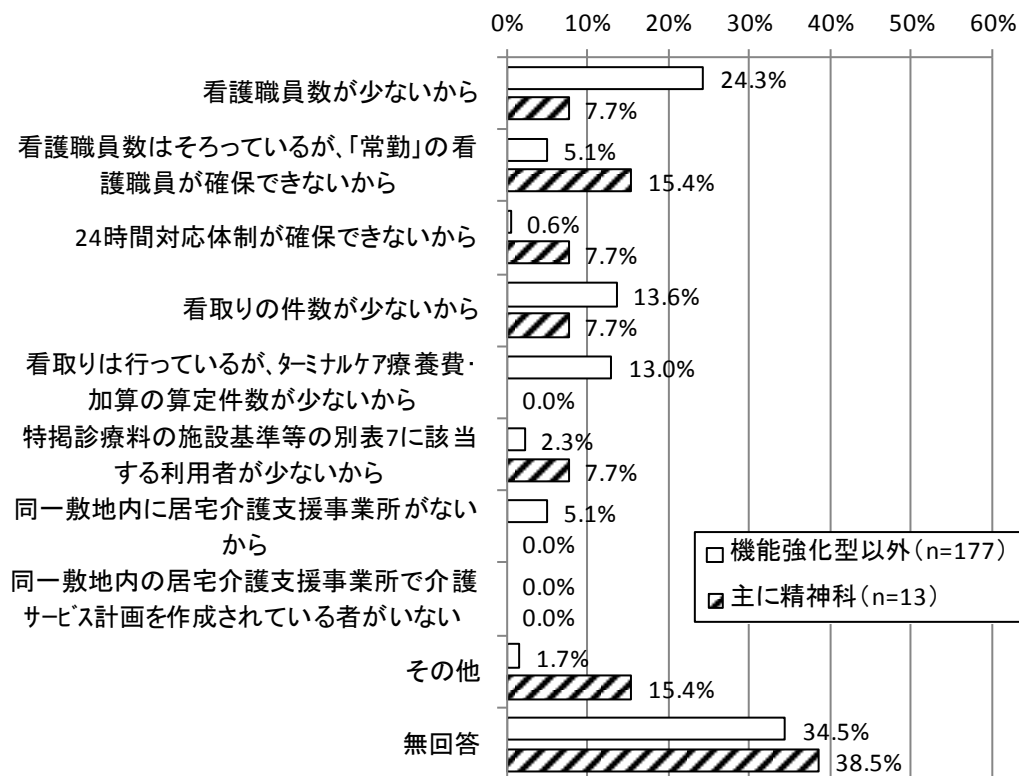
機能強化型の届出をしていない理由についてみると、「機能強化型以外」では「看護職員数が少ないから」が48.6%、「看取りの件数が少ないから」が40.7%で、「看取りは行っているが、ターミナルケア療養費・加算の算定件数が少ないから」が22.6%であった。「主に精神科」では「看護職員数が少ないから」、「24時間対応体制が確保できないから」、「看取りの件数が少ないから」がいずれも46.2%で最も多かった。

機能強化型の届出を行う上で最も困難と考えられる要件についてみると、「機能強化型以外」では「看護職員数が少ないから」が24.3%で最も多く、次いで「看取りの件数が少ないから」が13.6%で、「看取りは行っているが、ターミナルケア療養費・加算の算定件数が少ないから」が13.0%であった。「主に精神科」では「看護職員数はそろっているが、『常勤』の看護職員が確保できないから」が15.4%で最も多く、次いで「看護職員数が少ないから」、「24時間対応体制が確保できないから」、「看取りの件数が少ないから」、「特掲診療料の施設基準等の別表7に該当する利用者が少ないから」がいずれも7.7%であった。

図表 173 機能強化型の届出なしの理由（複数回答）



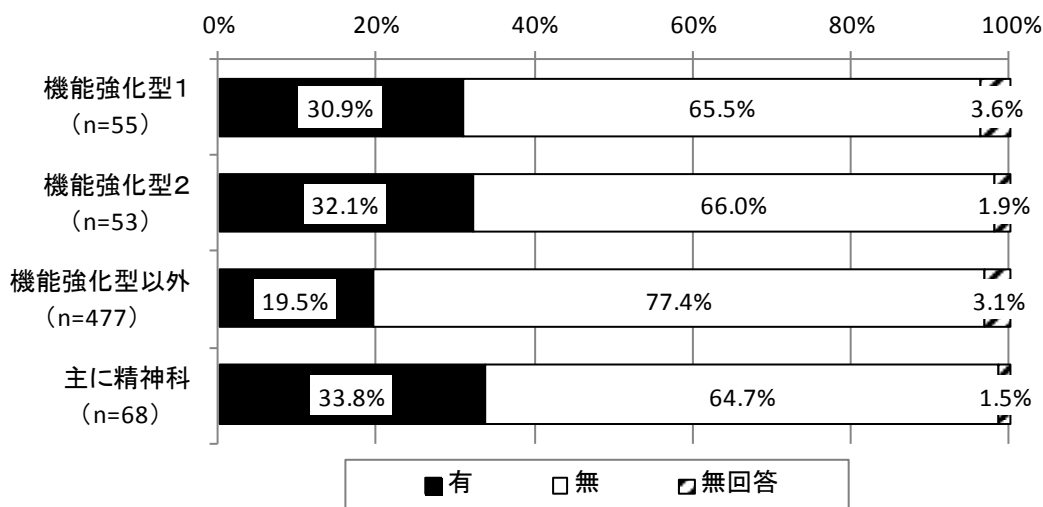
図表 174 機能強化型の届出を行う上で最も困難と考えられる要件（単数回答）



5) 受入れを断った利用希望者の有無

過去3か月以内に、受入れを断った利用希望者の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が30.9%、「機能強化型2」では32.1%、「機能強化型以外」では19.5%、「主に精神科」では33.8%であった。

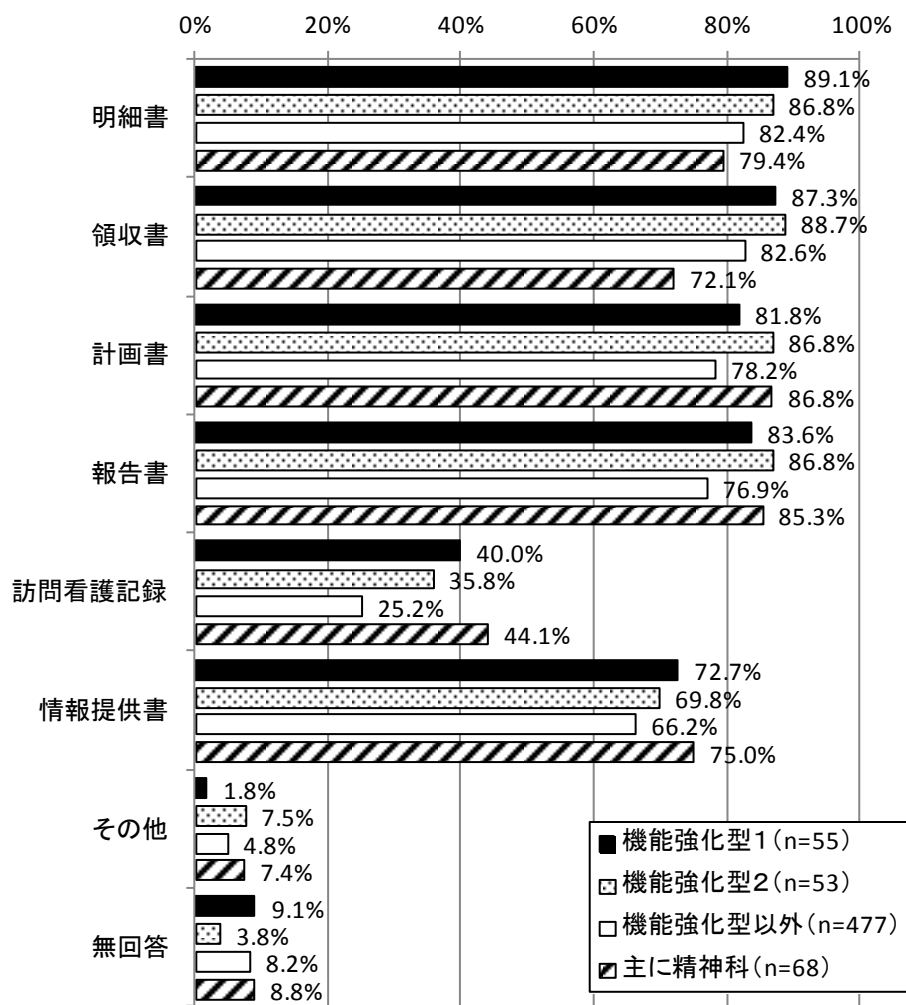
図表 175 受入れを断った利用希望者の有無



6) 電子化の状況

電子化の状況についてみると、「機能強化型1」では「明細書」が89.1%、「領収書」が87.3%、「計画書」が81.8%、「報告書」が83.6%、「情報提供書」が72.7%であった。一方、「訪問看護記録」は40.0%と比較的低かった。

図表 176 電子化の状況



3 利用者調査

【調査対象等】

調査対象：訪問看護ステーション調査の対象事業所の利用者のうち、医療保険での訪問看護を利用している人を対象とした。

1事業所につき4名を本調査の対象とした。4名の抽出は、各ステーションにおいて、調査日に訪問順が早い順に4名とした。客体数は5,228人(4×1,307=5,228人)となった。

回答数：利用者票(事業所記入分)は2,104件

利用者票(利用者記入分)の有効回答は、利用者票(事業所記入分)と利用者票(利用者記入分)の事業所ID、性別、年齢(原則、±1歳の範囲)が一致した調査票とし、1,504件であった。

回答者：利用者票(事業所記入分)－事業所職員

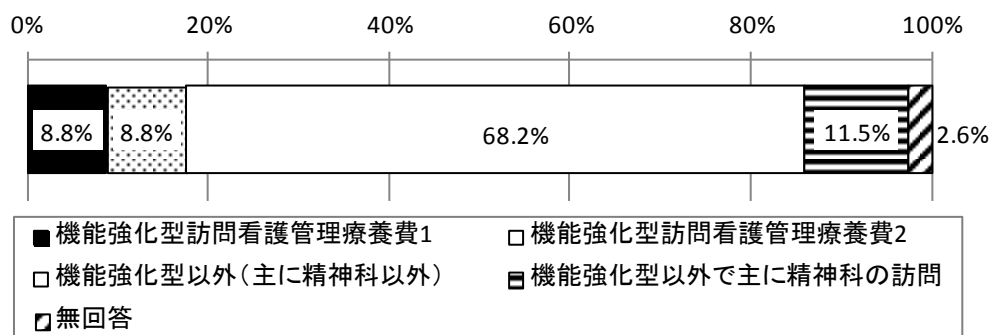
利用者票(利用者記入分)－利用者本人、家族等

(1) 利用者の属性・病状等(事業所記入分)

1) 事業所の種類

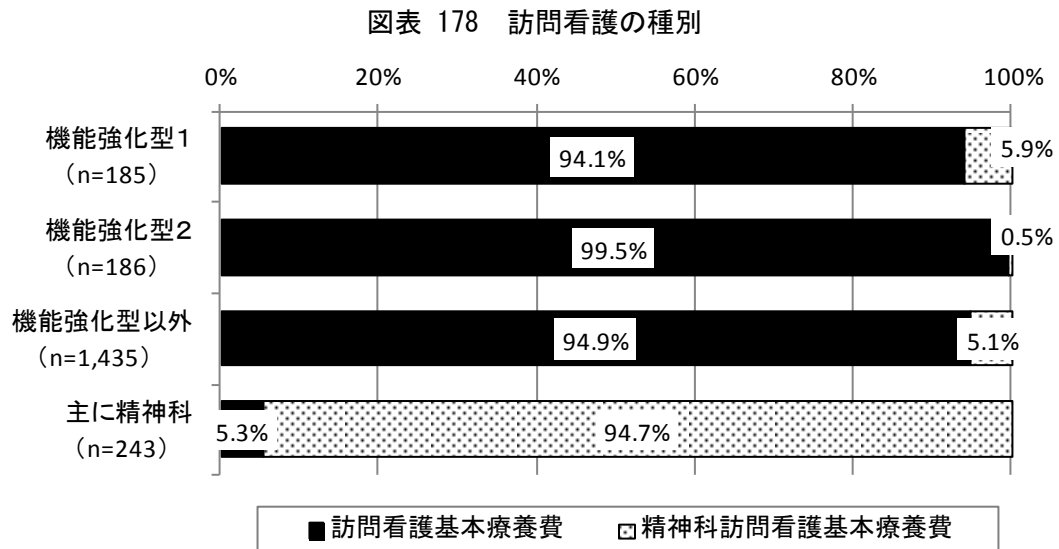
有効回答が得られた2,104人の事業所の種類は、「機能強化型訪問看護管理療養費1」、「機能強化型訪問看護管理療養費2」がそれぞれ8.8%、「機能強化型以外(主に精神科以外)」が68.2%、「機能強化型以外で主に精神科の訪問」が11.5%であった。

図表 177 事業所の種類 (n=2,104)



2) 訪問看護の種別

利用者の算定している訪問看護の種別についてみると、「機能強化型1」では「訪問看護基本療養費」が94.1%、「精神科訪問看護基本療養費」が5.9%であった。「機能強化型2」では「訪問看護基本療養費」が99.5%、「精神科訪問看護基本療養費」が0.5%であった。「機能強化型以外」では「訪問看護基本療養費」が94.9%、「精神科訪問看護基本療養費」が5.1%であった。「主に精神科」では「訪問看護基本療養費」が5.3%、「精神科訪問看護基本療養費」は94.7%であった。

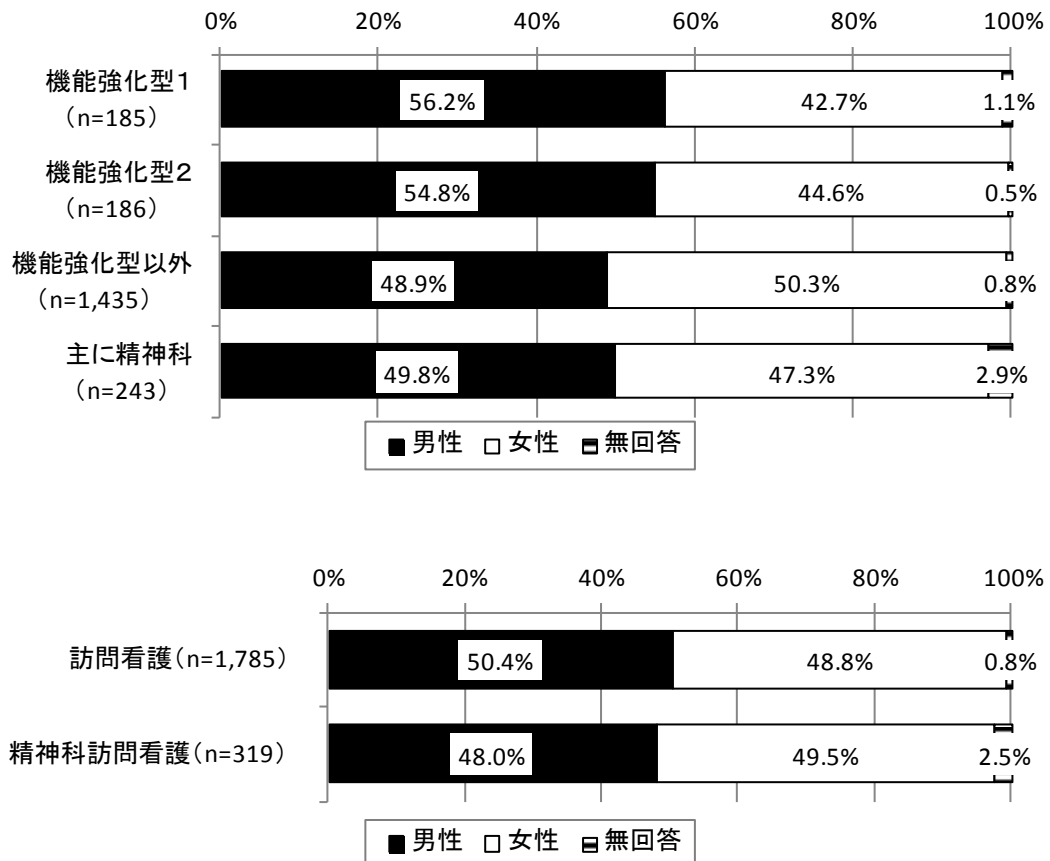


3) 基本情報・傷病等

①性別

利用者の性別についてみると、「機能強化型1」では「男性」が56.2%、「女性」が42.7%であった。また、「訪問看護」では「男性」が50.4%、「女性」が48.8%であり、「精神科訪問看護」では「男性」が48.0%、「女性」が49.5%であった。

図表 179 性別

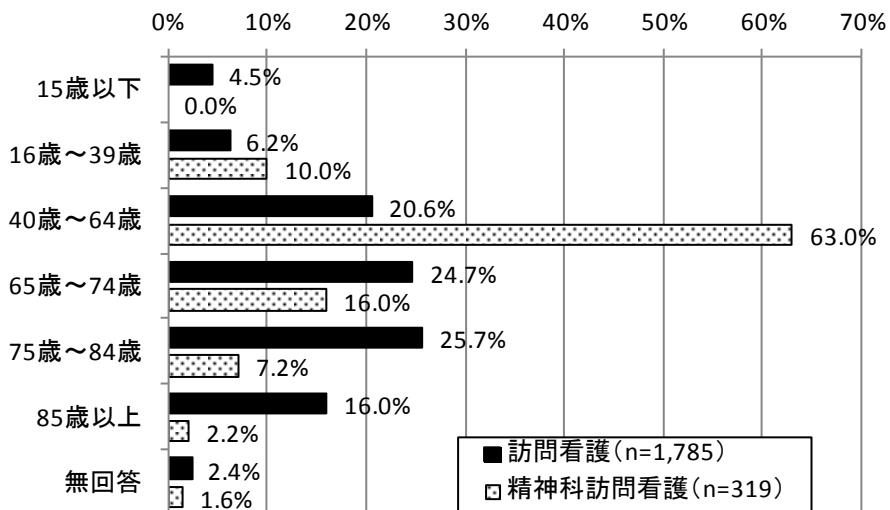
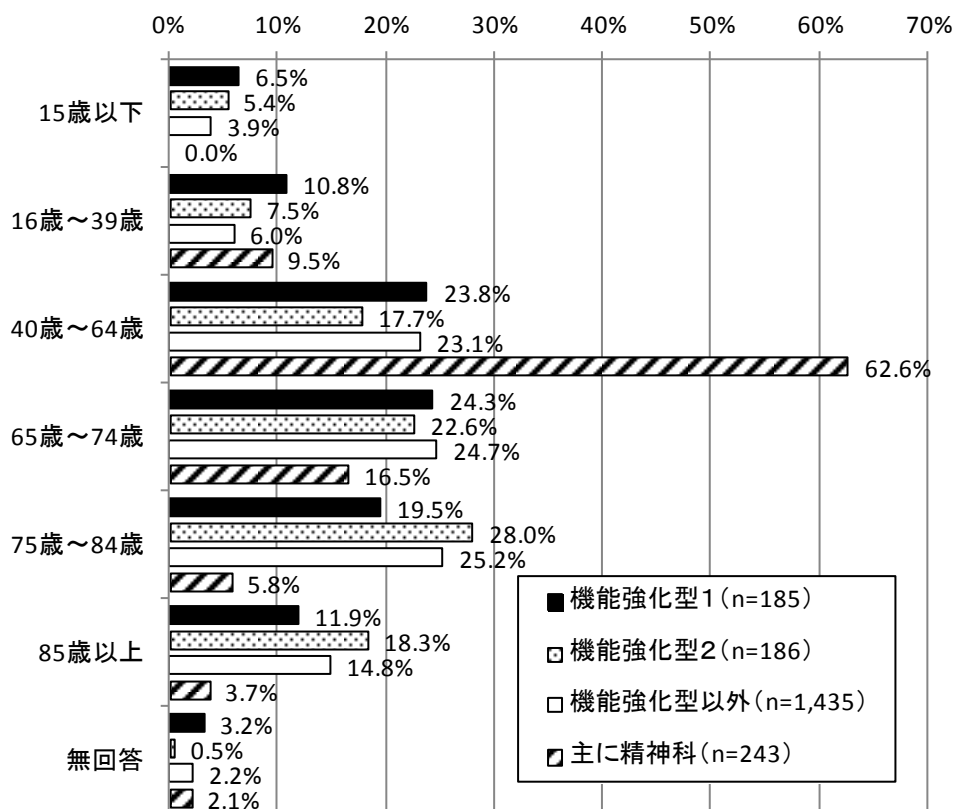


②年齢

利用者の年齢についてみると、「機能強化型 1」では「65 歳～74 歳」が 24.3%で最も多く、次いで「40 歳～64 歳」が 23.8%、「75～84 歳」が 19.5%であった。また、「精神科訪問看護」では「40 歳～64 歳」が 63.0%で最も多かった。

平均年齢をみると、「機能強化型 1」では平均 62.3 歳、「機能強化型 2」では平均 67.5 歳、「機能強化型以外」では平均 66.6 歳、「主に精神科」では平均 56.3 歳であった。また、「訪問看護」では平均 67.0 歳、「精神科訪問看護」では平均 55.9 歳であった。

図表 180 年齢



図表 181 年齢

単位：歳

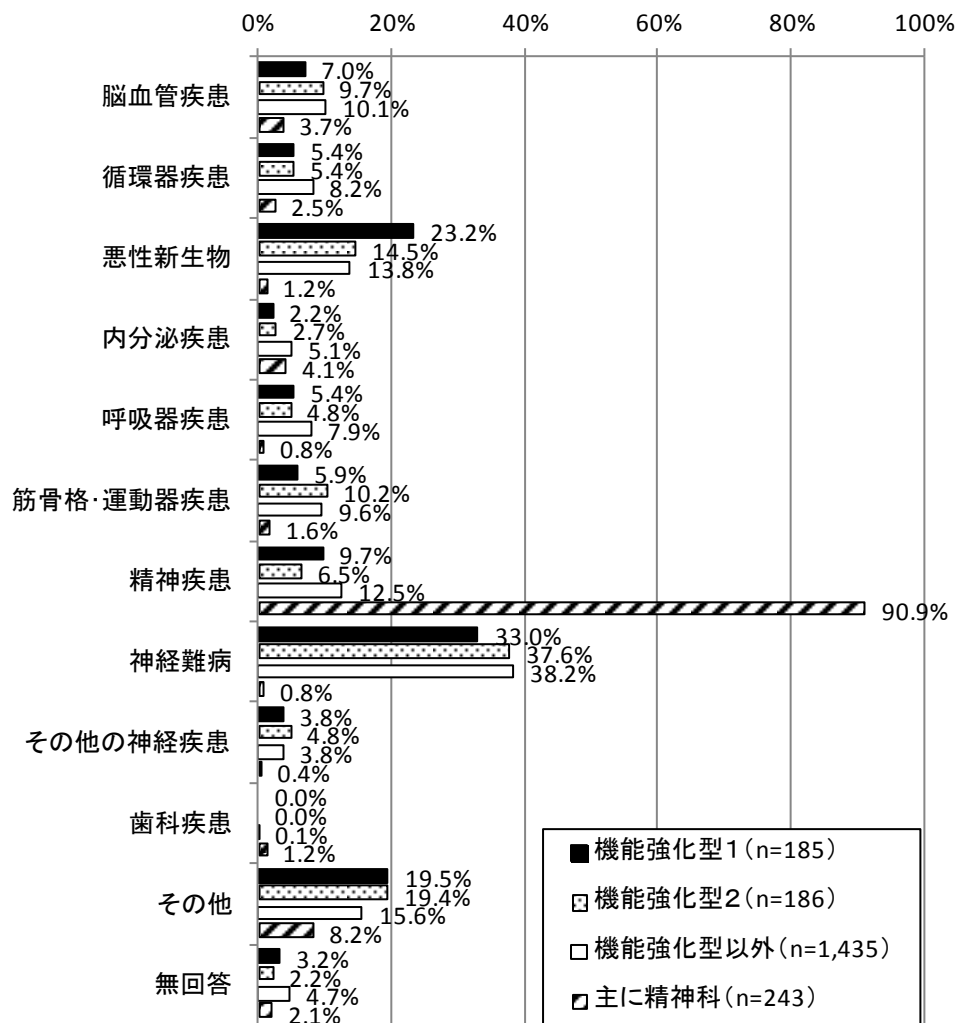
	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	179	62.3	23.5	68.0
機能強化型 2	185	67.5	22.4	74.0
機能強化型以外	1,403	66.6	20.2	71.0
主に精神科	238	56.3	13.8	55.0
訪問看護	1,743	67.0	20.9	72.0
精神科訪問看護	314	55.9	13.3	55.0

③病名

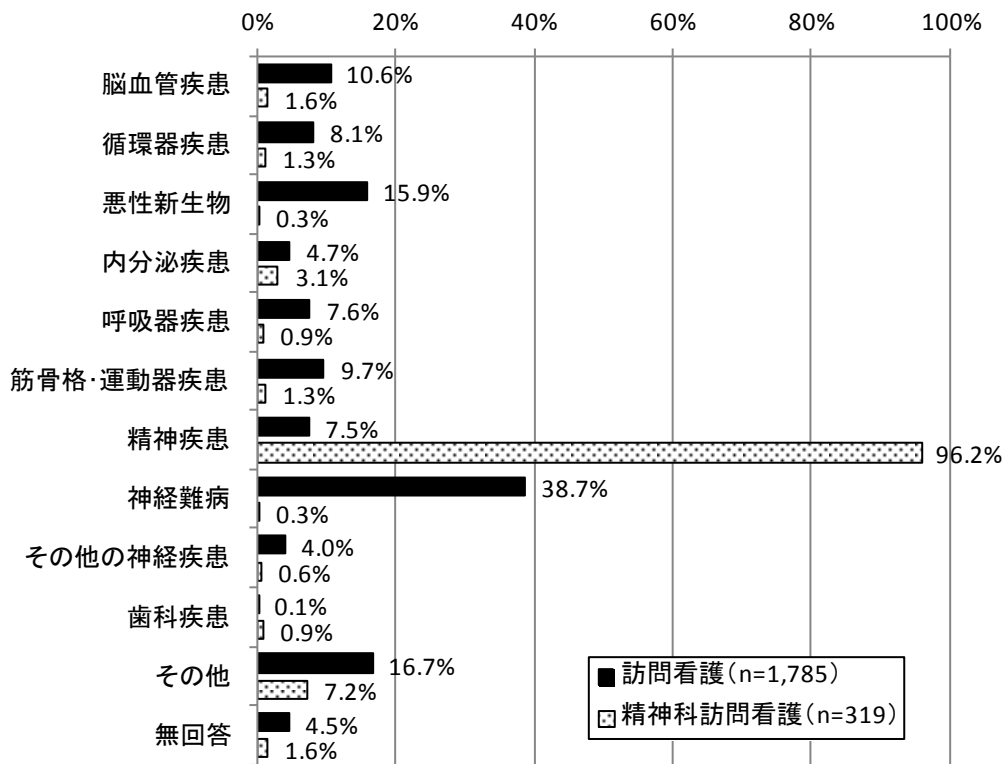
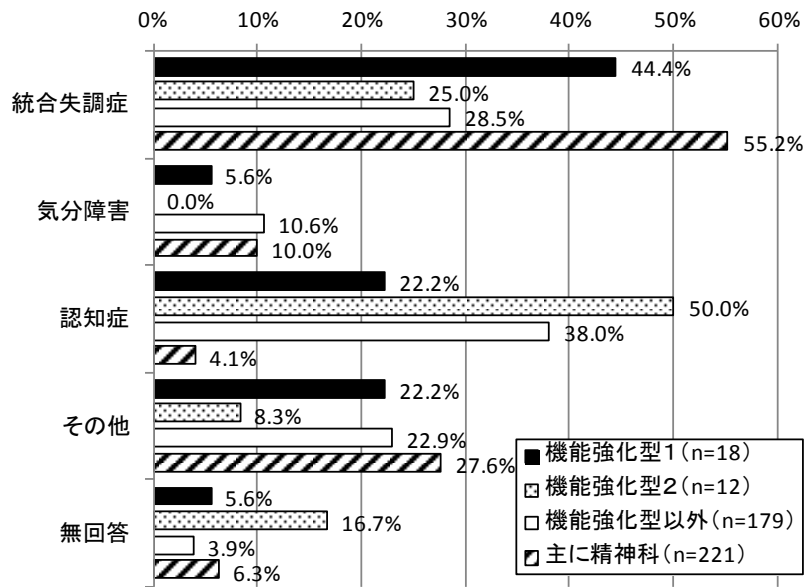
病名についてみると、「機能強化型1」では「神経難病」が33.0%で最も多く、次いで「悪性新生物」が23.2%、「精神疾患」が9.7%であった。

「精神科訪問看護」では「精神疾患」が96.2%であり、その内訳をみると、「統合失調症」が55.0%、「気分障害」が12.4%、「認知症」が4.9%であった。「訪問看護」での「精神疾患」は7.5%で、その内訳をみると、「認知症」が57.1%、「統合失調症」が14.3%、「気分障害」が3.8%であった。

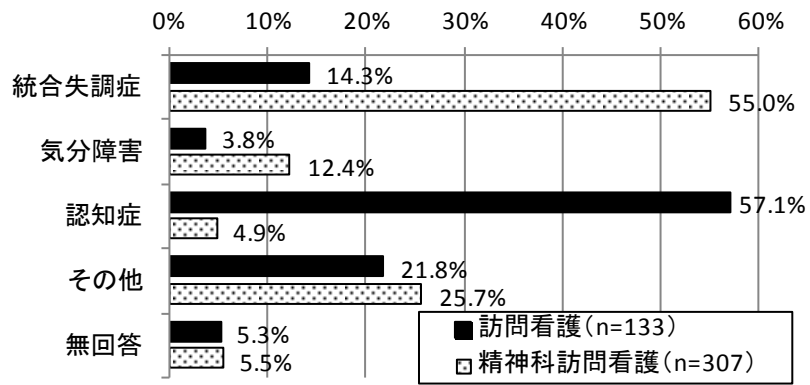
図表 182 病名（複数回答）



(精神疾患の場合の内訳)



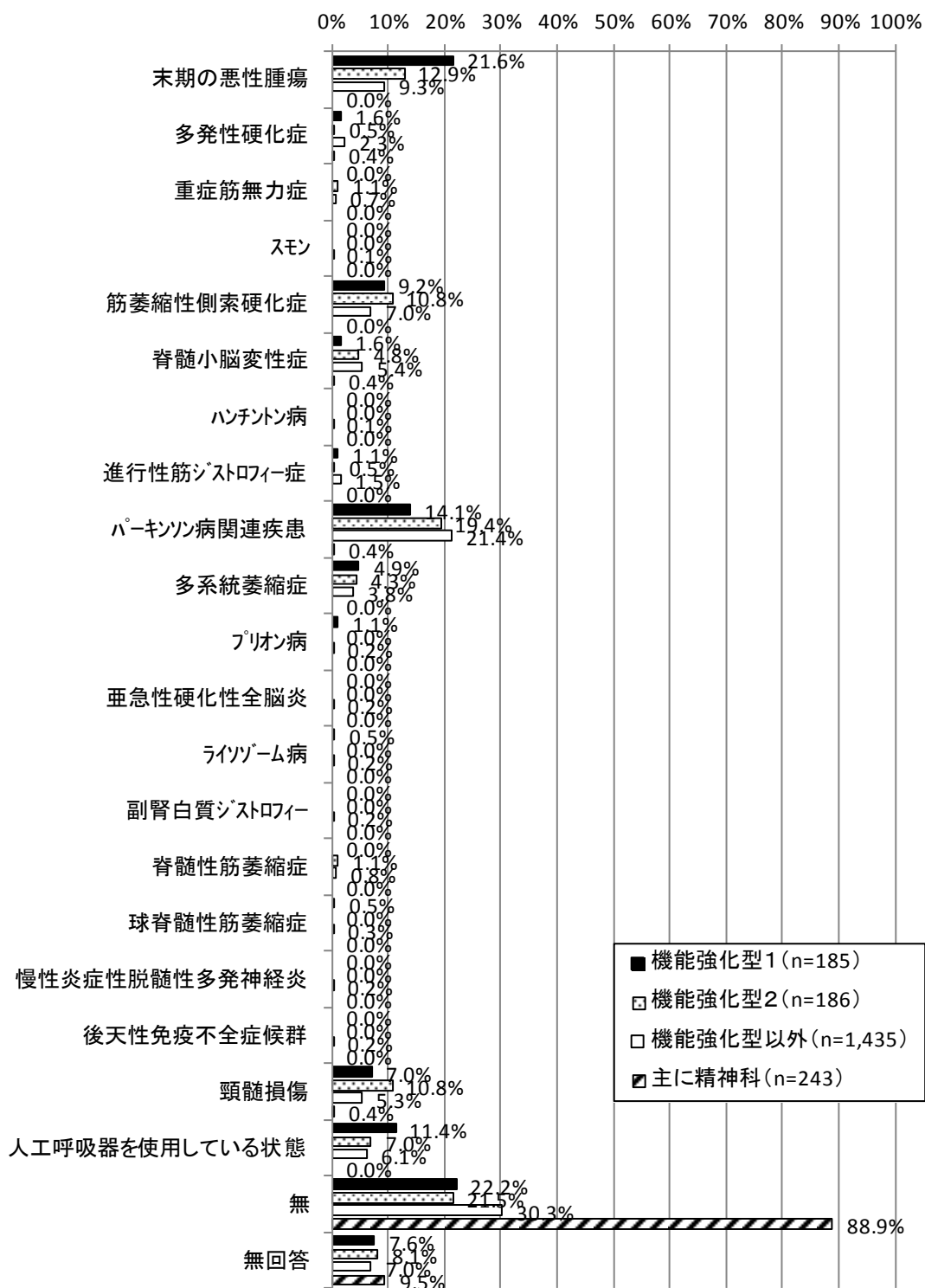
(精神疾患の場合の内訳)

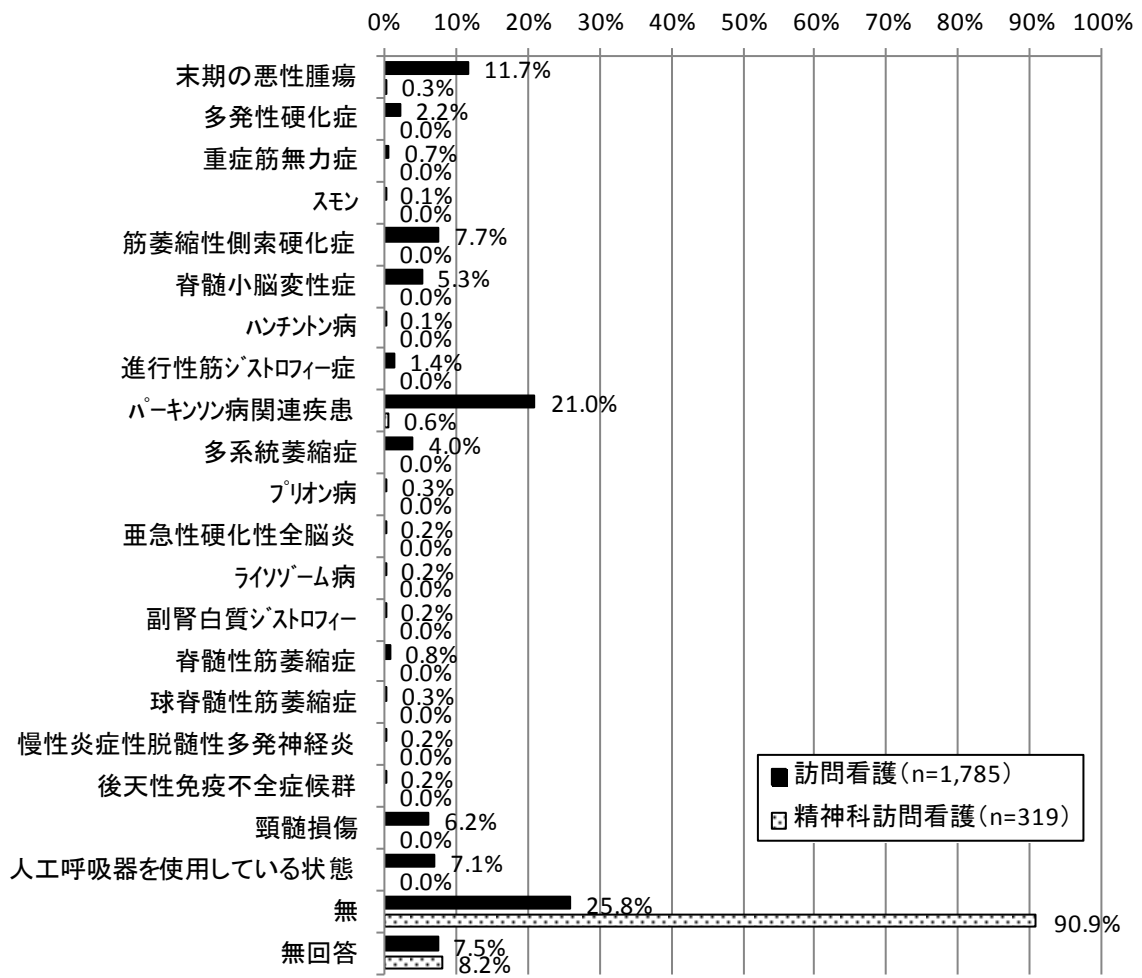


④厚生労働大臣の定める疾病等（別表第七）の有無

厚生労働大臣の定める疾病等（別表第七）の有無についてみると、「機能強化型1」では「末期の悪性腫瘍」が21.6%、「パーキンソン病関連疾患」は14.1%、「人工呼吸器を使用している状態」が11.4%であった。「主に精神科」では「無」が88.9%であった。

図表 183 厚生労働大臣の定める疾病等の有無（別表第七）

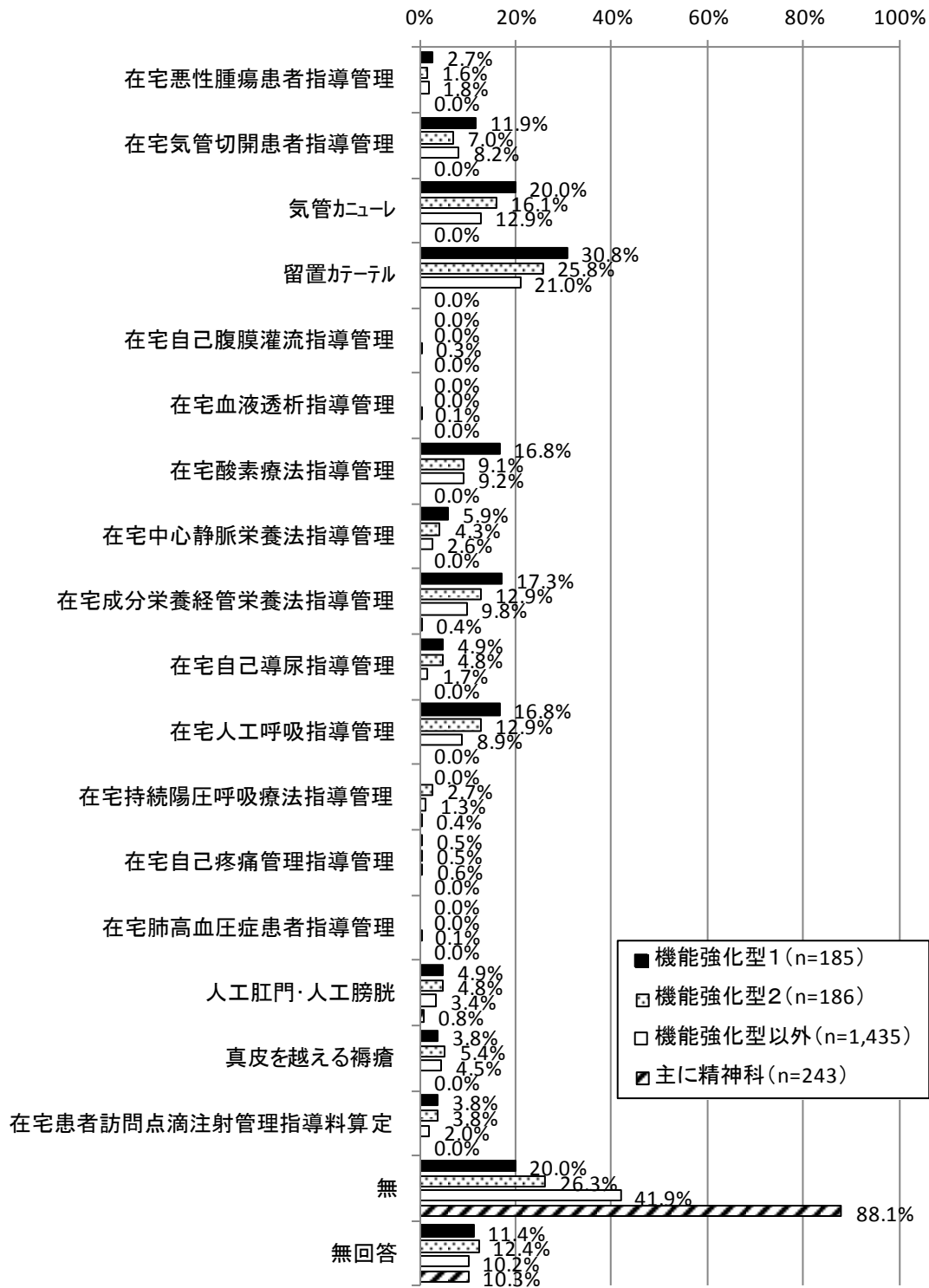


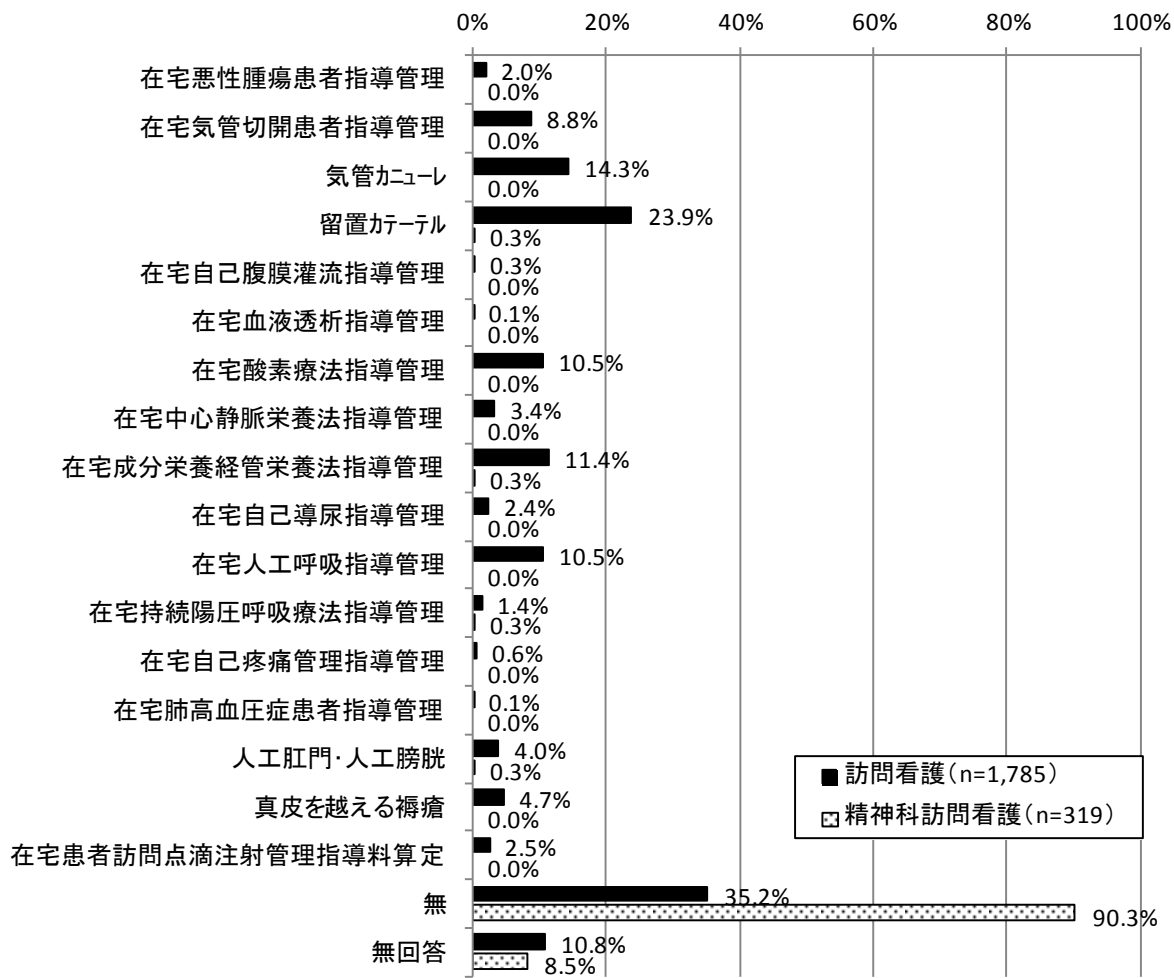


⑤別表第八に掲げる特別な管理の有無

別表第八に掲げる特別な管理の有無についてみると、「機能強化型1」では「留置カテーテル」が30.8%、「気管カニューレ」が20.0%、「在宅成分栄養経管栄養法指導管理」が17.3%、「在宅酸素療法指導管理」、「在宅人工呼吸指導管理」がともに16.8%であった。

図表 184 別表第八に掲げる特別な管理の有無



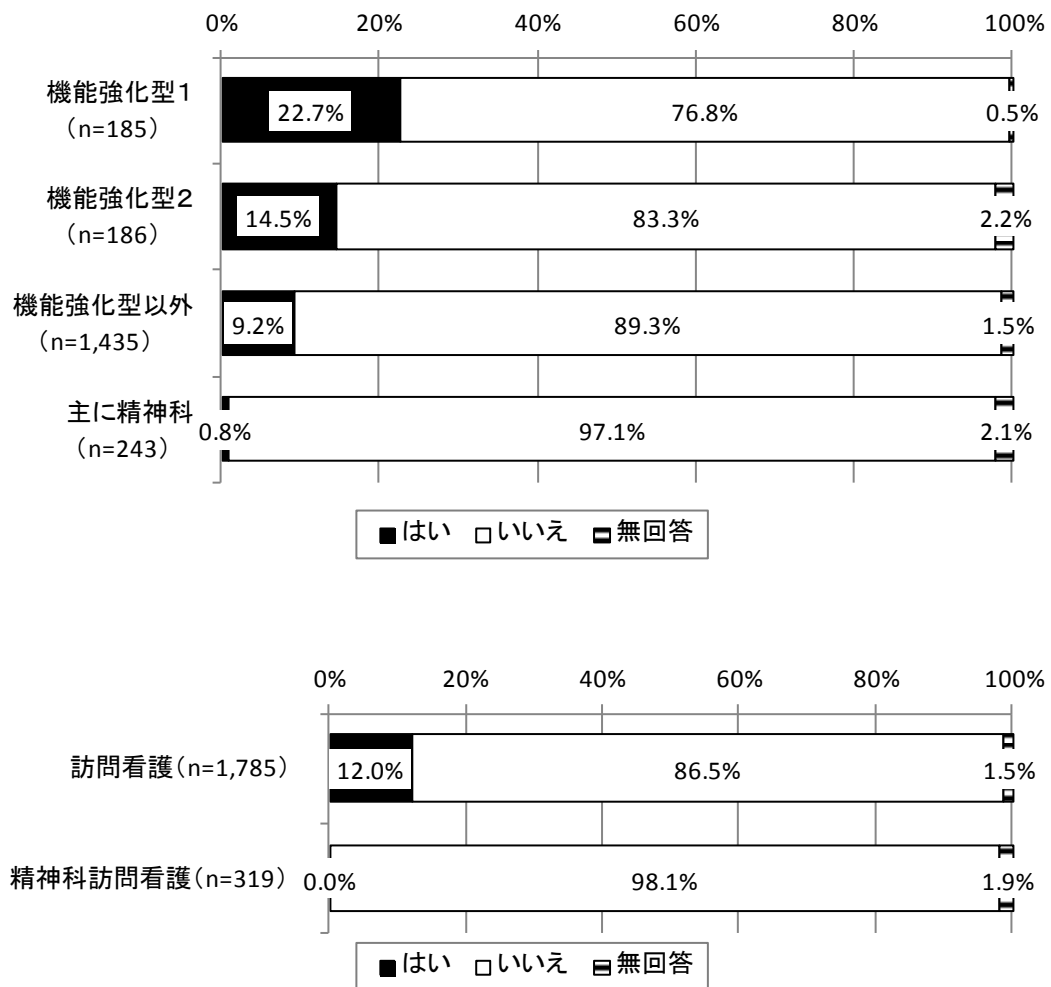


⑥ターミナル期かどうか（医師が余命6か月以内と判断）

「ターミナル期かどうか」についてみると、「機能強化型1」では「はい」が22.7%、「機能強化型2」では14.5%、「機能強化型以外」では9.2%、「主に精神科」では0.8%であった。

また、「訪問看護」では12.0%、「精神科訪問看護」では0.0%であった。

図表 185 ターミナル期かどうか

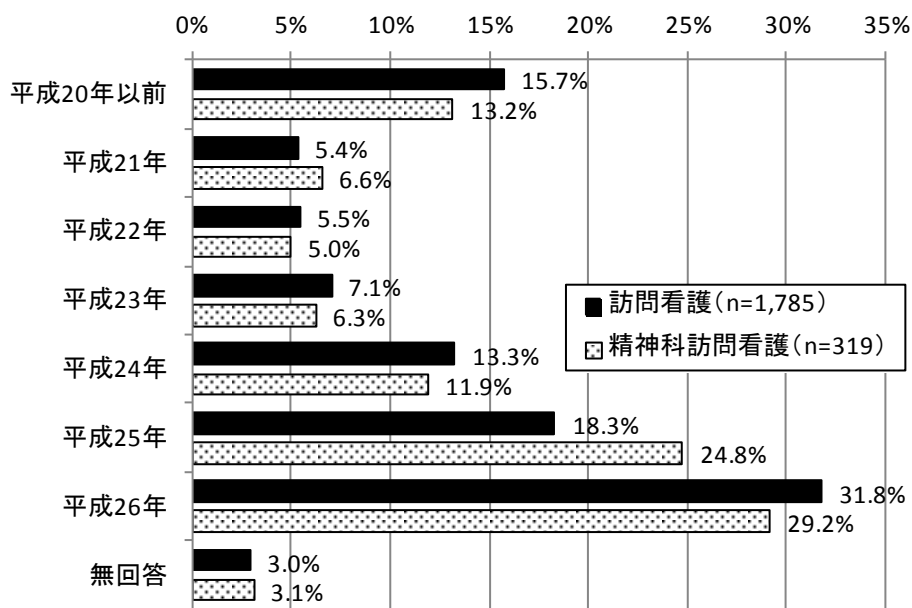
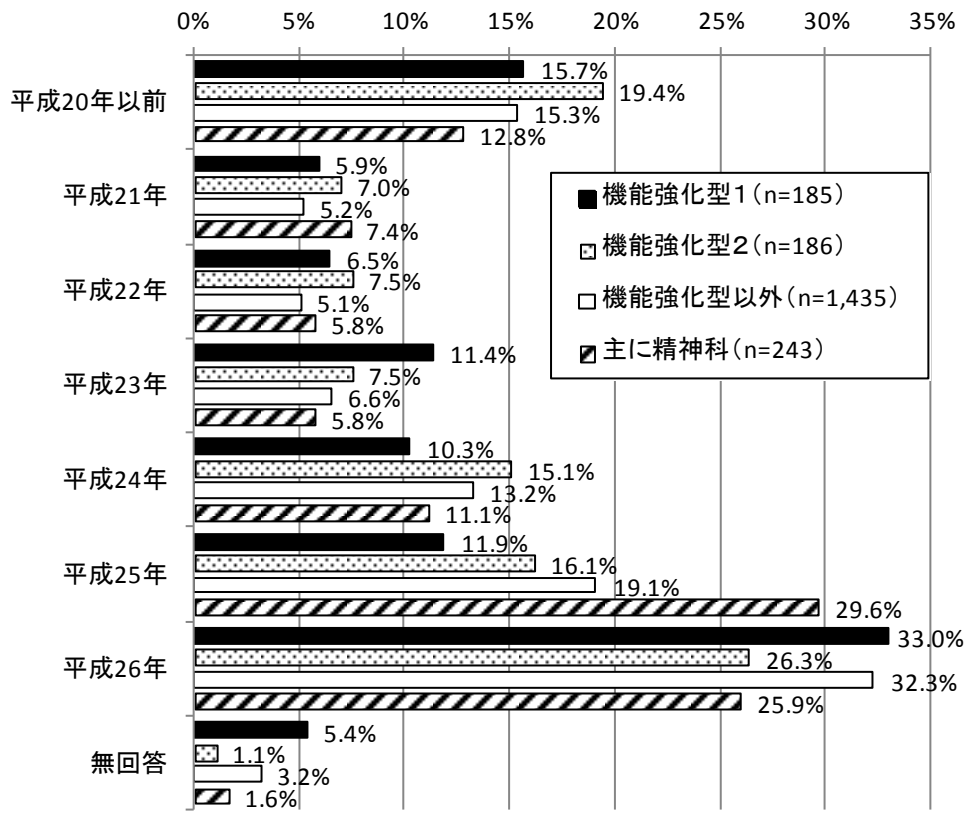


4) 訪問看護開始時の状況等

①訪問看護の開始時期

訪問看護の開始時期についてみると、「訪問看護」では「平成26年」が31.8%、「平成25年」が18.3%、「平成20年以前」が15.7%であった。「精神科訪問看護」では「平成26年」が29.2%、「平成25年」が24.8%、「平成20年以前」が13.2%であった。

図表 186 訪問看護の開始時期

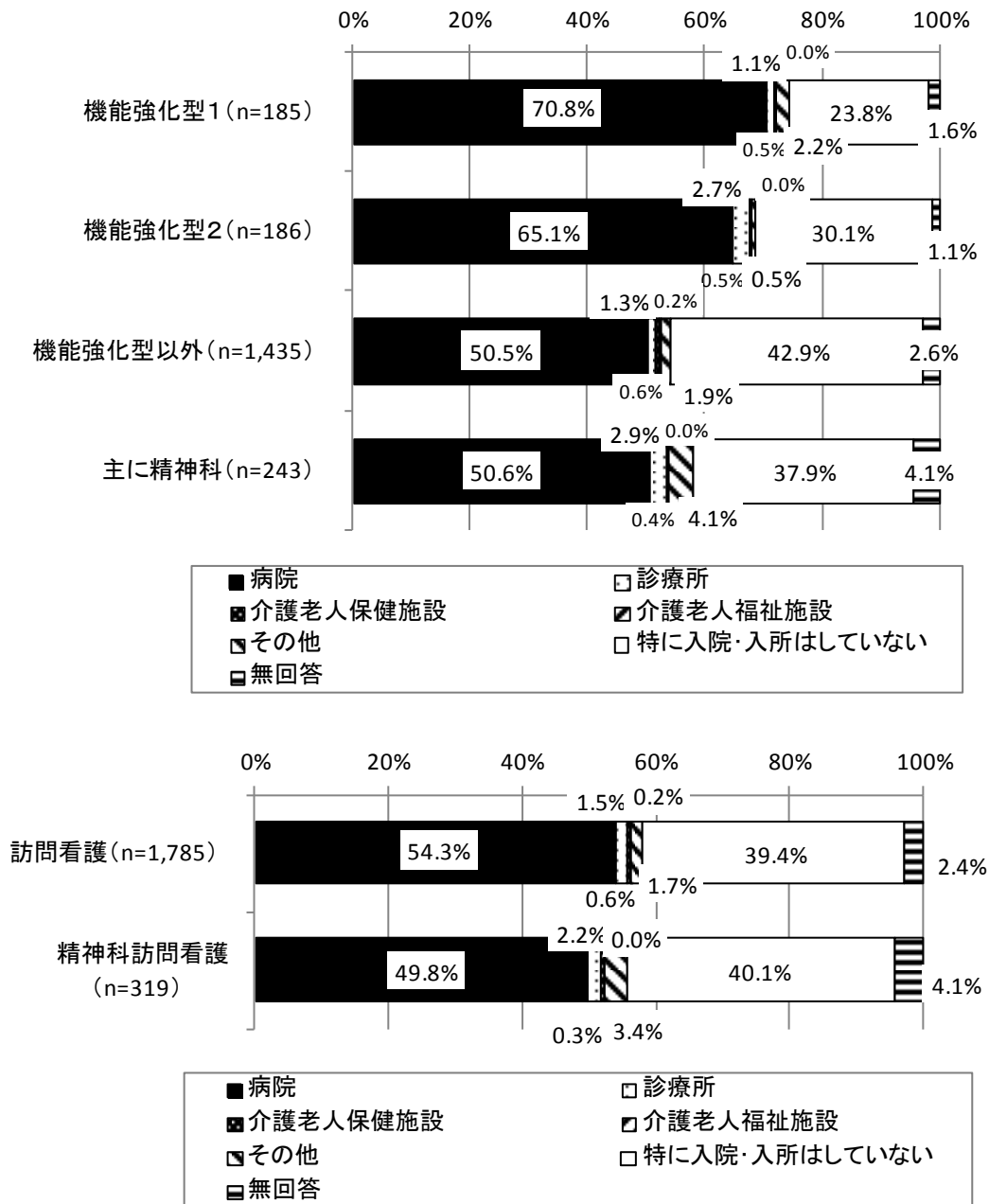


②在宅移行前の入院・入所場所

在宅移行前の入院・入所場所についてみると、「機能強化型 1」では「病院」が 70.8%、「診療所」が 1.1%であった。「機能強化型 2」では「病院」が 65.1%、「機能強化型以外」では 50.5%、「主に精神科」では 50.6%であった。

また、「訪問看護」では「病院」が 54.3%、「精神科訪問看護」では 49.8%であった。

図表 187 在宅移行前の入院・入所場所

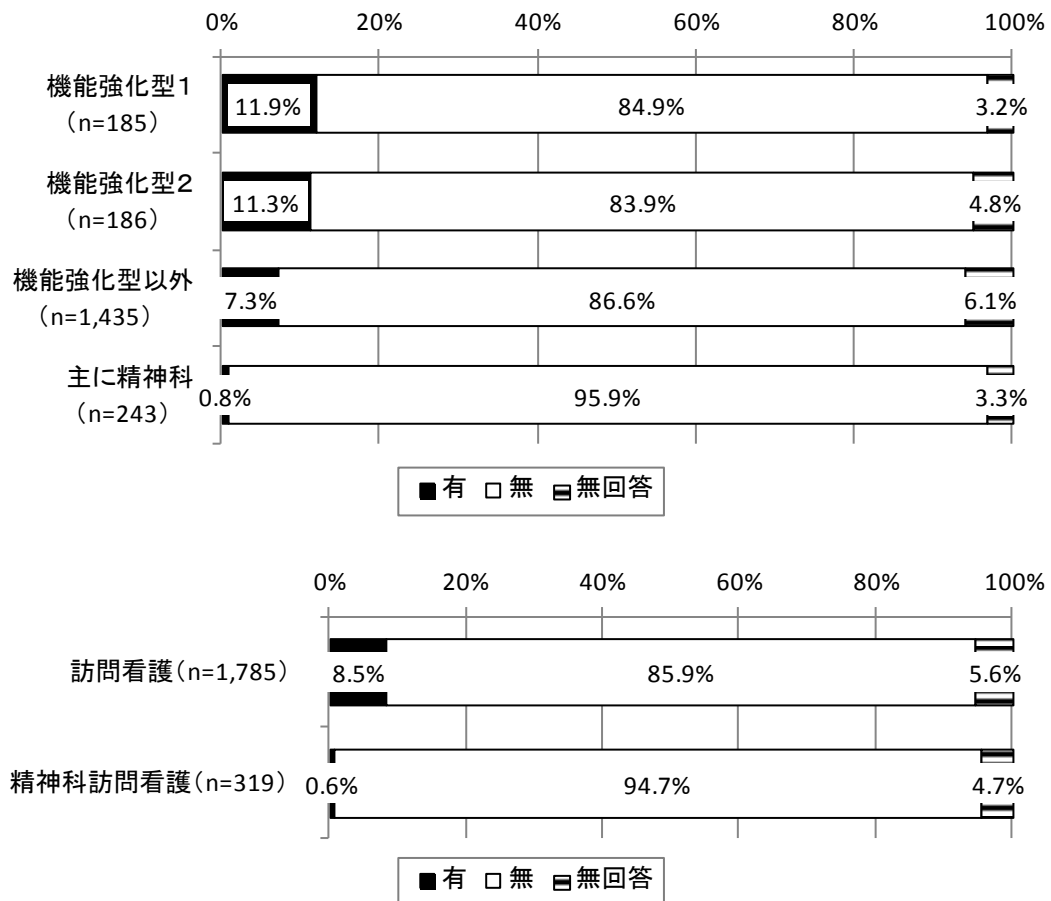


③NICUの入院履歴の有無

NICUの入院履歴の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が11.9%、「機能強化型2」では11.3%、「機能強化型以外」では7.3%、「主に精神科」では0.8%であった。

また、「訪問看護」では8.5%、「精神科訪問看護」では0.6%であった。

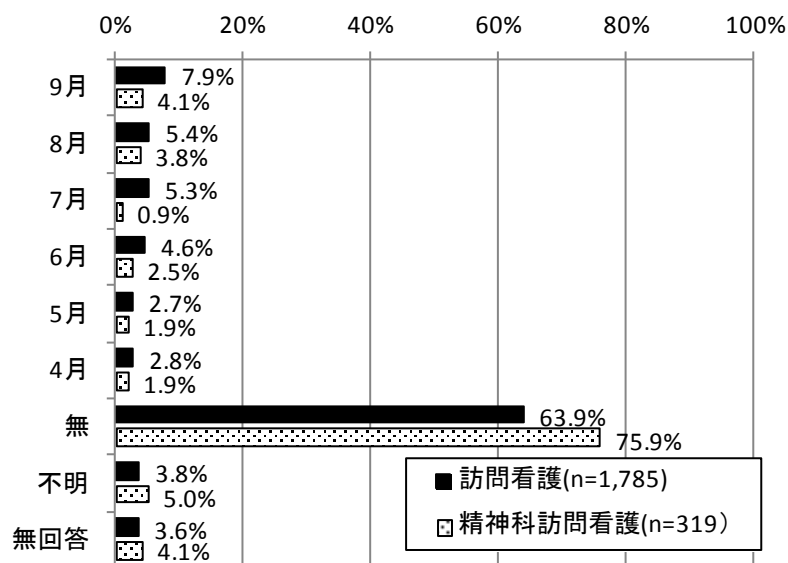
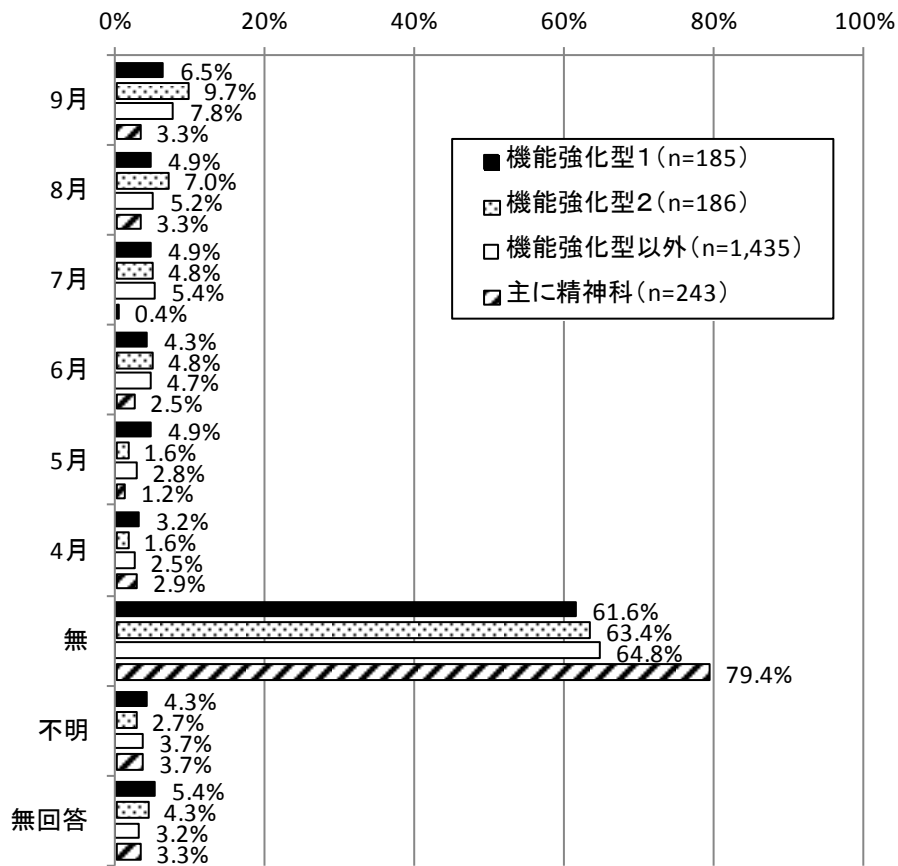
図表 188 NICUの入院履歴の有無



④直近の退院月

直近の退院月についてみると、「訪問看護」では平成26年の「9月」（調査時点からの直近月）が7.9%、「精神科訪問看護」では4.1%であった。

図表 189 直近の退院月（過去半年以内の退院の有無）



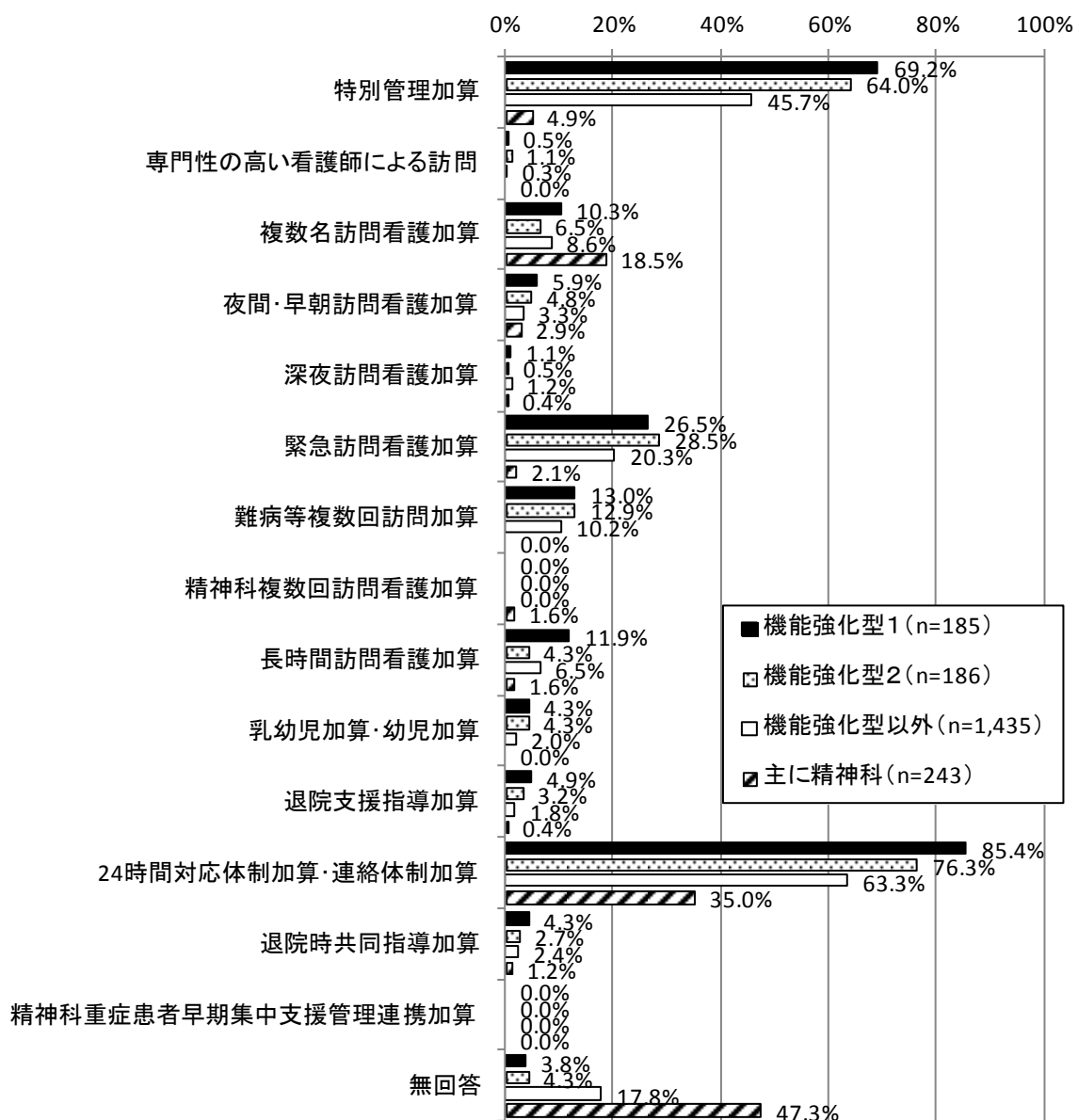
5) 訪問看護の提供状況等

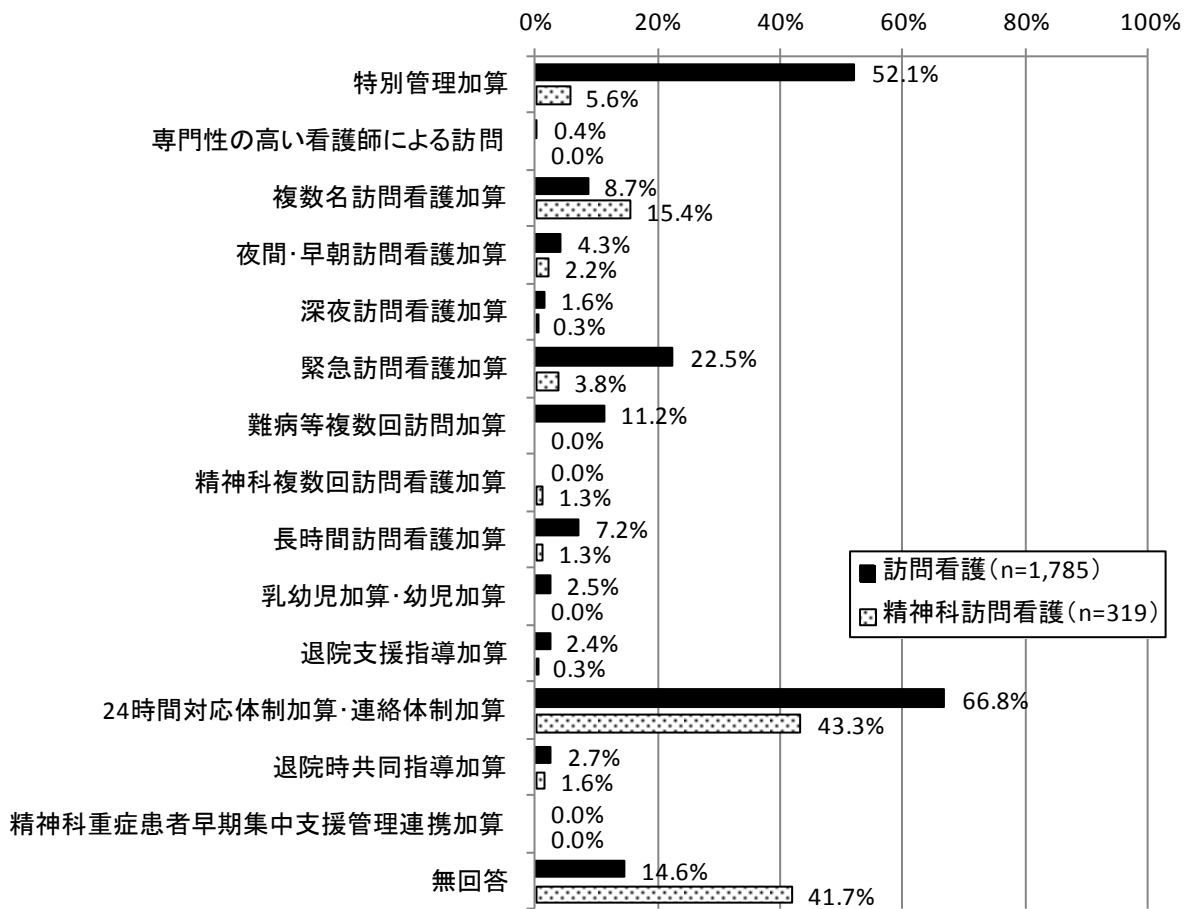
①訪問看護の加算等の状況

訪問看護の加算等の状況についてみると、「機能強化型1」では「24時間対応体制加算・連絡体制加算」が85.4%、「特別管理加算」が69.2%、「緊急訪問看護加算」が26.5%であった。「機能強化型2」では「24時間対応体制加算・連絡体制加算」が76.3%、「特別管理加算」が64.0%、「緊急訪問看護加算」が28.5%であった。

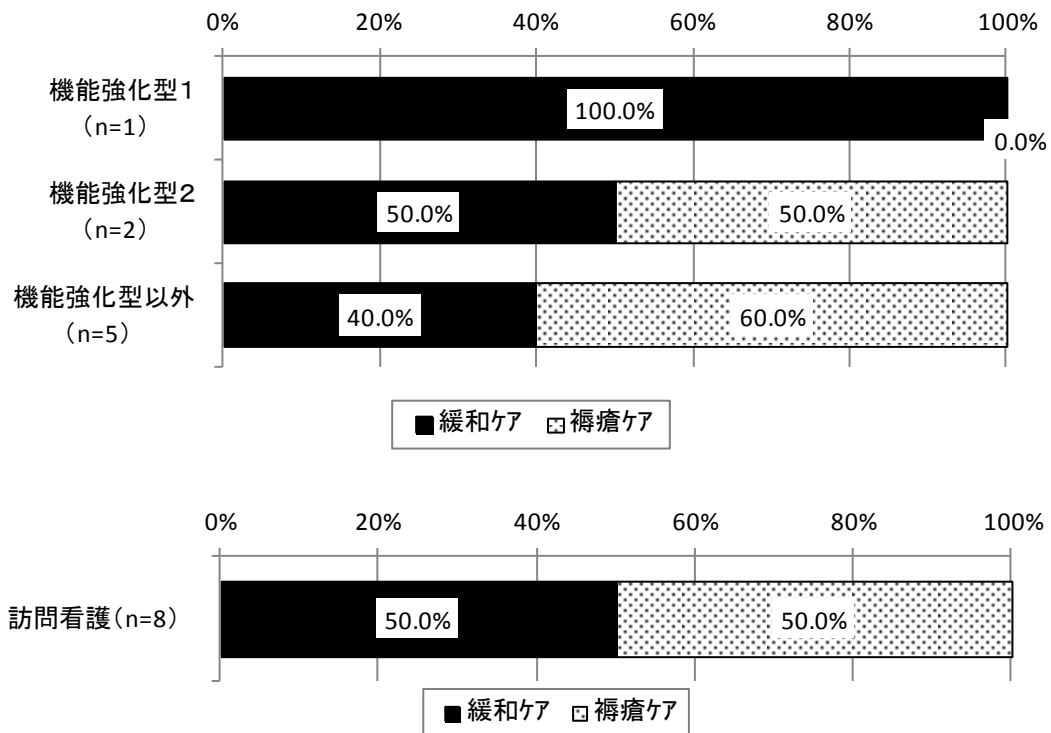
また、「訪問看護」では「24時間対応体制加算・連絡体制加算」が66.8%、「特別管理加算」が52.1%であった。

図表 190 訪問看護の加算等の状況（複数回答）

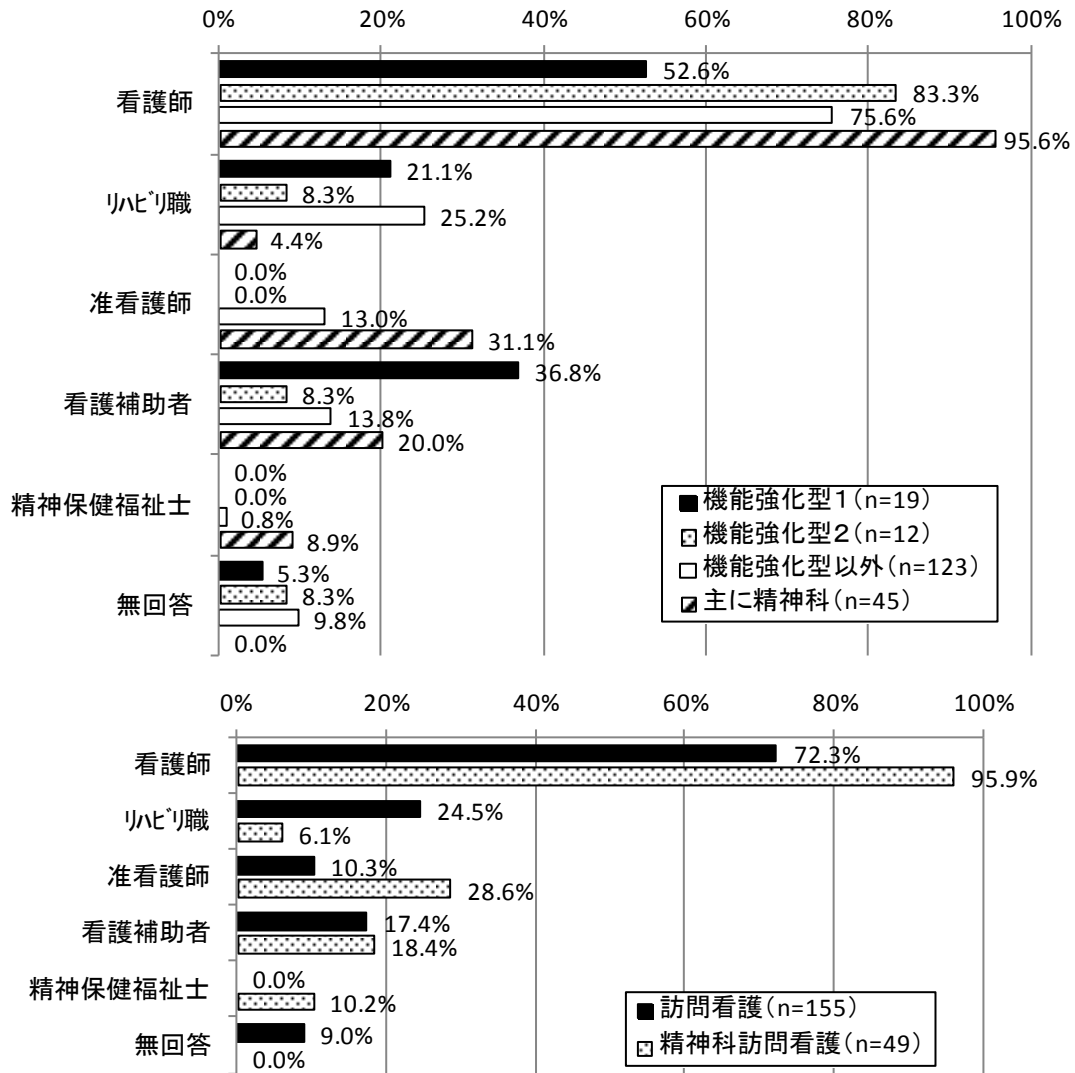




図表 191 「専門性の高い看護師による訪問」におけるケア内容



図表 192 「複数名訪問看護加算」における訪問職員の職種（複数回答）



②当該事業所からの訪問日数

当該事業所からの訪問日数（平成 26 年 9 月 1 か月間）についてみると、「機能強化型 1」では平均 10.6 日、「機能強化型 2」では平均 10.5 日、「機能強化型以外」では平均 10.0 日、「主に精神科」では平均 6.3 日であった。また、「訪問看護」では平均 10.2 日、「精神科訪問看護」では 6.4 日であった。

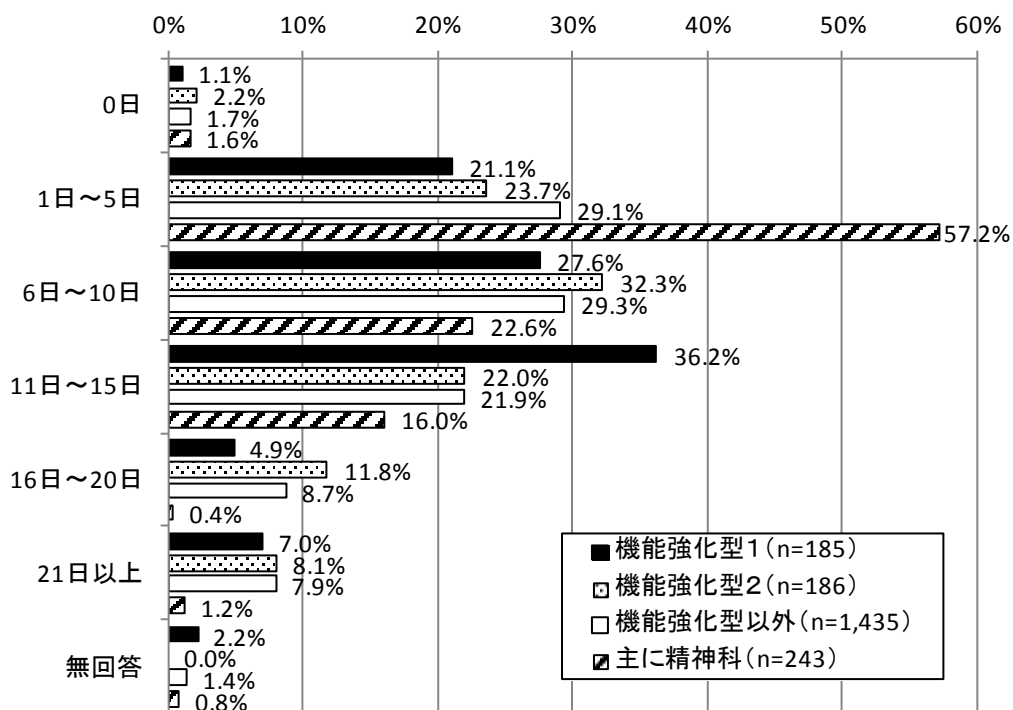
緊急訪問の有無（平成 26 年 9 月 1 か月間）についてみると、「機能強化型 1」では「有」が 11.4%、「機能強化型 2」では 12.4%、「機能強化型以外」では 10.8%、「主に精神科」では 3.7%であった。また、「訪問看護」では「有」が 11.5%、「精神科訪問看護」では 4.1%であった。

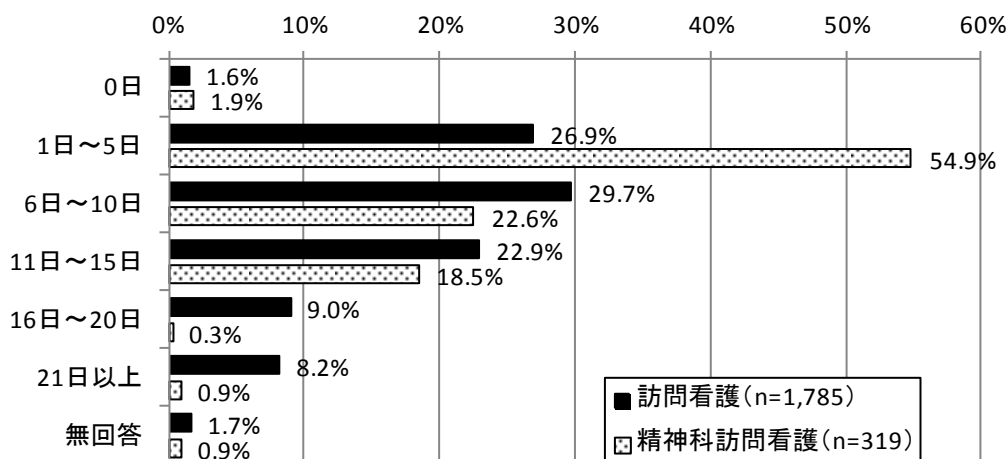
緊急訪問が「有」の場合について、緊急訪問の回数（平成 26 年 9 月 1 か月間）をみると、「機能強化型 1」では平均 1.5 回、「機能強化型 2」、「機能強化型以外」では平均 1.7 回、「主に精神科」では平均 1.6 回であった。また、「訪問看護」・「精神科訪問看護」では平均 1.7 回であった。

1 日につき複数回の訪問を行った日の有無（平成 26 年 9 月 1 か月間）についてみると、「機能強化型 1」では「有」が 17.3%、「機能強化型 2」では 21.0%、「機能強化型以外」では 15.7%、「主に精神科」では 2.1%であった。また、「訪問看護」では「有」が 17.0%、「精神科訪問看護」では 2.2%であった。

1 日につき複数回の訪問を行った日が「有」の場合について、複数回訪問した日数（平成 26 年 9 月 1 か月間）をみると、「機能強化型 1」では平均 5.9 日、「機能強化型 2」では平均 6.5 日、「機能強化型以外」では平均 7.6 日、「主に精神科」では平均 3.8 日であった。また、「訪問看護」では平均 7.3 日、「精神科訪問看護」では平均 3.9 日であった。

図表 193 当該事業所からの訪問日数（平成 26 年 9 月 1 か月間）



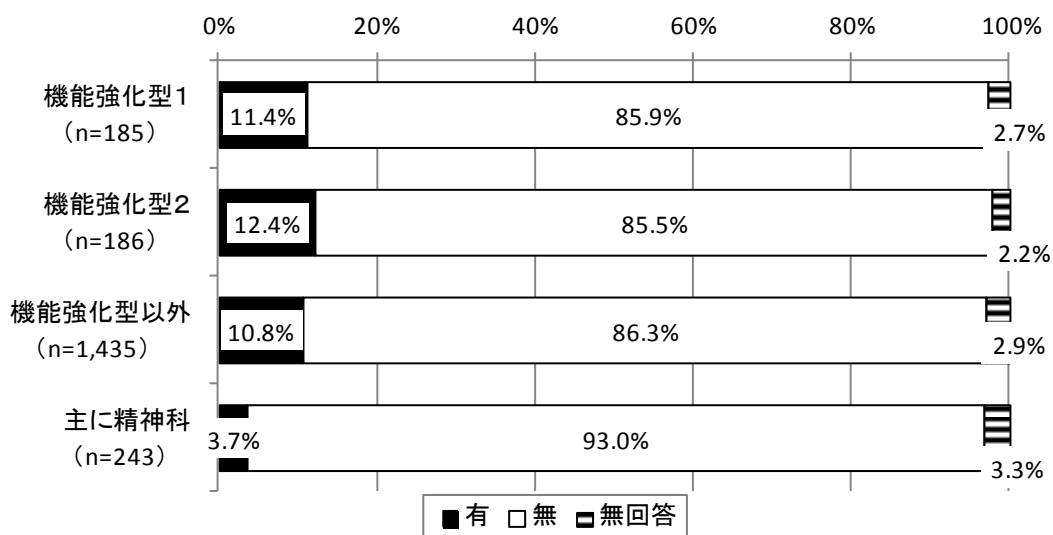


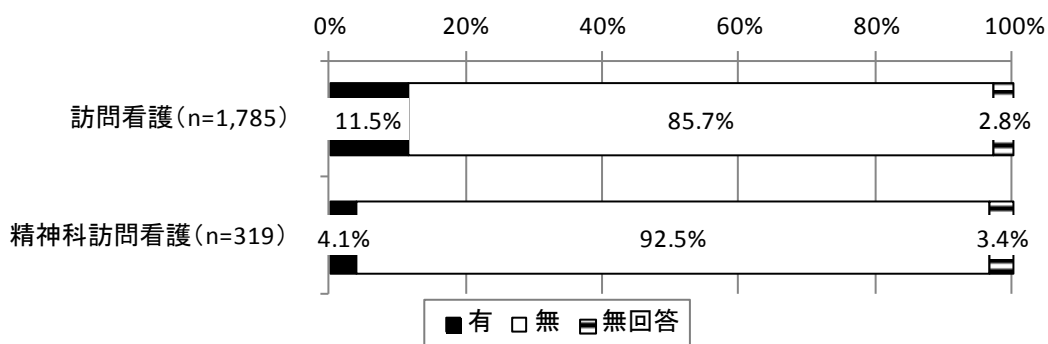
図表 194 当該事業所からの訪問日数（平成 26 年 9 月 1 か月間）

単位：日

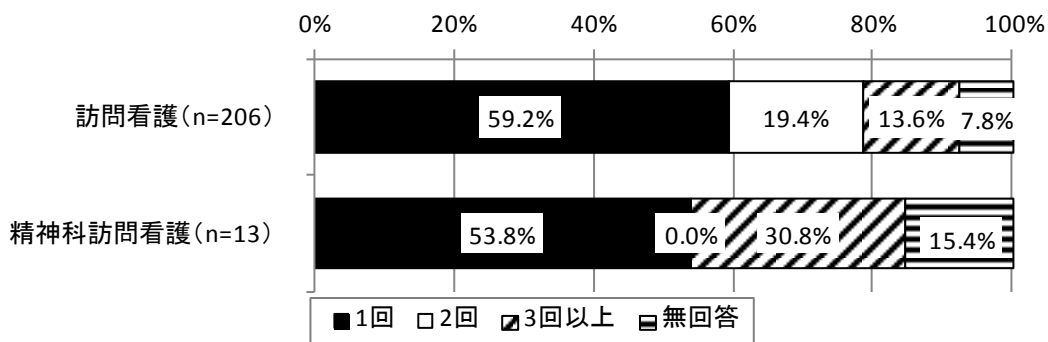
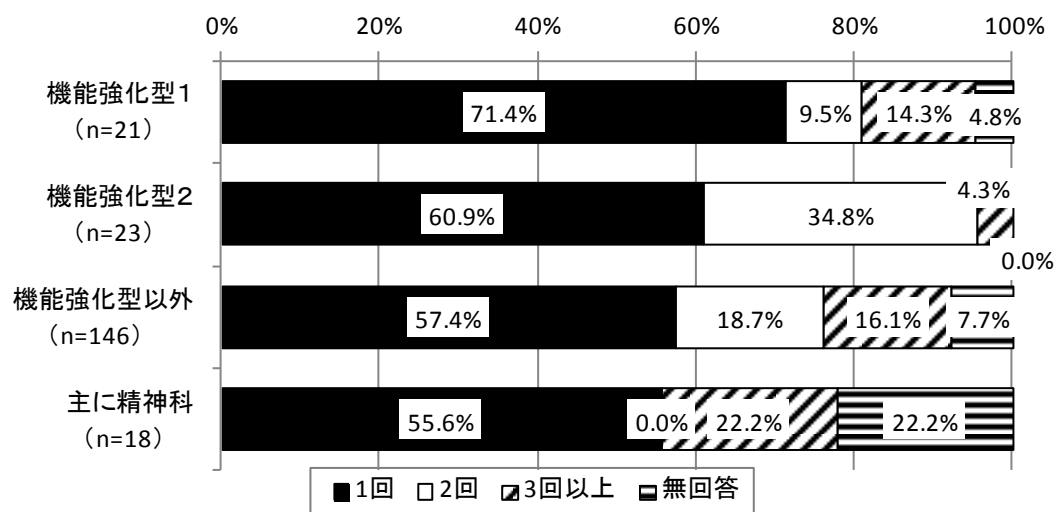
	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	181	10.6	6.3	10.0
機能強化型 2	186	10.5	6.7	9.0
機能強化型以外	1,415	10.0	6.6	9.0
主に精神科	241	6.3	4.3	4.0
訪問看護	1,755	10.2	6.7	9.0
精神科訪問看護	316	6.4	4.2	4.0

図表 195 緊急訪問の有無（平成 26 年 9 月 1 か月間）





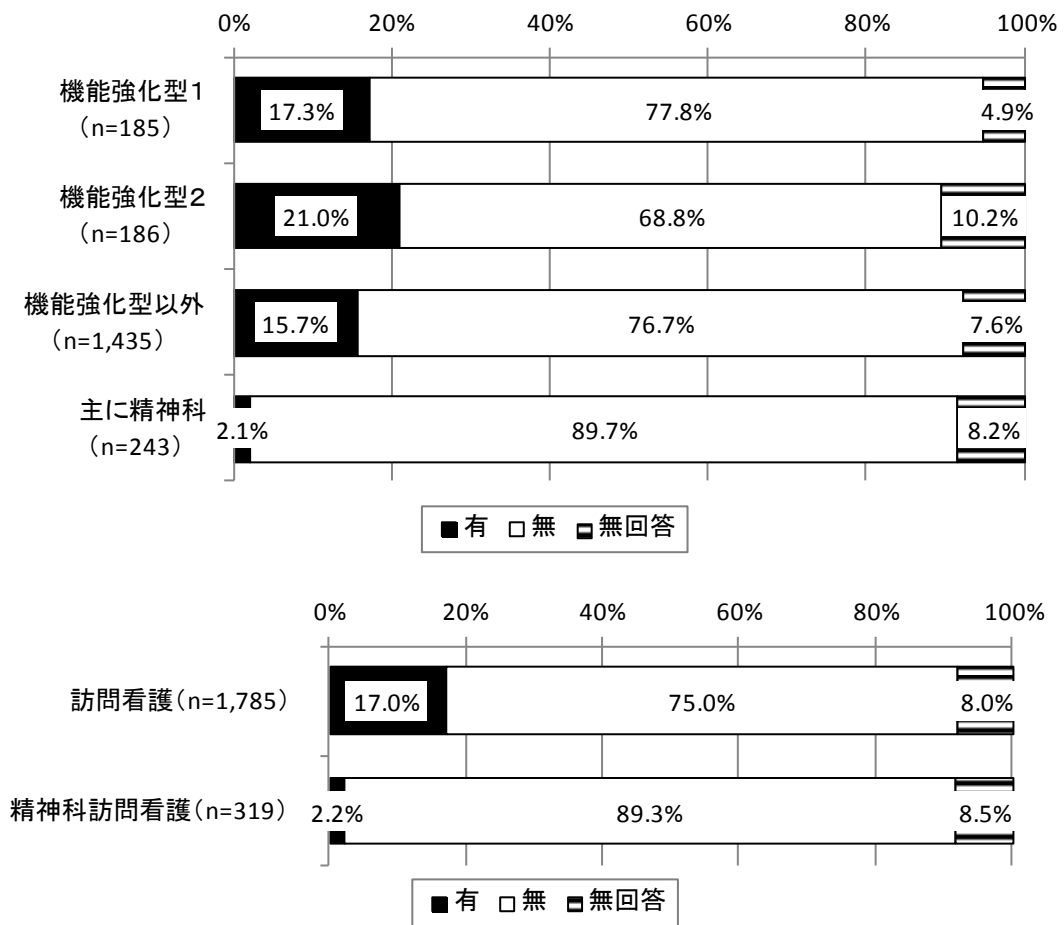
図表 196 (有の場合) 緊急訪問の回数 (平成 26 年 9 月 1 か月間)



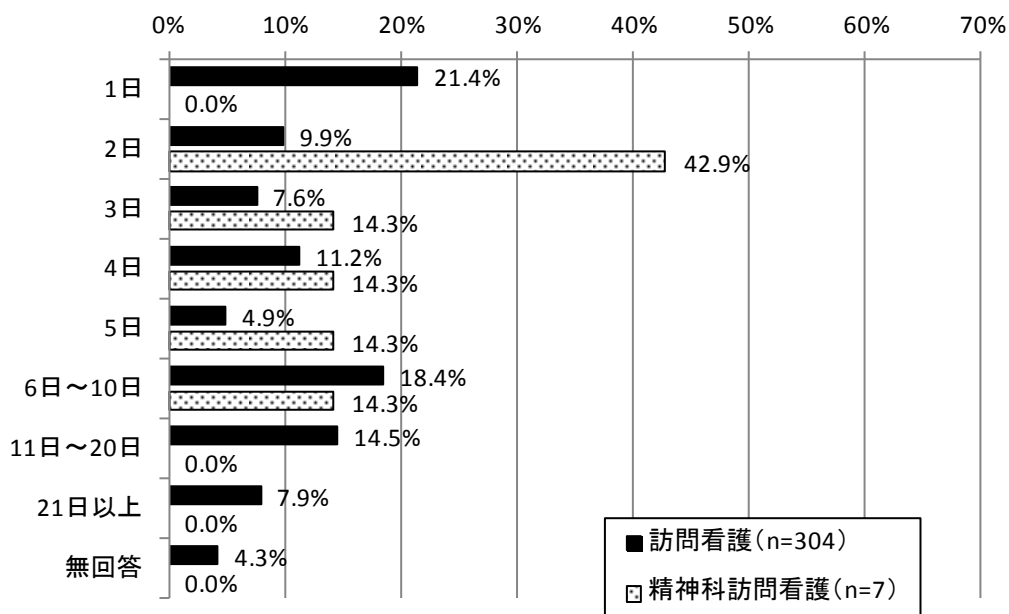
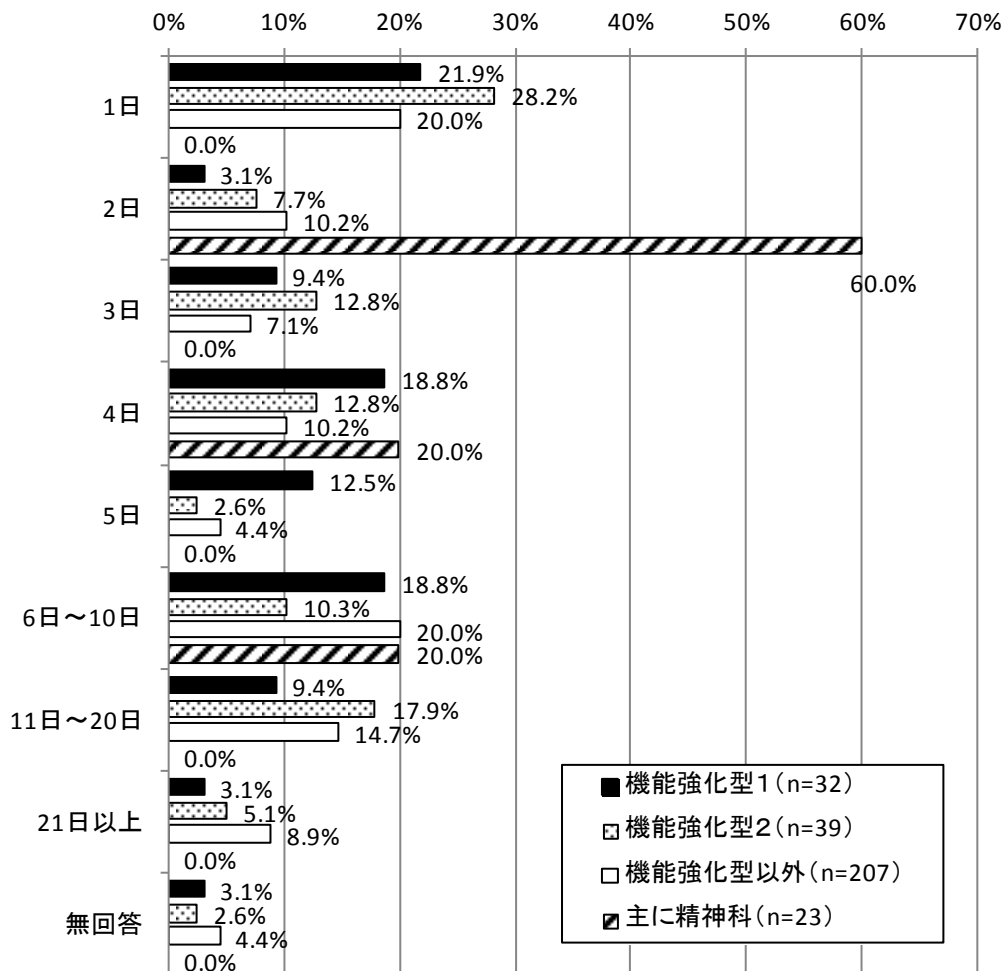
単位：回

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	20	1.5	0.9	1.0
機能強化型 2	23	1.7	1.7	1.0
機能強化型以外	143	1.7	1.1	1.0
主に精神科	7	1.6	1.0	1.0
訪問看護	190	1.7	1.2	1.0
精神科訪問看護	11	1.7	1.0	1.0

図表 197 1日につき複数回の訪問を行った日の有無（平成26年9月1か月間）



図表 198 (有の場合) 複数回訪問した日数 (平成 26 年 9 月 1 か月間)



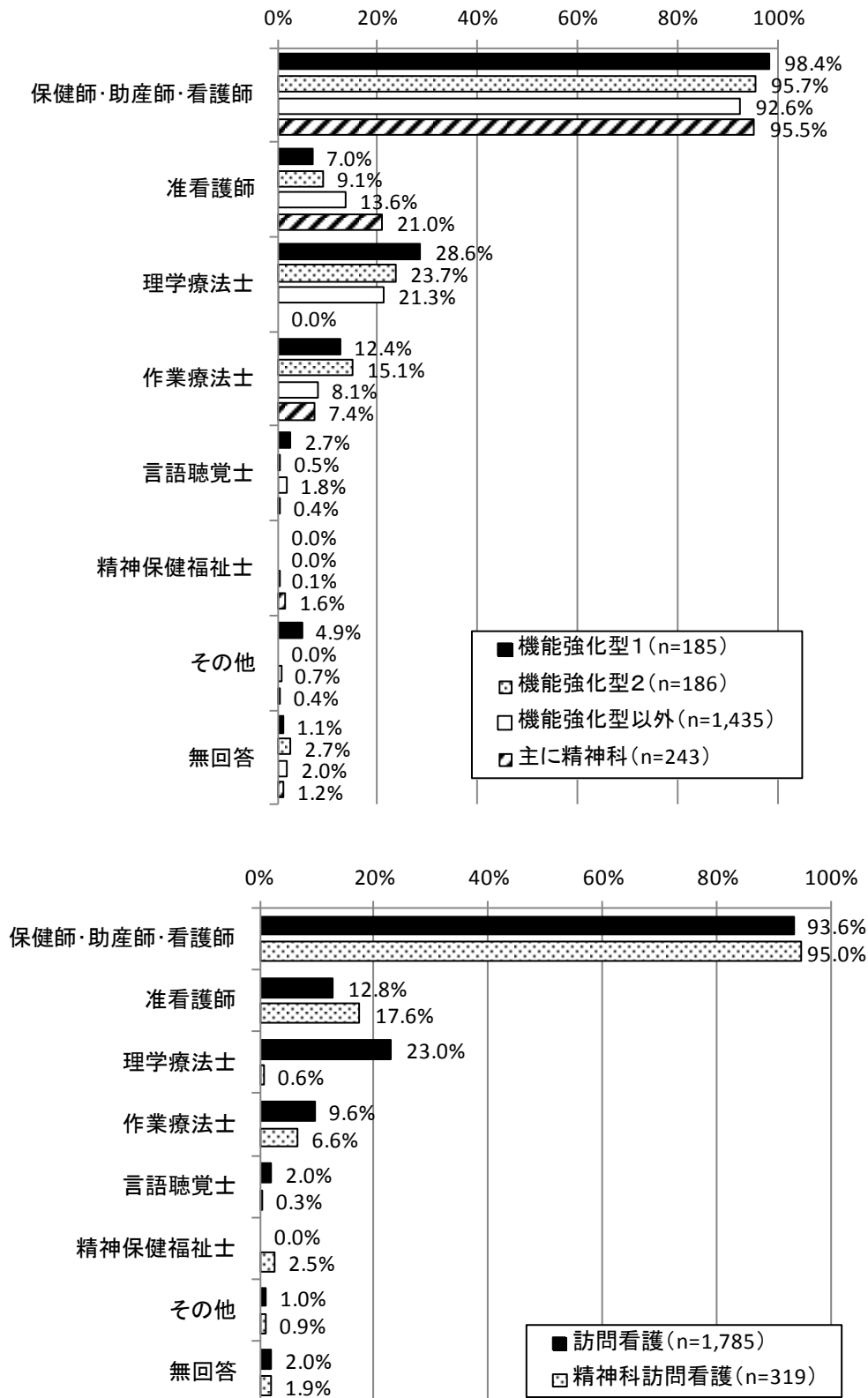
単位：日

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	31	5.9	6.2	4.0
機能強化型 2	38	6.5	7.0	3.5
機能強化型以外	215	7.6	7.6	5.0
主に精神科	5	3.8	3.0	2.0
訪問看護	291	7.3	7.5	4.0
精神科訪問看護	7	3.9	2.5	3.0

③訪問看護を提供する職員の職種

当該利用者に対して訪問看護を提供する職員の職種をみると、「機能強化型1」では「保健師・助産師・看護師」が98.4%、「理学療法士」が28.6%で、「作業療法士」が12.4%であった。

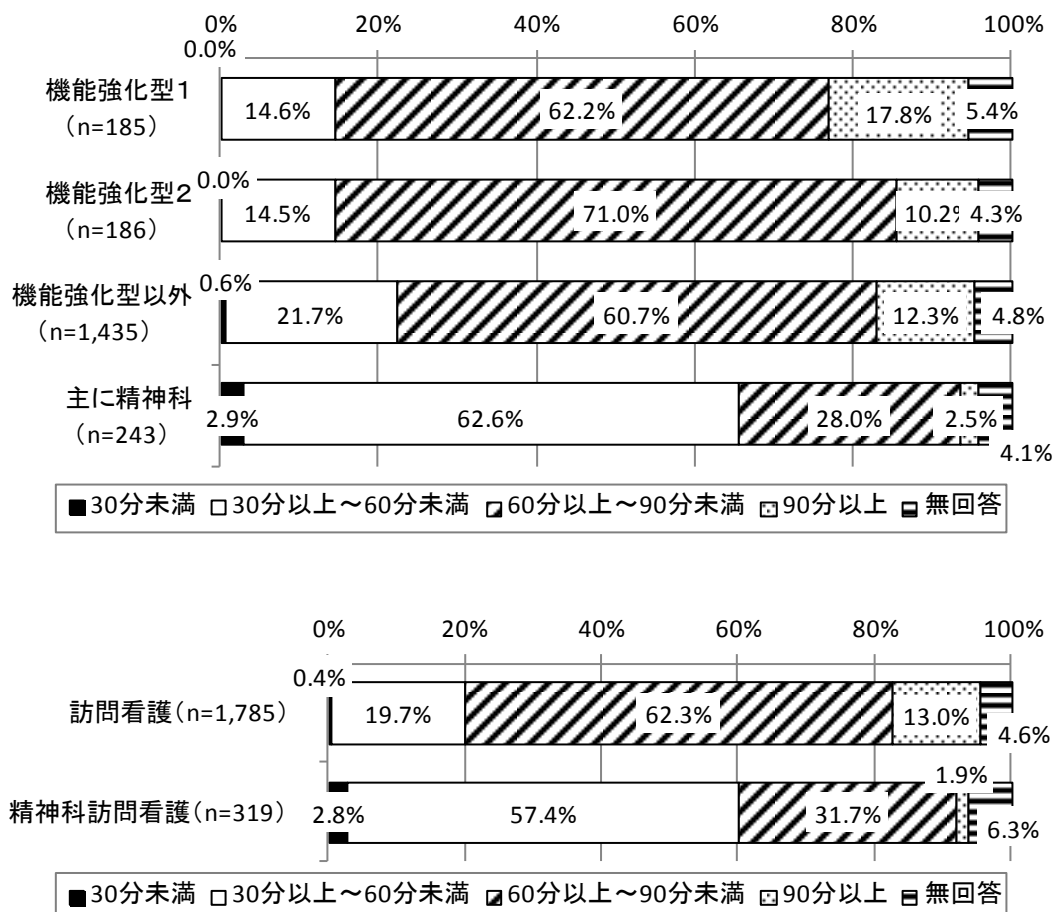
図表 199 訪問看護を提供する職員の職種（複数回答）



④直近の1回の訪問時間

直近の1回の訪問時間についてみると、「機能強化型1」では「60分以上～90分未満」が62.2%、「90分以上」が17.8%、「30分以上～60分未満」が14.6%であった。また、「精神科訪問看護」では「30分以上～60分未満」が57.4%、「60分以上～90分未満」が31.7%、「30分未満」が2.8%であった。平均値でみると、「訪問看護」では平均61.4分、「精神科訪問看護」では平均46.9分であった。

図表 200 直近の1回の訪問時間



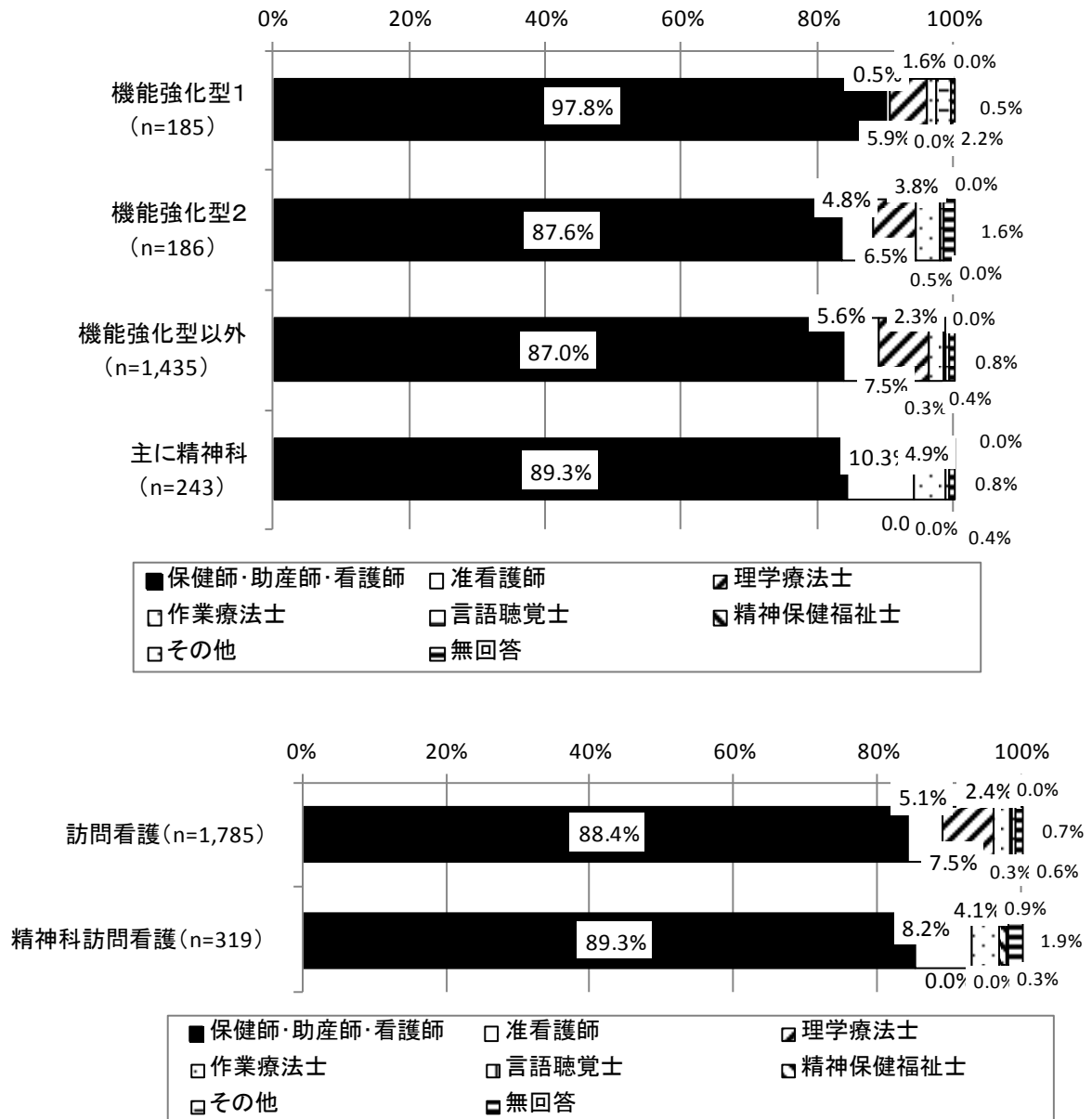
単位：分

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	175	64.9	18.1	60.0
機能強化型2	178	61.2	13.2	60.0
機能強化型以外	1,366	60.6	18.3	60.0
主に精神科	233	46.3	18.0	45.0
訪問看護	1,703	61.4	17.8	60.0
精神科訪問看護	299	46.9	17.3	45.0

⑤直近1回の訪問者の職種

直近の1回の訪問者の職種についてみると、「機能強化型1」では「保健師・助産師・看護師」が97.8%、「理学療法士」が5.9%、「作業療法士」が1.6%であった。また、「精神科訪問看護」では「保健師・助産師・看護師」が89.3%、「准看護師」が8.2%、「作業療法士」が4.1%であった。

図表 201 直近の1回の訪問者の職種

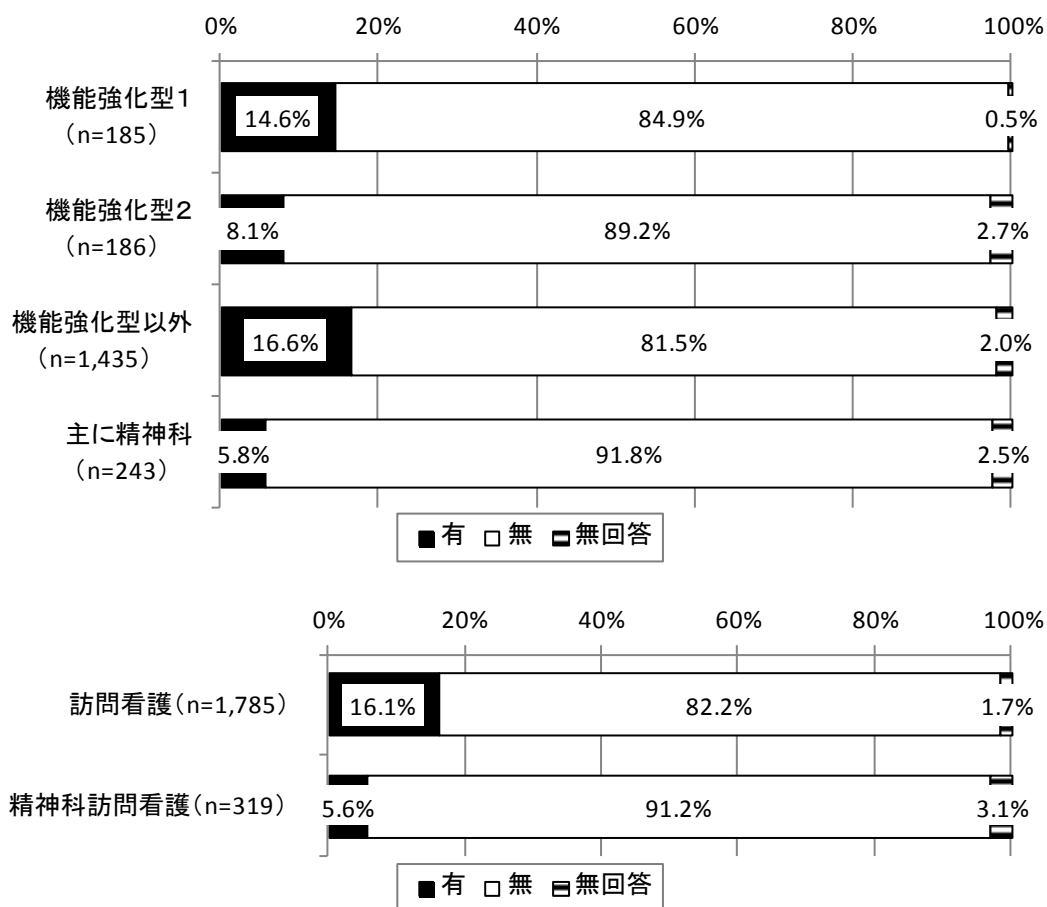


⑥当該事業所以外に訪問看護を提供する事業所の有無・訪問者の職種

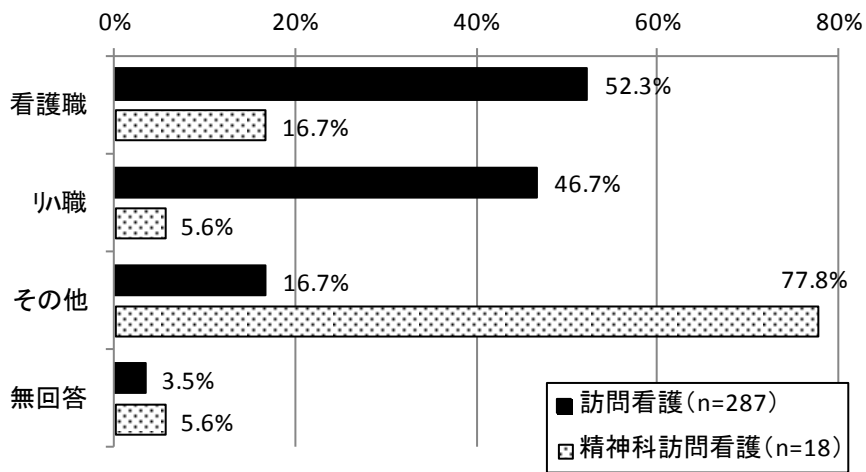
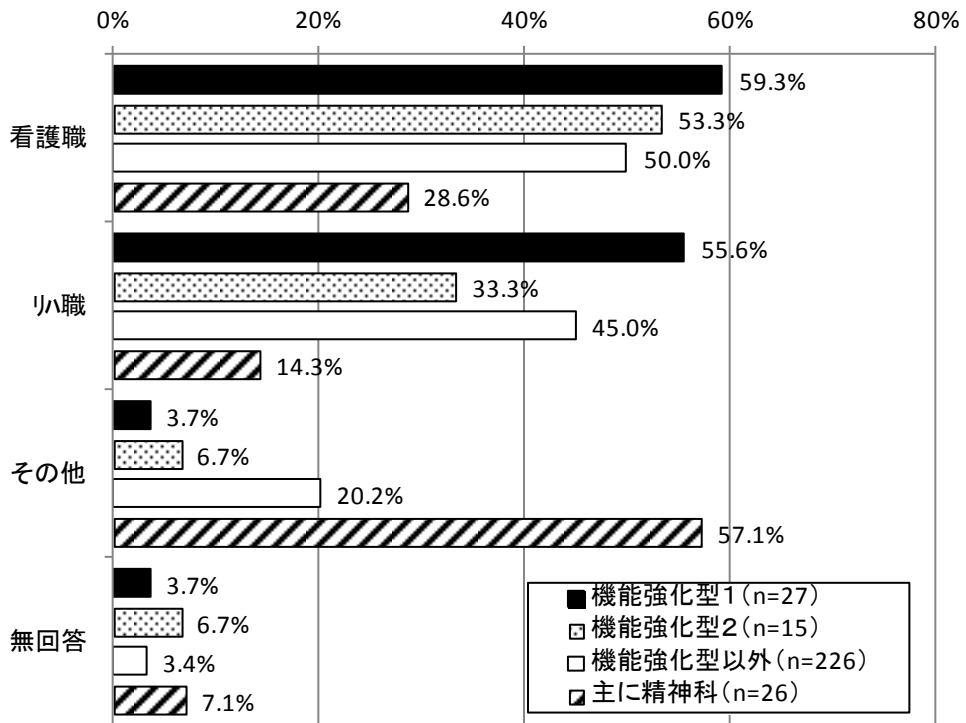
当該事業所以外に訪問看護を提供する事業所の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が14.6%、「機能強化型2」では8.1%、「機能強化型以外」では16.6%、「主に精神科」では5.8%であった。また、「訪問看護」では16.1%、「精神科訪問看護」では5.6%であった。

当該事業所以外に訪問看護を提供する事業所が「有」の場合について、訪問者の職種をみると、「訪問看護」では「看護職」が52.3%、「リハ職」が46.7%であった。「精神科訪問看護」では「看護職」が16.7%、「リハ職」が5.6%で、「その他」が77.8%であった。

図表 202 当該事業所以外に訪問看護を提供する事業所の有無



図表 203 (有の場合) 訪問者の職種

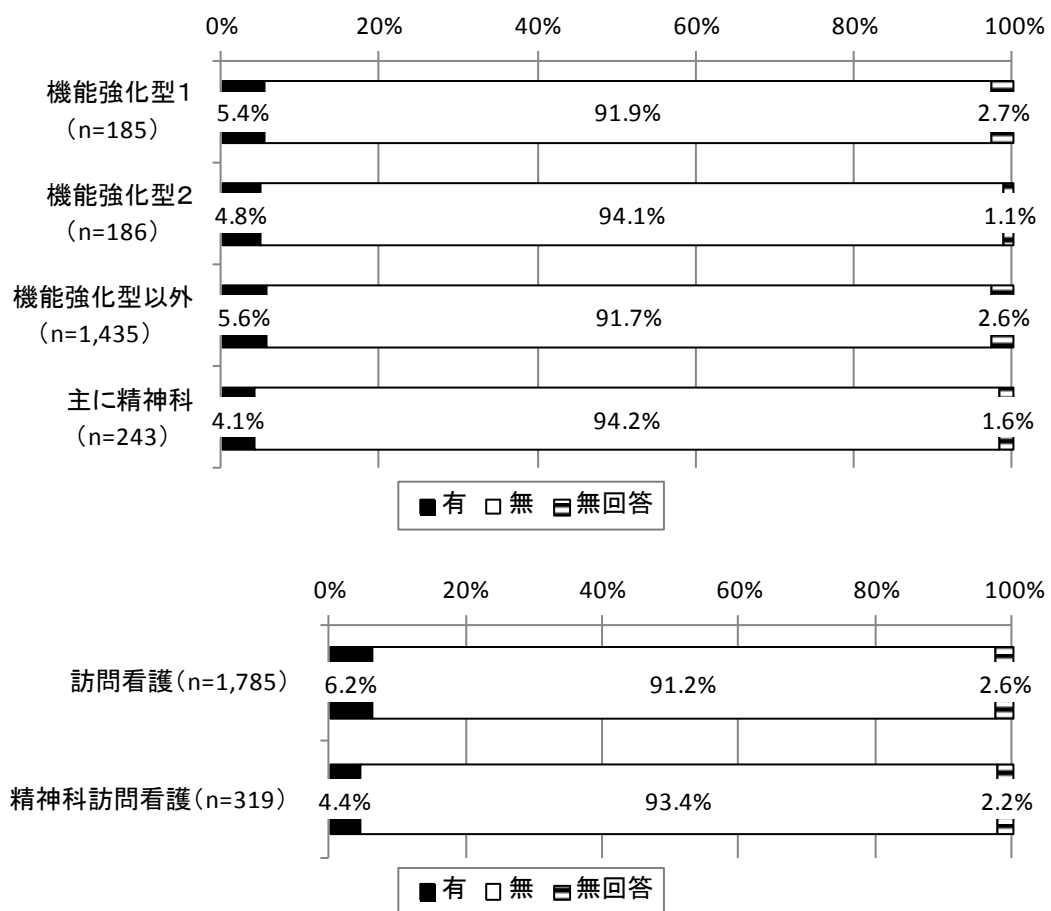


⑦特別訪問看護指示書の交付

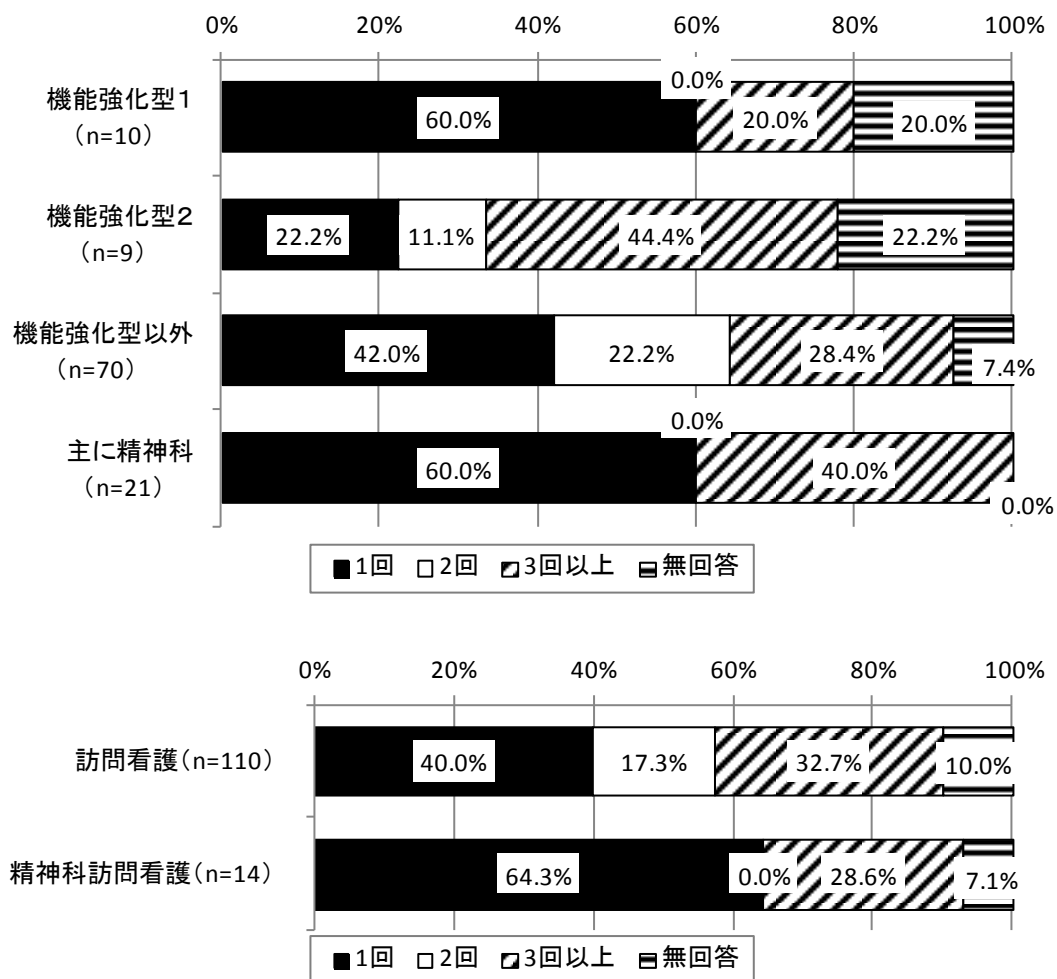
平成 26 年 4 月～9 月の 6 か月間の特別訪問看護指示書の交付の有無についてみると、「機能強化型 1」では「有」が 5.4%、「機能強化型 2」では 4.8%、「機能強化型以外」では 5.6%、「主に精神科」では 4.1%であった。また、「訪問看護」では 6.2%、「精神科訪問看護」では 4.4%であった。

特別訪問看護指示書の交付が「有」の場合についてみると、交付回数は「訪問看護」では平均 3.7 回、「精神科訪問看護」では平均 2.2 回であった。

図表 204 特別訪問看護指示書の交付の有無



図表 205 (有の場合) 特別訪問看護指示書の交付回数 (平成 26 年 4 月～9 月)



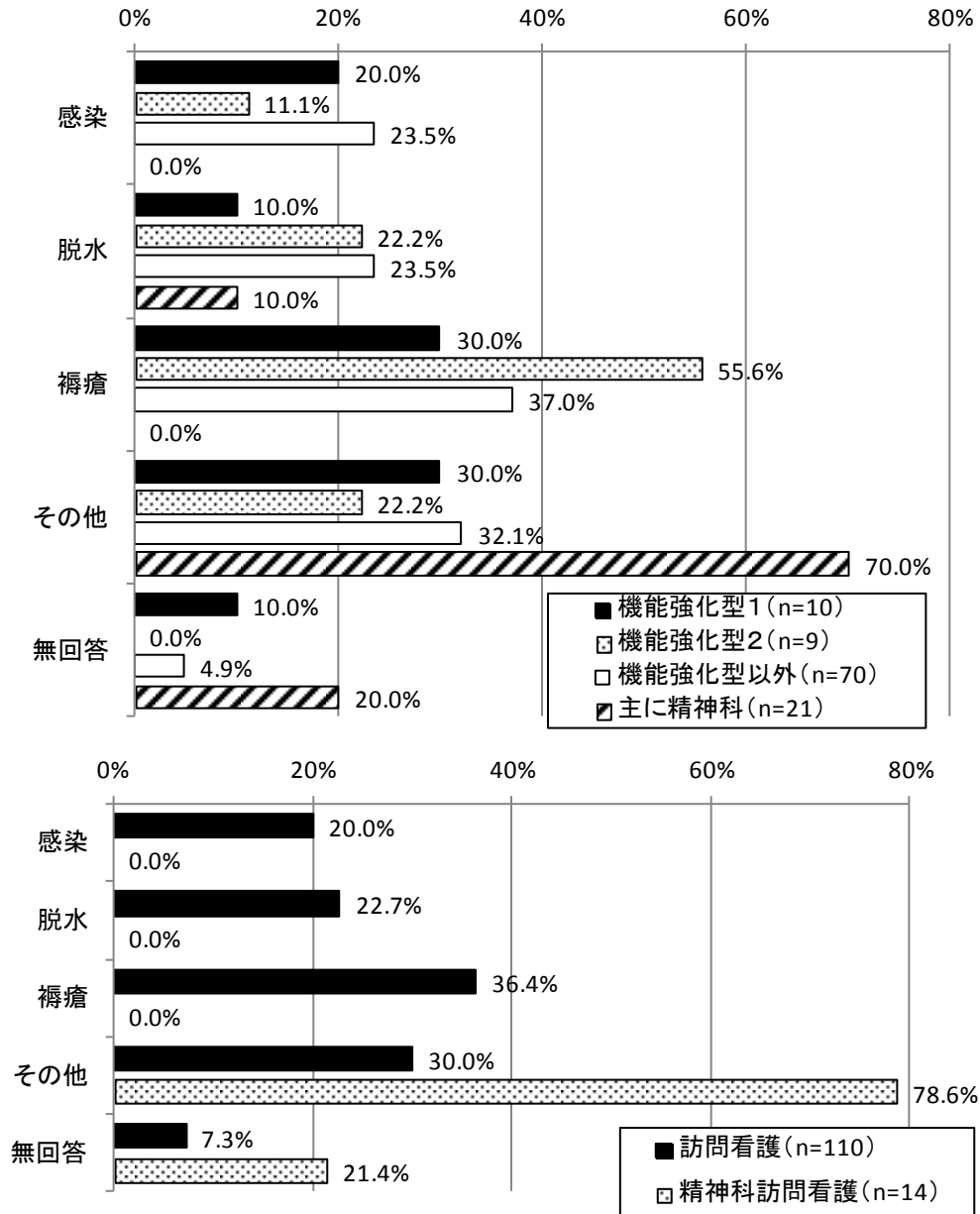
単位：回

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	8	3.3	4.3	1.0
機能強化型 2	7	7.0	5.3	11.0
機能強化型以外	75	3.1	3.2	2.0
主に精神科	10	2.5	2.0	1.0
訪問看護	99	3.7	3.7	2.0
精神科訪問看護	13	2.2	1.9	1.0

⑧指示の内容

特別訪問看護指示書の交付が「有」の場合について、指示の内容をみると、「訪問看護」では「褥瘡」が36.4%、「脱水」が22.7%で、「感染」が20.0%であった。

図表 206 (有の場合) 特別訪問看護指示書における指示の内容 (複数回答)

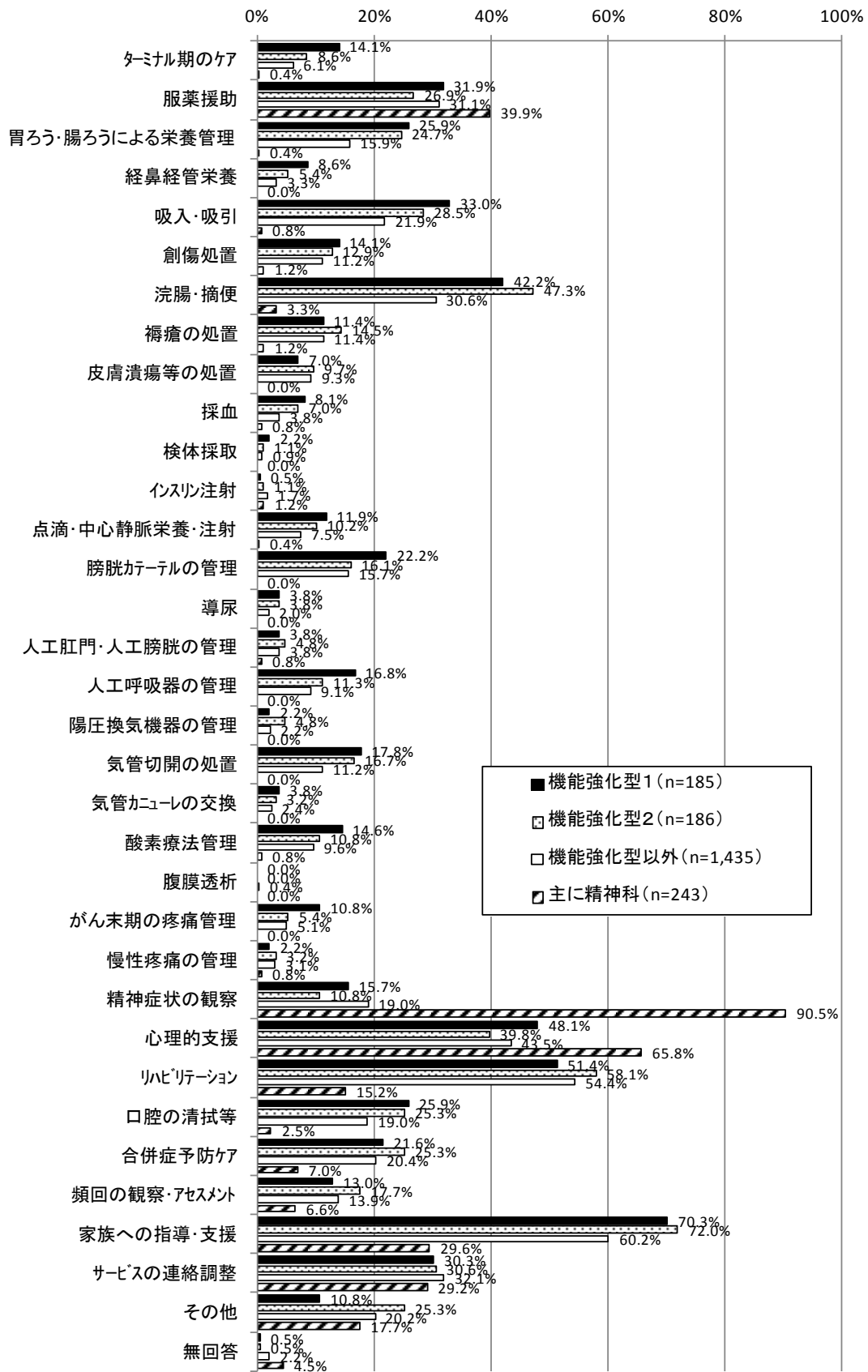


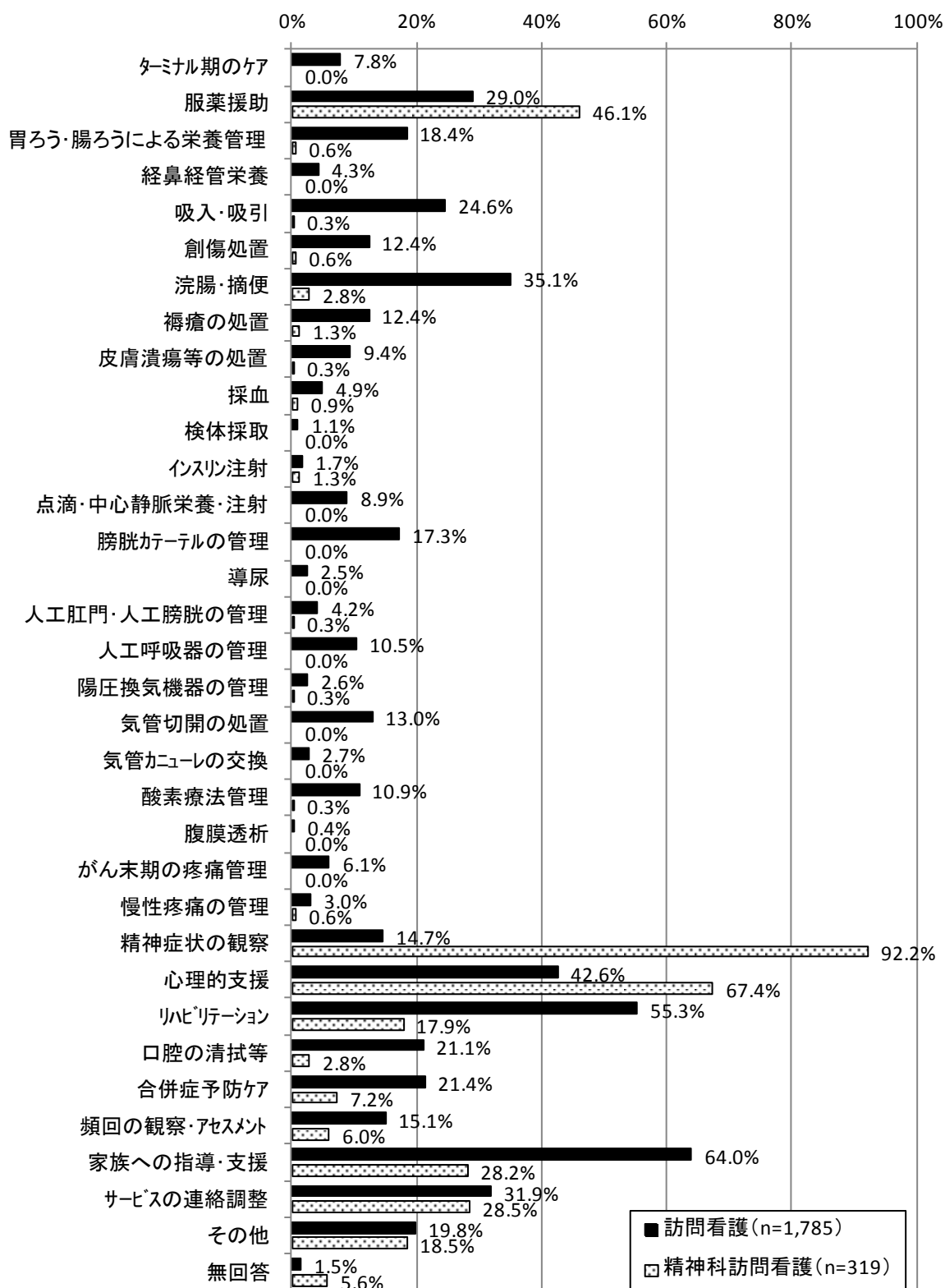
⑨訪問看護が提供したケア内容

訪問看護が提供したケア内容についてみると、「機能強化型 1」では「家族への指導・支援」が 70.3%、「リハビリテーション」が 51.4%、「心理的支援」が 48.1%であった。また、「訪問看護」では「家族への指導・支援」が 64.0%、「リハビリテーション」が 55.3%、「心理的支援」が 42.6%であった。「精神科訪問看護」では「精神症状の観察」が 92.2%、「心理的支援」が 67.4%、「服薬援助」が 46.1%であった。

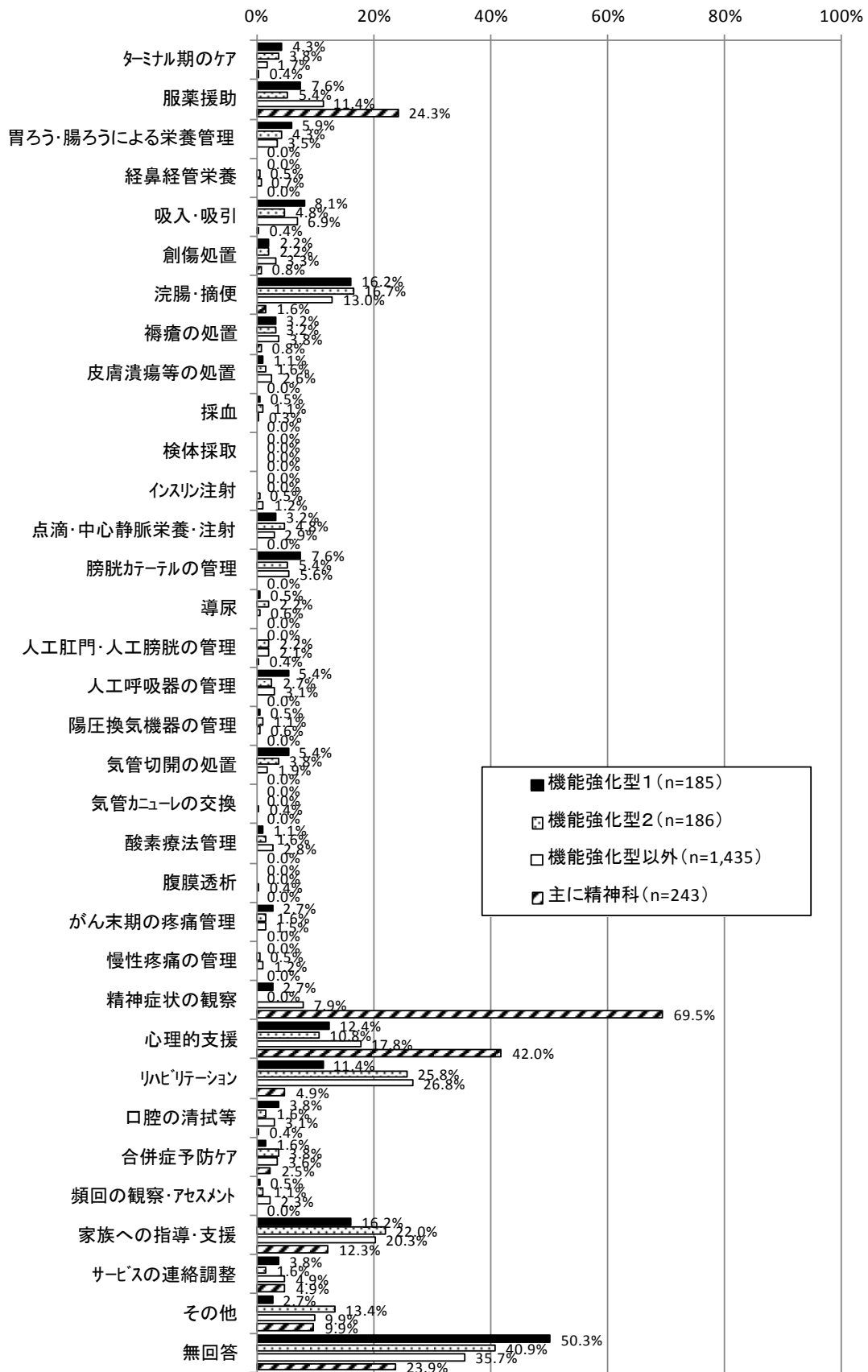
直近 1 回の訪問時に行った主要なケア内容についてみると、「機能強化型 1」では「浣腸・排便」、「家族への指導・支援」がそれぞれ 16.2%、「心理的支援」が 12.4%であった。「機能強化型 2」では「リハビリテーション」が 25.8%、「家族への指導・支援」が 22.0%、「浣腸・排便」が 16.7%であった。また、「訪問看護」では「リハビリテーション」が 25.3%、「家族への指導・支援」が 20.3%、「心理的支援」は 15.0%であった。「精神科訪問看護」では「精神症状の観察」が 69.6%、「心理的支援」が 43.9%、「服薬援助」が 28.2%であった。

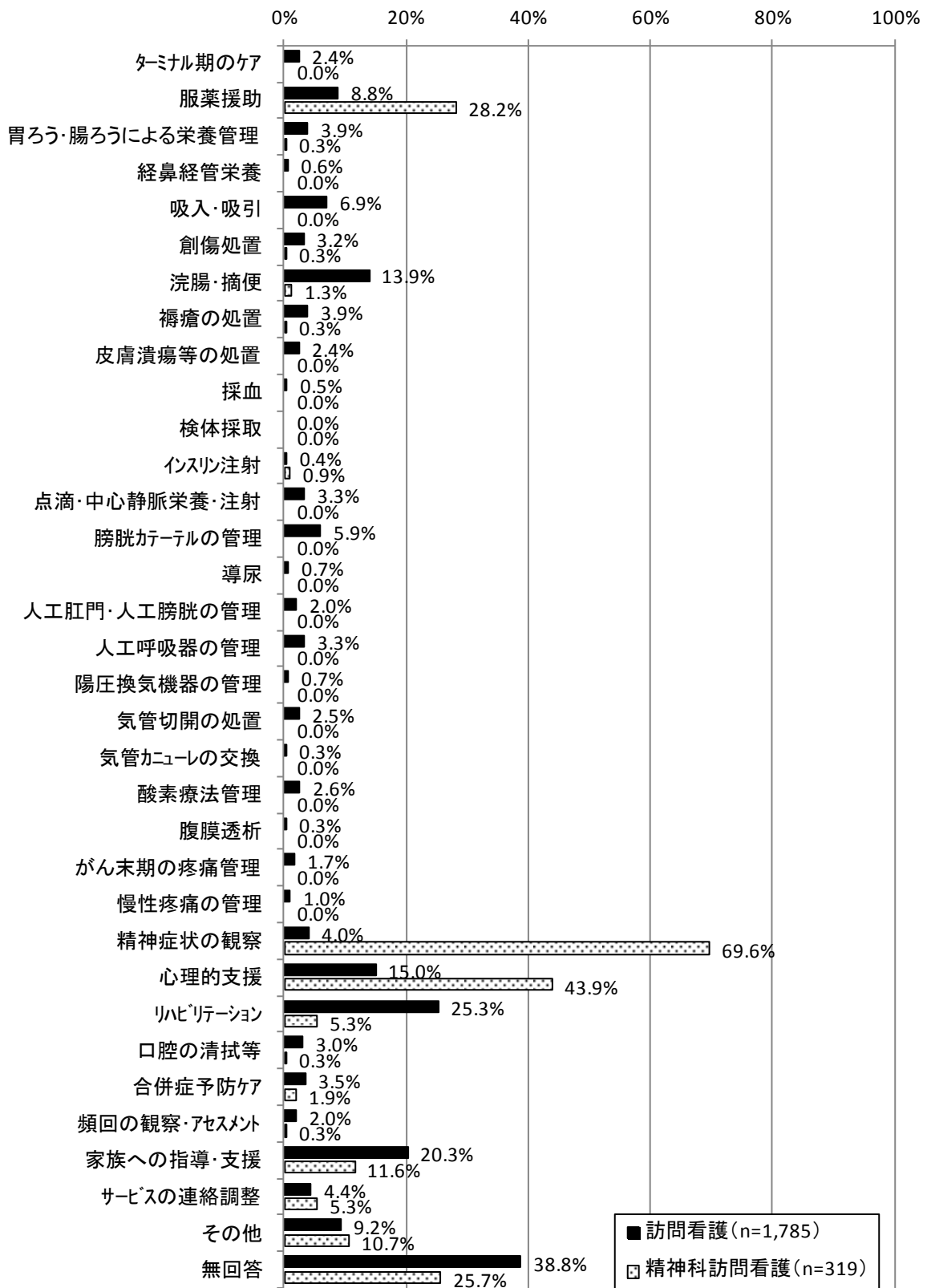
図表 207 訪問看護が提供したケア内容（複数回答）





図表 208 直近1回の訪問時に行った主要なケア内容 (3つまで)



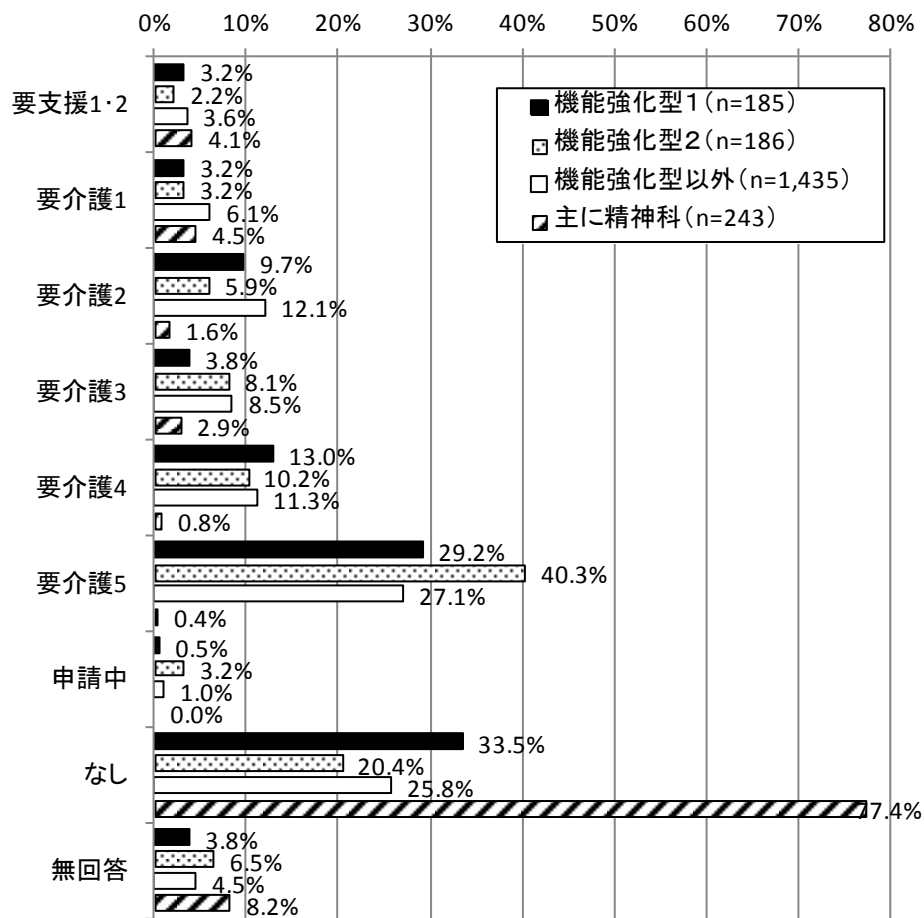


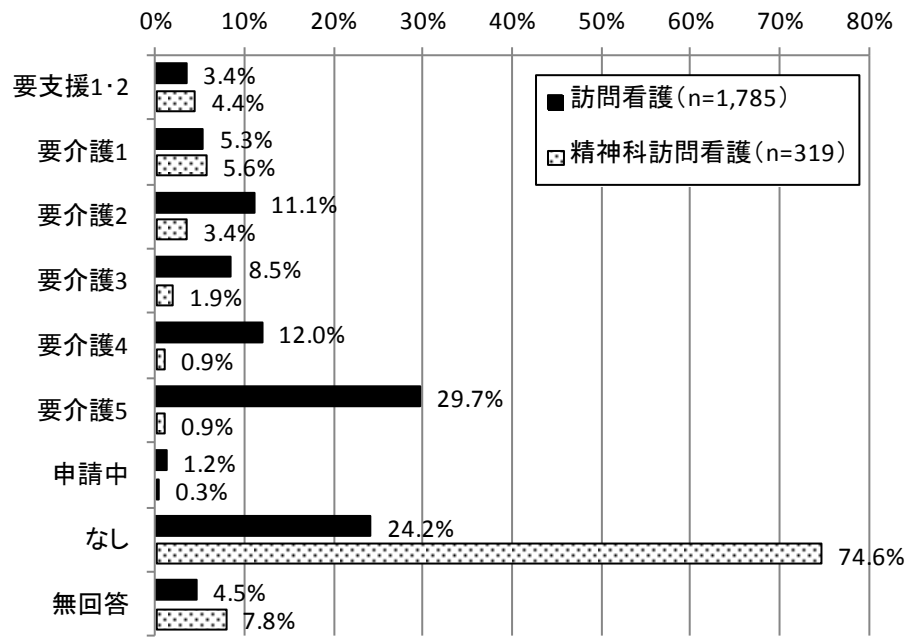
6) 自立度・介護の状況等

①要介護度（直近）

直近の要介護度についてみると、「機能強化型1」では「なし」が33.5%、「要介護5」が29.2%、「要介護4」が13.0%であった。「機能強化型2」では「要介護5」が40.3%、「なし」が20.4%、「要介護4」が10.2%であった。また、「訪問看護」では「要介護5」が29.7%、「なし」が24.2%、「要介護4」が12.0%であった。「精神科訪問看護」では「なし」が74.6%であった。

図表 209 要介護度（直近）

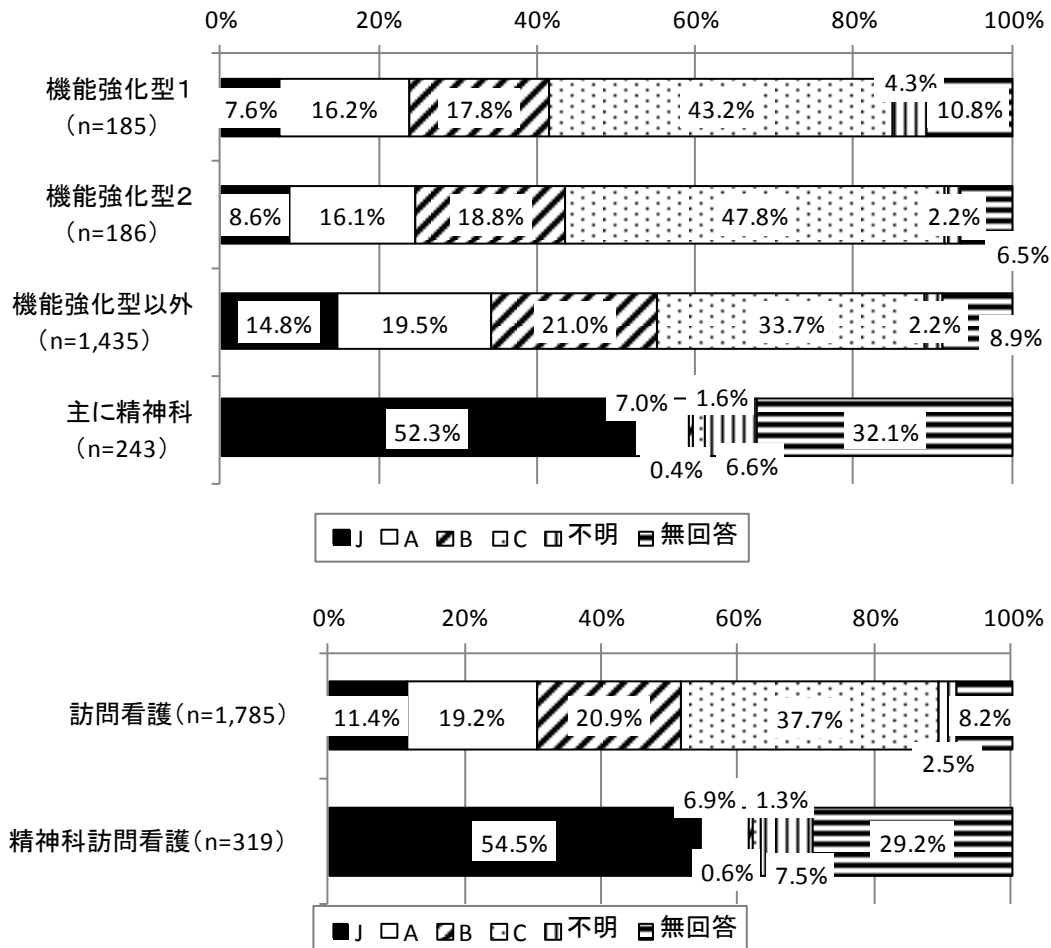




②障害高齢者の日常生活自立度（直近）

障害高齢者の日常生活自立度（直近）についてみると、「機能強化型1」では「C」が43.2%であった。また、「訪問看護」では「C」が37.7%、「精神科訪問看護」では「J」が54.5%で最も多かった。

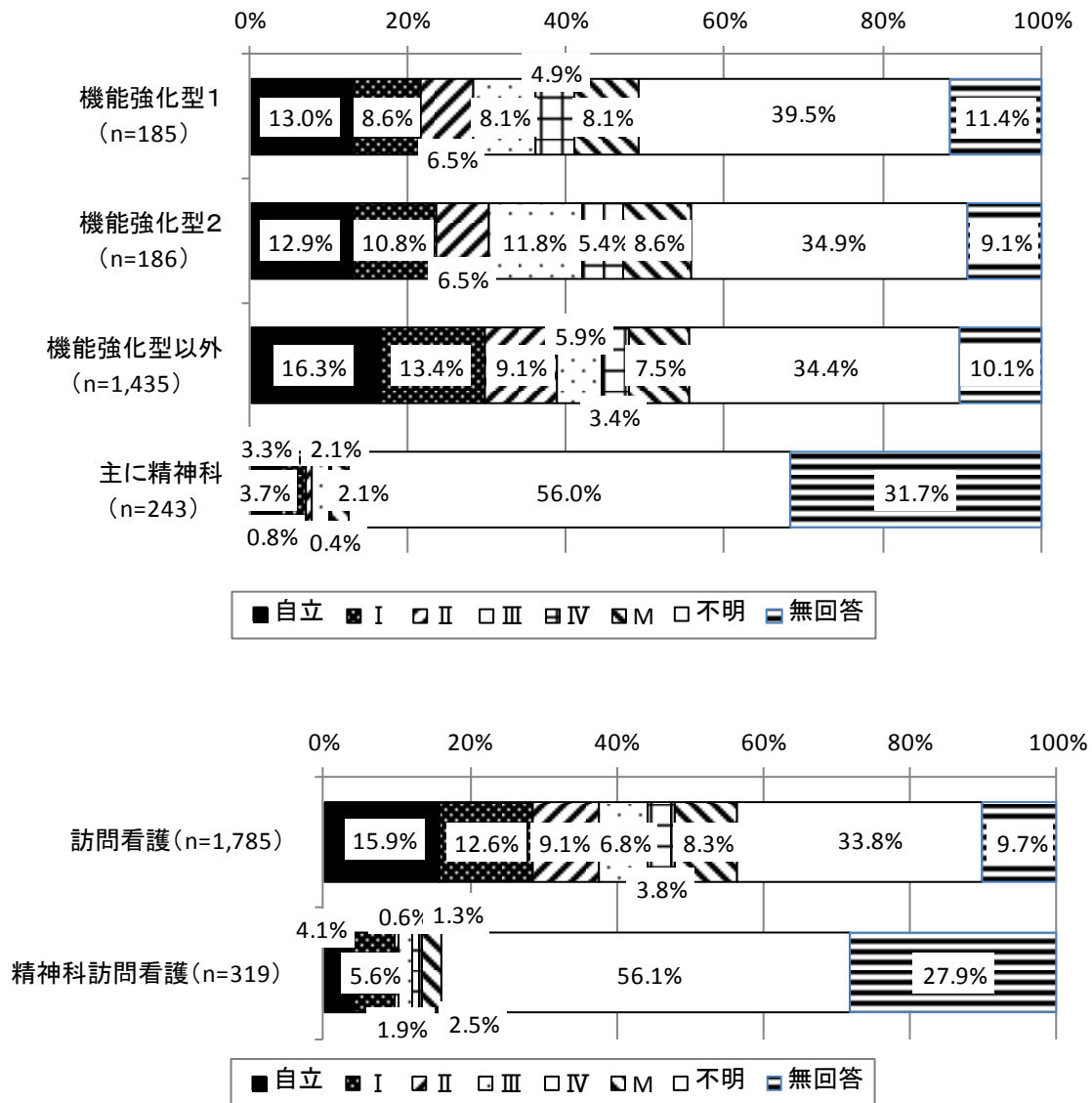
図表 210 障害高齢者の日常生活自立度（直近）



③認知症高齢者の日常生活自立度（直近）

認知症高齢者の日常生活自立度（直近）についてみると、「機能強化型1」では「自立」が13.0%、「I」が8.6%であった。また、「訪問看護」では「自立」が15.9%、「I」が12.6%、「II」が9.1%であった。「精神科訪問看護」では「不明」が56.1%であった。

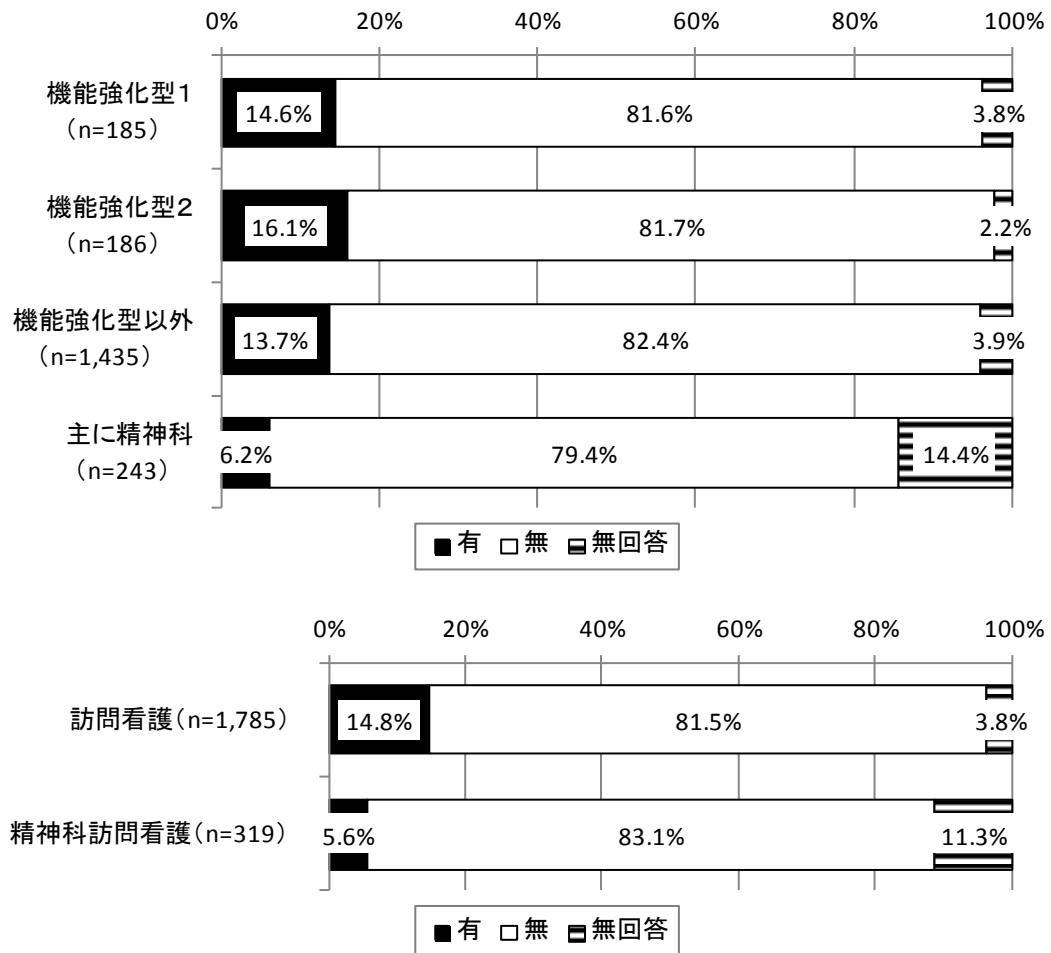
図表 211 認知症高齢者の日常生活自立度



④介護保険による訪問看護の提供の有無

利用者に対して、過去1年以内に介護保険による訪問看護を提供したことがあるかをたずねたところ、「機能強化型1」では「有」が14.6%、「機能強化型2」では16.1%、「機能強化型以外」では13.7%、「主に精神科」では6.2%であった。また、「訪問看護」では14.8%、「精神科訪問看護」では5.6%であった。

図表 212 介護保険による訪問看護の提供の有無



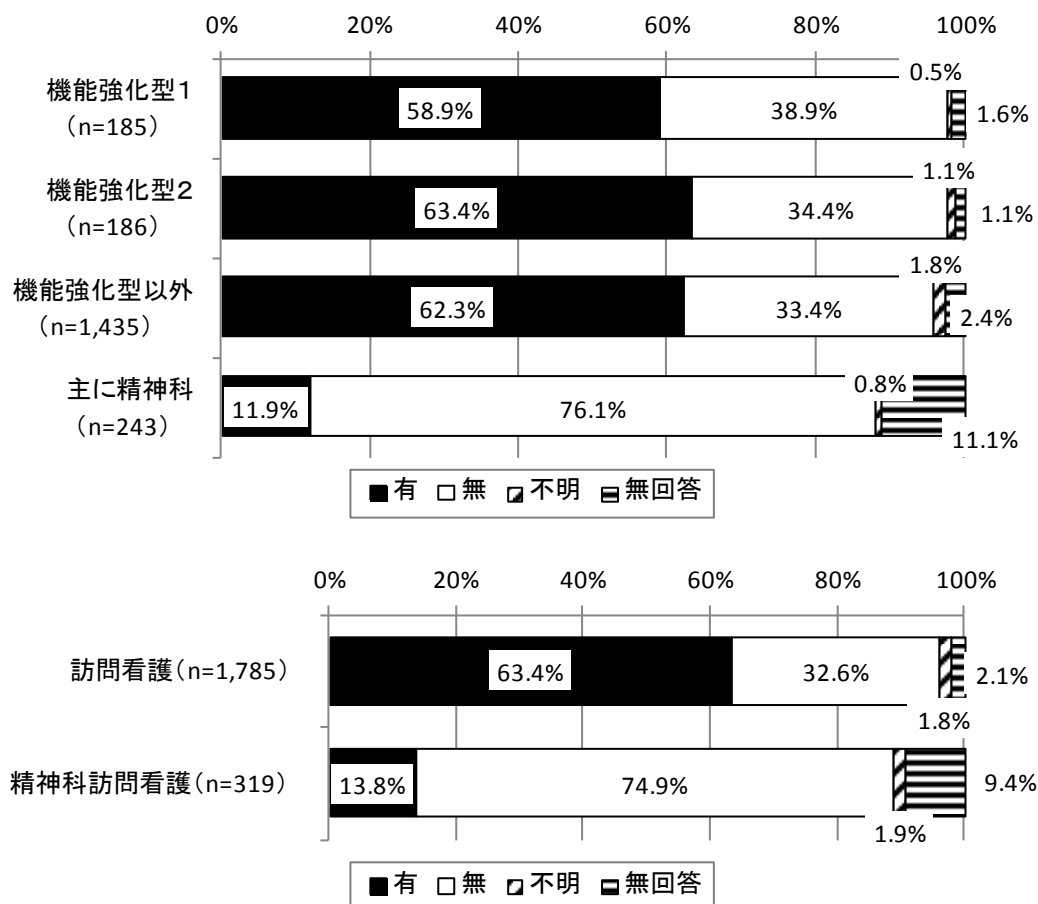
⑤介護保険サービスの利用の有無

介護保険サービスの利用の有無についてみると、「機能強化型 1」では「有」が 58.9%、「機能強化型 2」では 63.4%、「機能強化型以外」では 62.3%、「主に精神科」では 11.9%であった。また、「訪問看護」では 63.4%、「精神科訪問看護」では 13.8%であった。

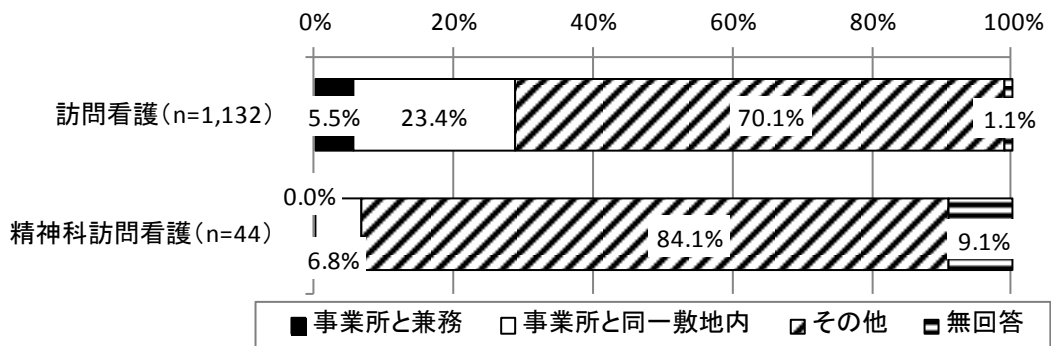
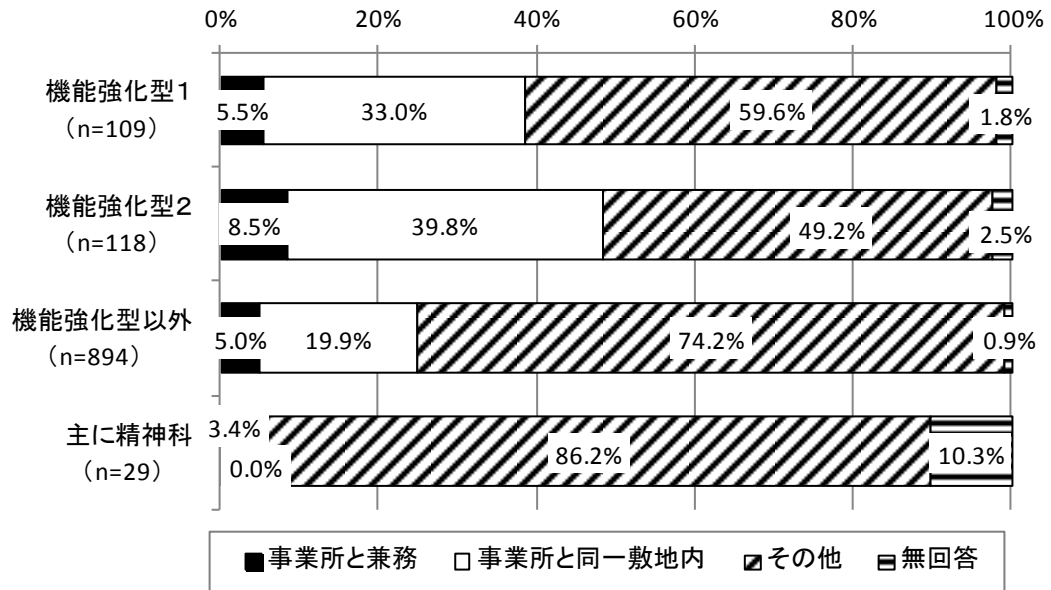
介護保険サービスの利用が「有」の場合について、利用者のケアマネジャーの所属をみると、「機能強化型 1」では「事業所と兼務」が 5.5%、「事業所と同一敷地内」が 33.0%であった。「機能強化型 2」では「事業所と兼務」が 8.5%、「事業所と同一敷地内」が 39.8%であった。「機能強化型以外」では「事業所と兼務」が 5.0%、「事業所と同一敷地内」が 19.9%であった。

介護保険サービスの利用が「有」の場合について、利用者のケアマネジャーとの連絡回数（平成 26 年 9 月）をみると、「機能強化型 1」、「機能強化型 2」では平均 2.9 回、「機能強化型以外」では平均 2.6 回、「主に精神科」では平均 2.2 回であった。また、「訪問看護」では平均 2.7 回、「精神科訪問看護」では平均 2.9 回であった。

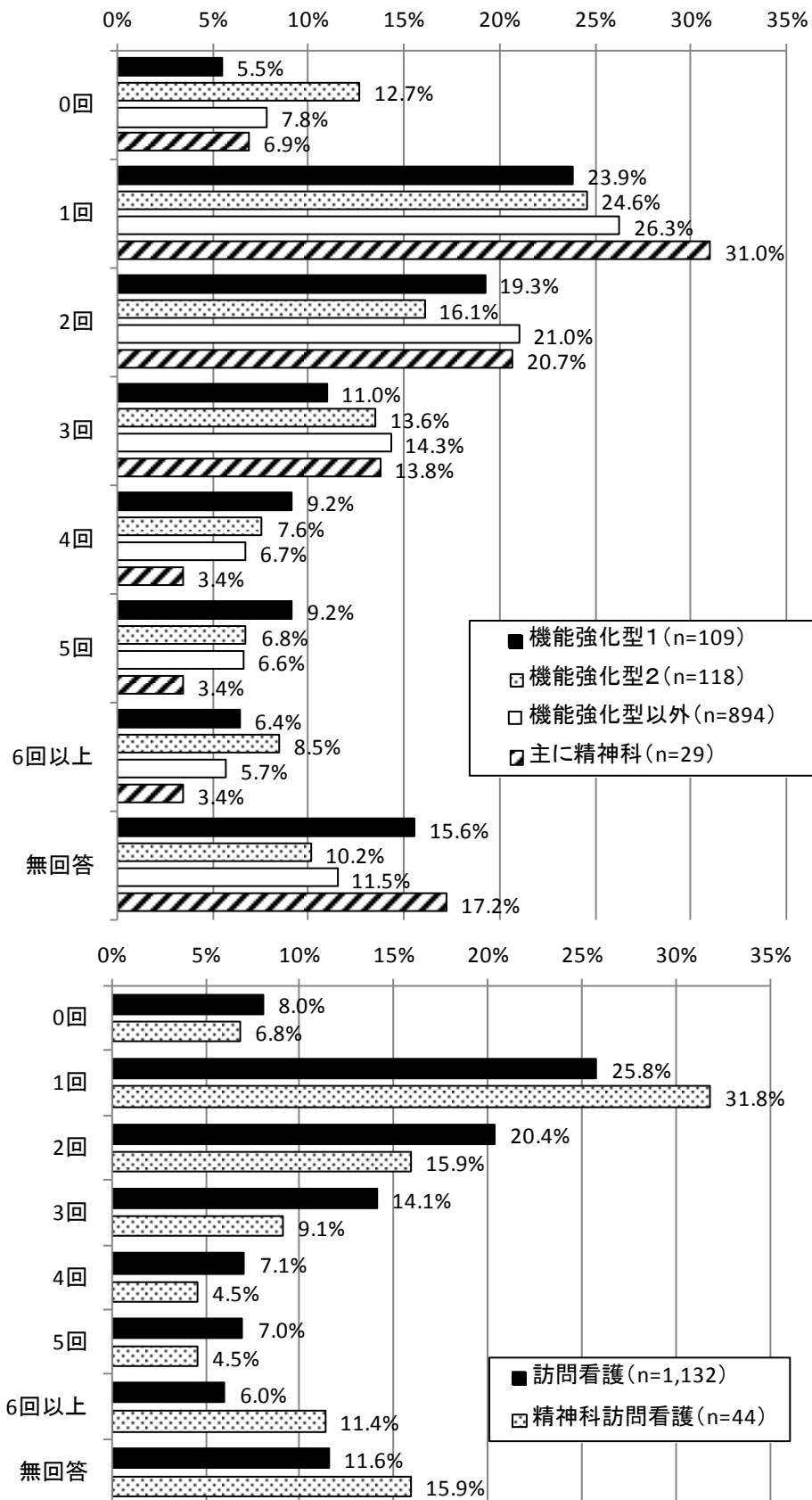
図表 213 介護保険サービスの利用の有無（平成 26 年 9 月）



図表 214 (有の場合) 利用者のケアマネジャーの所属



図表 215 (有の場合) 利用者のケアマネジャーとの連絡回数 (平成 26 年 9 月)



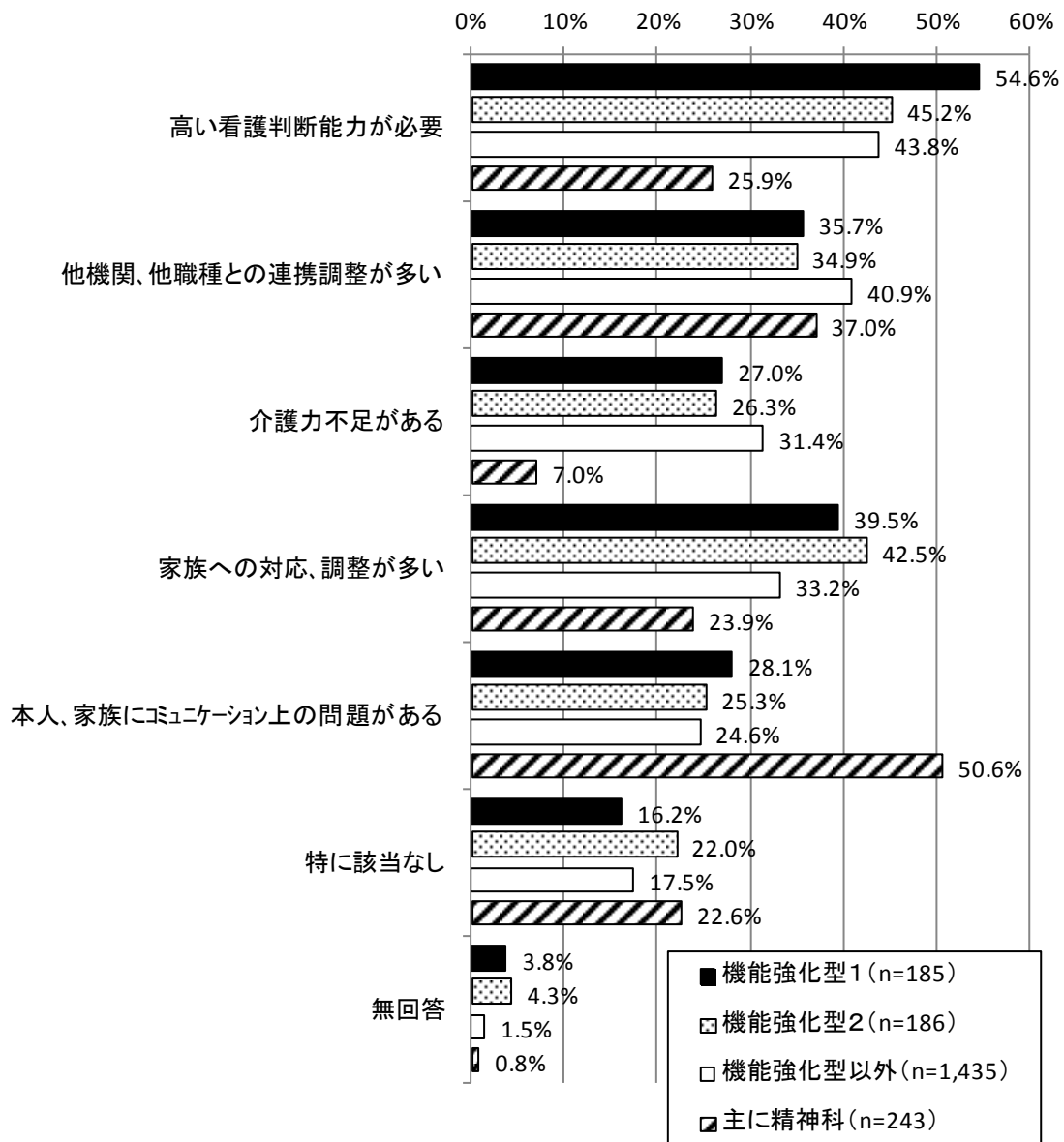
単位：回

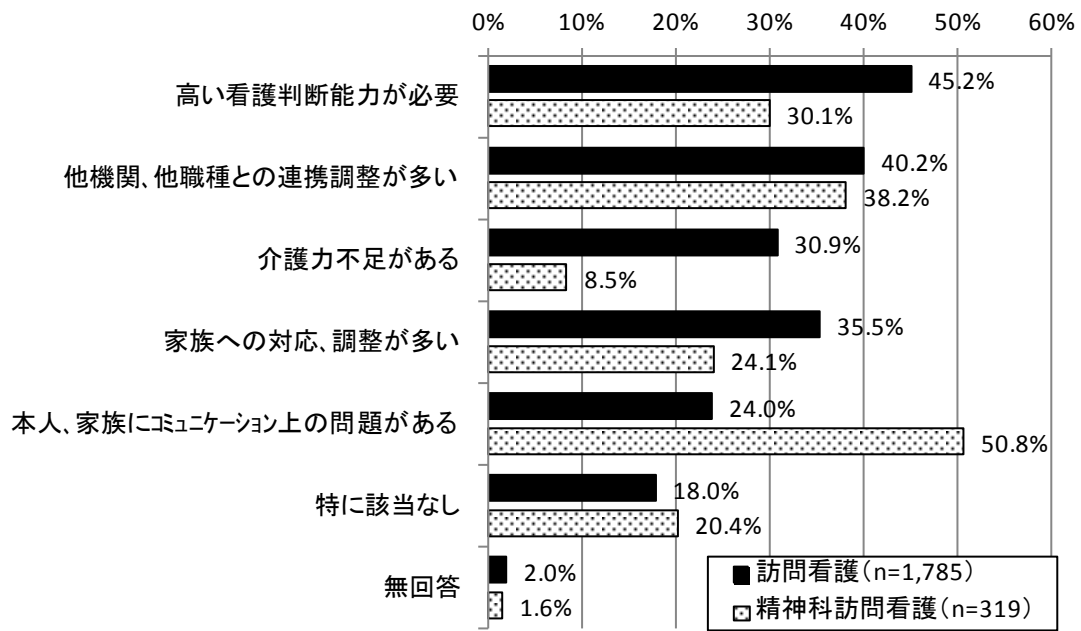
	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	92	2.9	2.8	2.0
機能強化型 2	106	2.9	3.6	2.0
機能強化型以外	791	2.6	2.9	2.0
主に精神科	24	2.2	2.1	2.0
訪問看護	1,001	2.7	3.0	2.0
精神科訪問看護	37	2.9	3.0	2.0

⑥利用者の状況

利用者の状況についてみると、「機能強化型1」では「高い看護判断能力が必要」が54.6%、「家族への対応、調整が多い」が39.5%、「他機関、他職種との連携調整が多い」が35.7%であった。また、「精神科訪問看護」では「本人、家族にコミュニケーション上の問題がある」が50.8%、「他機関、他職種との連携調整が多い」が38.2%、「高い看護判断能力が必要」が30.1%であった。

図表 216 利用者の状況（複数回答）





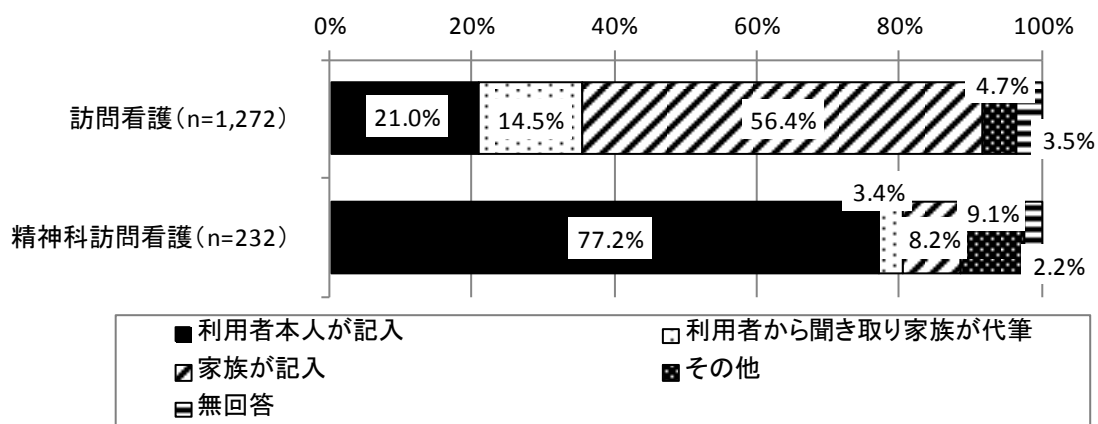
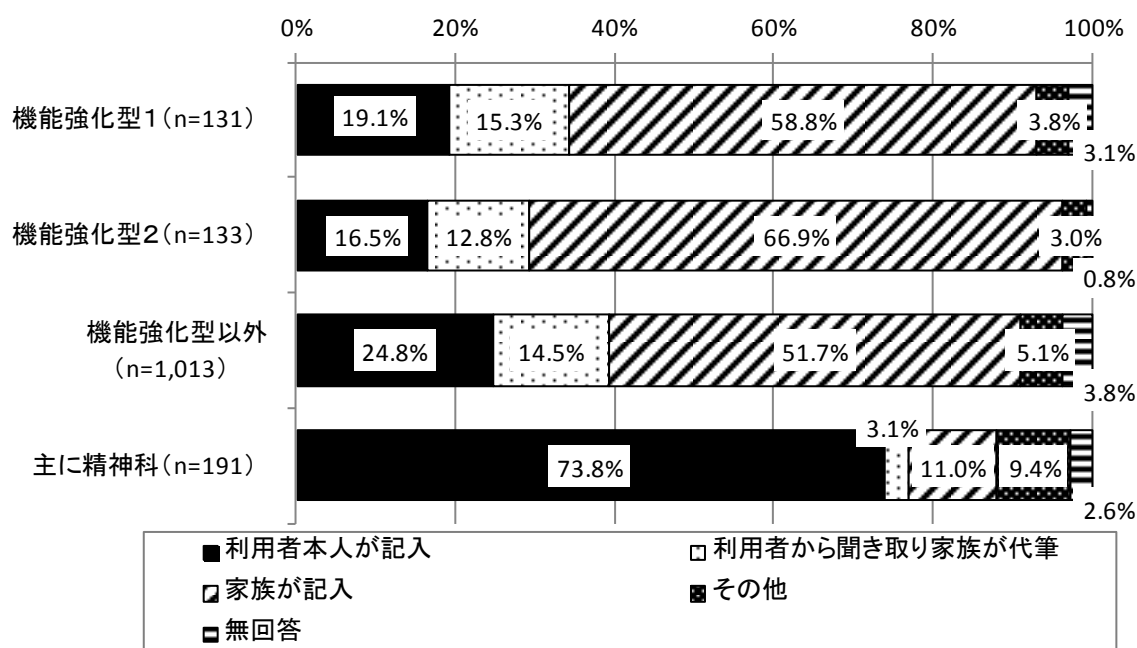
(2) 訪問看護や介護の利用状況や評価等（利用者記入分）

1) 利用者の基本情報

①回答者

利用者票(利用者記入分)の回答者についてみると、「機能強化型1」では「家族が記入」が58.8%、「利用者本人が記入」が19.1%であった。また、「訪問看護」では「家族が記入」が56.4%、「利用者本人が記入」は21.0%、「利用者から聞き取り家族が代筆」が14.5%であった。「精神科訪問看護」では「利用者本人が記入」が77.2%、「家族が記入」が8.2%であった。

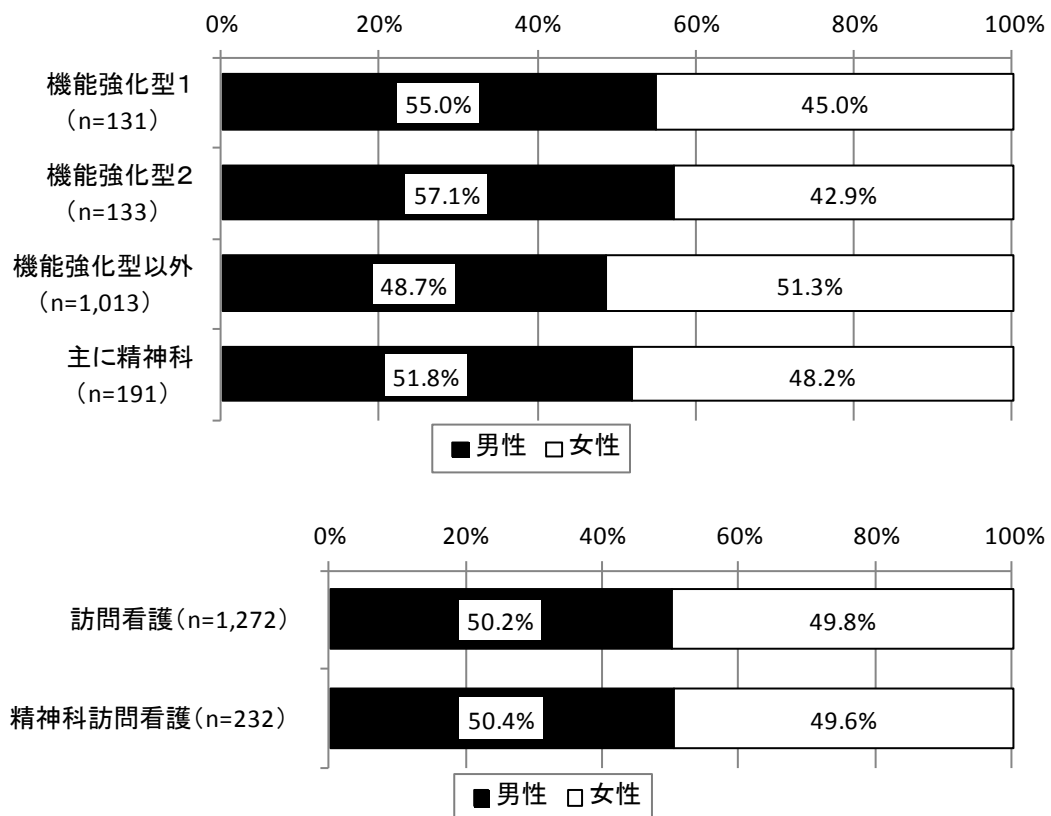
図表 217 回答者



②性別

性別についてみると、「機能強化型1」では「男性」が55.0%、「女性」が45.0%であった。また、「訪問看護」では「男性」が50.2%、「女性」は49.8%であった。「精神科訪問看護」では「男性」が50.4%、「女性」が49.6%であった。

図表 218 性別

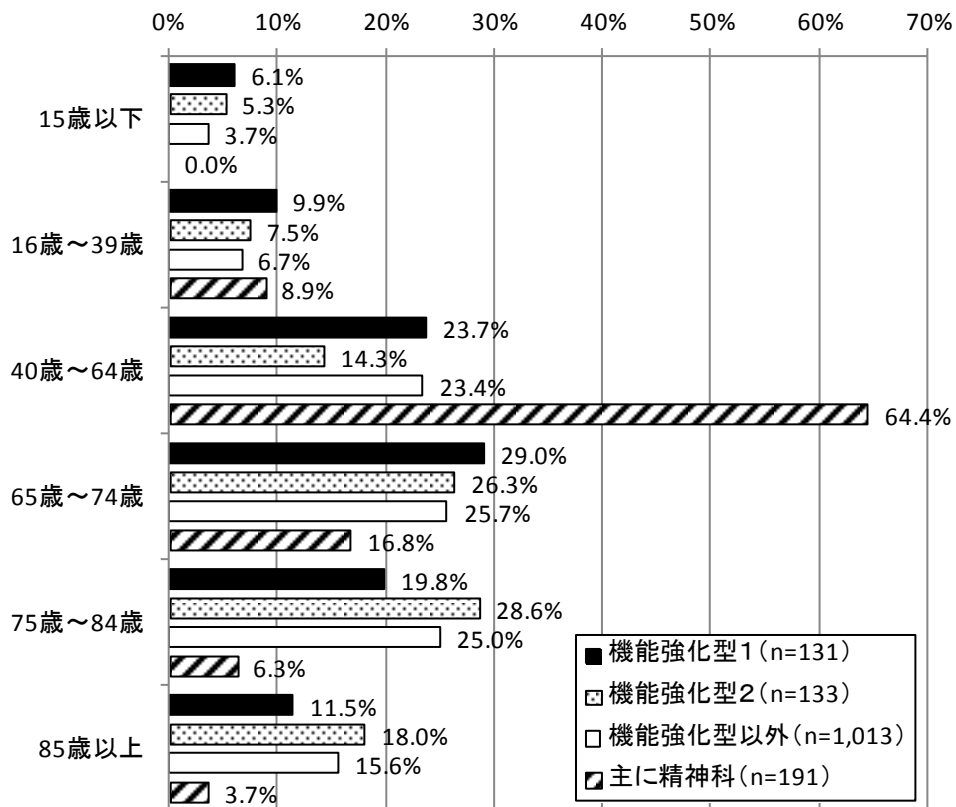


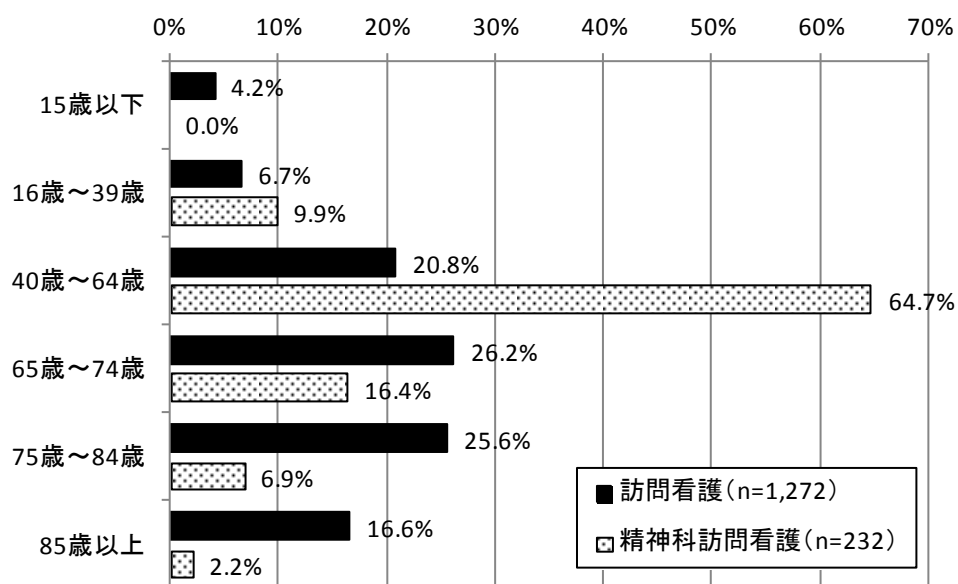
③年齢

年齢についてみると、「機能強化型1」では「65歳～74歳」が29.0%、「40歳～64歳」が23.7%、「75歳～84歳」が19.8%であった。また、「精神科訪問看護」では「40歳～64歳」が64.7%、「65歳～74歳」が16.4%、「16歳～39歳」が9.9%であった。

平均年齢をみると、「機能強化型1」では平均62.9歳、「機能強化型2」では平均67.9歳、「機能強化型以外」では平均66.7歳、「主に精神科」では平均56.7歳であった。また、「訪問看護」では平均67.1歳、「精神科訪問看護」では平均55.9歳であった。

図表 219 年齢





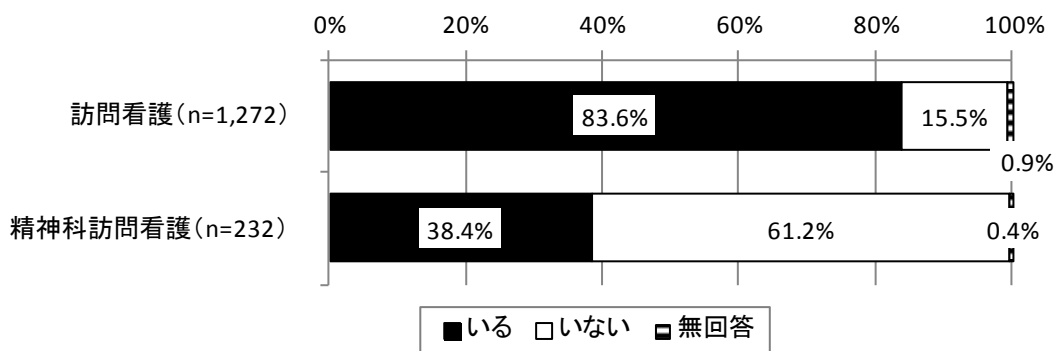
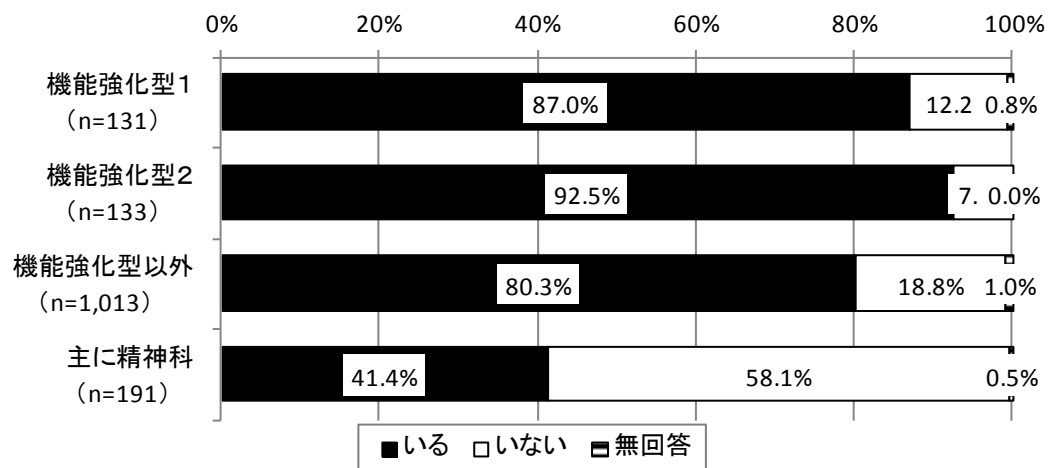
単位：歳

	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	131	62.9	22.7	68.0
機能強化型 2	133	67.9	22.0	74.0
機能強化型以外	1,013	66.7	20.2	71.0
主に精神科	191	56.7	13.8	56.0
訪問看護	1,272	67.1	20.7	72.0
精神科訪問看護	232	55.9	13.2	56.0

④同居家族

同居家族についてみると、「機能強化型1」では「いる」が87.0%、「機能強化型2」では92.5%、「機能強化型以外」では80.3%、「主に精神科」では41.4%であった。また、「訪問看護」では「いる」が83.6%であった。「精神科訪問看護」では「いる」が38.4%、「いない」が61.2%であった。

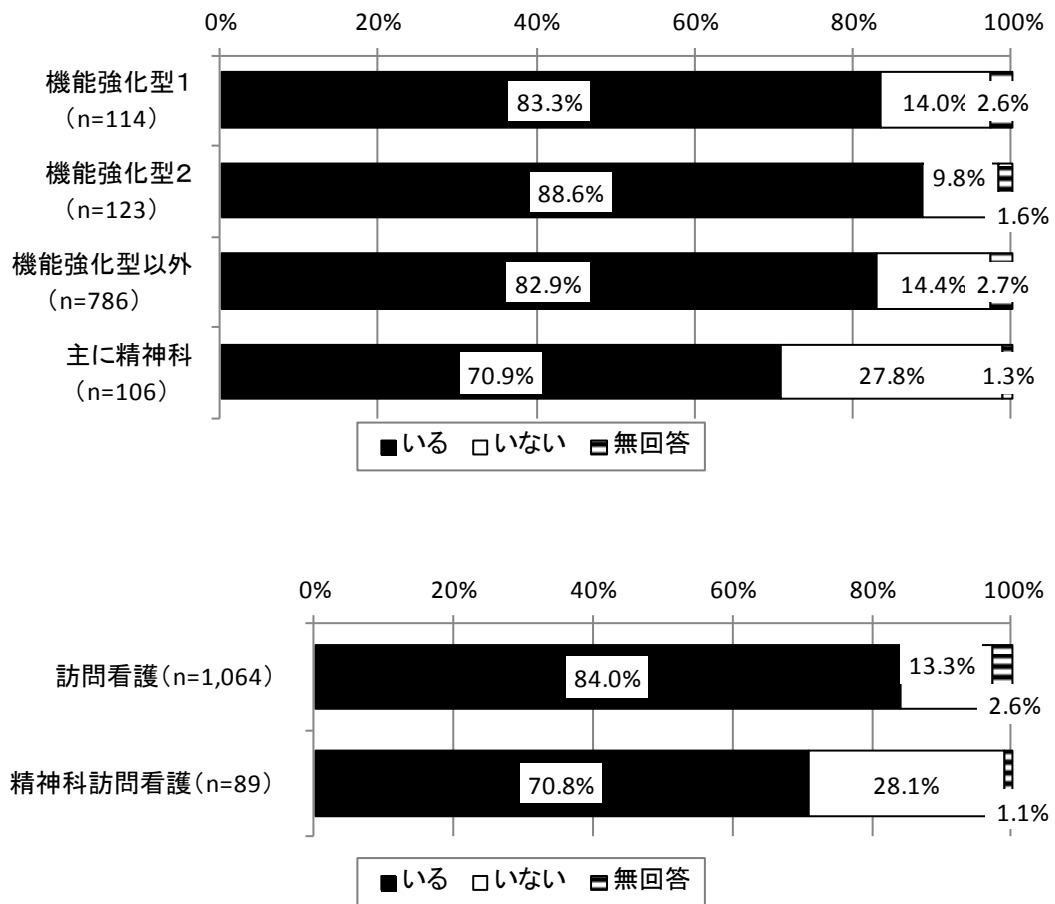
図表 220 同居家族



7（同居家族がいる場合）日中の同居家族

同居家族がいる場合について、日中の同居家族の有無をみると、「機能強化型1」では「いない」が14.0%、「機能強化型2」では9.8%、「機能強化型以外」では14.4%、「主に精神科」では27.8%であった。また、「訪問看護」では13.3%、「精神科訪問看護」では28.1%であった。

図表 221 （同居家族がいる場合）日中の同居家族の有無

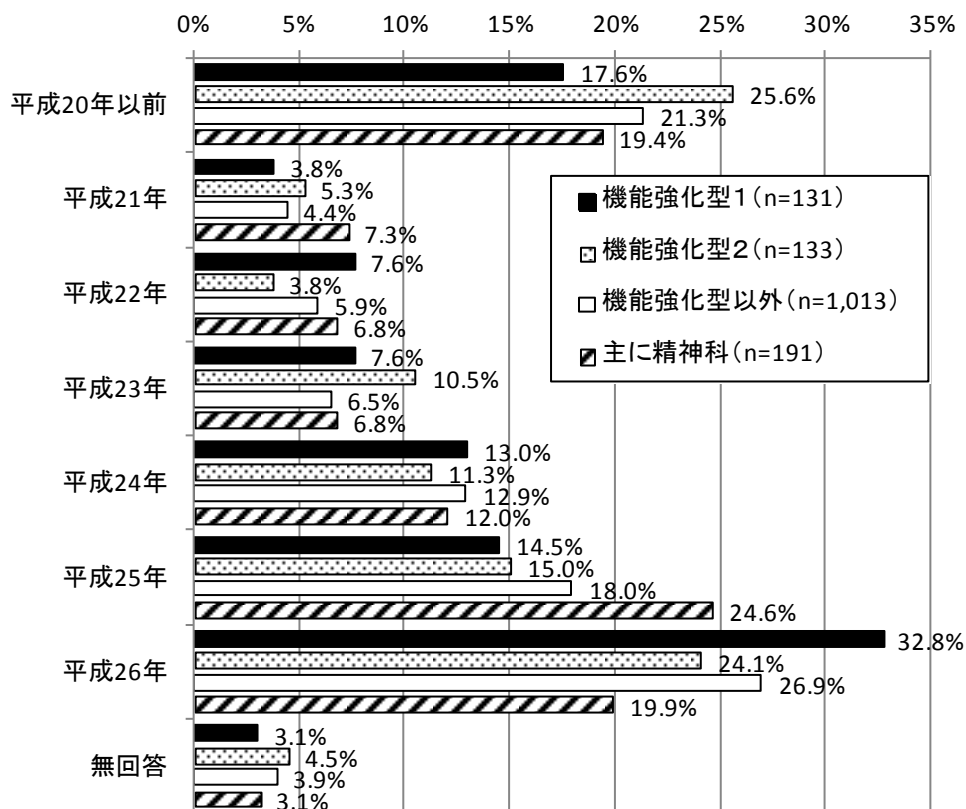


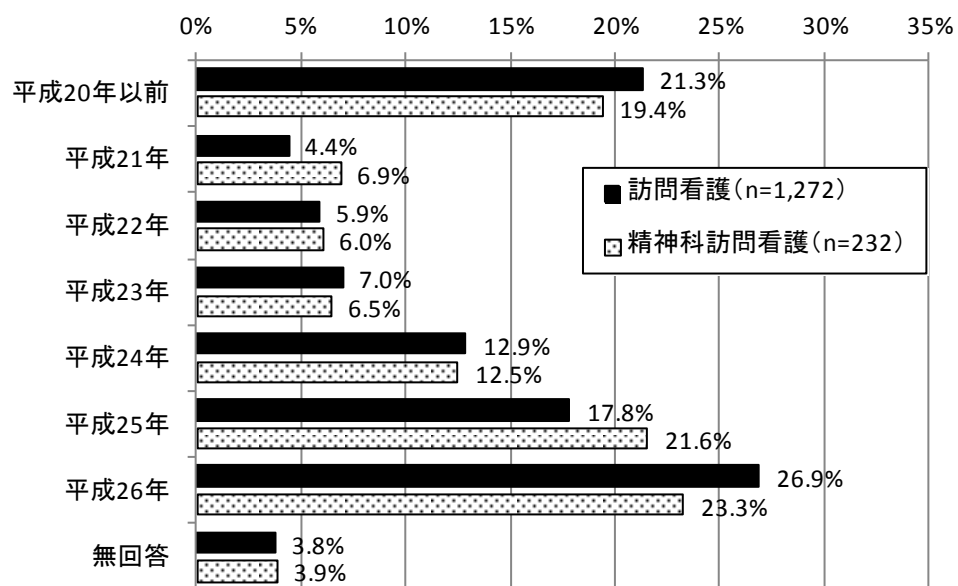
2) 訪問看護の利用状況

①訪問看護の利用開始時期

訪問看護の利用開始時期についてみると、「機能強化型1」では「平成26年」が32.8%、「平成20年以前」が17.6%、「平成25年」が14.5%であった。また、「訪問看護」では「平成26年」が26.9%、「平成20年以前」が21.3%、「平成25年」が17.8%であった。「精神科訪問看護」では「平成26年」が23.3%、「平成25年」が21.6%、「平成20年以前」が19.4%であった。

図表 222 訪問看護の利用開始時期



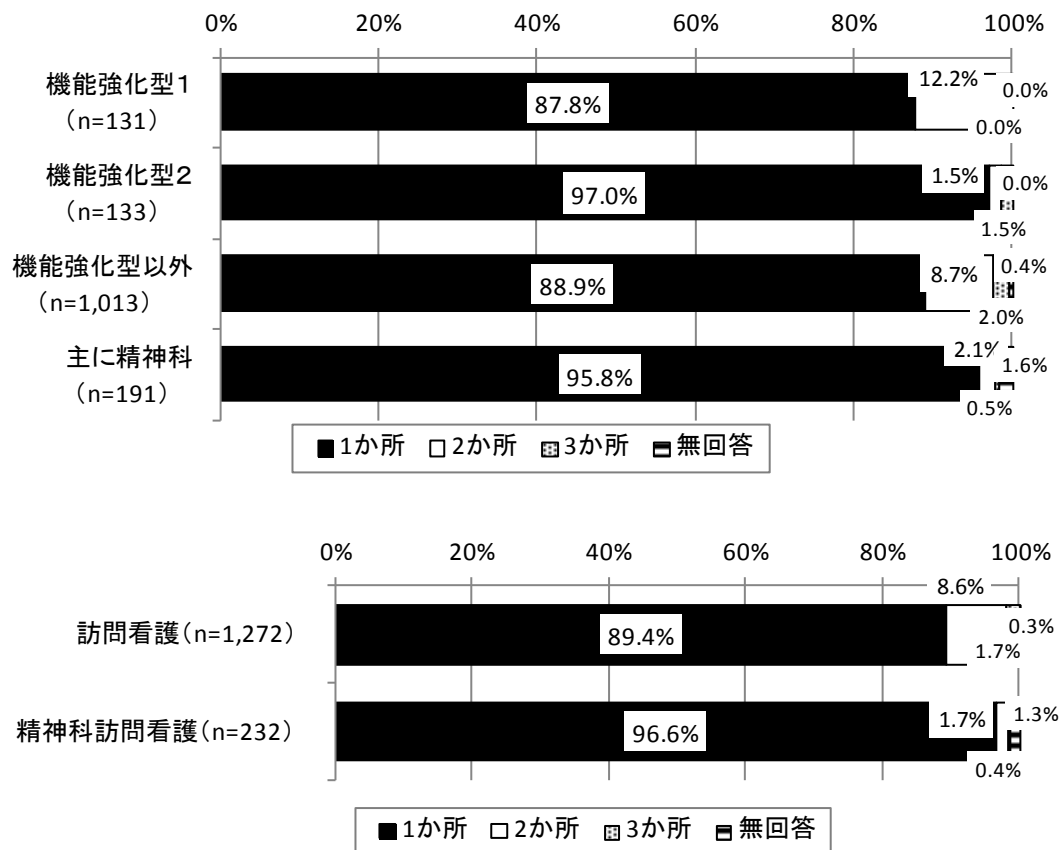


②利用している訪問看護事業所数

利用している訪問看護事業所数について、「機能強化型1」では、「1か所」が87.8%、「2か所」は12.2%であった。

「訪問看護」では、「1か所」が89.4%、「2か所」は8.6%であった。「精神科訪問看護」では、「1か所」が96.6%、「2か所」は1.7%であった。

図表 223 利用している訪問看護事業所数

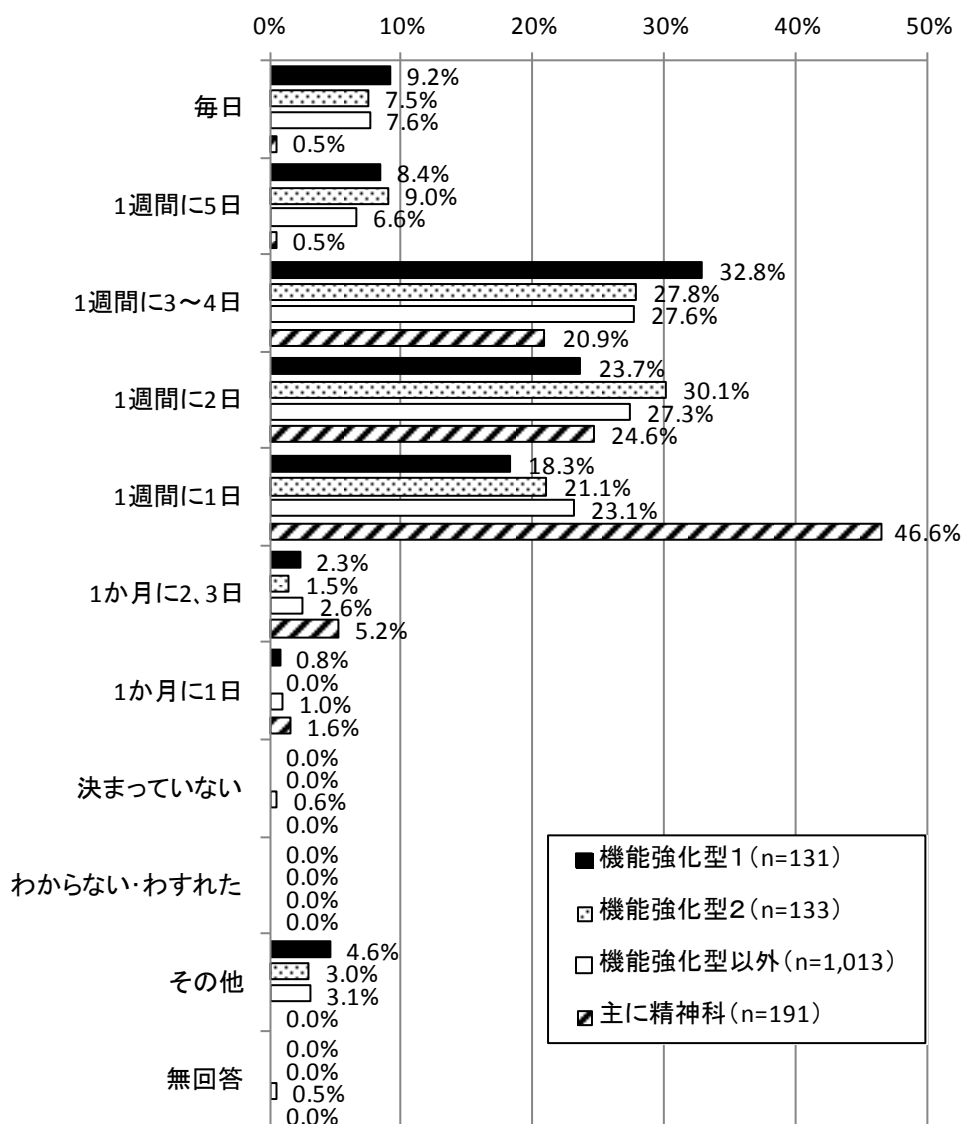


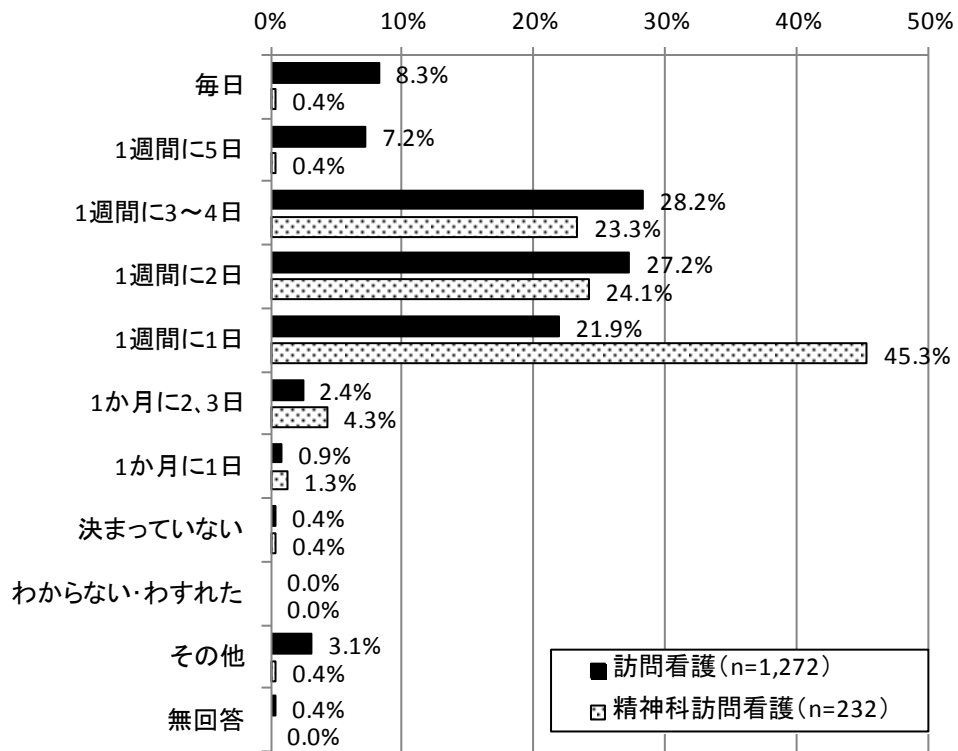
③訪問看護師の訪問頻度

最近1か月くらいの訪問看護師の訪問頻度についてみると、「機能強化型1」では「1週間に3～4日」が32.8%で最も多く、次いで「1週間に2日」が23.7%、「1週間に1日」が18.3%であった。「機能強化型2」では「1週間に2日」が30.1%で最も多く、次いで「1週間に3～4日」が27.8%、「1週間に1日」が21.1%であった。

また、「訪問看護」では「1週間に3～4日」が28.2%で最も多く、次いで「1週間に2日」が27.2%、「1週間に1日」が21.9%であった。「精神科訪問看護」では「1週間に1日」が45.3%で最も多く、次いで「1週間に2日」が24.1%、「1週間に3～4日」が23.3%であった。

図表 224 訪問看護師の訪問頻度（最近1か月くらい）

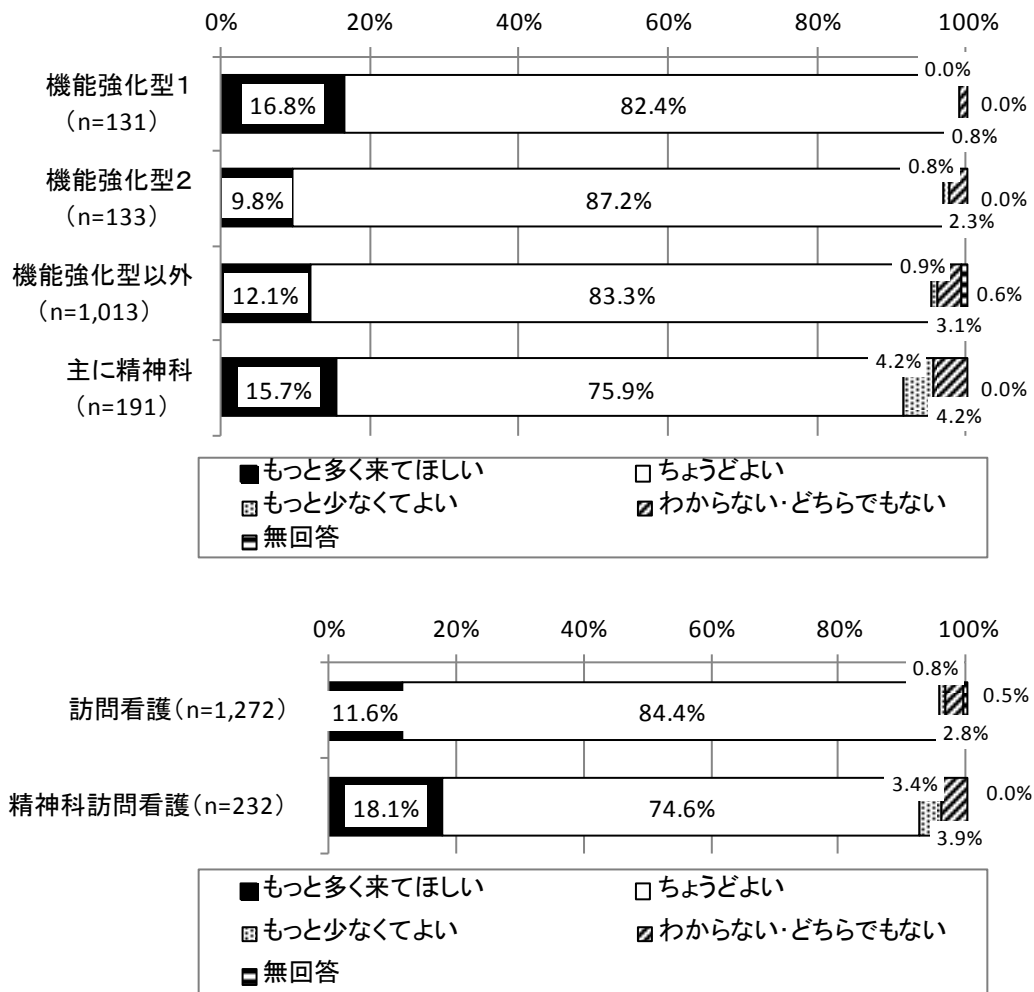




④訪問頻度に対する評価

自宅に来る訪問看護師の訪問頻度の評価についてみると、「機能強化型1」では「ちょうどよい」が82.4%、「もっと多く来てほしい」が16.8%であった。また、「訪問看護」では「ちょうどよい」が84.4%、「もっと多く来てほしい」が11.6%であった。「精神科訪問看護」では「ちょうどよい」が74.6%、「もっと多く来てほしい」が18.1%であった。

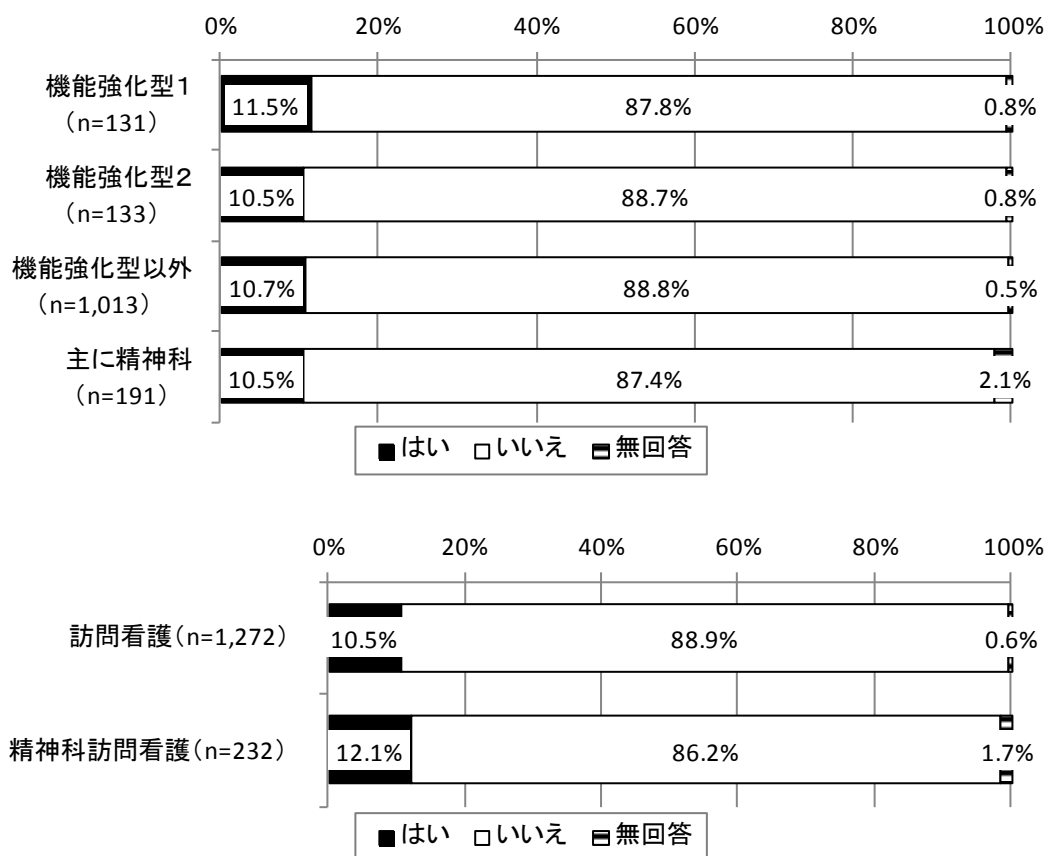
図表 225 自宅に来る訪問看護師の訪問頻度をどう思いますか



⑤早朝・夜間・深夜の計画的な訪問看護の利用の有無

早朝・夜間・深夜（午後 8 時以降～午前 8 時まで）の計画的な訪問看護の利用の有無についてみると、「機能強化型 1」では「はい」が 11.5%、「機能強化型 2」では 10.5%、「機能強化型以外」では 10.7%、「主に精神科」では 10.5%であった。また、「訪問看護」では 10.5%、「精神科訪問看護」では 12.1%であった。

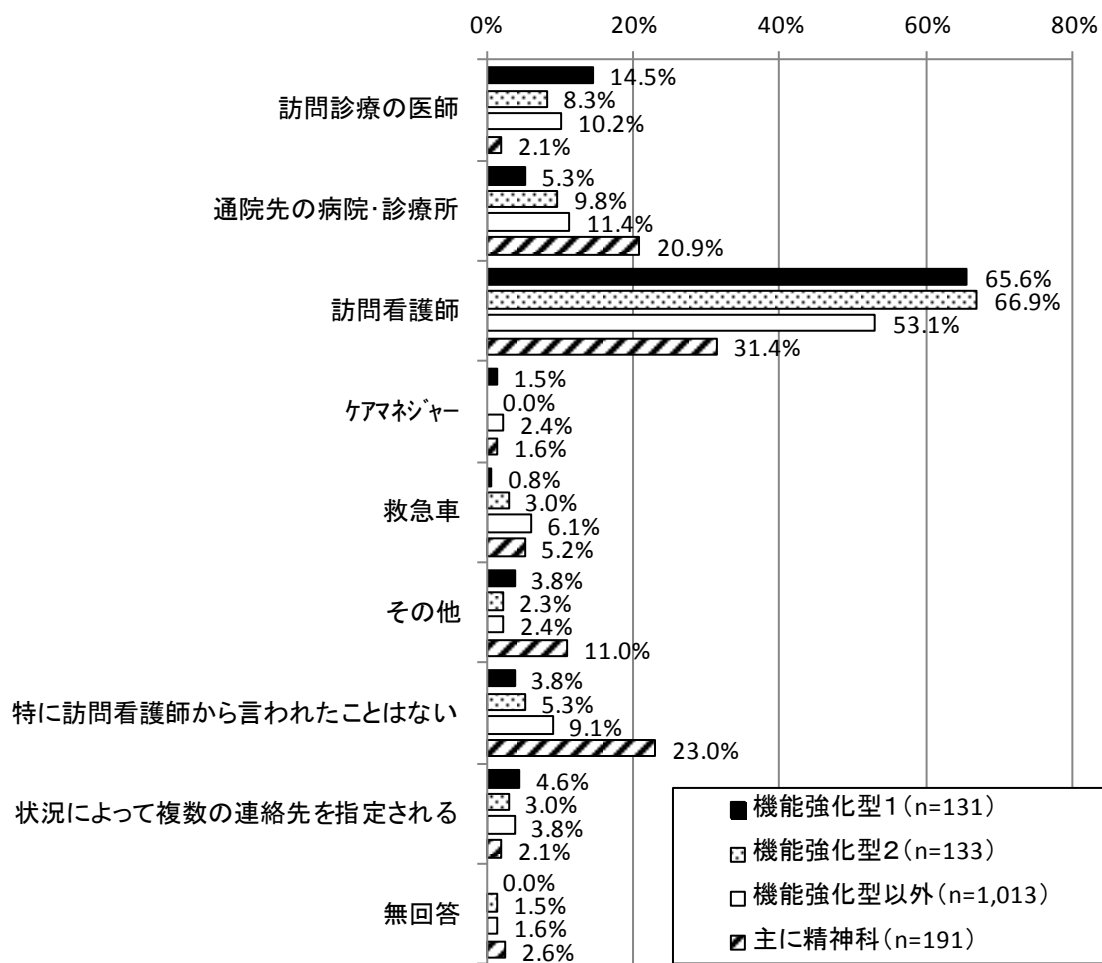
図表 226 早朝・夜間・深夜（午後 8 時以降～午前 8 時まで）の計画的な訪問看護の利用はあるか

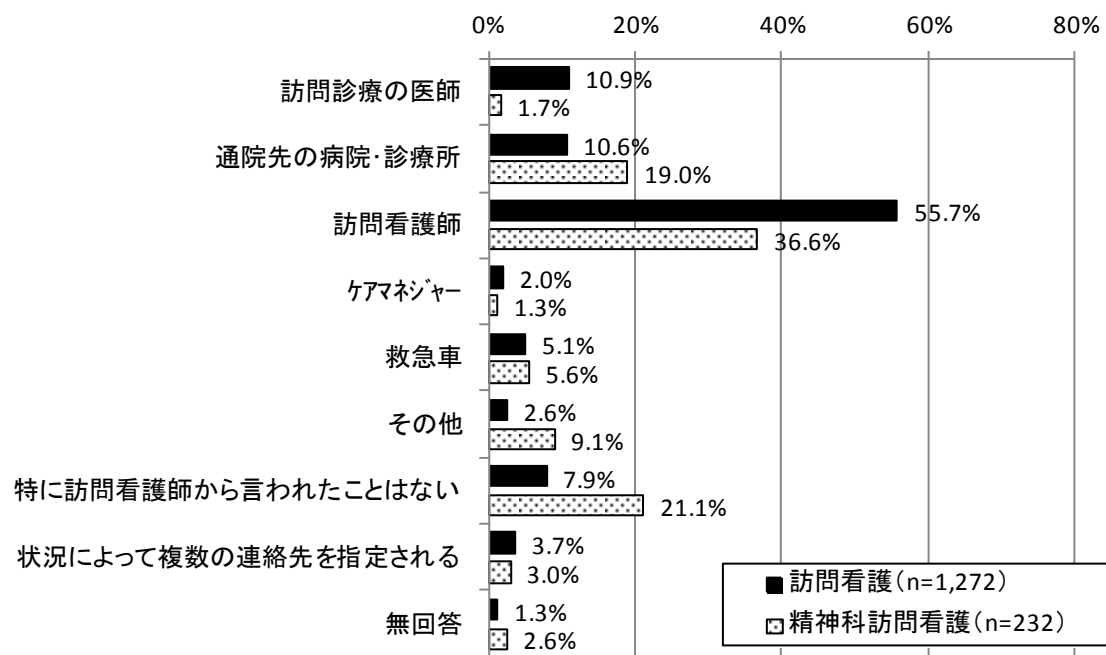


⑥夜間や休日に急に具合が悪くなった場合の連絡先の指示

夜間や休日に急に具合が悪くなった場合に、まず、誰に連絡するように訪問看護師から言われているかをたずねたところ、「機能強化型1」では「訪問看護師」が65.6%で最も多く、次いで「訪問医療の医師」が14.5%であった。「機能強化型2」では「訪問看護師」が66.9%で最も多く、次いで「通院先の病院・診療所」が9.8%であった。また、「精神科訪問看護」では「訪問看護師」が36.6%、「特に訪問看護師から言われたことはない」が21.1%、「通院先の病院・診療所」が19.0%であった。

図表 227 夜間や休日に急に具合が悪くなった場合に、まず、誰に連絡するように訪問看護師から言われていますか（単数回答）

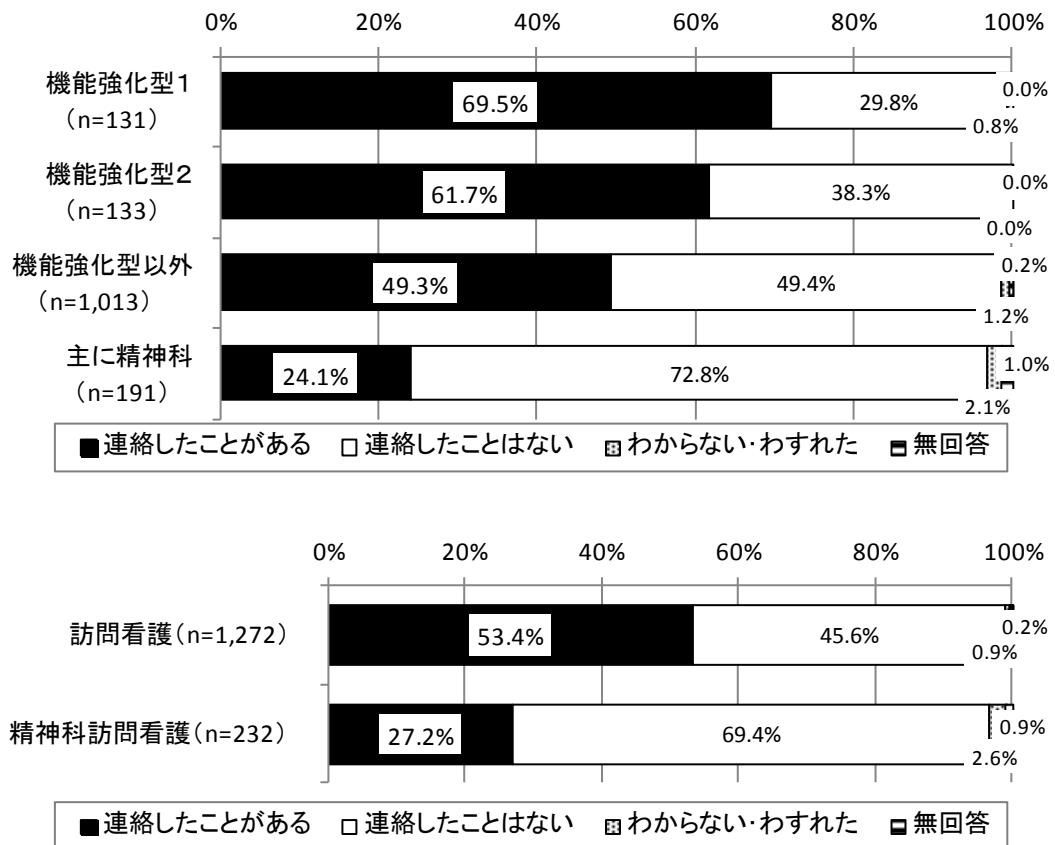




⑦訪問看護ステーションへの緊急連絡の経験の有無

訪問看護ステーションへの緊急連絡の経験の有無についてみると、「機能強化型1」では「連絡したことがある」は69.5%、「機能強化型2」では61.7%、「機能強化型以外」では49.3%、「主に精神科」では24.1%であった。また、「訪問看護」では53.4%、「精神科訪問看護」では27.2%であった。

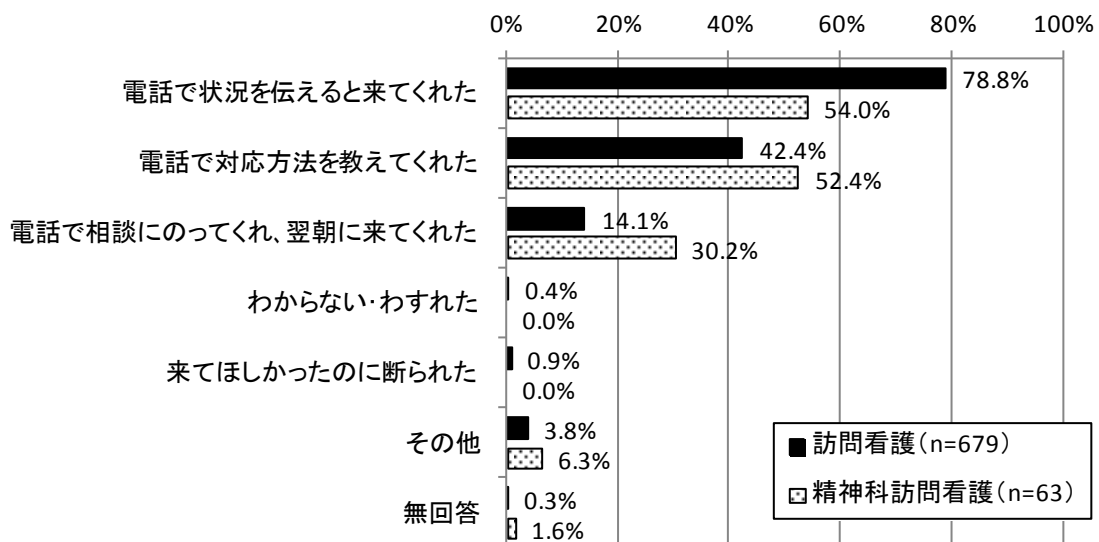
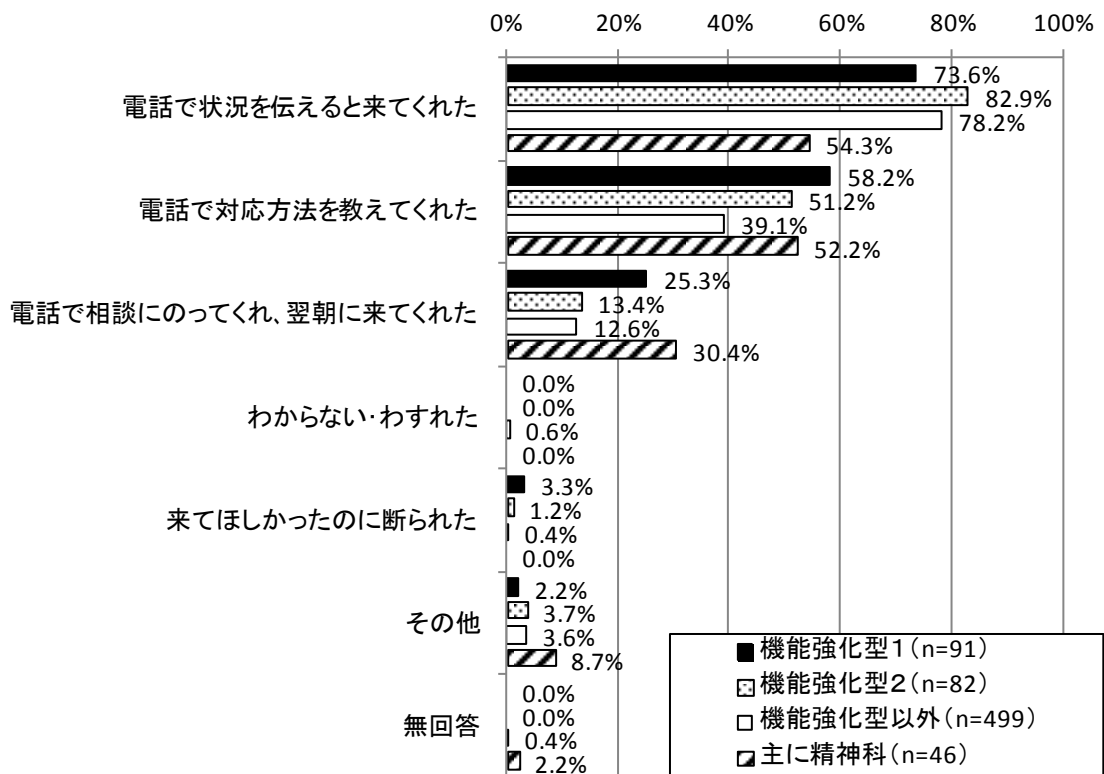
図表 228 訪問看護ステーションへの緊急連絡の経験の有無



7 訪問看護師の対応状況

訪問看護ステーションへの緊急連絡の経験がある場合について、訪問看護師の対応状況をみると、「機能強化型1」では「電話で状況を伝えると来てくれた」が73.6%、「電話で対応方法を教えてくれた」が58.2%、「電話で相談にのってくれ、翌朝に来てくれた」が25.3%であった。また、「精神科訪問看護」では「電話で状況を伝えると来てくれた」が54.0%、「電話で対応方法を教えてくれた」が52.4%、「電話で相談にのってくれ、翌朝に来てくれた」が30.2%であった。

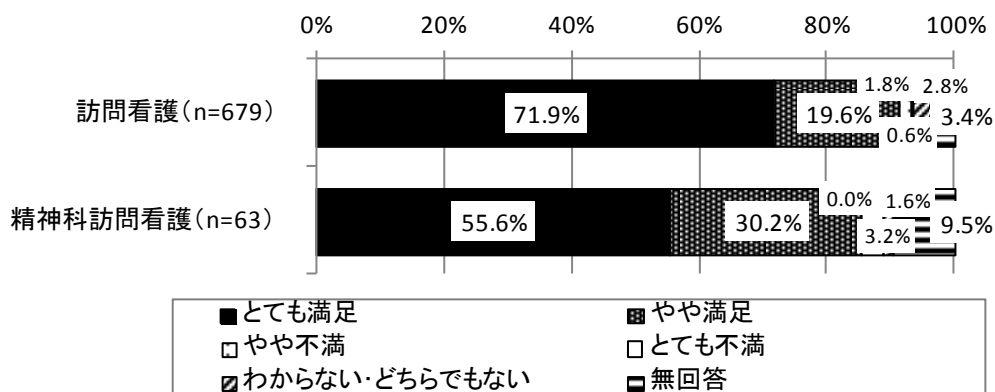
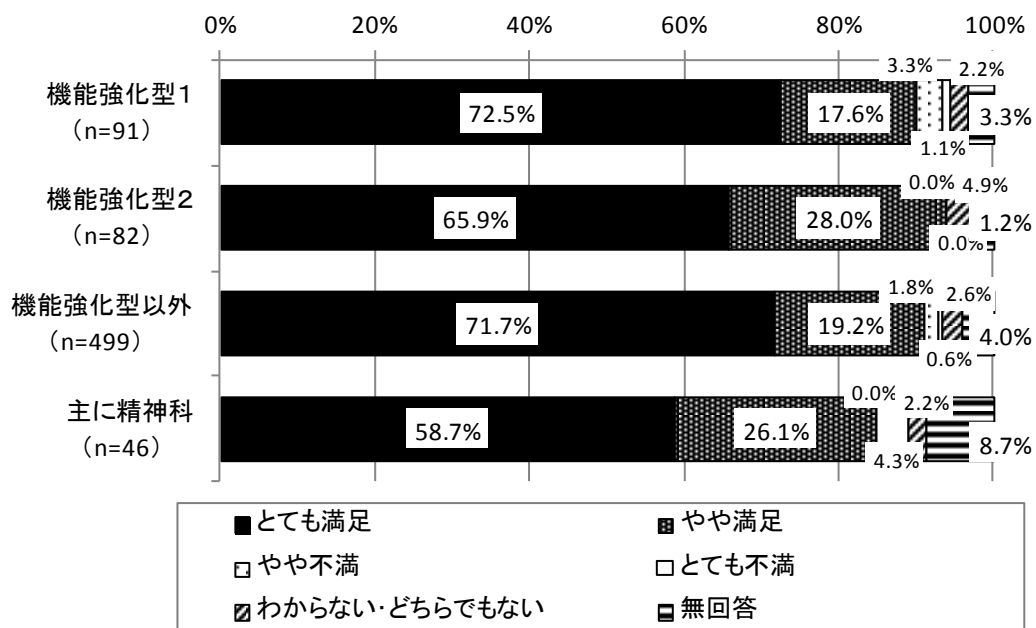
図表 229 訪問看護師の対応状況（複数回答）



イ 緊急対応の満足度

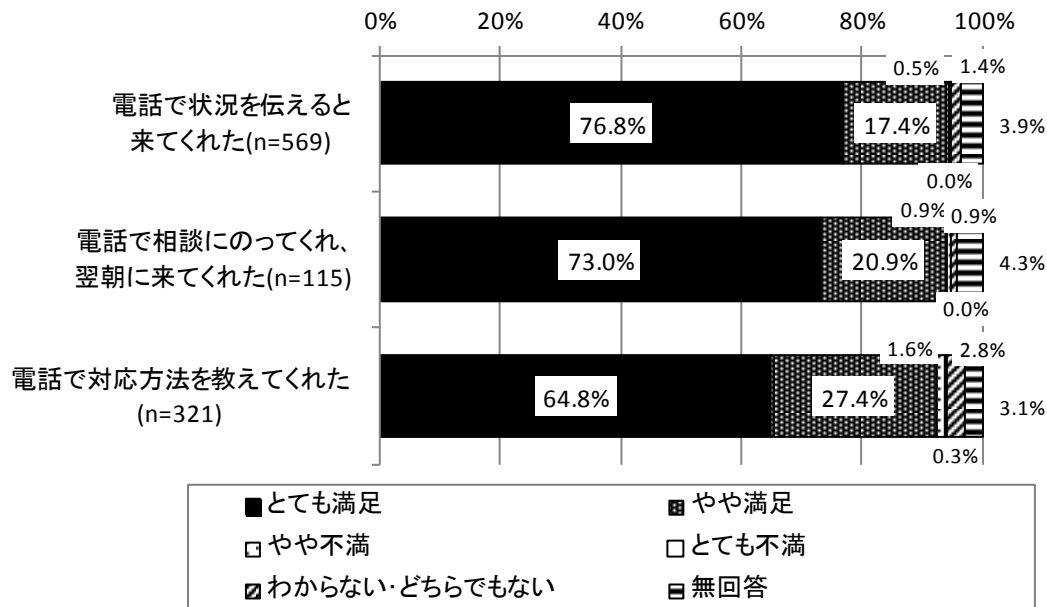
訪問看護ステーションへの緊急連絡の経験がある場合について、緊急対応の満足度をみると、「機能強化型1」では「とても満足」が72.5%、「やや満足」が17.6%であった。「主に精神科」では「とても満足」が58.7%、「やや満足」が26.1%であった。また、「訪問看護」では「とても満足」が71.9%、「やや満足」が19.6%であった。「精神科訪問看護」では「とても満足」が55.6%、「やや満足」が30.2%であった。

図表 230 緊急対応の満足度



緊急時の訪問看護師の対応状況別に緊急対応の満足度をみると、「電話で状況を伝えると来てくれた」では「とても満足」が76.8%、「電話で相談にのってくれ、翌朝に来てくれた」では73.0%であった。「電話で対応方法を教えてくれた」では64.8%であった。

図表 231 緊急時の訪問看護師の対応状況別 緊急対応の満足度

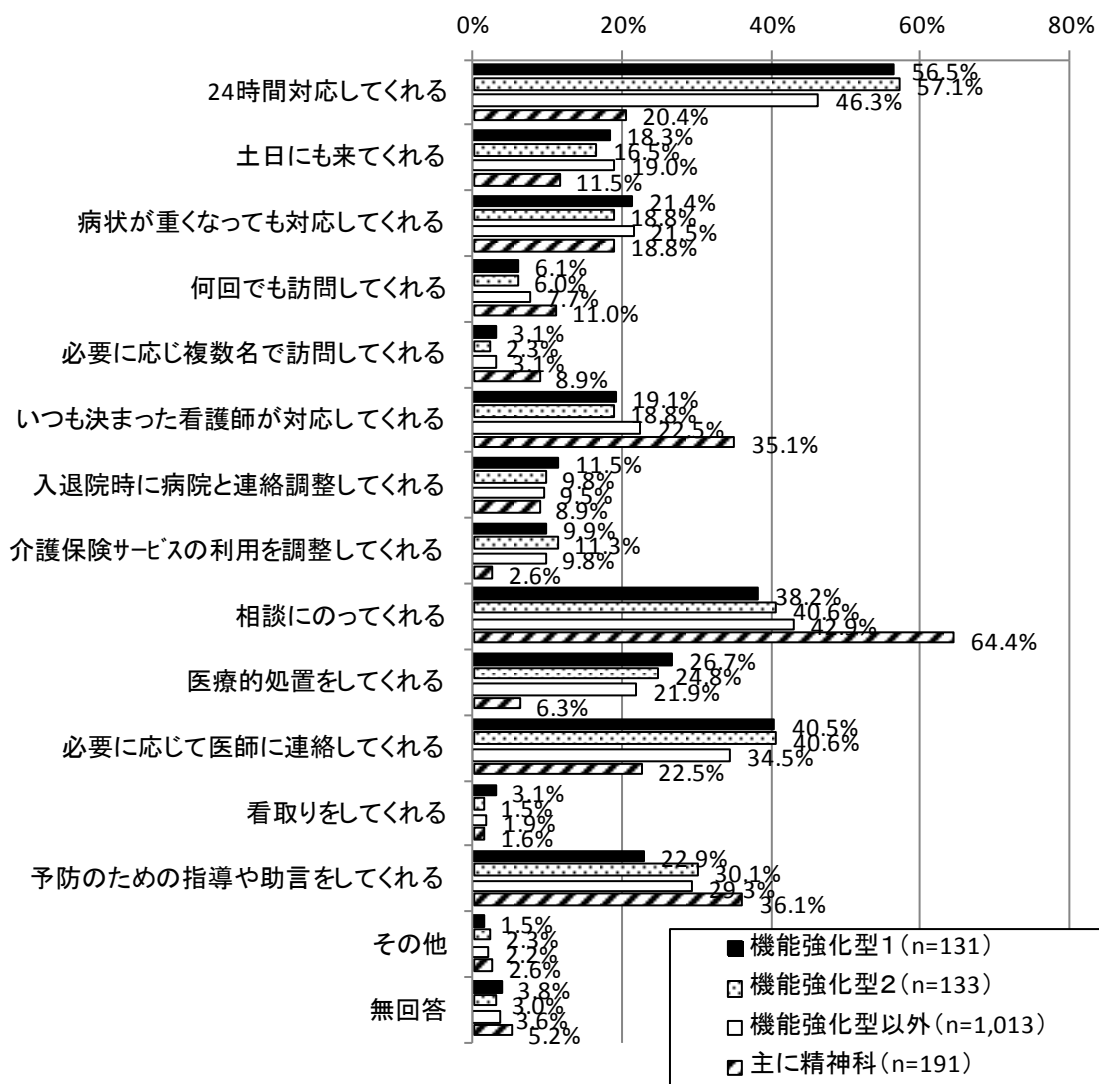


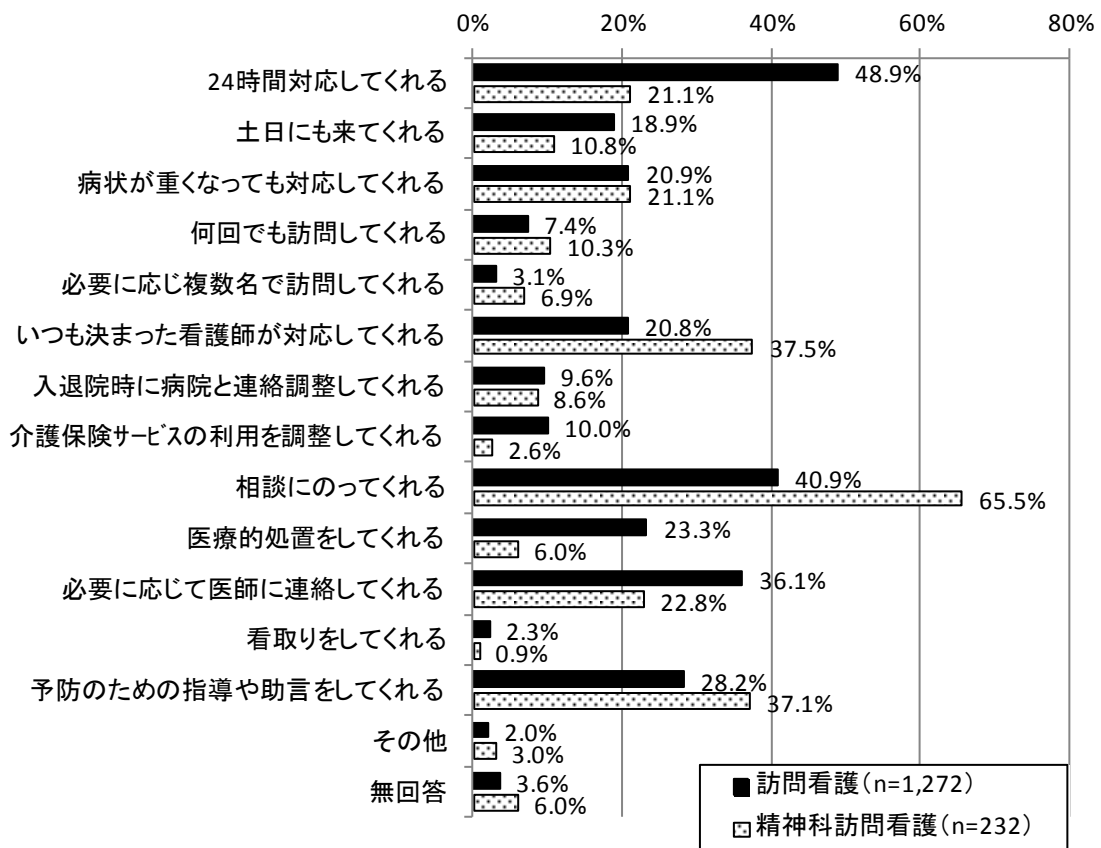
注) 緊急時の訪問看護師の対応状況は複数回答である。

⑧訪問看護に求めること

訪問看護に求めることについてみると、「機能強化型1」では「24時間対応してくれる」が56.5%、「必要に応じて医師に連絡してくれる」が40.5%、「相談にのってくれる」が38.2%であった。また、「訪問看護」では「24時間対応してくれる」が48.9%、「相談にのってくれる」が40.9%、「必要に応じて医師に連絡してくれる」が36.1%であった。「精神科訪問看護」では「相談にのってくれる」が65.5%、「いつも決まった看護師が対応してくれる」が37.5%、「予防のための指導や助言をしてくれる」が37.1%であった。

図表 232 訪問看護師に求めること（上位3つまで）

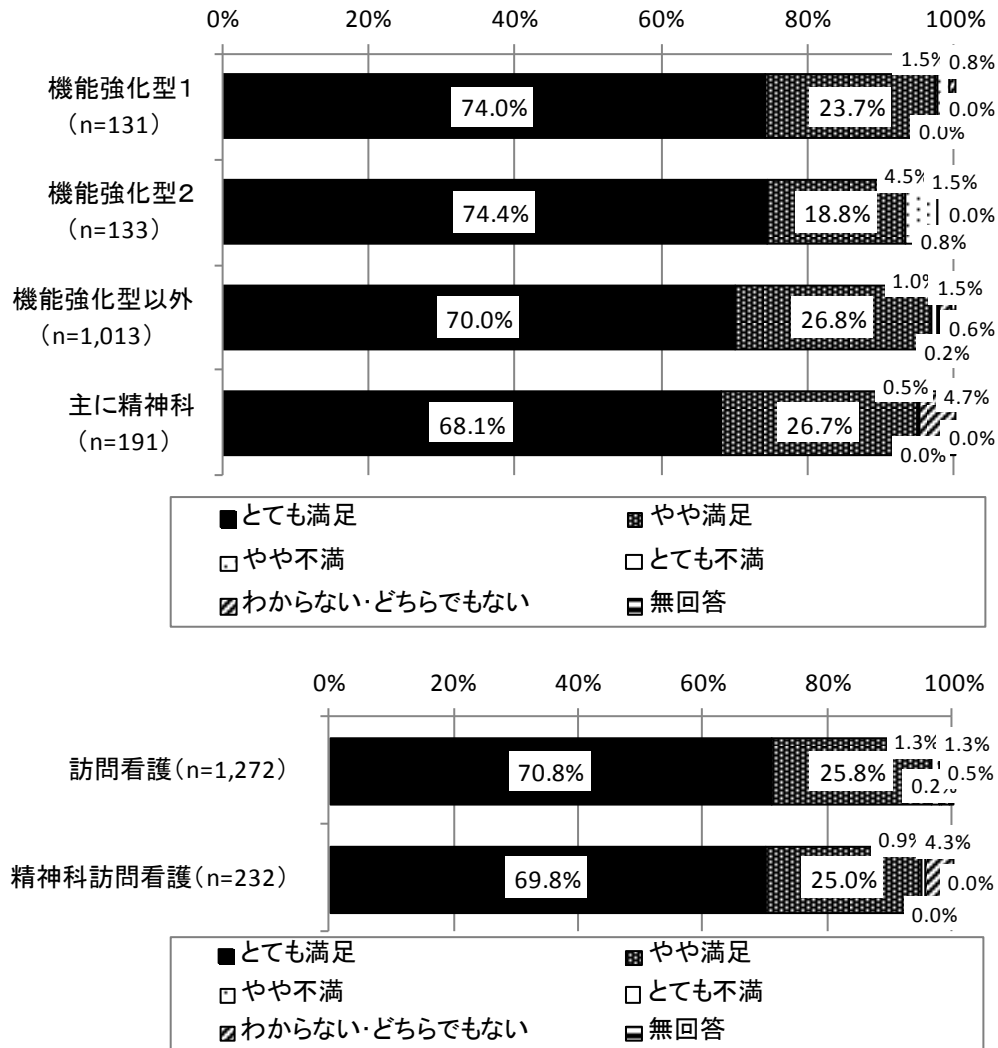




⑨訪問看護師の対応への満足度

訪問看護師の対応への満足度についてみると、「機能強化型 1」では「とても満足」が 74.0%、「やや満足」が 23.7%であった。「機能強化型 2」では「とても満足」が 74.4%、「やや満足」が 18.8%であった。「機能強化型以外」では「とても満足」が 70.0%、「主に精神科」では 68.1%であった。また、「訪問看護」では「とても満足」が 70.8%、「精神科訪問看護」では 69.8%であった。

図表 233 訪問看護師の対応への満足度

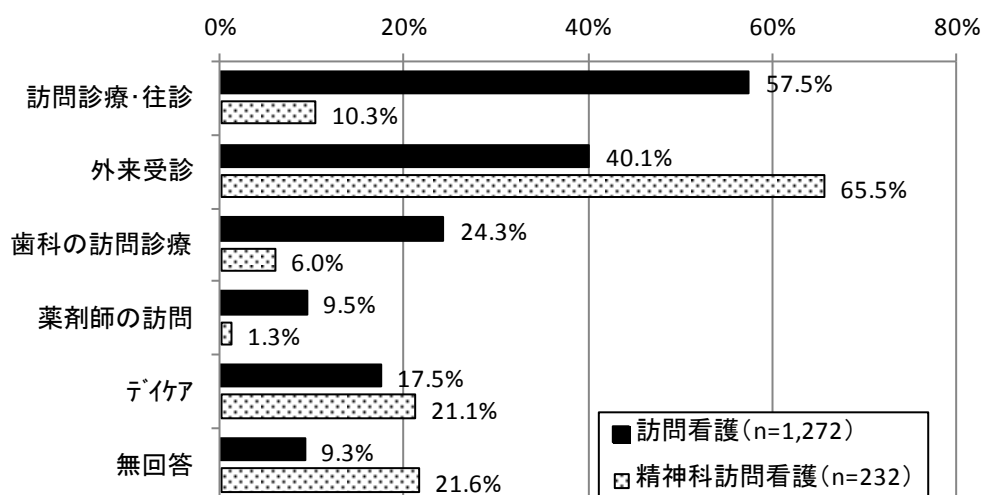
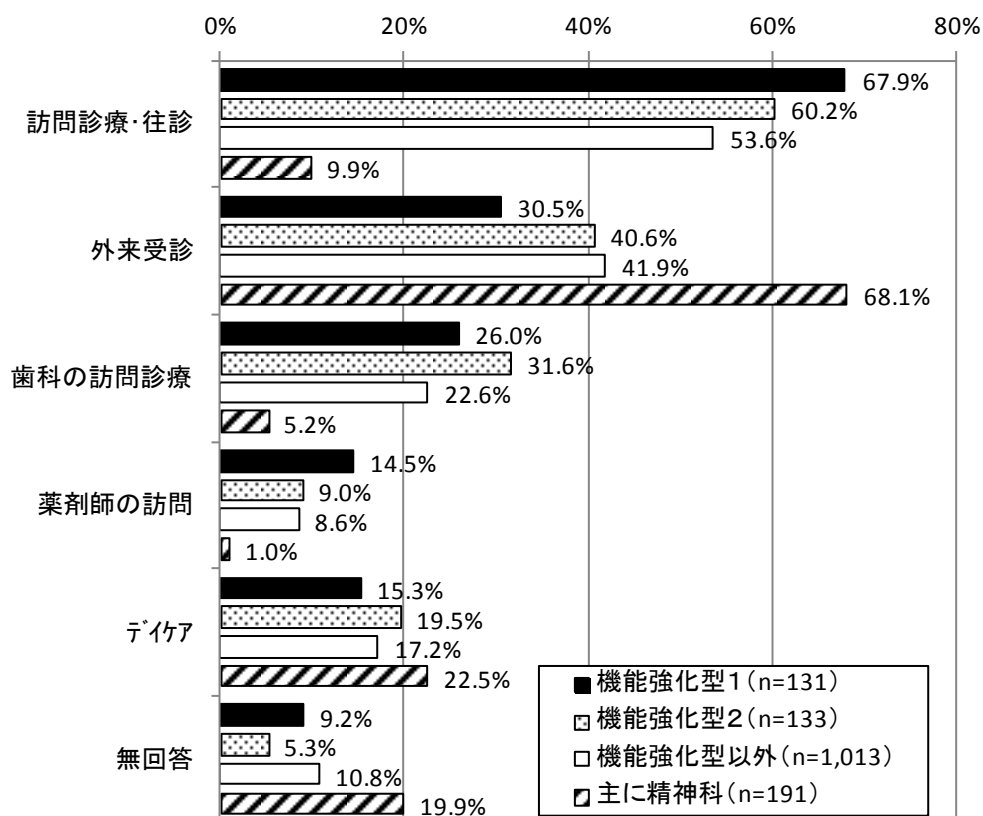


3) 在宅での療養や介護保険サービスの利用について

①訪問看護以外に利用している医療サービス等

訪問看護以外に利用している医療サービス等についてみると、「機能強化型1」では「訪問診療・往診」が67.9%、「外来受診」が30.5%、「歯科の訪問診療」は26.0%であった。また、「訪問看護」では「訪問診療・往診」が57.5%、「外来受診」が40.1%、「歯科の訪問診療」が24.3%であった。「精神科訪問看護」では「外来受診」が65.5%、「デイケア」が21.1%、「訪問診療・往診」が10.3%であった。

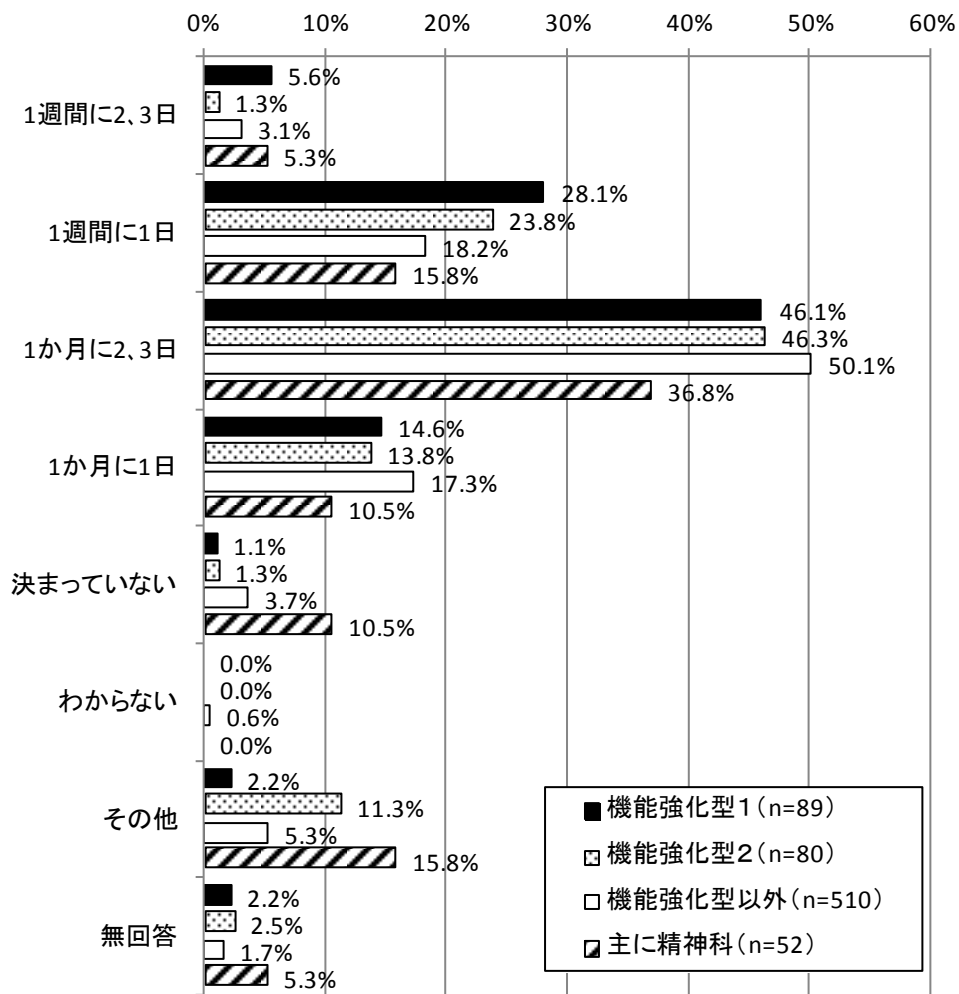
図表 234 訪問看護以外に利用している医療サービス等（複数回答）

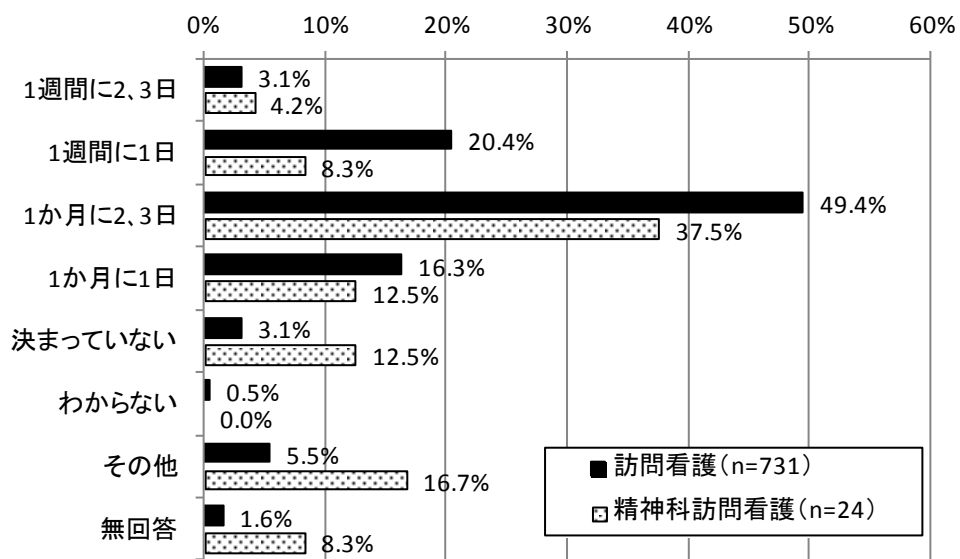


7（訪問診療・往診「有」の場合）医師の訪問頻度

訪問診療・往診が「有」の場合について、医師の訪問頻度をみると、「機能強化型 1」では「1か月に2、3日」が46.1%、「1週間に1日」が28.1%、「1か月に1日」が14.6%であった。また、「訪問看護」では「1か月に2、3日」が49.4%、「1週間に1日」が20.4%、「1か月に1日」が16.3%であった。「精神科訪問看護」では「1か月に2、3日」が37.5%、「1か月に1日」、「決まっていない」がともに12.5%であった。

図表 235 （訪問診療・往診有の場合）医師の訪問頻度

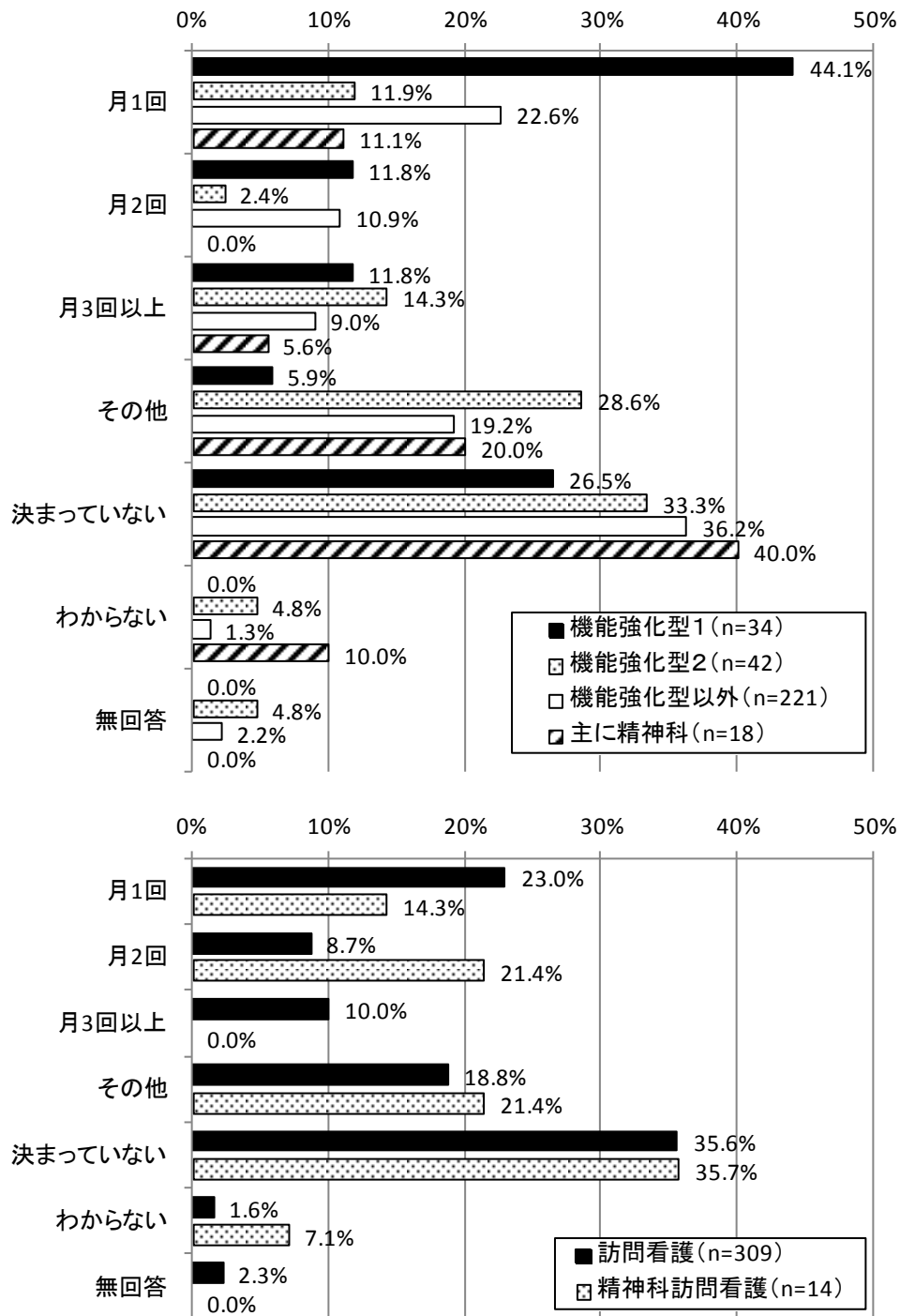




イ（歯科の訪問診療「有」の場合） 歯科医の訪問頻度

歯科の訪問診療が「有」の場合について、歯科医の訪問頻度をみると、「機能強化型1」では「月1回」が44.1%、「決まっていない」が26.5%であった。また、「訪問看護」では「決まっていない」が35.6%、「月1回」が23.0%、「月3回以上」が10.0%であった。「精神科訪問看護」では「決まっていない」が35.7%、「月2回」が21.4%、「月1回」は14.3%であった。

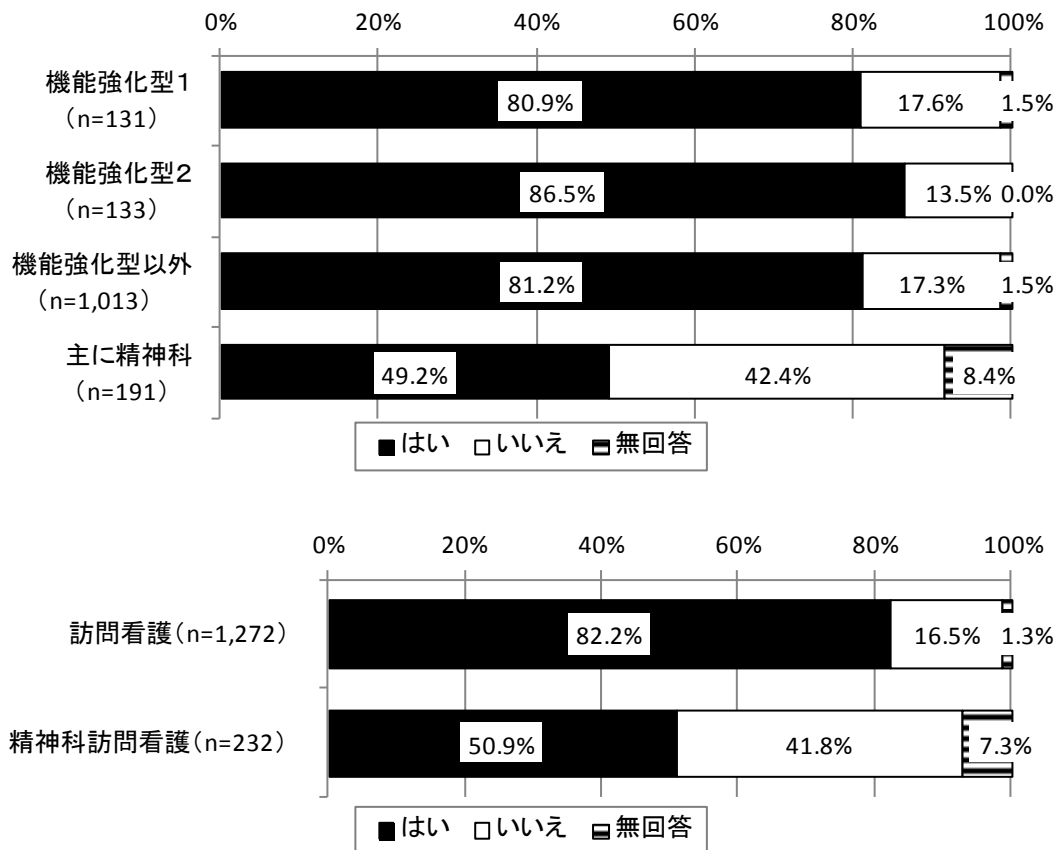
図表 236 （歯科の訪問診療有の場合） 歯科医の訪問頻度



②訪問看護以外の介護保険・障害福祉サービスの利用の有無

訪問看護以外の介護保険・障害福祉サービスの利用の有無についてみると、「機能強化型1」では「はい」が80.9%、「機能強化型2」では86.5%、「機能強化型以外」では81.2%、「主に精神科」では49.2%であった。また、「訪問看護」では82.2%、「精神科訪問看護」では50.9%であった。

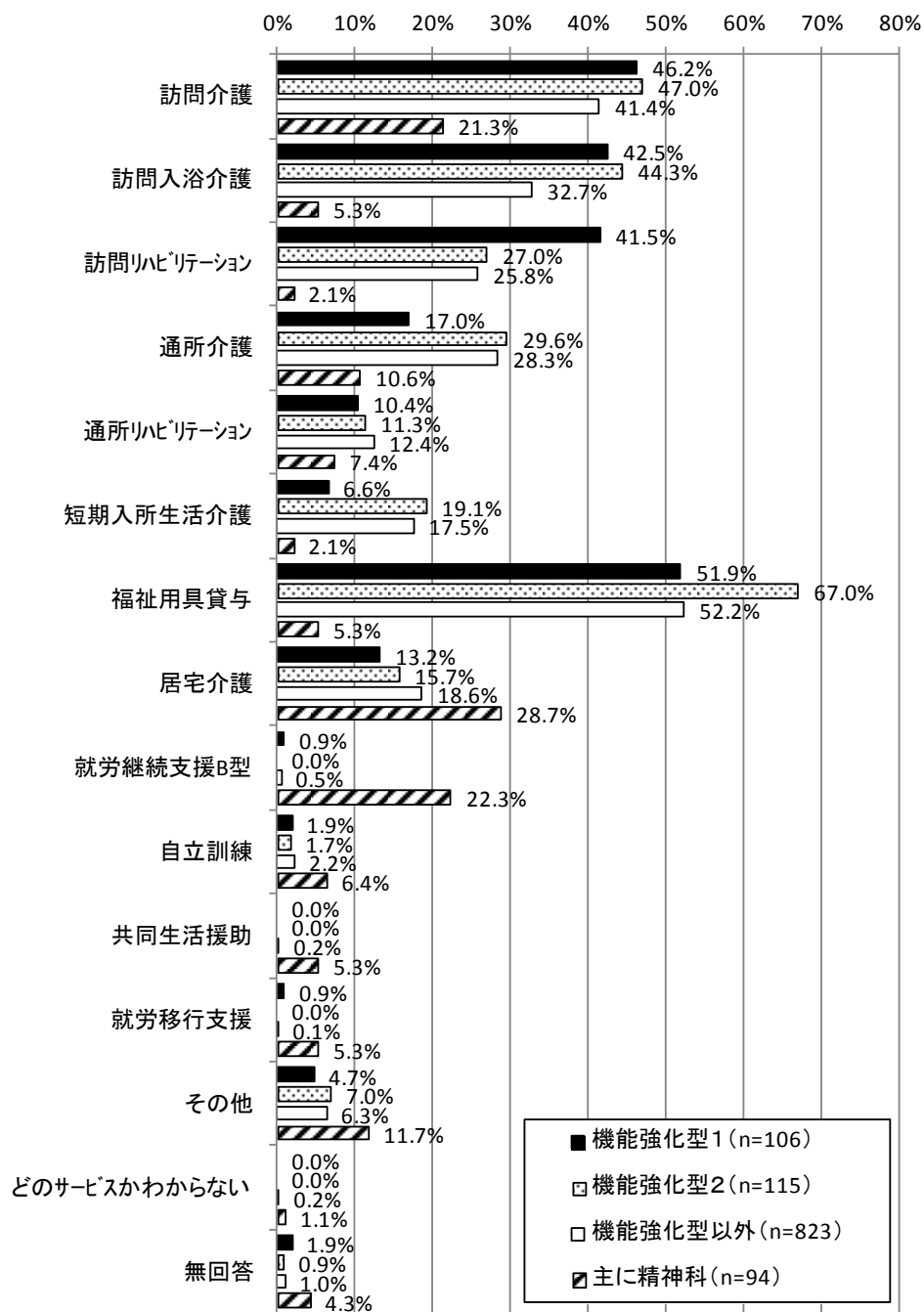
図表 237 訪問看護以外の介護保険・障害福祉サービスの利用の有無

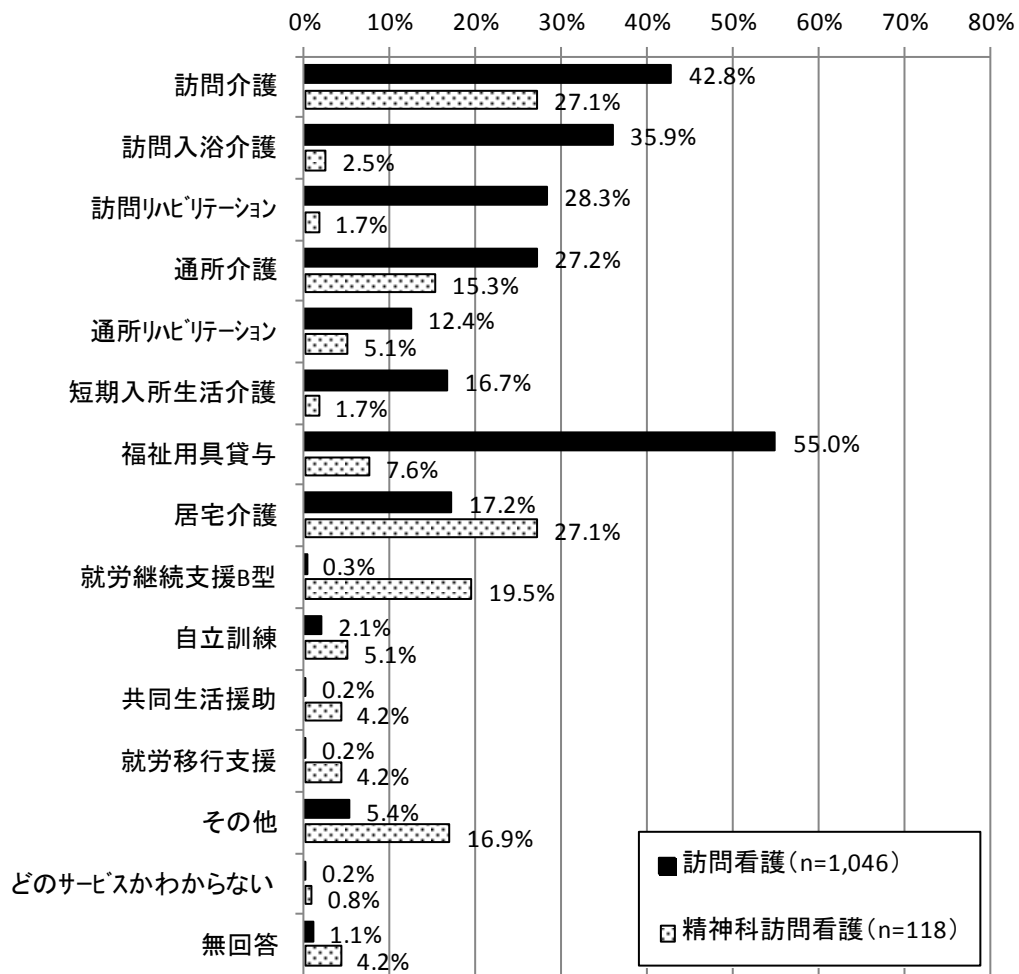


7 利用サービス

訪問看護以外の介護保険・障害福祉サービスの利用がある場合について、利用している介護保険・障害福祉サービスをみると、「機能強化型 1」では「福祉用具貸与」が 51.9%、「訪問介護」が 46.2%、「訪問入浴介護」が 42.5%であった。また、「訪問看護」では「福祉用具貸与」が 55.0%、「訪問介護」が 42.8%、「訪問入浴介護」が 35.9%であった。「精神科訪問看護」では「訪問介護」、「居宅介護」がともに 27.1%で、「就労継続支援 B 型」が 19.5%であった。

図表 238 利用している介護保険・障害福祉サービス（複数回答）

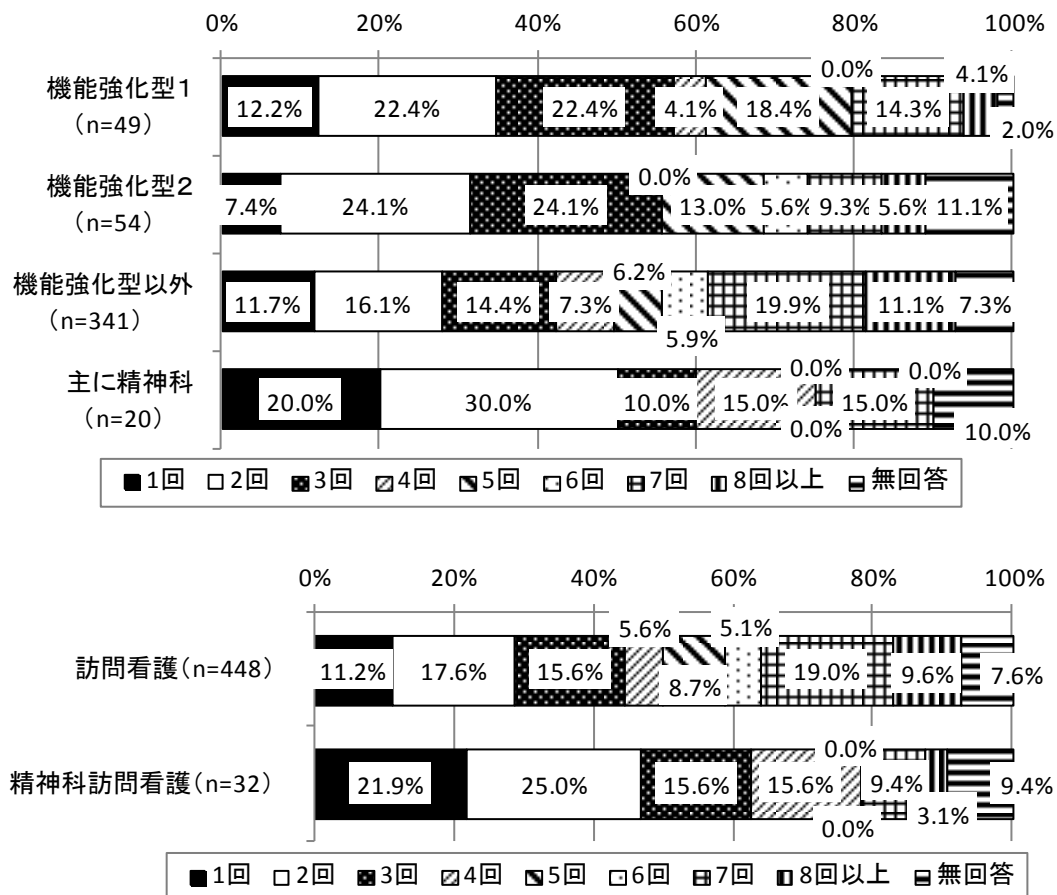




a 訪問介護の利用頻度

訪問介護の1週間あたりの利用頻度についてみると、「機能強化型1」では「2回」、「3回」がともに22.4%で最も多かった。また、「訪問看護」では「7回」が19.0%で最も多く、次いで「2回」が17.6%、「3回」が15.6%であった。「精神科訪問看護」では「2回」が25.0%で最も多く、次いで「1回」が21.9%、「3回」、「4回」がともに15.6%であった。

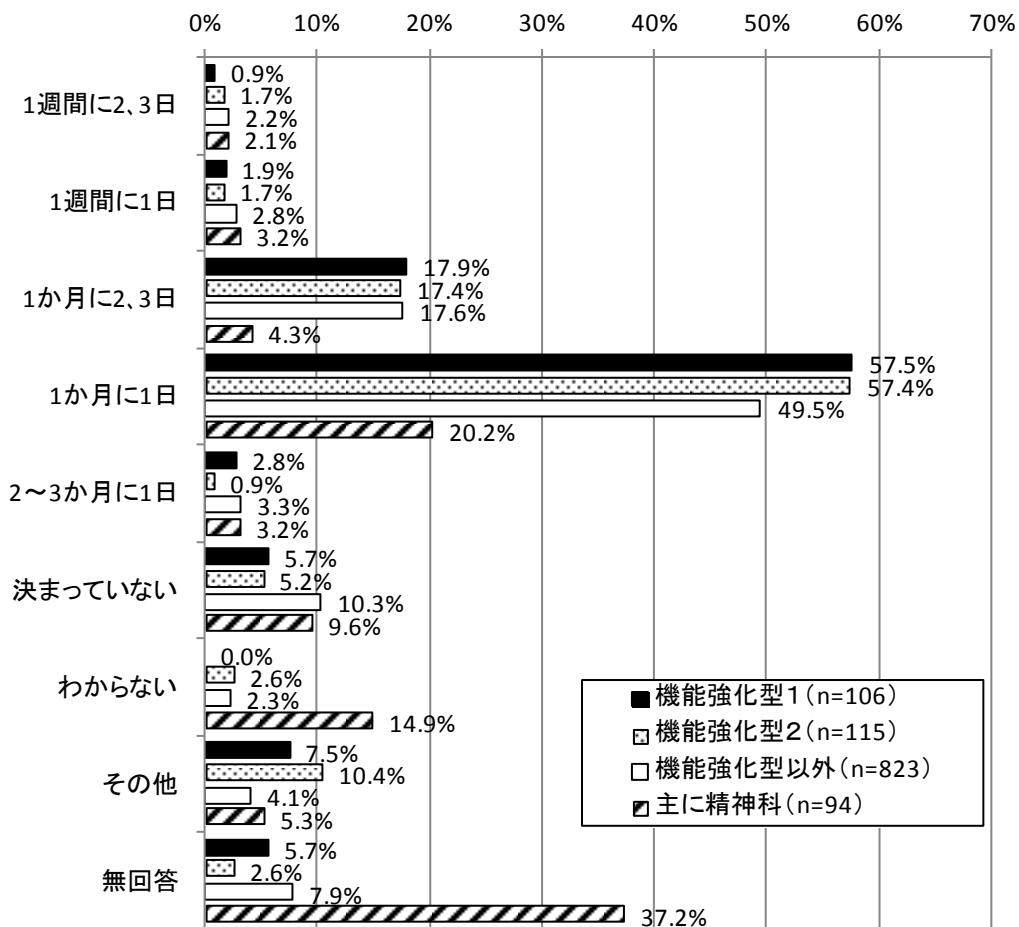
図表 239 訪問介護の利用頻度

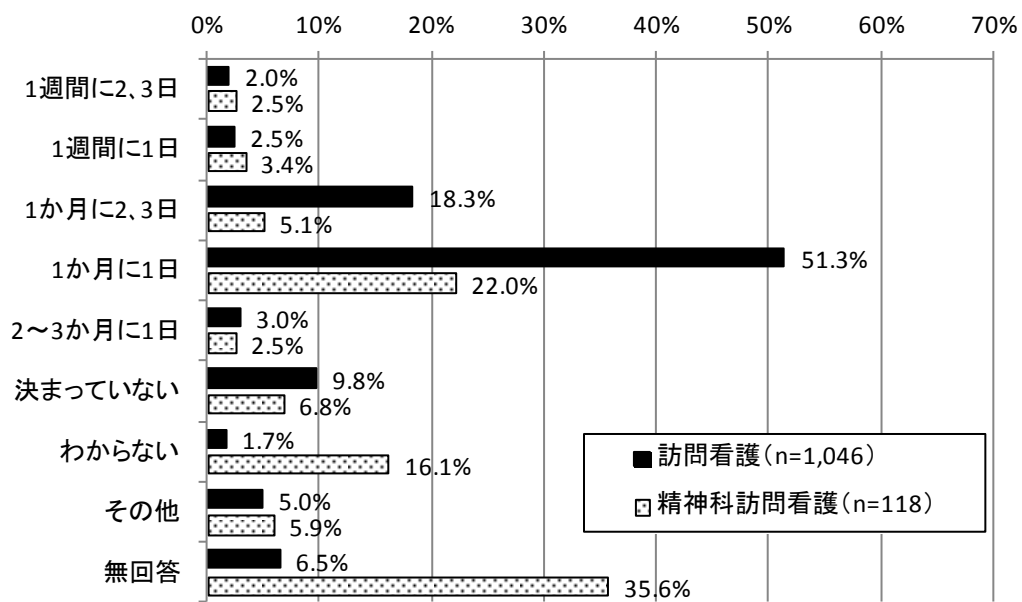


b ケアマネジャーの訪問頻度

ケアマネジャーの訪問頻度についてみると、「機能強化型1」では「1か月に1日」が57.5%で最も多く、次いで「1か月に2、3日」が17.9%であった。また、「訪問看護」では「1か月に1日」が51.3%で最も多く、次いで「1か月に2、3日」が18.3%であった。「精神科訪問看護」では「1か月に1日」が22.0%で最も多かった。

図表 240 ケアマネジャーの訪問頻度

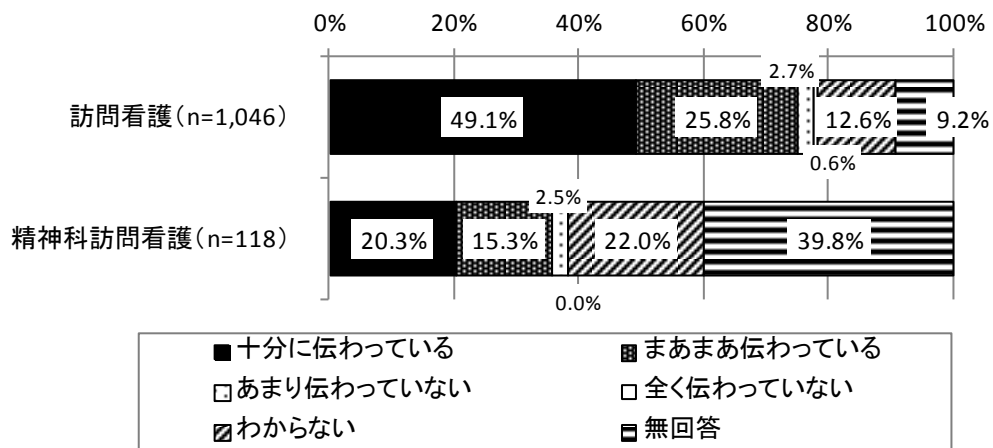
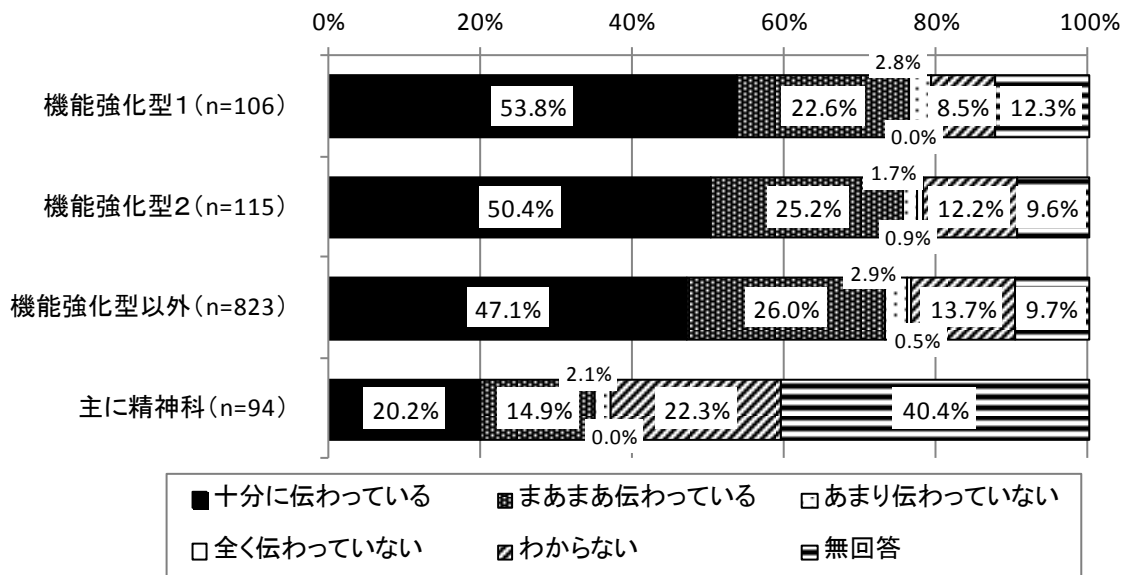




イ ケアマネジャーから訪問看護師への情報連携

ケアマネジャーに伝えたことが訪問看護師に伝わっているか否かをたずねたところ、「機能強化型1」では「十分に伝わっている」が53.8%、「まあまあ伝わっている」が22.6%であった。「機能強化型2」では「十分に伝わっている」が50.4%、「まあまあ伝わっている」が25.2%であった。

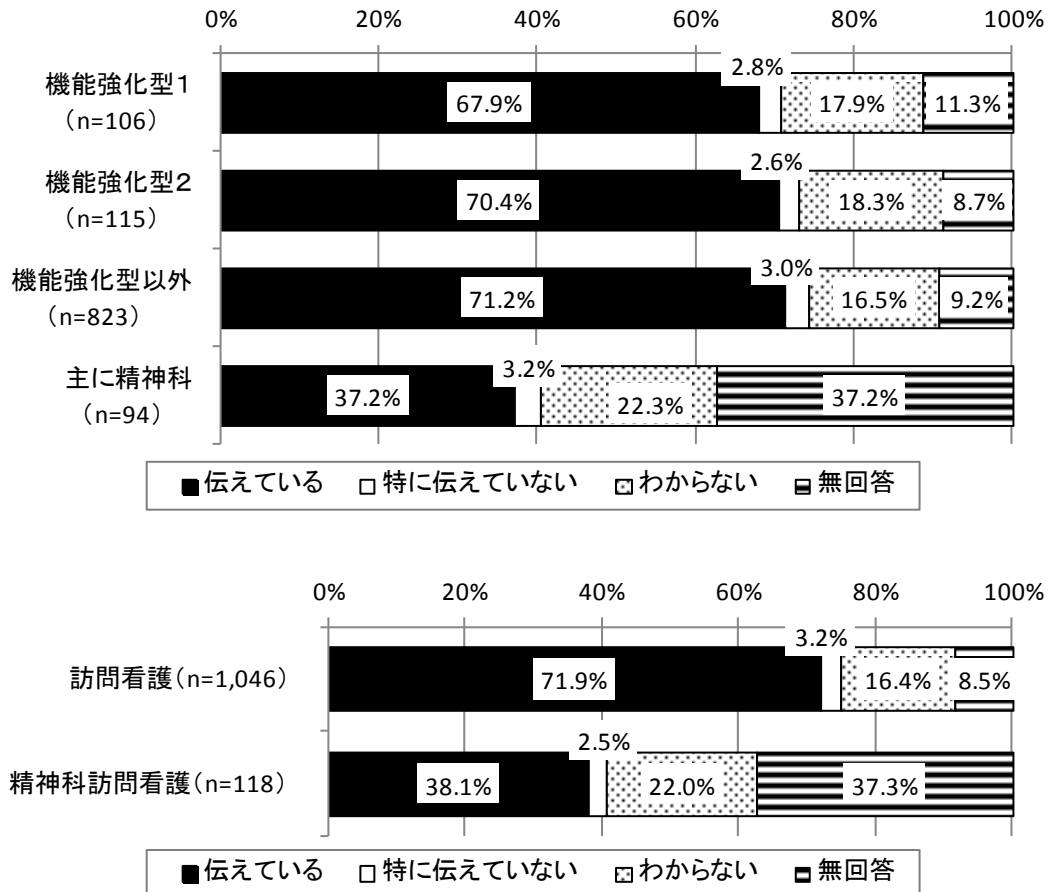
図表 241 ケアマネジャーに伝えたことが訪問看護師に伝わっているか否か



ウ 訪問看護師からケアマネジャーへの情報連携

訪問看護師は、必要なときには、病状等をケアマネジャーに伝えていると思うかたずねたところ、「機能強化型1」では「伝えている」が67.9%、「特に伝えていない」が2.8%であった。「機能強化型2」では「伝えている」が70.4%、「特に伝えていない」は2.6%であった。

図表 242 訪問看護師は、必要なときには、あなたの病状等をケアマネジャーに伝えていると思いますか

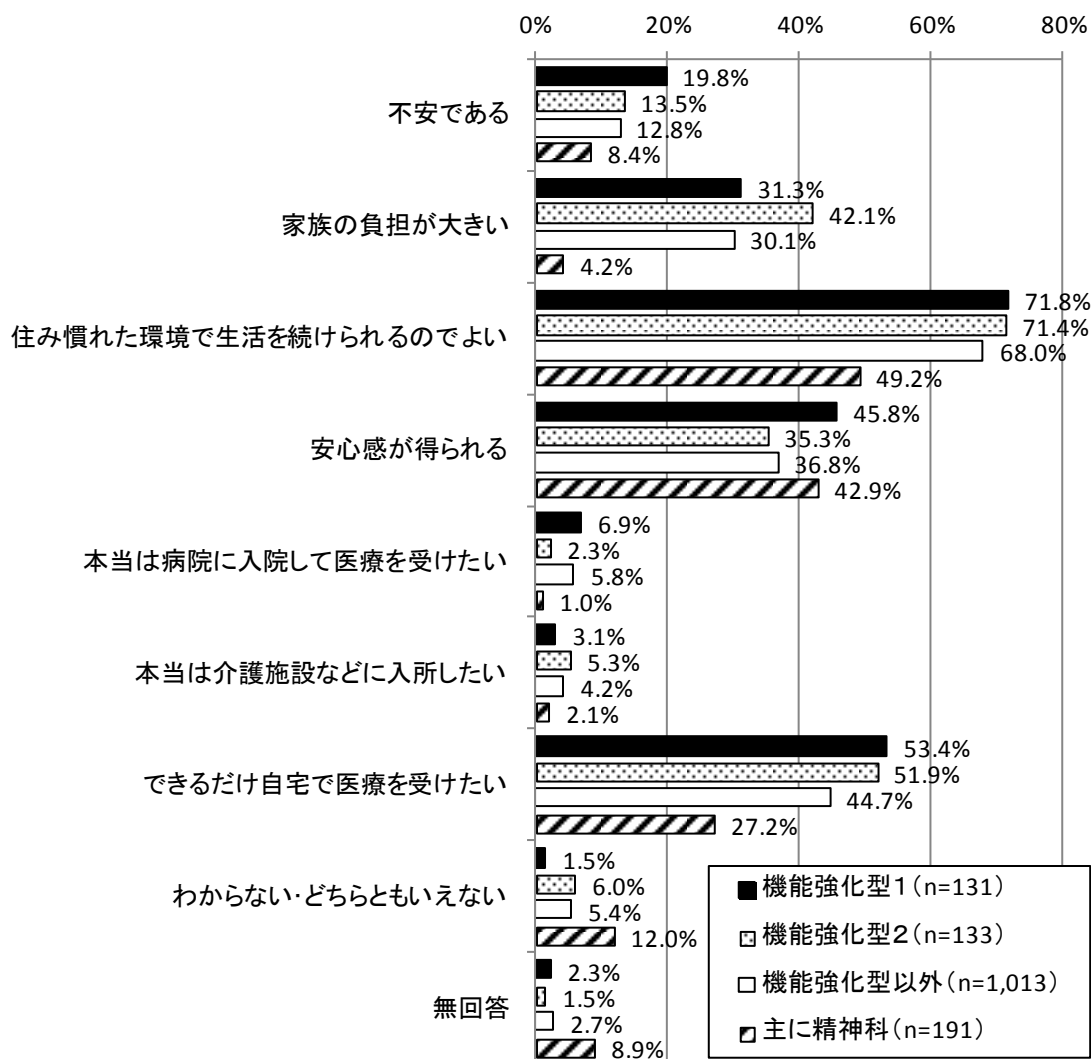


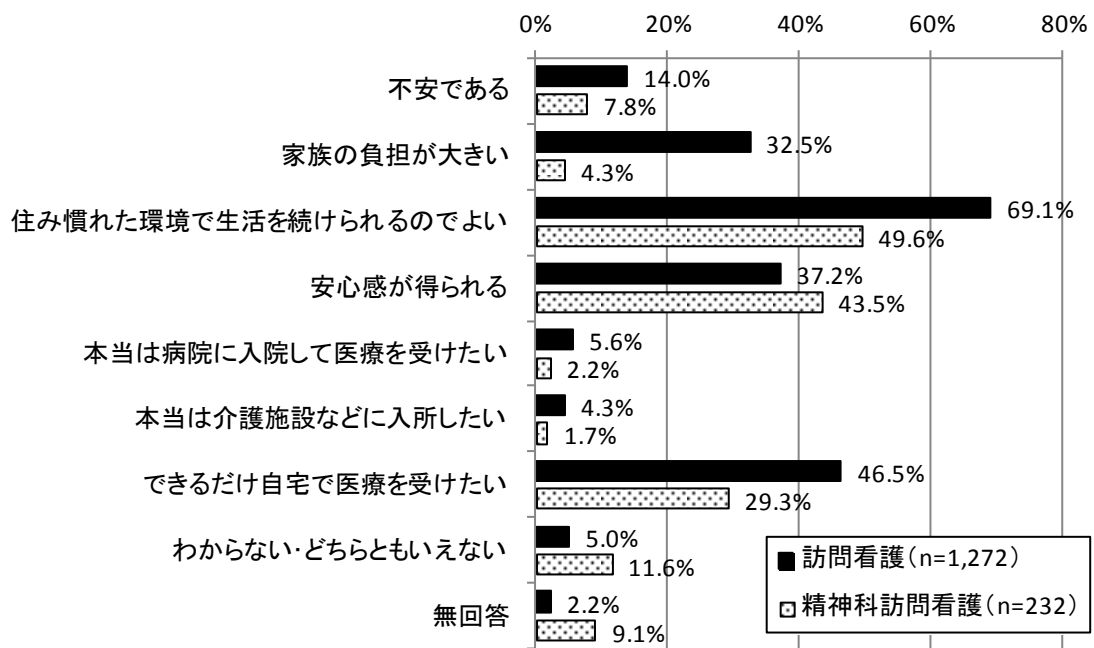
③自宅で医療を受けることへの評価

自宅で医療を受けることをどう思うかたずねたところ、「機能強化型1」では「住み慣れた環境で生活を続けられるのでよい」が71.8%、「できるだけ自宅で医療を受けたい」が53.4%、「安心感が得られる」が45.8%であった。「機能強化型2」では「住み慣れた環境で生活を続けられるのでよい」が71.4%、「できるだけ自宅で医療を受けたい」が51.9%、「家族の負担が大きい」が42.1%であった。

また、「訪問看護」では「住み慣れた環境で生活を続けられるのでよい」が69.1%、「できるだけ自宅で医療を受けたい」が46.5%、「安心感が得られる」が37.2%であった。「精神科訪問看護」では「住み慣れた環境で生活を続けられるのでよい」が49.6%、「安心感が得られる」が43.5%、「できるだけ自宅で医療を受けたい」が29.3%であった。

図表 243 自宅で医療を受けることはどう思いますか（複数回答）





訪問看護ステーション票

平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成 26 年度調査)

訪問看護の実施状況調査 調査票

※以下のラベルに、電話番号とご回答者名をご記入ください。また、事業所名、事業所の所在地をご確認の上、記載内容に間違いおよび不備がございましたら、赤書きで修正してください。ご記入いただいた電話番号とご回答者名は、本調査の照会で使用するためのものであり、それ以外の目的のために使用することはございません。また、適切に保管・管理致しますので、ご記入の程、よろしくお願い申し上げます。

※この「訪問看護ステーション票」は、訪問看護ステーションの開設者・管理者の方に、貴事業所における訪問看護の実施状況やお考えについてお伺いするものです。

※ご回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、()内には具体的な数値、用語等をお書きください。数値を記入する設問で、該当なしは「0(ゼロ)」を、分からない場合は「-」をお書きください。

※特に断りのない場合は、平成 26 年 9 月 30 日時点の状況についてお書きください。

事業所名	
事業所の所在地	
電話番号	()
ご回答者名	()

1. 貴事業所の概要についてお伺いします。

①開設者 ※○は1つだけ	1. 都道府県・市区町村・地方独立行政法人・広域連合・一部事務組合 2. 日本赤十字社・社会保険関係団体 3. 医療法人 4. 医師会 5. 看護協会 6. 社団・財団法人（医師会と看護協会は含まない） 7. 社会福祉法人（社会福祉協議会含む） 8. 農業協同組合及び連合会 9. 消費生活協同組合及び連合会 10. 営利法人（株式・合名・合資・有限会社） 11. 特定非営利活動法人（NPO） 12. その他（具体的に)
②同一敷地内の居宅介護支援事業所の有無	1. 有 2. 無
②-1 (1.の場合)同一法人の事業所ですか	1. 同一法人 2. 別法人
③同一法人または関連法人が有する施設・事業所 ※複数回答可	1. 該当なし 2. 精神科病院 3. 精神科病院以外の病院 4. 診療所 5. 介護老人保健施設 6. 介護老人福祉施設 7. 地域包括支援センター 8. 訪問介護 9. 通所介護 10. 通所リハ 11. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 12. 小規模多機能型居宅介護 13. 複合型サービス 14. その他（具体的に)
④訪問看護を開始した時期	平成 () 年 () 月
⑤サテライトの有無と、ある場合はその設置数	1. 有 ⇒ () か所 2. 無
⑥機能強化型訪問看護ステーションの届出の有無	1. 機能強化型訪問看護管理療養費 1 2. 機能強化型訪問看護管理療養費 2 3. なし
⑥-1 (1.または2.の場合) 機能強化型訪問看護ステーションの創設は、貴事業所の大型化に寄与しましたか。	1. はい 2. いいえ
⑦24時間対応体制加算・連絡体制加算の届出(医療保険)の有無	1. 24時間対応体制加算 2. 24時間連絡体制加算 3. 無

⑧特別管理加算の届出（医療保険）の有無	1. 有	2. 無				
⑨訪問看護基本療養費（Ⅰ）（Ⅱ）のハの算定対象となる専門性の高い看護師による訪問看護の届出の有無	1. 有⇒（a 緩和ケア b 褥瘡ケア） 2. 無					
⑩貴事業所での複合型サービスの実施の有無	1. 有	2. 無				
⑪貴事業所での定期巡回・随時対応型訪問介護看護実施の有無	1. 有	2. 無				
⑫貴事業所の職員数を常勤換算*でお答えください。※平成25年9月30日と平成26年9月30日時点の在籍者の状況						
	保健師・助産師・看護師	准看護師	リハビリ職（PT・OT・ST）	精神保健福祉士	その他の職員	合計
平成25年9月	. 人	. 人	. 人	. 人	. 人	. 人
平成26年9月	. 人	. 人	. 人	. 人	. 人	. 人
*非常勤職員・兼務職員の「常勤換算」は以下の方法で計算してください。（小数点以下第1位まで）						
■1週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の1週間の勤務時間）÷（貴事業所が定めている常勤職員の1週間の勤務時間）						
■1か月に数回勤務の場合：（非常勤職員の1か月の勤務時間）÷（貴事業所が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4）						
*なお、該当の職員を配置しているにもかかわらず、計算結果が0.1に満たない場合は、0.1と計上してください。						
⑬「常勤」の看護職員数(実人数)	平成25年9月	() 人	平成26年9月	() 人		
⑭常勤看護職員の人数が増えた事業所の場合、その理由 ※複数回答可	1. 機能強化型訪問看護ステーションが創設されたため 2. その他（具体的に：) 3. 常勤看護職員は増えていない					
⑮貴事業所の定める常勤看護職員の1週間の所定労働時間	() 時間/週					
⑯平成26年9月末時点在籍の「看護職員」について、1週間の所定労働時間別の人数（実人数）と、平成26年9月29日(月)～10月5日(日)までの1週間の実際の勤務時間別の人数（実人数）をご記入ください。						
	32時間未満	32時間以上 36時間未満	36時間以上 40時間未満	40時間以上	合計	
週所定労働時間別の人数	. 人	. 人	. 人	. 人	. 人	
実際の勤務時間別の人数	. 人	. 人	. 人	. 人	. 人	
⑰退院時共同指導加算の算定の有無・件数（平成26年9月分）	1. 有 () 件		2. 無			
⑱訪問看護基本療養費Ⅲの算定の有無・件数（平成26年9月分）	1. 有 () 件		2. 無			
⑲精神科訪問看護基本療養費Ⅳの算定の有無・件数（平成26年9月分）	1. 有 () 件		2. 無			
⑳障害者総合支援法による自立支援医療に原則、対応しますか。	1. はい		2. いいえ			

2. 貴事業所の利用者数および訪問回数等についてお伺いします(精神科訪問看護を含みます)。

①平成25年9月と平成26年9月の各1か月間の訪問看護の利用者数（実人数）と訪問回数をご記入ください。		
	平成25年9月	平成26年9月
1) 全利用者数（医療保険の利用者数+介護保険の利用者数）	. 人	. 人
2) うち、医療保険のみの利用者数	. 人	. 人
3) 医療保険の特掲診療料の施設基準等別表7（厚生労働大臣の定める疾病等）に該当する人数	. 人	. 人
4) 医療保険の特掲診療料の施設基準等別表8（厚生労働大臣の定める状態等にあるもの）に該当する人数	. 人	. 人
5) 「特別訪問看護指示書」を交付された利用者数（1人に複数回交付された場合も1人としてカウントしてください）	. 人	. 人
6) 「精神科特別訪問看護指示書」を交付された利用者数（1人に複数回交付された場合も1人としてカウントしてください）	. 人	. 人

		平成 25 年 9 月	平成 26 年 9 月					
7) 訪問回数（医療保険の利用者分＋介護保険の利用者分）		回	回					
8) うち、医療保険による訪問回数		回	回					
②平成 26 年 9 月の 1 か月間の利用者について、貴事業所の訪問看護の利用について医療保険のみ・介護保険の別に、年齢別人数をお書きください。 ※平成 26 年 9 月中に 1 回でも介護保険による訪問看護を提供した利用者については、「介護保険の利用者」の欄にご記入いただき、「医療保険のみの利用者」の欄には、平成 26 年 9 月中に、介護保険による訪問看護を 1 回も提供していない利用者についてご記入ください。（以下、④～⑥の質問も同様）								
	1 歳未満	1 歳以上 3 歳未満	3 歳以上 6 歳未満	6 歳以上 15 歳未満	15 歳以上 40 歳未満	40 歳以上 65 歳未満	65 歳以上 75 歳未満	75 歳以上
1) 医療保険のみの利用者	人	人	人	人	人	人	人	人
2) 介護保険の利用者						人	人	人
2)-1 介護保険の利用者のうち、特別訪問看護指示書により医療保険になった利用者（再掲）						人	人	人
③15 歳未満の利用者について、超重症児・準超重症児の人数をお書きください。								
	1) 超重症児 （運動機能が座位までで、 判定スコアが 25 点以上）		2) 準超重症児 （運動機能が座位までで、判定 スコアが 10 点以上 25 点未満）		3) その他			
15 歳未満の利用者		人		人				人
④平成 26 年 9 月の 1 か月間の利用者のうち、40 歳以上の利用者について、要介護度別の人数をお書きください。								
	要支援 1・2	要介護 1・2・3	要介護 4	要介護 5	介護保険 対象外	申請中・自 立・未申請		
1) 医療保険のみの利用者	人	人	人	人	人	人		
2) 介護保険の利用者	人	人	人	人	人			
2)-1 介護保険の利用者のうち、特別訪問看護指示書により医療保険になった利用者（再掲）	人	人	人	人	人			
⑤平成 26 年 9 月の 1 か月間の利用者のうち、要介護者について、日常生活自立度（寝たきり度）別の人数をお書きください。								
	自立・J（自立）	A（室内自立）	B（床上自立）	C（寝たきり）				
1) 医療保険のみの利用者	人	人	人	人				
1)-1 医療保険のみの利用者のうち、精神科訪問看護の利用者（再掲）	人	人	人	人				
2) 介護保険の利用者	人	人	人	人				
2)-1 介護保険の利用者のうち、特別訪問看護指示書により医療保険になった利用者（再掲）	人	人	人	人				
⑥平成 26 年 9 月の 1 か月間の利用者のうち、要介護者について、認知症高齢者の日常生活自立度の区分別の人数をお書きください。								
	自立・I	II	III	IV	M			
1) 医療保険のみの利用者	人	人	人	人	人			
2) 介護保険の利用者	人	人	人	人	人			
2)-1 介護保険の利用者のうち、特別訪問看護指示書により医療保険になった利用者（再掲）	人	人	人	人	人			

⑦平成 25 年 9 月と平成 26 年 9 月の各 1 か月間の医療保険の利用者のうち、精神疾患のある利用者について、「精神科訪問看護基本療養費」と「訪問看護基本療養費」の別に、疾患別人数をお書きください。※1名の利用者に複数の疾患がある場合は、訪問看護指示書に記載されている主傷病名に基づきお書きください。

		統合失調症	気分障害	認知症	その他	合計
1) 精神科訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅲ	平成 25 年 9 月	人	人	人	人	人
	平成 26 年 9 月	人	人	人	人	人
2) 精神科訪問看護基本療養費Ⅱ	平成 25 年 9 月	人	人	人	人	人
	平成 26 年 9 月	人	人	人	人	人
3) 訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅱ	平成 25 年 9 月	人	人	人	人	人
	平成 26 年 9 月	人	人	人	人	人

3. 精神科訪問看護について、届出の状況や訪問人数、訪問回数等をお答えください。

①精神科訪問看護基本療養費の届出の有無 ※○は1つだけ		1. 有（経過措置を利用していない） 2. 経過措置を利用して、届け出ている 3. 無（→「4. 褥瘡リスク」へ進んでください。）		
②精神科訪問看護を開始した時期		平成（ ）年（ ）月		
③平成 26 年 9 月 1 か月間の精神科訪問看護の時間区分ごとの算定回数と人数		30分未満	30分以上	合計
	1) 精神科訪問看護基本療養費（Ⅰ）	（ ）回 （ ）人	（ ）回 （ ）人	（ ）回 （ ）人
	2) 精神科訪問看護基本療養費（Ⅲ） （同一建物居住者）	（ ）回 （ ）人	（ ）回 （ ）人	（ ）回 （ ）人
④精神科重症患者早期集中支援管理連携加算の届出の有無（平成 26 年 9 月）		1. 有 2. 無		
1) ④で「1. 有」の場合：平成 26 年 4 月～9 月の 6 か月間の加算算定実績（実人数）		（ ）人		
⑤他医療機関の精神科重症患者早期集中支援管理連携におけるチームのメンバーとして参加した症例数（平成 26 年 4 月～9 月）（実人数）※加算の有無は問いません		（ ）人		
⑥精神科複数回訪問加算の届出の有無		1. 有 2. 無		
1) ⑥で「1. 有」の場合：平成 26 年 4 月～9 月の 6 か月間の加算算定実績（延べ回数）	1日に2回	（ ）回		
	1日に3回以上	（ ）回		
2) ⑥で「1. 有」の場合：平成 26 年 4 月～9 月の 6 か月間の加算算定人数		（ ）人		
⑦精神科訪問看護の利用者のうち、1日に複数回の訪問看護を行った利用者数（実人数）※加算の有無は問いません	平成 25 年 9 月	（ ）人		
	平成 26 年 9 月	（ ）人		
⑧精神科訪問看護基本療養費の研修受講者の有無・人数		1. 有（ ）人 2. 無		

4. 褥瘡リスクの評価の実施状況について、お答えください。

①平成 25 年 9 月と平成 26 年 9 月の各 1 か月間の医療保険の利用者のうち、褥瘡について、DESIGN-R 分類で状態を確認した利用者数、および真皮までの損傷（d2）、真皮を超える褥瘡（D3以上）の利用者数をお書きください。

	DESIGN-R 分類で確認した利用者数	うち、	
		d2（真皮まで）	D3以上（真皮を超える）
平成 25 年 9 月（医療）	人	人	人
平成 26 年 9 月（医療）	人	人	人

②他医療機関・事業所の専門性の高い看護師による同一日の訪問の有無および実人数、延べ訪問回数(平成26年9月の1か月間)	1. 有⇒利用者数：()人、延べ訪問回数：()回 2. 無
1) ②で「2.無」の場合：理由を教えてください。 ※主なもの1つに○ 注) 専門性の高い看護師とは、褥瘡ケアに係る専門の研修を受けた看護師を指します。	1. 専門性の高い看護師による訪問の必要な利用者がいないから 2. 専門性の高い看護師が当事業所にいるから 3. 専門の医師(皮膚科等)が対応しているから 4. 他機関の在宅褥瘡対策チームが対応しているから 5. 専門性の高い看護師が近くにはいないから 6. 専門性の高い看護師が所属する機関を知らないから 7. 専門性の高い看護師が所属する機関が協力的でないから 8. 利用者の経済的負担(自己負担)が増えるから 9. 請求の手続きが難しいから 10. その他(具体的に)
③他の医療機関において、在宅患者訪問褥瘡管理指導料が算定されている利用者の有無および実人数(平成26年9月の1か月間)	1. 有⇒利用者数：()人 2. 無 3. 分からない
④在宅褥瘡チームの構成員の有無	1. 有 2. 無
⑤在宅褥瘡管理者の有無	1. 有 2. 無
⑥在宅褥瘡管理者に関する研修受講の有無	1. 有()人 2. 無

5. ターミナル・看取りの実態についてお答えください(介護保険の利用者も含みます)。

①平成25年4月1日～9月30日と、平成26年4月1日～9月30日の各半年間に亡くなった利用者数(医療保険の利用者と介護保険の利用者の合計)、うち、死亡前30日以内に訪問看護を提供した利用者数、死亡場所が「在宅」またはターミナルケア実施後24時間以内の入院死亡であった利用者数、「がん」の利用者数をお書きください。また、「ターミナルケア療養費」(医療保険)・「ターミナルケア加算」(介護保険)を算定した利用者数、他機関で「在宅がん医療総合診療料」を算定した利用者数と他の介護保険施設・事業所で「看取り介護加算」を算定した利用者数もわかればご記入ください。

※「在宅」とは自宅及び医療機関以外の施設(特別養護老人ホーム等)を含みます。

	1) 亡くなった利用者数	2) うち、死亡前30日以内に訪問看護を提供した利用者数	3) うち、在宅死亡、またはターミナルケア実施後24時間以内の入院死亡の利用者数	4) うち「がん」の利用者数	5) ターミナルケア療養費(医療保険)算定利用者数 ※貴事業所での算定	6) ターミナルケア加算(介護保険)算定利用者数 ※貴事業所での算定	7) 在宅がん医療総合診療料算定利用者数 ※他機関算定	8) 看取り介護加算 ※他施設算定
平成25年	人	人	人	人	人	人	人	人
平成26年	人	人	人	人	人	人	人	人

6. 土日や夜間、緊急時の対応についてお答えください(医療保険の訪問看護に限ります)。

①土日や祝日の計画的な訪問に対応していますか。実績に関わらずお答えください。※複数回答可						
1. 土曜日は対応する 2. 日曜日は対応する 3. 祝日は対応する 4. いずれも対応しない						
②土日や祝日の計画的な訪問の実績を教えてください。 (介護保険のみでの利用者は除く。精神科訪問看護の利用者を含む)						
	9月13日(土)	9月14日(日)	9月15日(祝)	9月20日(土)	9月21日(日)	9月23日(祝)
医療保険の利用者	人	人	人	人	人	人

③平成26年9月の1か月間において、早朝・夜間・深夜に、計画的に（緊急以外で）訪問看護を実施している医療保険による利用者はいますか。該当の利用者がいる場合、その利用者数と延べ訪問回数、夜間・早朝訪問看護加算及び深夜訪問看護加算の算定人数（平成26年9月）をお書きください。

平成26年9月	1. 無 2. 有→利用者数：（ ）人、延べ訪問回数：（ ）回 →うち、夜間・早朝訪問看護加算及び深夜訪問看護加算の算定人数：（ ）人							
1) 上記③の平成26年9月において実績がある場合、訪問が必要な理由を教えてください。 ※複数回答可	1. たんの吸引	2. 人工呼吸器等の医療機器の管理	3. インスリン注射	4. 点滴	5. 服薬介助（含点眼・点鼻・軟膏）	6. 浣腸・摘便	7. その他のADL支援	8. その他（具体的に：（ ））

④平成25年9月と平成26年9月の各1か月間に、緊急時訪問看護加算を算定した件数をお書きください。（介護保険のみでの利用者は除く。精神科訪問看護の利用者を含む）

	早朝 (6時～8時)	日中		夜間 (18時～22時)	深夜 (22時～6時)
		平日	休日		
平成25年9月	回	回	回	回	回
平成26年9月	回	回	回	回	回

⑤緊急時訪問看護加算を算定せずに緊急訪問を行った経験（平成26年9月）

うち、精神科訪問看護の利用者	1. 有⇒実人数（ ）人、延べ回数（ ）回	2. 無
----------------	-----------------------	------

⑥平成26年10月20日～26日の1週間に、加算の有無に関わらず、利用者および家族から時間外に受けた「電話」での相談についておかがいします。電話の後の対応として、実際には訪問はせずに、電話のみの対応だった場合の電話の件数（延べ件数）をお書きください。（介護保険のみでの利用者は除く。精神科訪問看護の利用者を含む。）

	早朝 (6時～8時)	日中		夜間 (18時～22時)	深夜 (22時～6時)
		平日	休日		
医療保険の利用者	回	回	回	回	回
1) うち、精神科訪問看護の利用者	回	回	回	回	回

7. 他の訪問看護ステーションや医療機関、居宅介護支援事業所等との連携状況についてお答えください。

①平成26年9月の1か月間に貴事業所を含めた複数の訪問看護ステーションから訪問看護を実施した医療保険の利用者はいますか。いる場合、人数をお書きください。

	1. 有（ ）人 2. 無
--	---------------

②平成25年9月と平成26年9月の各1か月間の医療保険での訪問看護の利用者のうち、同一敷地内に設置された居宅介護支援事業所により、介護サービス計画または介護サービス予防計画が作成された利用者数をお書きください。

平成25年9月	()人
平成26年9月	()人

③平成25年9月と平成26年9月の各1か月間の介護保険での訪問看護の利用者のうち同一敷地内に設置された居宅介護支援事業所により、介護サービス計画または介護サービス予防計画が作成された利用者数をお書きください。

平成25年9月	()人
平成26年9月	()人

④平成26年4月～9月の6か月間に、地域住民などに対する情報提供や相談、人材育成のための研修として、実施したことを選んでください。※複数回答可

1. 地域における会議・勉強会⇒ (a 企画運営 b 講師として参加 c 受講生として参加)	
2. 他施設、他職種との地域連携⇒ (a 市民向け b 医療機関向け c 介護サービス施設向け d 同業者向け)	
3. 訪問看護連絡協議会の役員	4. 関わっている事例以外に関する相談対応
5. 実習生の受け入れ	6. 行政や研究機関と連携したモデル事業の実施
7. その他（具体的に：（ ））	

⑤貴事業所では、ステーションの空き状況等の情報を近隣のステーションと情報共有するネットワークはありますか。

	1. 有 2. 無
--	-----------

⑥平成 26 年 9 月 1 か月の利用者（医療＋介護）への指示書の発行元の病院数	約（ ）施設
⑦平成 26 年 9 月 1 か月の利用者（医療＋介護）への指示書の発行元の診療所数	約（ ）施設
⑧平成 26 年 9 月 1 か月間に市区町村へ情報提供した件数	約（ ）件
⑨平成 26 年 9 月 1 か月間にサービス担当者会議に参加した回数（利用者の保険種別は問わない）	約（ ）回

8. 貴事業所の収支や事業所運営についての方針等についてお答えください。

①平成 26 年度診療報酬改定前後で収支はどのように変化しましたか。	1. プラスになった 3. マイナスになった	2. ほぼ同じ 4. わからない
②上記となった理由について考えられることを選んでください。※複数回答可		
1. 利用者が増えた 4. 事業所の職員体制が変化した 6. 人件費以外のコストが変化した 7. 診療報酬改定の影響である →具体的に（ ） 8. その他 →具体的に（ ）		
③貴事業所では、今後、機能強化型の届出をすることを検討していますか。 ※○は1つだけ		
1. 既に機能強化型の届出をしている 2. 平成（ ）年（ ）月頃の届出予定である 3. 時期は決まっていないが、機能強化型として届け出ることを目指している 4. 機能強化型として届け出ることには特に目指していない		
④ ③で「2.」または「3.」と回答した事業所にお伺いします。現在届出のない理由として該当するものに○を付けてください（複数回答可）。また、最も困難と考えられる要件1つに◎を付けてください。		
1. 看護職員数が少ないから 2. 看護職員数はそろっているが、「常勤」の看護職員が確保できないから 3. 24 時間対応体制が確保できないから 4. 看取りの件数が少ないから 5. 看取りは行っているが、ターミナルケア療養費・ターミナルケア加算の算定件数が少ないから →算定件数が少ない理由（具体的に： ） 6. 特掲診療料の施設基準等の別表 7（末期の悪性腫瘍など）に該当する利用者が少ないから 7. 同一敷地内に居宅介護支援事業所がないから 8. 同一敷地内の居宅介護支援事業所により介護サービス計画を作成されている者がいないから 9. その他（具体的に： ）		
⑤貴事業所では、過去 3 か月以内に、受入れを断った利用希望者（医療保険の利用者）はいましたか。いた場合には、断った理由について、ご記入ください。		
0. 無 1. 有 →理由（具体的に： ）		
⑥現在の電子化の状況 ※複数回答可		
1. 明細書 2. 領収書 3. 計画書 4. 報告書 5. 訪問看護記録 6. 情報提供書 7. その他（具体的に： ）		
⑦平成 26 年度の診療報酬改定において、「機能強化型」訪問看護ステーションが創設されましたが、今後、「高機能」として、訪問看護ステーションが評価されるとよいと思われる点がありましたら、ご自由にご記入ください。		

本票と「利用者票」とで、同じ利用者番号の場合、同じ利用者となるよう
ご記入ください

利用者番号

Aさん

※この「利用者票（事業所記入分）」は、看護職員の方に、利用者の状況についてお伺いするものです。

1) 性別	1. 男性 2. 女性	2) 年齢	() 歳
3) 現在在宅療養を続けている原因の病名 (指示書にある傷病名を転記ください) ※複数回答可	1. 脳血管疾患	2. 循環器疾患	3. 悪性新生物
	4. 内分泌疾患	5. 呼吸器疾患	6. 筋骨格・運動器疾患
	7. 精神疾患⇒ (a 統合失調症 b 気分障害 c 認知症 d その他)		
	8. 神経難病	9. その他の神経疾患	
	10. 歯科疾患	11. その他 (具体的に)	
4) 別表第七の 疾病等の該当 の有無 ※複数回答可	0. 無		
	1. 末期の悪性腫瘍	2. 多発性硬化症	3. 重症筋無力症
	4. スモン	5. 筋萎縮性側索硬化症	6. 脊髄小脳変性症
	7. ハンチントン病	8. 進行性筋ジストロフィー症	9. パーキンソン病関連疾患
	10. 多系統萎縮症	11. プリオン病	12. 亜急性硬化性全脳炎
	13. ライソゾーム病	14. 副腎白質ジストロフィー	15. 脊髄性筋萎縮症
	16. 球脊髄性筋萎縮症	17. 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	18. 後天性免疫不全症候群
	19. 頸髄損傷	20. 人工呼吸器を使用している状態	
5) 別表第八に掲げる特別な 管理の有無 ※複数回答可	0. 無		
	1. 在宅悪性腫瘍患者指導管理	2. 在宅気管切開患者指導管理	
	3. 気管カニューレ	4. 留置カテーテル	
	5. 在宅自己腹膜灌流指導管理	6. 在宅血液透析指導管理	
	7. 在宅酸素療法指導管理	8. 在宅中心静脈栄養法指導管理	
	9. 在宅成分栄養経管栄養法指導管理	10. 在宅自己導尿指導管理	
	11. 在宅人工呼吸指導管理	12. 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理	
	13. 在宅自己疼痛管理指導管理	14. 在宅肺高血圧症患者指導管理	
	15. 人工肛門・人工膀胱	16. 真皮を越える褥瘡	
	17. 在宅患者訪問点滴注射管理指導料算定		
6) ターミナル期かどうか(医師が余命6か月以内と判断)	1. はい 2. いいえ		
7) 貴事業所でこの利用者に訪問看護を開始した時期	平成 () 年 () 月頃		
8) 在宅移行前の場所	0. 特に入院・入所はしていない		
	1. 病院⇒ (a 一般病床 b 療養病床 c 回復期リハ病床 d 精神病床 e その他)		
	2. 診療所	3. 介護老人保健施設	4. 介護老人福祉施設
	5. その他 ()		
9) NICUの入院履歴	1. 有 2. 無		
10) 直近の退院月(半年以内、直近)	1. 平成26年 () 月 2. 無 3. 不明		
11) 訪問看護の種別(平成26年9月分)	1. 訪問看護基本療養費 2. 精神科訪問看護基本療養費		
12) 訪問看護の加算等の状況(平成26年9月分)	※複数回答可 ※精神科を含む		
	1. 特別管理加算	2. 専門性の高い看護師による訪問⇒ (a 緩和ケア b 褥瘡ケア)	
	3. 複数名訪問看護加算⇒ (a 看護師 b リハビリ職 c 准看護師 d 看護補助者 e 精神保健福祉士)		
	4. 夜間・早朝訪問看護加算	5. 深夜訪問看護加算	6. 緊急訪問看護加算
	7. 難病等複数回訪問加算	8. 精神科複数回訪問看護加算	9. 長時間訪問看護加算
	10. 乳幼児加算・幼児加算	11. 退院支援指導加算	12. 24時間対応体制加算・連絡体制加算
	13. 退院時共同指導加算	14. 精神科重症患者早期集中支援管理連携加算	

13) 貴事業所からの訪問日数（平成 26 年 9 月 1 か月間）		（ ）日	
うち、緊急訪問の有無・回数・理由	1. 有⇒（ ）回、理由（ ） 2. 無		
うち、1日につき複数回の訪問を行った日の有無・日数	1. 有⇒（ ）日 2. 無		
14) 提供する職員の職種 ※複数回答可 （平成 26 年 9 月の訪問者）	1. 保健師・助産師・看護師 2. 准看護師 3. 理学療法士 4. 作業療法士 5. 言語聴覚士 6. 精神保健福祉士 7. その他		
15) 直近の 1 回の訪問時間（分） ※移動時間は含まない	（ ）分		
16) 直近 1 回の訪問者の職種	1. 保健師・助産師・看護師 2. 准看護師 3. 理学療法士 4. 作業療法士 5. 言語聴覚士 6. 精神保健福祉士 7. その他		
17) 貴事業所以外に訪問看護を提供する 事業所の有無・訪問者の職種	1. 有⇒訪問者の職種（a 看護職 b リハ職 c その他） 2. 無		
18) 特別訪問看護指示書（精神科を含む）の交付の有無・回数（平成 26 年 4 月～9 月）		1. 有⇒（ ）回 2. 無	
(有の場合) 指示の内容 ※複数回答可		1. 感染 2. 脱水 3. 褥瘡 4. その他（ ）	
19) 平成 26 年 9 月 1 か月間に訪問看護が提供したケア内容に全て○をつけてください（複数回答可）。また、直近 1 回の訪問時に行ったケア内容のうち、主なもの 3 つまでに◎をつけてください。			
1. ターミナル期のケア 2. 服薬援助（点眼薬等を含む） 3. 胃ろう・腸ろうによる栄養管理 4. 経鼻経管栄養 5. 吸入・吸引 6. 創傷処置 7. 浣腸・摘便 8. 褥瘡の処置 9. 皮膚潰瘍等の処置 10. 採血 11. 検体採取 12. インスリン注射 13. 点滴・中心静脈栄養・注射（12.以外） 14. 膀胱（留置）カテーテルの管理 15. 導尿 16. 人工肛門・人工膀胱の管理 17. 人工呼吸器の管理 18. 陽圧換気機器の管理 19. 気管切開の処置 20. 気管カニューレの交換 21. 酸素療法管理（在宅酸素・酸素吸入） 22. 腹膜透析 23. がん末期の疼痛管理 24. 慢性疼痛の管理（23.以外） 25. 精神症状の観察 26. 心理的支援 27. リハビリテーション 28. 口腔の清拭等 29. 合併症予防ケア（肺炎予防等） 30. 頻回の観察・アセスメント 31. 家族への指導・支援 32. サービスの連絡調整 33. その他（具体的に ）			
20) 要介護度 （直近）	0. なし 1. 要支援 1・2 2. 要介護 1 3. 要介護 2 4. 要介護 3 5. 要介護 4 6. 要介護 5 7. 申請中		
21) 障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）（直近）	1. J 2. A 3. B 4. C 5. 不明		
22) 認知症高齢者の日常生活自立度（直近）	0. 自立 1. I 2. II 3. III 4. IV 5. M 6. 不明		
23) 利用者に対し、過去 1 年以内に介護保険による訪問看護を提供したことがありますか。	1. 有 2. 無		
24) 介護保険サービスの利用の有無（平成 26 年 9 月、利用サービス種類は問いません）	1. 有 2. 無 3. 不明		
24)-1 (1. 有の場合) 利用者のケアマネジャー（介護支援専門員）はどこの居宅介護支援事業所に所属していますか。	1. 貴事業所と兼務 2. 貴事業所と同一敷地内 3. その他		
24)-2 (1. 有の場合) 利用者のケアマネジャーとは、平成 26 年 9 月 1 か月間に何回連絡をとりましたか。 ※貴事業所と兼務のケアマネジャー（介護支援専門員）の場合は記入不要です。	約（ ）回		
25) あなたから見たこの利用者の状況として、あてはまるものを教えてください。 ※複数回答可			
1. 高い看護判断能力が必要 2. 他機関、他職種との連携調整が多い 3. 介護力不足がある 4. 家族への対応、調整が多い 5. 本人、家族にコミュニケーション上の問題がある 6. 特に該当なし			

本票と「利用者票」とで、同じ利用者番号の場合、同じ利用者となるよう
 ご記入ください

利用者番号	Bさん
-------	-----

※この「利用者票（事業所記入分）」は、看護職員の方に、利用者の状況についてお伺いするものです。

1) 性別	1. 男性 2. 女性	2) 年齢	() 歳
3) 現在在宅療養を続けている原因の病名 (指示書にある傷病名を転記ください) ※複数回答可	1. 脳血管疾患 2. 循環器疾患 3. 悪性新生物 4. 内分泌疾患 5. 呼吸器疾患 6. 筋骨格・運動器疾患 7. 精神疾患⇒(a 統合失調症 b 気分障害 c 認知症 d その他) 8. 神経難病 9. その他の神経疾患 10. 歯科疾患 11. その他(具体的に)		
4) 別表第七の疾病等の該当の有無 ※複数回答可	0. 無 1. 末期の悪性腫瘍 2. 多発性硬化症 3. 重症筋無力症 4. スモン 5. 筋萎縮性側索硬化症 6. 脊髄小脳変性症 7. ハンチントン病 8. 進行性筋ジストロフィー症 9. パーキンソン病関連疾患 10. 多系統萎縮症 11. プリオン病 12. 亜急性硬化性全脳炎 13. ライソゾーム病 14. 副腎白質ジストロフィー 15. 脊髄性筋萎縮症 16. 球脊髄性筋萎縮症 17. 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 18. 後天性免疫不全症候群 19. 頸髄損傷 20. 人工呼吸器を使用している状態		
5) 別表第八に掲げる特別な管理の有無 ※複数回答可	0. 無 1. 在宅悪性腫瘍患者指導管理 2. 在宅気管切開患者指導管理 3. 気管カニューレ 4. 留置カテーテル 5. 在宅自己腹膜灌流指導管理 6. 在宅血液透析指導管理 7. 在宅酸素療法指導管理 8. 在宅中心静脈栄養法指導管理 9. 在宅成分栄養経管栄養法指導管理 10. 在宅自己導尿指導管理 11. 在宅人工呼吸指導管理 12. 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理 13. 在宅自己疼痛管理指導管理 14. 在宅肺高血圧症患者指導管理 15. 人工肛門・人工膀胱 16. 真皮を越える褥瘡 17. 在宅患者訪問点滴注射管理指導料算定		
6) ターミナル期かどうか(医師が余命6か月以内と判断)	1. はい 2. いいえ		
7) 貴事業所でこの利用者へ訪問看護を開始した時期	平成()年()月頃		
8) 在宅移行前の場所	0. 特に入院・入所はしていない 1. 病院⇒(a 一般病床 b 療養病床 c 回復期リハ病床 d 精神科病床 e その他) 2. 診療所 3. 介護老人保健施設 4. 介護老人福祉施設 5. その他()		
9) NICUの入院履歴	1. 有 2. 無		
10) 直近の退院月(半年以内、直近)	1. 平成26年()月 2. 無 3. 不明		
11) 訪問看護の種別(平成26年9月分)	1. 訪問看護基本療養費 2. 精神科訪問看護基本療養費		
12) 訪問看護の加算等の状況(平成26年9月分) ※複数回答可 ※精神科を含む			
1. 特別管理加算 2. 専門性の高い看護師による訪問⇒(a 緩和ケア b 褥瘡ケア) 3. 複数名訪問看護加算⇒(a 看護師 b リハビリ職 c 准看護師 d 看護補助者 e 精神保健福祉士) 4. 夜間・早朝訪問看護加算 5. 深夜訪問看護加算 6. 緊急訪問看護加算 7. 難病等複数回訪問加算 8. 精神科複数回訪問看護加算 9. 長時間訪問看護加算 10. 乳幼児加算・幼児加算 11. 退院支援指導加算 12. 24時間対応体制加算・連絡体制加算 13. 退院時共同指導加算 14. 精神科重症患者早期集中支援管理連携加算			

13) 貴事業所からの訪問日数（平成 26 年 9 月 1 か月間）		（ ）日																																		
うち、緊急訪問の有無・回数・理由		1. 有⇒（ ）回、理由（ ） 2. 無																																		
うち、1日につき複数回の訪問を行った日の有無・日数		1. 有⇒（ ）日 2. 無																																		
14) 提供する職員の職種 ※複数回答可 （平成 26 年 9 月の訪問者）		1. 保健師・助産師・看護師 2. 准看護師 3. 理学療法士 4. 作業療法士 5. 言語聴覚士 6. 精神保健福祉士 7. その他																																		
15) 直近の 1 回の訪問時間（分） ※移動時間は含まない		（ ）分																																		
16) 直近 1 回の訪問者の職種		1. 保健師・助産師・看護師 2. 准看護師 3. 理学療法士 4. 作業療法士 5. 言語聴覚士 6. 精神保健福祉士 7. その他																																		
17) 貴事業所以外に訪問看護を提供する 事業所の有無・訪問者の職種		1. 有⇒訪問者の職種（a 看護職 b リハ職 c その他） 2. 無																																		
18) 特別訪問看護指示書（精神科を含む）の交付の有無・回数（平成 26 年 4 月～9 月）		1. 有⇒（ ）回 2. 無																																		
(有の場合) 指示の内容 ※複数回答可		1. 感染 2. 脱水 3. 褥瘡 4. その他（ ）																																		
19) 平成 26 年 9 月 1 か月間に訪問看護が提供したケア内容に全て○をつけてください（複数回答可）。また、直近 1 回の訪問時に行ったケア内容のうち、主なもの 3 つまでに◎をつけてください。																																				
<table border="0"> <tr> <td>1. ターミナル期のケア</td> <td>2. 服薬援助（点眼薬等を含む）</td> <td>3. 胃ろう・腸ろうによる栄養管理</td> </tr> <tr> <td>4. 経鼻経管栄養</td> <td>5. 吸入・吸引</td> <td>6. 創傷処置</td> </tr> <tr> <td>7. 浣腸・摘便</td> <td>8. 褥瘡の処置</td> <td>9. 皮膚潰瘍等の処置</td> </tr> <tr> <td>10. 採血</td> <td>11. 検体採取</td> <td>12. インスリン注射</td> </tr> <tr> <td>13. 点滴・中心静脈栄養・注射（12.以外）</td> <td>14. 膀胱（留置）カテーテルの管理</td> <td>15. 導尿</td> </tr> <tr> <td>16. 人工肛門・人工膀胱の管理</td> <td>17. 人工呼吸器の管理</td> <td>18. 陽圧換気機器の管理</td> </tr> <tr> <td>19. 気管切開の処置</td> <td>20. 気管カニューレの交換</td> <td>21. 酸素療法管理（在宅酸素・酸素吸入）</td> </tr> <tr> <td>22. 腹膜透析</td> <td>23. がん末期の疼痛管理</td> <td>24. 慢性疼痛の管理（23.以外）</td> </tr> <tr> <td>25. 精神症状の観察</td> <td>26. 心理的支援</td> <td>27. リハビリテーション</td> </tr> <tr> <td>28. 口腔の清拭等</td> <td>29. 合併症予防ケア（肺炎予防等）</td> <td>30. 頻回の観察・アセスメント</td> </tr> <tr> <td>31. 家族への指導・支援</td> <td>32. サービスの連絡調整</td> <td>33. その他（具体的に ）</td> </tr> </table>				1. ターミナル期のケア	2. 服薬援助（点眼薬等を含む）	3. 胃ろう・腸ろうによる栄養管理	4. 経鼻経管栄養	5. 吸入・吸引	6. 創傷処置	7. 浣腸・摘便	8. 褥瘡の処置	9. 皮膚潰瘍等の処置	10. 採血	11. 検体採取	12. インスリン注射	13. 点滴・中心静脈栄養・注射（12.以外）	14. 膀胱（留置）カテーテルの管理	15. 導尿	16. 人工肛門・人工膀胱の管理	17. 人工呼吸器の管理	18. 陽圧換気機器の管理	19. 気管切開の処置	20. 気管カニューレの交換	21. 酸素療法管理（在宅酸素・酸素吸入）	22. 腹膜透析	23. がん末期の疼痛管理	24. 慢性疼痛の管理（23.以外）	25. 精神症状の観察	26. 心理的支援	27. リハビリテーション	28. 口腔の清拭等	29. 合併症予防ケア（肺炎予防等）	30. 頻回の観察・アセスメント	31. 家族への指導・支援	32. サービスの連絡調整	33. その他（具体的に ）
1. ターミナル期のケア	2. 服薬援助（点眼薬等を含む）	3. 胃ろう・腸ろうによる栄養管理																																		
4. 経鼻経管栄養	5. 吸入・吸引	6. 創傷処置																																		
7. 浣腸・摘便	8. 褥瘡の処置	9. 皮膚潰瘍等の処置																																		
10. 採血	11. 検体採取	12. インスリン注射																																		
13. 点滴・中心静脈栄養・注射（12.以外）	14. 膀胱（留置）カテーテルの管理	15. 導尿																																		
16. 人工肛門・人工膀胱の管理	17. 人工呼吸器の管理	18. 陽圧換気機器の管理																																		
19. 気管切開の処置	20. 気管カニューレの交換	21. 酸素療法管理（在宅酸素・酸素吸入）																																		
22. 腹膜透析	23. がん末期の疼痛管理	24. 慢性疼痛の管理（23.以外）																																		
25. 精神症状の観察	26. 心理的支援	27. リハビリテーション																																		
28. 口腔の清拭等	29. 合併症予防ケア（肺炎予防等）	30. 頻回の観察・アセスメント																																		
31. 家族への指導・支援	32. サービスの連絡調整	33. その他（具体的に ）																																		
20) 要介護度 （直近）		0. なし 1. 要支援 1・2 2. 要介護 1 3. 要介護 2 4. 要介護 3 5. 要介護 4 6. 要介護 5 7. 申請中																																		
21) 障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）（直近）		1. J 2. A 3. B 4. C 5. 不明																																		
22) 認知症高齢者の日常生活自立度（直近）		0. 自立 1. I 2. II 3. III 4. IV 5. M 6. 不明																																		
23) 利用者に対し、過去 1 年以内に介護保険による訪問看護を提供したことがありますか。			1. 有 2. 無																																	
24) 介護保険サービスの利用の有無（平成 26 年 9 月、利用サービス種類は問いません）			1. 有 2. 無 3. 不明																																	
24)-1 (1. 有の場合) 利用者のケアマネジャー（介護支援専門員）はどこの居宅介護支援事業所に所属していますか。		1. 貴事業所と兼務 2. 貴事業所と同一敷地内 3. その他																																		
24)-2 (1. 有の場合) 利用者のケアマネジャーとは、平成 26 年 9 月 1 か月間に何回連絡をとりましたか。 ※貴事業所と兼務のケアマネジャー（介護支援専門員）の場合は記入不要です。			約（ ）回																																	
25) あなたから見たこの利用者の状況として、あてはまるものを教えてください。 ※複数回答可																																				
1. 高い看護判断能力が必要 2. 他機関、他職種との連携調整が多い 3. 介護力不足がある 4. 家族への対応、調整が多い 5. 本人、家族にコミュニケーション上の問題がある 6. 特に該当なし																																				

本票と「利用者票」とで、同じ利用者番号の場合、同じ利用者となるよう
ご記入ください

利用者番号

Cさん

※この「利用者票（事業所記入分）」は、看護職員の方に、利用者の状況についてお伺いするものです。

1) 性別	1. 男性 2. 女性	2) 年齢	() 歳
3) 現在在宅療養を続けている原因の病名 (指示書にある傷病名を転記ください) ※複数回答可	1. 脳血管疾患 4. 内分泌疾患 7. 精神疾患 ➡ (a 統合失調症 b 気分障害 c 認知症 d その他) 8. 神経難病 10. 歯科疾患	2. 循環器疾患 5. 呼吸器疾患 9. その他の神経疾患 11. その他 (具体的に	3. 悪性新生物 6. 筋骨格・運動器疾患
4) 別表第七の疾病等の該当の有無 ※複数回答可	0. 無 1. 末期の悪性腫瘍 2. 多発性硬化症 3. 重症筋無力症 4. スモン 5. 筋萎縮性側索硬化症 6. 脊髄小脳変性症 7. ハンチントン病 8. 進行性筋ジストロフィー症 9. パーキンソン病関連疾患 10. 多系統萎縮症 11. プリオン病 12. 亜急性硬化性全脳炎 13. ライソゾーム病 14. 副腎白質ジストロフィー 15. 脊髄性筋萎縮症 16. 球脊髄性筋萎縮症 17. 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 18. 後天性免疫不全症候群 19. 頸髄損傷 20. 人工呼吸器を使用している状態		
5) 別表第八に掲げる特別な管理の有無 ※複数回答可	0. 無 1. 在宅悪性腫瘍患者指導管理 2. 在宅気管切開患者指導管理 3. 気管カニューレ 4. 留置カテーテル 5. 在宅自己腹膜灌流指導管理 6. 在宅血液透析指導管理 7. 在宅酸素療法指導管理 8. 在宅中心静脈栄養法指導管理 9. 在宅成分栄養経管栄養法指導管理 10. 在宅自己導尿指導管理 11. 在宅人工呼吸指導管理 12. 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理 13. 在宅自己疼痛管理指導管理 14. 在宅肺高血圧症患者指導管理 15. 人工肛門・人工膀胱 16. 真皮を越える褥瘡 17. 在宅患者訪問点滴注射管理指導料算定		
6) ターミナル期かどうか(医師が余命6か月以内と判断)	1. はい 2. いいえ		
7) 貴事業所でこの利用者に訪問看護を開始した時期	平成 () 年 () 月頃		
8) 在宅移行前の場所	0. 特に入院・入所はしていない 1. 病院 ➡ (a 一般病床 b 療養病床 c 回復期リハ病床 d 精神病床 e その他) 2. 診療所 3. 介護老人保健施設 4. 介護老人福祉施設 5. その他 ()		
9) NICUの入院履歴	1. 有 2. 無		
10) 直近の退院月(半年以内、直近)	1. 平成26年 () 月 2. 無 3. 不明		
11) 訪問看護の種別(平成26年9月分)	1. 訪問看護基本療養費 2. 精神科訪問看護基本療養費		
12) 訪問看護の加算等の状況(平成26年9月分)	※複数回答可 ※精神科を含む		
1. 特別管理加算 2. 専門性の高い看護師による訪問 ➡ (a 緩和ケア b 褥瘡ケア) 3. 複数名訪問看護加算 ➡ (a 看護師 b リハビリ職 c 准看護師 d 看護補助者 e 精神保健福祉士) 4. 夜間・早朝訪問看護加算 5. 深夜訪問看護加算 6. 緊急訪問看護加算 7. 難病等複数回訪問加算 8. 精神科複数回訪問看護加算 9. 長時間訪問看護加算 10. 乳幼児加算・幼児加算 11. 退院支援指導加算 12. 24時間対応体制加算・連絡体制加算 13. 退院時共同指導加算 14. 精神科重症患者早期集中支援管理連携加算			

13) 貴事業所からの訪問日数（平成 26 年 9 月 1 か月間）		（ ）日						
うち、緊急訪問の有無・回数・理由	1. 有⇒（ ）回、理由（ ） 2. 無							
うち、1日につき複数回の訪問を行った日の有無・日数	1. 有⇒（ ）日 2. 無							
14) 提供する職員の職種 ※複数回答可 （平成 26 年 9 月の訪問者）	1. 保健師・助産師・看護師 2. 准看護師 3. 理学療法士 4. 作業療法士 5. 言語聴覚士 6. 精神保健福祉士 7.その他							
15) 直近の 1 回の訪問時間（分）※移動時間は含まない	（ ）分							
16) 直近 1 回の訪問者の職種	1. 保健師・助産師・看護師 2. 准看護師 3. 理学療法士 4. 作業療法士 5. 言語聴覚士 6. 精神保健福祉士 7.その他							
17) 貴事業所以外に訪問看護を提供する事業所の有無・訪問者の職種	1. 有⇒訪問者の職種（a 看護職 b リハ職 c その他） 2. 無							
18) 特別訪問看護指示書（精神科を含む）の交付の有無・回数（平成 26 年 4 月～9 月）	1. 有⇒（ ）回 2. 無							
（有の場合）指示の内容 ※複数回答可	1. 感染 2. 脱水 3. 褥瘡 4. その他（ ）							
19) 平成 26 年 9 月 1 か月間に訪問看護が提供したケア内容に全て○をつけてください（複数回答可）。また、直近 1 回の訪問時に行ったケア内容のうち、主なもの 3 つまでに◎をつけてください。								
1. ターミナル期のケア 2. 服薬援助（点眼薬等を含む） 3. 胃ろう・腸ろうによる栄養管理 4. 経鼻経管栄養 5. 吸入・吸引 6. 創傷処置 7. 浣腸・摘便 8. 褥瘡の処置 9. 皮膚潰瘍等の処置 10. 採血 11. 検体採取 12. インスリン注射 13. 点滴・中心静脈栄養・注射（12.以外） 14. 膀胱（留置）カテーテルの管理 15. 導尿 16. 人工肛門・人工膀胱の管理 17. 人工呼吸器の管理 18. 陽圧換気機器の管理 19. 気管切開の処置 20. 気管カニューレの交換 21. 酸素療法管理（在宅酸素・酸素吸入） 22. 腹膜透析 23. がん末期の疼痛管理 24. 慢性疼痛の管理（23.以外） 25. 精神症状の観察 26. 心理的支援 27. リハビリテーション 28. 口腔の清拭等 29. 合併症予防ケア（肺炎予防等） 30. 頻回の観察・アセスメント 31. 家族への指導・支援 32. サービスの連絡調整 33. その他（具体的に ）								
20) 要介護度 （直近）	0. なし	1. 要支援 1・2	2. 要介護 1	3. 要介護 2	4. 要介護 3	5. 要介護 4	6. 要介護 5	7. 申請中
21) 障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）（直近）	1. J 2. A 3. B 4. C 5. 不明							
22) 認知症高齢者の日常生活自立度（直近）	0. 自立 1. I 2. II 3. III 4. IV 5. M 6. 不明							
23) 利用者に対し、過去 1 年以内に介護保険による訪問看護を提供したことがありますか。	1. 有 2. 無							
24) 介護保険サービスの利用の有無（平成 26 年 9 月、利用サービス種類は問いません）	1. 有 2. 無 3. 不明							
24)-1 (1. 有の場合) 利用者のケアマネジャー（介護支援専門員）はどこの居宅介護支援事業所に所属していますか。	1. 貴事業所と兼務 2. 貴事業所と同一敷地内 3. その他							
24)-2 (1. 有の場合) 利用者のケアマネジャーとは、平成 26 年 9 月 1 か月間に何回連絡をとりましたか。 ※貴事業所と兼務のケアマネジャー（介護支援専門員）の場合は記入不要です。	約（ ）回							
25) あなたから見たこの利用者の状況として、あてはまるものを教えてください。※複数回答可								
1. 高い看護判断能力が必要 2. 他機関、他職種との連携調整が多い 3. 介護力不足がある 4. 家族への対応、調整が多い 5. 本人、家族にコミュニケーション上の問題がある 6. 特に該当なし								

13) 貴事業所からの訪問日数（平成 26 年 9 月 1 か月間）		（ ）日	
うち、緊急訪問の有無・回数・理由	1. 有⇒（ ）回、理由（ ） 2. 無		
うち、1日につき複数回の訪問を行った日の有無・日数	1. 有⇒（ ）日 2. 無		
14) 提供する職員の職種 ※複数回答可 （平成 26 年 9 月の訪問者）	1. 保健師・助産師・看護師 2. 准看護師 3. 理学療法士 4. 作業療法士 5. 言語聴覚士 6. 精神保健福祉士 7. その他		
15) 直近の 1 回の訪問時間（分） ※移動時間は含まない	（ ）分		
16) 直近 1 回の訪問者の職種	1. 保健師・助産師・看護師 2. 准看護師 3. 理学療法士 4. 作業療法士 5. 言語聴覚士 6. 精神保健福祉士 7. その他		
17) 貴事業所以外に訪問看護を提供する事業所の有無・訪問者の職種	1. 有⇒訪問者の職種（a 看護職 b リハ職 c その他） 2. 無		
18) 特別訪問看護指示書（精神科を含む）の交付の有無・回数（平成 26 年 4 月～9 月）	1. 有⇒（ ）回 2. 無		
（有の場合）指示の内容 ※複数回答可	1. 感染 2. 脱水 3. 褥瘡 4. その他（ ）		
19) 平成 26 年 9 月 1 か月間に訪問看護が提供したケア内容に全て○をつけてください（複数回答可）。また、直近 1 回の訪問時に行ったケア内容のうち、主なもの 3 つまでに◎をつけてください。			
1. ターミナル期のケア 2. 服薬援助（点眼薬等を含む） 3. 胃ろう・腸ろうによる栄養管理 4. 経鼻経管栄養 5. 吸入・吸引 6. 創傷処置 7. 浣腸・摘便 8. 褥瘡の処置 9. 皮膚潰瘍等の処置 10. 採血 11. 検体採取 12. インスリン注射 13. 点滴・中心静脈栄養・注射（12.以外） 14. 膀胱（留置）カテーテルの管理 15. 導尿 16. 人工肛門・人工膀胱の管理 17. 人工呼吸器の管理 18. 陽圧換気機器の管理 19. 気管切開の処置 20. 気管カニューレの交換 21. 酸素療法管理（在宅酸素・酸素吸入） 22. 腹膜透析 23. がん末期の疼痛管理 24. 慢性疼痛の管理（23.以外） 25. 精神症状の観察 26. 心理的支援 27. リハビリテーション 28. 口腔の清拭等 29. 合併症予防ケア（肺炎予防等） 30. 頻回の観察・アセスメント 31. 家族への指導・支援 32. サービスの連絡調整 33. その他（具体的に ）			
20) 要介護度 （直近）	0. なし 1. 要支援 1・2 2. 要介護 1 3. 要介護 2 4. 要介護 3 5. 要介護 4 6. 要介護 5 7. 申請中		
21) 障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）（直近）	1. J 2. A 3. B 4. C 5. 不明		
22) 認知症高齢者の日常生活自立度（直近）	0. 自立 1. I 2. II 3. III 4. IV 5. M 6. 不明		
23) 利用者に対し、過去 1 年以内に介護保険による訪問看護を提供したことがありますか。	1. 有 2. 無		
24) 介護保険サービスの利用の有無（平成 26 年 9 月、利用サービス種類は問いません）	1. 有 2. 無 3. 不明		
24)-1 (1. 有の場合) 利用者のケアマネジャー（介護支援専門員）はどこの居宅介護支援事業所に所属していますか。	1. 貴事業所と兼務 2. 貴事業所と同一敷地内 3. その他		
24)-2 (1. 有の場合) 利用者のケアマネジャーとは、平成 26 年 9 月 1 か月間に何回連絡をとりましたか。 ※貴事業所と兼務のケアマネジャー（介護支援専門員）の場合は記入不要です。	約（ ）回		
25) あなたから見たこの利用者の状況として、あてはまるものを教えてください。 ※複数回答可			
1. 高い看護判断能力が必要 2. 他機関、他職種との連携調整が多い 3. 介護力不足がある 4. 家族への対応、調整が多い 5. 本人、家族にコミュニケーション上の問題がある 6. 特に該当なし			

平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る調査(平成 26 年度調査)
訪問看護の利用状況や効果等についての調査 調査票

※この調査票は、ご自宅で静養されている方に、訪問看護の利用状況やお考えについておうかがいする
 ものです。

※ご回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、()内には具体的な数字、
 ことば等をお書きください。

0. 最初に、この調査票のご記入者について、おうかがいします。

この調査票のご回答者は、利用者の方でしょうか。それともご家族の方等でしょうか。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 利用者ご本人が記入 | 2. 利用者から聞き取りご家族が代筆 |
| 3. ご家族の方が記入 | 4. その他(具体的に) |

1. 利用者の方についておうかがいします。

① 性別	1. 男性 2. 女性	② 年齢	() 歳
③ 同居しているご家族の方はいらっしゃいますか。	1. いる 2. いない		
③-1 : ③で1の場合: 日中も同居のご家族はいらっしゃいますか。	1. いる 2. いない		

2. 訪問看護師による訪問看護についておうかがいします。

① いつ頃から訪問看護を利用していますか。

平成()年()月頃から

② 現在、訪問看護は何か所の事業所・施設から来ていますか。 ※○は1つだけ

1. 1か所 2. 2か所 3. 3か所

③ ここ1か月の間に訪問看護師はどのくらいの頻度で来ましたか。 ※○は1つだけ

- | | | |
|---------------|----------------|-------------|
| 1. 毎日 | 2. 1週間に5日 | 3. 1週間に3~4日 |
| 4. 1週間に2日 | 5. 1週間に1日 | 6. 1か月に2、3日 |
| 7. 1か月に1日 | 8. 決まっていない | |
| 9. わからない・わすれた | 10. その他(具体的に) | |

④ 自宅に来る訪問看護師の訪問頻度をどう思いますか。 ※○は1つだけ

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. もっと多く来てほしい | 2. ちょうどよい |
| 3. もっと少なくてもよい | 4. わからない・どちらでもない |

⑤ 早朝・夜間・深夜(午後8時以降~午前8時まで)に計画的に訪問看護を利用していますか。

※○は1つだけ

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

⑥ 夜間や休日に急に具合が悪くなった場合は、まず、誰に連絡をするように訪問看護師から言われていますか。 ※○は1つだけ

- | | | |
|-----------------------|---------------|---------------|
| 1. 訪問診療の医師 | 2. 通院先の病院・診療所 | 3. 訪問看護師 |
| 4. ケアマネジャー(介護支援専門員) | 5. 救急車(119番) | 6. その他(具体的に) |
| 7. 特に訪問看護師から言われたことはない | | |
| 8. 状況によって複数の連絡先を指定される | | |

⑦ 夜間や休日に急に具合が悪くなって、いつも自宅に来てくれる訪問看護師の事業所に緊急の連絡をしたことがありますか。 ※○は1つだけ

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. 連絡したことがある | 2. 連絡したことはない | 3. わからない・わすれた |
|--------------|--------------|---------------|

→ ⑦-1 訪問看護師はどのような対応をしてくれましたか。 ※○はいくつでも

- | |
|-------------------------|
| 1. 電話で状況を伝えると来てくれた |
| 2. 電話で対応方法を教えてくれた |
| 3. 電話で相談にのってくれ、翌朝に来てくれた |
| 4. わからない・わすれた |
| 5. 来てほしかったのに断られた |
| 6. その他(具体的に) |

⑦-2 連絡時の対応は満足でしたか。 ※○は1つだけ

- | | | | |
|------------------|---------|---------|----------|
| 1. とても満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. とても不満 |
| 5. わからない・どちらでもない | | | |

⑧ 訪問看護に求めることは何ですか。上位3つまで選んでください。 ※○は3つまで

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. 24時間対応してくれる | 2. 土日にも来てくれる |
| 3. 病状が重くなっても対応してくれる | 4. 何回でも訪問してくれる |
| 5. 必要に応じ複数名で訪問してくれる | 6. いつも決まった看護師が対応してくれる |
| 7. 入退院時に病院と連絡調整してくれる | |
| 8. (ケアマネジャー(介護支援専門員)と相談して、)介護保険サービスの利用を調整してくれる | |
| 9. 相談にのってくれる | 10. 医療的処置をしてくれる |
| 11. 必要に応じて医師に連絡してくれる | 12. 看取りをしてくれる |
| 13. 予防のための指導や助言をしてくれる | |
| 14. その他(具体的に) | |

⑨ 自宅に来る訪問看護師の対応に満足していますか。 ※○は1つだけ

- | | | |
|----------|----------|------------------|
| 1. とても満足 | 2. やや満足 | |
| 3. やや不満 | 4. とても不満 | 5. わからない・どちらでもない |

⑨-1 どのような点がご不満でしょうか。具体的な理由を教えてください。

--

3. 在宅での療養や介護保険サービスの利用についておうかがいします。

① 訪問看護以外にどのような医療サービス等を利用していますか。 ※○はいくつでも

1. 訪問診療・往診 2. 外来受診 3. 歯科の訪問診療 4. 薬剤師の訪問 5. デイケア

→ ①-1 医師はどのくらいの頻度で自宅に来ますか。 ※○は1つ

1. 1週間に2、3日 2. 1週間に1日 3. 1か月に2、3日 4. 1か月に1日
5. 決まっていない 6. わからない 7. その他（具体的に）

→ ①-2 歯科医はどのくらいの頻度で自宅に来ますか。 ※○は1つ

1. 1か月に（ ）回 2. その他（ ） 3. 決まっていない 4. わからない

② 訪問看護以外に介護保険のサービス・障害福祉サービスを利用していますか。 ※○は1つ

1. はい 2. いいえ→質問③へ

→ ②-1 どのようなサービスを利用していますか。 ※○はいくつでも

<介護保険のサービス>

1. 訪問介護（ ）回/週 2. 訪問入浴介護 3. 訪問リハビリテーション 4. 通所介護(デイサービス)
5. 通所リハビリテーション(デイケア) 6. 短期入所生活介護(ショートステイ) 7. 福祉用具貸与

<障害福祉サービス>

8. 居宅介護 9. 就労継続支援B型（非雇用型）
10. 自立訓練（生活訓練） 11. 共同生活援助(グループホーム) 12. 就労移行支援
13. その他（ ） 14. どのサービスかわからない

②-2 ケアマネジャー(介護支援専門員)は、どのくらいの頻度で自宅に来ますか。 ※○は1つ

1. 1週間に2、3日 2. 1週間に1日 3. 1か月に2、3日 4. 1か月に1日
5. 2～3か月に1日 6. 決まっていない 7. わからない 8. その他（ ）

②-3 ケアマネジャー(介護支援専門員)に伝えたことは訪問看護師に伝わっていますか。 ※○は1つ

1. 十分に伝わっている 2. まあまあ伝わっている 3. あまり伝わっていない
4. 全く伝わっていない 5. わからない

②-4 訪問看護師は、必要なときには、あなたの病状等をケアマネジャー(介護支援専門員)に伝えていると思いますか。 ※○は1つ

1. 伝えている 2. 特に伝えていない 3. わからない

③ 自宅で医療を受けることをどう思いますか。 ※○はいくつでも

1. 不安である 2. 家族の負担が大きい
3. 住み慣れた環境で生活を続けられるのでよい 4. 安心感が得られる
5. 本当は病院に入院して医療を受けたい 6. 本当は介護施設などに入所したい
7. できるだけ自宅で医療を受けたい 8. わからない・どちらともいえない

④ 訪問看護サービスについてご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

Blank box for writing requests.

アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。11月20日までにご返送ください。

平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る調査(平成 26 年度調査)
訪問看護の利用状況や効果等についての調査 調査票

※この調査票は、ご自宅で静養されている方に、訪問看護の利用状況やお考えについておうかがいするものです。

※ご回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、()内には具体的な数字、ことば等をお書きください。

0. 最初に、この調査票のご記入者について、おうかがいします。
 この調査票のご回答者は、利用者の方でしょうか。それともご家族の方等でしょうか。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 利用者ご本人が記入 | 2. 利用者から聞き取りご家族が代筆 |
| 3. ご家族の方が記入 | 4. その他(具体的に) |

1. 利用者の方についておうかがいします。

① 性別	1. 男性 2. 女性	② 年齢	() 歳
③ 同居しているご家族の方はいらっしゃいますか。	1. いる 2. いない		
③-1 : ③で1の場合: 日中も同居のご家族はいらっしゃいますか。	1. いる 2. いない		

2. 訪問看護師による訪問看護についておうかがいします。

- ① いつ頃から訪問看護を利用していますか。

平成()年()月頃から

- ② 現在、訪問看護は何か所の事業所・施設から来ていますか。 ※○は1つだけ

1. 1か所 2. 2か所 3. 3か所

- ③ ここ1か月の間に訪問看護師はどのくらいの頻度で来ましたか。 ※○は1つだけ

1. 毎日	2. 1週間に5日	3. 1週間に3～4日
4. 1週間に2日	5. 1週間に1日	6. 1か月に2、3日
7. 1か月に1日	8. 決まっていない	
9. わからない・わすれた	10. その他(具体的に)	

- ④ 自宅に来る訪問看護師の訪問頻度をどう思いますか。 ※○は1つだけ

1. もっと多く来てほしい	2. ちょうどよい
3. もっと少なくてよい	4. わからない・どちらでもない

- ⑤ 早朝・夜間・深夜(午後8時以降～午前8時まで)に計画的に訪問看護を利用していますか。
 ※○は1つだけ

1. はい 2. いいえ

⑥ 夜間や休日に急に具合が悪くなった場合は、まず、誰に連絡をするように訪問看護師から言われていますか。 ※○は1つだけ

- | | | |
|-----------------------|---------------|---------------|
| 1. 訪問診療の医師 | 2. 通院先の病院・診療所 | 3. 訪問看護師 |
| 4. ケアマネジャー(介護支援専門員) | 5. 救急車(119番) | 6. その他(具体的に) |
| 7. 特に訪問看護師から言われたことはない | | |
| 8. 状況によって複数の連絡先を指定される | | |

⑦ 夜間や休日に急に具合が悪くなって、いつも自宅に来てくれる訪問看護師の事業所に緊急の連絡をしたことがありますか。 ※○は1つだけ

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. 連絡したことがある | 2. 連絡したことはない | 3. わからない・わすれた |
|--------------|--------------|---------------|

→ ⑦-1 訪問看護師はどのような対応をしてくれましたか。 ※○はいくつでも

- | |
|-------------------------|
| 1. 電話で状況を伝えると来てくれた |
| 2. 電話で対応方法を教えてくれた |
| 3. 電話で相談にのってくれ、翌朝に来てくれた |
| 4. わからない・わすれた |
| 5. 来てほしかったのに断られた |
| 6. その他(具体的に) |

⑦-2 連絡時の対応は満足でしたか。 ※○は1つだけ

- | | | | |
|------------------|---------|---------|----------|
| 1. とても満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. とても不満 |
| 5. わからない・どちらでもない | | | |

⑧ 訪問看護に求めることは何ですか。上位3つまで選んでください。 ※○は3つまで

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. 24時間対応してくれる | 2. 土日にも来てくれる |
| 3. 病状が重くなっても対応してくれる | 4. 何回でも訪問してくれる |
| 5. 必要に応じ複数名で訪問してくれる | 6. いつも決まった看護師が対応してくれる |
| 7. 入退院時に病院と連絡調整してくれる | |
| 8. (ケアマネジャー(介護支援専門員)と相談して、)介護保険サービスの利用を調整してくれる | |
| 9. 相談にのってくれる | 10. 医療的処置をしてくれる |
| 11. 必要に応じて医師に連絡してくれる | 12. 看取りをしてくれる |
| 13. 予防のための指導や助言をしてくれる | |
| 14. その他(具体的に) | |

⑨ 自宅に来る訪問看護師の対応に満足していますか。 ※○は1つだけ

- | | | |
|----------|----------|------------------|
| 1. とても満足 | 2. やや満足 | |
| 3. やや不満 | 4. とても不満 | 5. わからない・どちらでもない |

⑨-1 ↓ ↓ どのような点がご不満でしょうか。具体的な理由を教えてください。

--

3. 在宅での療養や介護保険サービスの利用についておうかがいします。

① 訪問看護以外にどのような医療サービス等を利用していますか。 ※○はいくつでも

1. 訪問診療・往診 2. 外来受診 3. 歯科の訪問診療 4. 薬剤師の訪問 5. デイケア

→ ①-1 医師はどのくらいの頻度で自宅に来ますか。 ※○は1つ

1. 1週間に2、3日 2. 1週間に1日 3. 1か月に2、3日 4. 1か月に1日
5. 決まっていない 6. わからない 7. その他（具体的に）

→ ①-2 歯科医はどのくらいの頻度で自宅に来ますか。 ※○は1つ

1. 1か月に（ ）回 2. その他（ ） 3. 決まっていない 4. わからない

② 訪問看護以外に介護保険のサービス・障害福祉サービスを利用していますか。 ※○は1つ

1. はい 2. いいえ→質問③へ

→ ②-1 どのようなサービスを利用していますか。 ※○はいくつでも

<介護保険のサービス>

1. 訪問介護（ ）回/週 2. 訪問入浴介護 3. 訪問リハビリテーション 4. 通所介護(デイサービス)
5. 通所リハビリテーション(デイケア) 6. 短期入所生活介護(ショートステイ) 7. 福祉用具貸与

<障害福祉サービス>

8. 居宅介護 9. 就労継続支援B型（非雇用型）
10. 自立訓練（生活訓練） 11. 共同生活援助(グループホーム) 12. 就労移行支援
13. その他（ ） 14. どのサービスかわからない

②-2 ケアマネジャー(介護支援専門員)は、どのくらいの頻度で自宅に来ますか。 ※○は1つ

1. 1週間に2、3日 2. 1週間に1日 3. 1か月に2、3日 4. 1か月に1日
5. 2～3か月に1日 6. 決まっていない 7. わからない 8. その他（ ）

②-3 ケアマネジャー(介護支援専門員)に伝えたことは訪問看護師に伝わっていますか。 ※○は1つ

1. 十分に伝わっている 2. まあまあ伝わっている 3. あまり伝わっていない
4. 全く伝わっていない 5. わからない

②-4 訪問看護師は、必要なときには、あなたの病状等をケアマネジャー(介護支援専門員)に伝えていると思いますか。 ※○は1つ

1. 伝えている 2. 特に伝えていない 3. わからない

③ 自宅で医療を受けることをどう思いますか。 ※○はいくつでも

1. 不安である 2. 家族の負担が大きい
3. 住み慣れた環境で生活を続けられるのでよい 4. 安心感が得られる
5. 本当は病院に入院して医療を受けたい 6. 本当は介護施設などに入所したい
7. できるだけ自宅で医療を受けたい 8. わからない・どちらともいえない

④ 訪問看護サービスについてご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。11月20日までにご返送ください。

平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る調査(平成 26 年度調査)
訪問看護の利用状況や効果等についての調査 調査票

※この調査票は、ご自宅で静養されている方に、訪問看護の利用状況やお考えについておうかがいするものです。

※ご回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、()内には具体的な数字、ことば等をお書きください。

0. 最初に、この調査票のご記入者について、おうかがいします。
 この調査票のご回答者は、利用者の方でしょうか。それともご家族の方等でしょうか。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 利用者ご本人が記入 | 2. 利用者から聞き取りご家族が代筆 |
| 3. ご家族の方が記入 | 4. その他(具体的に) |

1. 利用者の方についておうかがいします。

① 性別	1. 男性 2. 女性	② 年齢	() 歳
③ 同居しているご家族の方はいらっしゃいますか。	1. いる 2. いない		
③-1 : ③で1の場合: 日中も同居のご家族はいらっしゃいますか。	1. いる 2. いない		

2. 訪問看護師による訪問看護についておうかがいします。

- ① いつ頃から訪問看護を利用していますか。

平成()年()月頃から

- ② 現在、訪問看護は何か所の事業所・施設から来ていますか。 ※○は1つだけ

1. 1か所 2. 2か所 3. 3か所

- ③ ここ1か月の間に訪問看護師はどのくらいの頻度で来ましたか。 ※○は1つだけ

1. 毎日	2. 1週間に5日	3. 1週間に3～4日
4. 1週間に2日	5. 1週間に1日	6. 1か月に2、3日
7. 1か月に1日	8. 決まっていない	
9. わからない・わすれた	10. その他(具体的に)	

- ④ 自宅に来る訪問看護師の訪問頻度をどう思いますか。 ※○は1つだけ

1. もっと多く来てほしい	2. ちょうどよい
3. もっと少なくてよい	4. わからない・どちらでもない

- ⑤ 早朝・夜間・深夜(午後8時以降～午前8時まで)に計画的に訪問看護を利用していますか。
 ※○は1つだけ

1. はい 2. いいえ

⑥ 夜間や休日に急に具合が悪くなった場合は、まず、誰に連絡をするように訪問看護師から言われていますか。 ※○は1つだけ

- | | | |
|-----------------------|---------------|---------------|
| 1. 訪問診療の医師 | 2. 通院先の病院・診療所 | 3. 訪問看護師 |
| 4. ケアマネジャー(介護支援専門員) | 5. 救急車(119番) | 6. その他(具体的に) |
| 7. 特に訪問看護師から言われたことはない | | |
| 8. 状況によって複数の連絡先を指定される | | |

⑦ 夜間や休日に急に具合が悪くなって、いつも自宅に来てくれる訪問看護師の事業所に緊急の連絡をしたことがありますか。 ※○は1つだけ

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. 連絡したことがある | 2. 連絡したことはない | 3. わからない・わすれた |
|--------------|--------------|---------------|

→ ⑦-1 訪問看護師はどのような対応をしてくれましたか。 ※○はいくつでも

- | |
|-------------------------|
| 1. 電話で状況を伝えると来てくれた |
| 2. 電話で対応方法を教えてくれた |
| 3. 電話で相談にのってくれ、翌朝に来てくれた |
| 4. わからない・わすれた |
| 5. 来てほしかったのに断られた |
| 6. その他(具体的に) |

⑦-2 連絡時の対応は満足でしたか。 ※○は1つだけ

- | | | | |
|------------------|---------|---------|----------|
| 1. とても満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. とても不満 |
| 5. わからない・どちらでもない | | | |

⑧ 訪問看護に求めることは何ですか。上位3つまで選んでください。 ※○は3つまで

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. 24時間対応してくれる | 2. 土日にも来てくれる |
| 3. 病状が重くなっても対応してくれる | 4. 何回でも訪問してくれる |
| 5. 必要に応じ複数名で訪問してくれる | 6. いつも決まった看護師が対応してくれる |
| 7. 入退院時に病院と連絡調整してくれる | |
| 8. (ケアマネジャー(介護支援専門員)と相談して、)介護保険サービスの利用を調整してくれる | |
| 9. 相談にのってくれる | 10. 医療的処置をしてくれる |
| 11. 必要に応じて医師に連絡してくれる | 12. 看取りをしてくれる |
| 13. 予防のための指導や助言をしてくれる | |
| 14. その他(具体的に) | |

⑨ 自宅に来る訪問看護師の対応に満足していますか。 ※○は1つだけ

- | | | |
|----------|----------|------------------|
| 1. とても満足 | 2. やや満足 | |
| 3. やや不満 | 4. とても不満 | 5. わからない・どちらでもない |

⑨-1 ↓ ↓ どのような点がご不満でしょうか。具体的な理由を教えてください。

--

3. 在宅での療養や介護保険サービスの利用についておうかがいします。

① 訪問看護以外にどのような医療サービス等を利用していますか。 ※○はいくつでも

1. 訪問診療・往診 2. 外来受診 3. 歯科の訪問診療 4. 薬剤師の訪問 5. デイケア

→ ①-1 医師はどのくらいの頻度で自宅に来ますか。 ※○は1つ

1. 1週間に2、3日 2. 1週間に1日 3. 1か月に2、3日 4. 1か月に1日
5. 決まっていない 6. わからない 7. その他（具体的に）

→ ①-2 歯科医はどのくらいの頻度で自宅に来ますか。 ※○は1つ

1. 1か月に（ ）回 2. その他（ ） 3. 決まっていない 4. わからない

② 訪問看護以外に介護保険のサービス・障害福祉サービスを利用していますか。 ※○は1つ

1. はい 2. いいえ→質問③へ

→ ②-1 どのようなサービスを利用していますか。 ※○はいくつでも

<介護保険のサービス>

1. 訪問介護（ ）回/週 2. 訪問入浴介護 3. 訪問リハビリテーション 4. 通所介護(デイサービス)
5. 通所リハビリテーション(デイケア) 6. 短期入所生活介護(ショートステイ) 7. 福祉用具貸与

<障害福祉サービス>

8. 居宅介護 9. 就労継続支援B型（非雇用型）
10. 自立訓練（生活訓練） 11. 共同生活援助(グループホーム) 12. 就労移行支援
13. その他（ ） 14. どのサービスかわからない

②-2 ケアマネジャー(介護支援専門員)は、どのくらいの頻度で自宅に来ますか。 ※○は1つ

1. 1週間に2、3日 2. 1週間に1日 3. 1か月に2、3日 4. 1か月に1日
5. 2～3か月に1日 6. 決まっていない 7. わからない 8. その他（ ）

②-3 ケアマネジャー(介護支援専門員)に伝えたことは訪問看護師に伝わっていますか。 ※○は1つ

1. 十分に伝わっている 2. まあまあ伝わっている 3. あまり伝わっていない
4. 全く伝わっていない 5. わからない

②-4 訪問看護師は、必要なときには、あなたの病状等をケアマネジャー(介護支援専門員)に伝えていると思いますか。 ※○は1つ

1. 伝えている 2. 特に伝えていない 3. わからない

③ 自宅で医療を受けることをどう思いますか。 ※○はいくつでも

1. 不安である 2. 家族の負担が大きい
3. 住み慣れた環境で生活を続けられるのでよい 4. 安心感が得られる
5. 本当は病院に入院して医療を受けたい 6. 本当は介護施設などに入所したい
7. できるだけ自宅で医療を受けたい 8. わからない・どちらともいえない

④ 訪問看護サービスについてご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。11月20日までにご返送ください。

平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る調査(平成 26 年度調査)
訪問看護の利用状況や効果等についての調査 調査票

※この調査票は、ご自宅で静養されている方に、訪問看護の利用状況やお考えについておうかがいするものです。

※ご回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、() 内には具体的な数字、ことば等をお書きください。

0. 最初に、この調査票のご記入者について、おうかがいします。

この調査票のご回答者は、利用者の方でしょうか。それともご家族の方等でしょうか。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 利用者ご本人が記入 | 2. 利用者から聞き取りご家族が代筆 |
| 3. ご家族の方が記入 | 4. その他(具体的に) |

1. 利用者の方についておうかがいします。

① 性別	1. 男性 2. 女性	② 年齢	() 歳
③ 同居しているご家族の方はいらっしゃいますか。	1. いる 2. いない		
③-1 : ③で1の場合: 日中も同居のご家族はいらっしゃいますか。	1. いる 2. いない		

2. 訪問看護師による訪問看護についておうかがいします。

① いつ頃から訪問看護を利用していますか。

平成()年()月頃から

② 現在、訪問看護は何か所の事業所・施設から来ていますか。 ※○は1つだけ

1. 1か所 2. 2か所 3. 3か所

③ ここ1か月の間に訪問看護師はどのくらいの頻度で来ましたか。 ※○は1つだけ

- | | | |
|---------------|----------------|-------------|
| 1. 毎日 | 2. 1週間に5日 | 3. 1週間に3～4日 |
| 4. 1週間に2日 | 5. 1週間に1日 | 6. 1か月に2、3日 |
| 7. 1か月に1日 | 8. 決まっていない | |
| 9. わからない・わすれた | 10. その他(具体的に) | |

④ 自宅に来る訪問看護師の訪問頻度をどう思いますか。 ※○は1つだけ

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. もっと多く来てほしい | 2. ちょうどよい |
| 3. もっと少なくてよい | 4. わからない・どちらでもない |

⑤ 早朝・夜間・深夜(午後8時以降～午前8時まで)に計画的に訪問看護を利用していますか。

※○は1つだけ

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

⑥ 夜間や休日に急に具合が悪くなった場合は、まず、誰に連絡をするように訪問看護師から言われていますか。 ※○は1つだけ

- | | | |
|-----------------------|---------------|---------------|
| 1. 訪問診療の医師 | 2. 通院先の病院・診療所 | 3. 訪問看護師 |
| 4. ケアマネジャー(介護支援専門員) | 5. 救急車(119番) | 6. その他(具体的に) |
| 7. 特に訪問看護師から言われたことはない | | |
| 8. 状況によって複数の連絡先を指定される | | |

⑦ 夜間や休日に急に具合が悪くなって、いつも自宅に来てくれる訪問看護師の事業所に緊急の連絡をしたことがありますか。 ※○は1つだけ

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. 連絡したことがある | 2. 連絡したことはない | 3. わからない・わすれた |
|--------------|--------------|---------------|

→ ⑦-1 訪問看護師はどのような対応をしてくれましたか。 ※○はいくつでも

- | |
|-------------------------|
| 1. 電話で状況を伝えると来てくれた |
| 2. 電話で対応方法を教えてくれた |
| 3. 電話で相談にのってくれ、翌朝に来てくれた |
| 4. わからない・わすれた |
| 5. 来てほしかったのに断られた |
| 6. その他(具体的に) |

⑦-2 連絡時の対応は満足でしたか。 ※○は1つだけ

- | | | | |
|------------------|---------|---------|----------|
| 1. とても満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. とても不満 |
| 5. わからない・どちらでもない | | | |

⑧ 訪問看護に求めることは何ですか。上位3つまで選んでください。 ※○は3つまで

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. 24時間対応してくれる | 2. 土日にも来てくれる |
| 3. 病状が重くなっても対応してくれる | 4. 何回でも訪問してくれる |
| 5. 必要に応じ複数名で訪問してくれる | 6. いつも決まった看護師が対応してくれる |
| 7. 入退院時に病院と連絡調整してくれる | |
| 8. (ケアマネジャー(介護支援専門員)と相談して、)介護保険サービスの利用を調整してくれる | |
| 9. 相談にのってくれる | 10. 医療的処置をしてくれる |
| 11. 必要に応じて医師に連絡してくれる | 12. 看取りをしてくれる |
| 13. 予防のための指導や助言をしてくれる | |
| 14. その他(具体的に) | |

⑨ 自宅に来る訪問看護師の対応に満足していますか。 ※○は1つだけ

- | | | |
|----------|----------|------------------|
| 1. とても満足 | 2. やや満足 | |
| 3. やや不満 | 4. とても不満 | 5. わからない・どちらでもない |

⑨-1 ↓ ↓ どのような点がご不満でしょうか。具体的な理由を教えてください。

--

3. 在宅での療養や介護保険サービスの利用についておうかがいします。

① 訪問看護以外にどのような医療サービス等を利用していますか。 ※○はいくつでも

1. 訪問診療・往診 2. 外来受診 3. 歯科の訪問診療 4. 薬剤師の訪問 5. デイケア

→ ①-1 医師はどのくらいの頻度で自宅に来ますか。 ※○は1つ

1. 1週間に2、3日 2. 1週間に1日 3. 1か月に2、3日 4. 1か月に1日
5. 決まっていない 6. わからない 7. その他（具体的に）

→ ①-2 歯科医はどのくらいの頻度で自宅に来ますか。 ※○は1つ

1. 1か月に（ ）回 2. その他（ ） 3. 決まっていない 4. わからない

② 訪問看護以外に介護保険のサービス・障害福祉サービスを利用していますか。 ※○は1つ

1. はい 2. いいえ→質問③へ

→ ②-1 どのようなサービスを利用していますか。 ※○はいくつでも

<介護保険のサービス>

1. 訪問介護（ ）回/週 2. 訪問入浴介護 3. 訪問リハビリテーション 4. 通所介護(デイサービス)
5. 通所リハビリテーション(デイケア) 6. 短期入所生活介護(ショートステイ) 7. 福祉用具貸与

<障害福祉サービス>

8. 居宅介護 9. 就労継続支援B型（非雇用型）
10. 自立訓練（生活訓練） 11. 共同生活援助(グループホーム) 12. 就労移行支援
13. その他（ ） 14. どのサービスかわからない

②-2 ケアマネジャー(介護支援専門員)は、どのくらいの頻度で自宅に来ますか。 ※○は1つ

1. 1週間に2、3日 2. 1週間に1日 3. 1か月に2、3日 4. 1か月に1日
5. 2～3か月に1日 6. 決まっていない 7. わからない 8. その他（ ）

②-3 ケアマネジャー(介護支援専門員)に伝えたことは訪問看護師に伝わっていますか。 ※○は1つ

1. 十分に伝わっている 2. まあまあ伝わっている 3. あまり伝わっていない
4. 全く伝わっていない 5. わからない

②-4 訪問看護師は、必要なときには、あなたの病状等をケアマネジャー(介護支援専門員)に伝えていると思いますか。 ※○は1つ

1. 伝えている 2. 特に伝えていない 3. わからない

③ 自宅で医療を受けることをどう思いますか。 ※○はいくつでも

1. 不安である 2. 家族の負担が大きい
3. 住み慣れた環境で生活を続けられるのでよい 4. 安心感が得られる
5. 本当は病院に入院して医療を受けたい 6. 本当は介護施設などに入所したい
7. できるだけ自宅で医療を受けたい 8. わからない・どちらともいえない

④ 訪問看護サービスについてご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。11月20日までにご返送ください。

【検証部会としての評価】

平成26年4月の診療報酬改定内容を踏まえて、機能強化型訪問看護ステーションの実態、訪問看護の実施状況や介護保険との連携状況、訪問看護を利用する患者の状態、意識等について検証を行った。

- (ア) 26年改定において創設した機能強化型訪問看護ステーションについて、機能強化型1では約4.5割、機能強化型2では約3割が「事業所の大型化に寄与した」と回答した。
- (イ) 常勤の看護職員数は、26年改定前に比べ「機能強化型1」「機能強化型2」「機能強化型以外」でいずれも増加しており、特に「機能強化型1」では平均1.5人増と最も多く増加がみられた。
- (ウ) 常勤の看護職員数（1事業所あたりの実人数）について、「機能強化型1」の半数以上で看護職員数の増加がみられた。一方、「機能強化型2」「機能強化型以外」では約半数が大きな変化はみられなかった。
- (エ) 退院時共同指導加算の算定状況についてみると、「機能強化型1」で63.6%、「機能強化型2」では60.4%で加算を算定していた。一方、「機能強化型以外」では30.8%、「主に精神科」では16.2%と比較的低い算定状況であった。
- (オ) 1事業所あたりの訪問看護利用者数について、26年改定前に比べ「機能強化型1」では平均9.2人増、「機能強化型2」では平均4.4人増、「機能強化型以外」では平均0.8人増、「機能強化型以外（主に精神科）」では平均7.9人増となっており、特に「機能強化型1」で利用者の増加がみられた。
- (カ) 医療保険と介護保険をあわせた1事業所あたりの訪問回数について、26年改定前に比べ「機能強化型1」では平均64.8回増、「機能強化型2」では平均75.9回増、「機能強化型以外」では平均20.4回増、「機能強化型以外（主に精神科）」では平均45.7回増であり、特に機能強化型で増加がみられた。
- (キ) また、医療保険による訪問回数については、「機能強化型1」では平均24.2回増、「機能強化型2」では平均37.2回増、「機能強化型以外」では平均10.2回増、「機能強化型以外（主に精神科）」では平均66.1回増であり、特に「機能強化型以外（主に精神科）」で増加がみられた。
- (ク) 15歳未満の利用がある事業所は、「機能強化型1」では74.5%、「機能強化型2」では67.9%、「機能強化型以外」では27.7%、「主に精神科」では5.9%であり、機能強化型において15歳未満の利用が多いことが伺える。
- (ケ) また、超重症児の利用がある事業所は、「機能強化型1」では49.1%、「機能強化型2」では39.6%、「機能強化型以外」では13.2%、「主に精神科」では0.0%であり、機能強化型において超重症児の利用が多いことが伺える。
- (コ) 40歳以上の医療保険のみの利用者について要介護度別の利用者数をみると、「機能強化型1」で「要介護1・2・3」が平均11.1人、「要介護4」が平均4.9人、「要介護5」が平均7.1人で最も多かった。
- (サ) 精神科訪問看護届出の状況についてみると、「機能強化型1」では47.3%、「機能強化型2」では26.4%、「機能強化型以外」では28.5%、「主に精神科」では92.6%が届出をしていた。
- (シ) 26年改定において新設した、精神科重症患者早期集中支援管理料を算定する患者に対して24時間体制の他職種チームによる訪問看護体制を評価した精神科重症患者早期集中

支援管理連携加算の届出についてみると、「機能強化型1」では29.6%、「機能強化型2」では15.8%、「機能強化型以外」では16.5%、「主に精神科」では18.5%が届出をしていた。

- (ス) 26年改定において新設した、精神科重症患者早期集中支援管理料を算定する患者に対する複数回訪問看護を評価した精神科複数回訪問加算の届出についてみると、「機能強化型1」では37.0%、「機能強化型2」では21.1%、「機能強化型以外」では25.6%、「主に精神科」では24.6%が届出をしていた。
- (セ) 平成26年4月～9月に在宅で亡くなった、またはターミナルケア実施後24時間以内の入院で亡くなった利用者数は、「機能強化型1」では平均17.9人、「機能強化型2」では平均8.3人、「機能強化型以外」では平均3.2人、「主に精神科」では平均0.3人であった。
- (ソ) 土日・祝日における訪問看護の実施状況についてみると、「機能強化型1」では「土曜日」が90.9%、「日曜日」が83.6%、「祝日」が92.7%と高い割合で実施していた。一方、「機能強化型以外」では「土曜日」が75.9%、「日曜日」が56.4%、「祝日」が70.9%で実施していた。
- (タ) また、早朝・夜間・深夜における訪問看護の実施についてみると、「機能強化型1」では18.2%、「機能強化型2」では9.4%、「機能強化型以外」では8.6%、「主に精神科」では13.2%で実施していた。
- (チ) 1事業所あたりの緊急訪問回数についてみると、「機能強化型1」が夜間が平均1.9回、深夜が平均1.7回と最も多いが、改定前と比べるとほとんど変化はみられなかった。
- (ツ) 地域住民などに対して実施したことをみると、「機能強化型1・2」では「実習生の受け入れ」が最も多く、次いで「地域における会議・勉強会」「他施設・他職種との地域連携」が多くみられた。また、地域における会議・勉強会を実施している場合、その参加方法についてみると、「機能強化型1」では「企画運営」「講師として参加」する割合が高く、地域連携に主体的に寄与していることが伺える。
- (テ) 26年改定前後の収支について、「機能強化型1・2」「機能強化型以外（主に精神科）」の約4～5割、「機能強化型以外」の約3割弱がプラスになったとの回答であった。一方で、マイナスになったと回答したのは「機能強化型1」で約0.5割、「機能強化型2」「機能強化型以外」「機能強化型以外（主に精神科）」で約1～1.5割であった。また、収支がプラスになった理由として、「機能強化型1・2」では「診療報酬改定の影響」「利用者が増えた」が最も多く、機能強化型の設置に一定の効果があったものと考えられる。
- (ト) 機能強化型の届出をしていない理由についてみると、「機能強化型以外」では「看護職員数が少ない」「看取りの件数が少ない」が多く、「機能強化型以外（主に精神科）」では「看護職員数が少ない」「24時間対応体制が確保できない」「看取りの件数が少ない」が多くみられ、特に常勤看護職員の確保が大きな問題となっていることが伺える。
- (ナ) 事業所の1月あたりの訪問日数についてみると、「機能強化型1」では「11日～15日」が36.2%、「機能強化型2」では「6日～10日」が32.3%、「機能強化型以外」では「6日～10日」が29.3%、「主に精神科」では「1日～5日」が57.2%で最も多かった。
- (ニ) 同居家族がいる利用者は、「機能強化型1」では87.0%、「機能強化型2」では92.5%、「機能強化型以外」では80.3%、「主に精神科」では41.4%であり、精神科で同居家族の割合が低いことが分かる。
- (ヌ) 夜間や休日に急に具合が悪くなった場合に、まず、誰に連絡するように訪問看護師から言われているかをたずねたところ、全ての訪問看護ステーションで「訪問看護師」が最も

多く、訪問看護、精神科訪問看護でも同様であった。

- (ネ) 訪問看護ステーションへの緊急連絡したことがある利用者は、「機能強化型 1」では 69.5%、「機能強化型 2」では 61.7%、「機能強化型以外」では 49.3%、「機能強化型以外（主に精神科）」では 24.1%であった。また、「訪問看護」では 53.4%、「精神科訪問看護」では 27.2%であった。
- (ノ) 訪問看護ステーションへの緊急連絡の経験がある場合について、訪問看護師の対応状況をみると、機能強化型でもそれ以外の施設でも「電話で状況を伝えると来てくれた」が最も多く、次いで「電話で対応方法を教えてくれた」「電話で相談ののってくれ、翌朝に来てくれた」が多かった。緊急対応及び通常利用時の利用者満足度は、機能強化型でもそれ以外の施設でも 9 割以上が「とても満足」又は「やや満足」と回答しており、高い評価を得ている。
- (ハ) 自宅で医療を受けることについて、利用者の約 7 割が住み慣れた環境での生活の継続がよいと感じ、約 5 割程度ができるだけ自宅で医療を受けたい、約 4 割が安心感が得られるという回答が多かった。一方で、家族の負担が大きい（約 3 割）、不安である（約 1 割）という回答もあった。